

2021 年度

専門科目教育要項

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科
口腔保健工学専攻

まえがき

本冊子は、皆さんが歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻の授業を受けるうえで、知っておいていただきたい事項をまとめたものです。本専攻での履修を円滑かつ充実したものにするため、内容を理解し、活用するようにしてください。

なお、教育要項（シラバス）は電子化され冊子体は配布致しませんので、教育内容に関する情報はインターネットを利用して本学ホームページから入手してください。各科目のシラバスおよび授業スケジュールは教育支援システム（ドリームキャンパス）に、それぞれアクセスして参照してください。また、授業に関するお知らせや資料等も随時 e-learning システムの WebClass に掲載されますので、日々のチェックを心掛けるようお願いします。

2021 年 4 月

歯学部口腔保健学科教育委員会

基本理念、教育理念、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー等

●基本理念

「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」

学問と教育の聖地、湯島・昌平坂に建つ本学は、医療系総合大学として「知と癒しの匠」を創造し、東京のこの地から世界へと翼を広げ、人々の健康と社会の福祉に貢献します。

・教育について

幅広い教養と豊かな人間性、高い倫理観、自ら考え解決する創造性と開拓力、国際性と指導力を備えた人材を育成します。

・研究について

さまざまな学問領域の英知を結集して、時代に先駆ける研究を推し進め、その成果を広く社会に還元します。

・医療について

心と身体を癒す質の高い医療を、地域に提供するとともに、国内さらに世界へと広めていきます。

この理念に基づき、本学の全構成員がそれぞれの役割を自覚し、自らの使命を果たします。

●教育理念

1. 幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の涵養を目指す

病める人と向き合う医療人は、患者の痛みが分かり、そして患者を取り巻く様々な状況をも理解しなければなりません。それには豊かな教養と人間への深い洞察力、高い倫理観と説明能力を備えなければなりません。

2. 自己問題提起、自己問題解決型の創造力豊かな人間を養成する

学業あるいは研究に当たっては、何事も鵜呑みにすることなく、疑問を投げかけ、種々の情報を収集、解析し、自ら解決する能力が求められます。そうしてはじめて、独創的な研究を推進できる人材が育まれます。

3. 国際感覚と国際競争力に優れる人材を養成する

研究成果が即座に世界に伝播する現代において、医療の分野でもその情報と時間の共有化が益々進んでいます。このような状況の中で、立ち遅れない、むしろ最先端に行く人材の養成に努めます。そのために海外教育研究拠点、海外国際交流協定校への派遣を積極的に推進します。

歯学部口腔保健学科

●教育理念

温かく豊かな人間性を有し、口腔保健・福祉の立場から、人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、指導的役割を果たすことのできる人材を育成します。

●教育目標

〈口腔保健工学専攻〉

1. 生命の尊厳と基本的な科学原理・概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
2. 深い人間理解と医療人としての高い倫理観、豊かな感性を身につける。
3. 社会における口腔保健・福祉の果たす役割とその重要性を理解する。
4. QOLの向上に関わるものづくりの専門家として、自らの高度な知識と技術を社会に還元する意欲を養う。
5. 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。
6. 保健・医療・福祉等の関連職種と連携して活動できる能力を身につける。
7. 口腔保健の立場から国際貢献ができる能力を修得する。

◆ディプロマ・ポリシー

歯学部口腔保健学科では、教養部および各専攻における、基礎から臨床、実践に統合する体系的学習を行い、進級要件（東京医科歯科大学全学共通科目履修規則及び東京医科歯科大学専門科目履修規則）を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、以下の要件を満たしている者に学位を授与する。

1. 幅広い教養と豊かな感性

全学共通科目から専門の臨床・臨地実習に至る全教育課程を通して、口腔保健・医療・福祉領域の専門職に必要とされる幅広い教養ならびに人々の心情と行動を理解できる豊かな感性と高い倫理観を身につけている。

2. 問題提起、解決能力

口腔保健・医療の急速な進歩ならびに口腔保健・医療・福祉への多様なニーズに対応できるよう、科学的根拠に基づいた論理的思考力と、主体的に問題を提起、解決する能力を有している。

3. 国際性

口腔保健・医療・福祉分野における国際貢献への高い関心を有し、国際活動・協力を実践するための基礎力を備えている。

歯科衛生および歯科技工の領域において指導的役割を担えるよう、専門職としての高度な知識と技能を有していることが求められる。また、近年は関連他職種と連携した口腔保健の実践が求められており、チームとしての保健・医療・福祉活動に専門職として参加できる基礎力を修得していることが必須である。

◆カリキュラム・ポリシー

〈口腔保健工学専攻〉

東京医科歯科大学の教育理念、および歯学部口腔保健学科の教育理念に基づき、口腔保健工学専攻の教育目標をふまえて、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下のとおり定める。

1. 全学共通科目の人文・社会科学、専門科目の医療倫理、コミュニケーション学、PBL テュートリアルで行うヘルスプロモーション等の履修をととして、歯科医療人としての倫理観ならびにコミュニケーション能力を育てる。
2. 全学共通科目の自然科学、専門課程の基礎歯科医学を学び、さらに統合力を必要とする卒業研究、再建工学包括臨床実習等の履修をととして、学際的科学の視点と問題提起、解決能力を育成する。
3. 歯科医療の進歩に応じた歯科技工に関する知識と技術を基礎から応用まで段階的に学ぶことにより、最新の情報工学を駆使した歯科補綴装置作成の理論と実際への理解を深め、新たな技術開発への基礎力を培う。
4. 高齢者歯科工学等の履修をととして、疾患により失われた機能回復を促し、患者の QOL 向上に寄与できる能力を育成するとともに、人々の健康を支援する使命感を養う。
5. 全学共通科目の外国語、専門科目の科学英語、グローバル口腔保健工学実習等の履修により、国際協力に関心をもち、海外の文化、社会への理解を深め、国際貢献への姿勢と能力を培う。

歯学部長あいさつ

歯学部長 依田 哲也

口腔保健学科口腔保健工学専攻では、「造形と製作加工の技術を科学的に裏付けされた匠の技として発展させ、人々の健康に寄与する」ことを謳っています。口腔保健工学専攻は、平成23年4月に歯学部附属歯科技工士学校を改組して新設されました。新時代の歯科技工士の未来を拓く、世界のリーダーとなりうる人材の輩出を目指し、歯科技工の技術だけに偏るのではなく、幅広い知識と専門的技能を有し、多方面で活躍できる人材の育成を図っています。

本専攻の歴史は、昭和4年、本学の前身である東京高等歯科医学校に設置された技工士養成科にまで遡ります。この間、多くの人材を輩出し、国内はもとより、国際的に活躍する諸先輩も多く、歯科技工士養成学校として本学は高く評価されています。皆さんはすでに業界での地位の確立された大学に入学し、専門教育を受けるのですから、卒業時には当然、皆さんに対する社会的な期待も大きなものになります。その期待にこたえるべく、教育内容は十分に検討したものです。世界中どこと比較しても、胸を張れる教員組織、環境、設備、そして教育内容です。ひとつひとつの科目に真剣に取り組み、達成すべき項目をすべて修得すれば、本学科の卒業生として、どこに出ても自信を持って活躍できるはずです。

グローバル化する社会においても、皆さんに対する期待は増すばかりです。社会の期待にこたえて専門職業人として、歯科医療に貢献する、歯科保健工学に貢献する、そして業界のリーダーとして、業界の未来を築いていってくださることを願っています。皆さんの将来は輝かしい可能性に満ちています。どうか先生方を信頼し、同胞とともに助け合いながら、力いっぱい勉学に励み、自分の人生を切り開く基盤を形成してください。

目 次

まえがき	
基本的理念	
一般教育目標	
口腔保健学科のディプロマポリシー	
口腔保健工学専攻のカリキュラムポリシー	
歯学部長あいさつ	
東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（2018年度以前入学者）	1
東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（2019年度以降入学者）	13
東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規.....	18
東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度取り扱いに関する要項.....	20
東京医科歯科大学試験規則	22
東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規.....	25
ユニット試験（筆記試験）時の注意事項	26
学生周知事項	
歯科技工士国家試験について	28
学生周知事項	30
災害関係連絡事項.....	36
学生・女性支援センター（5号館3階）について	38
保健管理センター（5号館2階）について	39
実習要件（抗体検査・ワクチン接種）について	40
図書館（M&Dタワー3・4階）について	42
1号館西・2号館・7号館の管理、使用について	44
湯島キャンパス案内	49
1号館西6～8階平面図.....	50
2号館見取り図	51
2号館避難経路	52
7号館平面図	53
2021年度歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻専門課程科目授業計画表	54
歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻教員連絡先一覧	55

第 1 学年 履修ユニット

口腔保健工学概論	57
メディア情報学基礎	59
造形美術概論実習	61
早期臨床体験実習	63
人体の構造と機能	65
加工技術基礎	68

第 2 学年 履修ユニット

科学英語 I	71
ヘルスプロモーション	74
グローバル口腔保健工学	77
感染予防	79
う蝕と歯周病	81
口腔医学の基礎	83
全身疾患と治療の基礎	86
歯の形態基礎実習	90
歯の形態実習	93
咬合学	96
口腔保健理工学	98
口腔保健理工学実習	101
精密鑄造学実習	105
全部床義歯工学	108
全部床義歯工学実習	111
部分床義歯工学	114
部分床義歯工学実習 I	117
歯冠修復工学	120
歯冠修復工学基礎実習	122

第3学年 履修ユニット

科学英語Ⅱ	126
コミュニケーション学	129
グローバル口腔保健工学実習	132
口腔保健工学管理学.....	136
口腔外科工学.....	138
高齢者歯科工学.....	140
臨床咬合学.....	143
プロセスデバイス工学.....	146
部分床義歯工学実習Ⅱ	148
顎補綴工学.....	150
顎補綴工学実習	153
顔面補綴工学実習	156
臨床義歯管理工学.....	158
歯冠修復工学応用実習	161
審美修復工学.....	163
審美修復工学実習	166
CAD／CAMシステム工学実習	170
インプラント工学実習	173
小児歯科工学	176
小児歯科工学実習	178
矯正歯科工学.....	180
再建工学包括臨床実習Ⅰ	183
医療倫理.....	191
卒業研究Ⅰ	193
口腔保健工学エクスターンシップ.....	196

第4学年 履修ユニット

画像解析学.....	199
スポーツ歯科工学.....	201
オーラルアプライアンス工学.....	203
CAD／CAMシステム工学実習	205
再建工学包括臨床実習Ⅱ	208
卒業研究Ⅱ	220
卒業製作	227
口腔保健工学エクスターンシップ	231

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成22年3月30日
規則第41号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目(以下「専門科目」という。)の履修に関しては、東京医科歯科大学学則(平成16年規程第4号。以下「学則」という。)定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の単位数及び履修学年)

第2条 専門科目の単位数及び履修学年については、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

(授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間

(2) 実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

(1) 学習目標を十分に満たすこと

(2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

3 第1項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の1単位当たりの授業時間は25時間とし、講義10時間・実習15時間の割合で構成する。

(編入学者、転入学者の単位認定)

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部(以下「在籍学部」という。)において行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

- 4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
- 5 学習の評価は、別表2のとおりとする。
- 6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
- 7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級等要件)

- 第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修又は単位を修得することができない。
- 2 医学部医学科並びに歯学部歯学科及び口腔保健学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、2年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
 - 3 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
 - 4 第2項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(卒業認定)

- 第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

- 第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1（3）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年3月25日規則第8号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にのみ改正後の別表1（7）を適用する。
（平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）
- 3 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1（7）は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論1	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論2	1		○				
	医療リーダーシップ特論3	1		○				
	医療リーダーシップ特論4	1			○	○ (※2)		
	医療リーダーシップ特論5	1			○ (※1)			
	国際教養特論1	1	○	○				
	国際教養特論2	1		○	○	○ (※2)		
	国際教養特論3	1		○	○	○ (※2)		
	計	8						

※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。

※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができない。

※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

附 則（平成27年3月10日規則第16号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年3月10日規則第17号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年6月1日規則第140号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、平成23年度から平成26年度までに入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成23年度以降に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成23年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表1（4）の

「

3 平成22年度以前に入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成22年度以前に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成22年度以前に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。ただし、歯学科専門科目学科課程表については、次のとおりとし、平成26年12月1日から適用する。

-4-

研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○
デンタルエクスターン シップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コ ース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

但し、同一年次・年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

附 則（平成28年3月31日規則第70号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

Learning Medical English				○	○	○	
--------------------------	--	--	--	---	---	---	--

」は、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成28年3月31日規則第71号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第73号）

（施行期日等）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）及び（3）のうち次に掲げる科目並びに（7）及び（8）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表1（3） アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

- 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A＋
優	A
良	B
可	C
不可	D

附則（平成28年11月7日規則第159号）

- この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

実践看護英語							○	
--------	--	--	--	--	--	--	---	--

」は、平成29年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月30日規則第50号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ

附 則（平成29年3月31日規則第54号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年6月1日規則第68号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年6月1日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1） 研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、
研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムⅤ

附 則（平成29年7月6日規則第101号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年7月6日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表3（1）医学科（7）及び注3を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成29年12月27日規則第137号）

この規則は、平成29年12月27日から施行し、平成29年4月1日から適用する

附 則（平成30年5月8日規則第32号）

- 1 この規則は、平成30年5月8日から施行し、平成30年4月1日から適用する。
- 2 平成30年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成30年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（2）及び（3）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉A、国際保健福祉B、国際保健福祉C、国際保健福祉D

別表1（3） 短期海外研修（A）、短期海外研修（B）、短期海外研修（C）、短期海外研修（D）
生体医工学の科目については、平成28年度入学者から適用する。

附 則（平成30年12月20日規則第119号）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和元年5月8日規則第55号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、令和元年5月8日から施行し、平成31年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成31年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成31年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）の次に掲げる科目及び別表3（1）医学科（8）及び注4を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1）臨床実習Ⅰ、臨床実習Ⅱ

附 則（令和元年5月8日規則第56号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、令和元年5月8日から施行し、平成31年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成31年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成31年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）

及び（４）並びに別表３（１）及び（３）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１（１） 総合診療・地域医療

別表１（４） 総合診療・地域医療

別表３（１） 総合診療・地域医療

別表３（３） 総合診療・地域医療

附 則（令和２年３月１１日規則第４９号）

（施行期日等）

１ この規則は、令和２年４月１日から施行する。

（在学する者等に関する経過措置）

２ 令和２年３月３１日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び令和２年４月１日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表１（１）、（３）及び（４）の次に掲げる科目並びに別表３（１）の（５）、注１及び別表３（３）の（４）、注を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表１（１） 医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションⅢ）、社会医学及び行動科学

別表１（３） 神経科学、心電図判読、Learning Medical English

別表１（４） 医歯学基盤教育（グローバル・コミュニケーションⅢ）

３ 前項の規定にかかわらず、Learning Medical Englishについては、平成３１年４月１日に入学した者のみ改正後の別表１（３）を適用する。

附 則（令和３年１月１５日 規則第３号）

１ この規則は、令和３年１月１５日から施行し、令和２年４月１日から適用する。

２ 令和２年３月３１日において、現に本学に在学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和３年３月３１日規則第４０号）

この規則は、令和３年４月１日から施行する。ただし、第９条、別表１（４）及び別表３（１）は、令和２年４月１日から適用する。

(6) 口腔保健学科(口腔保健工学専攻) 教育課程

区 分		授業科目	単位数			履修学年							
						1 年		2 年		3 年		4 年	
			必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎分野	科学的思考 の基盤 人間と生活	口腔保健工学概論	1			○							
		科学英語Ⅰ	1					○					
		科学英語Ⅱ	1							○			
		ヘルスプロモーション	2					○					
		メディア情報学基礎	1				○						
		コミュニケーション学	1							○			
		造形美術概論実習	1				○						
		グローバル口腔保健工学実習	1						○				
専門基礎分野	歯科技工と 歯科医療	歯科技工士と法律	1							○			
		感染予防	1					○					
		口腔保健工学管理学	1								○		
		早期臨床体験実習	1			○	○						
		口腔外科工学	1								○		
		う蝕と歯周病	1					○					
		高齢者歯科工学	2								○		
		口腔保健工学特論	1							○			
	歯・口腔の 構造と機能	人体の構造と機能Ⅰ	2				○						
		人体の構造と機能Ⅱ	5					○	○				
		画像解析学		1								○	
		歯の形態実習	1					○					
		歯の形態修復演習	1						○				
		咬合学	1					○					
		臨床咬合学	1							○			
	歯科材料・歯 科技工機器と 加工技術	加工技術基礎	1				○						
		口腔機材開発工学	1				○						
		口腔保健理工学	2					○					

専 門 分 野		口腔保健理工学実習	2				○					
		精密鑄造学演習	1				○					
		プロセスデバイス工学		2				○				
	有床義歯 技工学	顎補綴工学	1							○		
		顎補綴工学実習	2							○		
		スポーツ歯科工学		1							○	
		オーラルアプライアンス工学		1							○	
		全部床義歯工学	2				○					
		全部床義歯工学実習	3				○					
		部分床義歯工学	2				○	○				
		部分床義歯工学実習Ⅰ	4					○				
		部分床義歯工学実習Ⅱ	1						○			
	歯冠修復 技工学	歯冠修復工学基礎	2					○				
		歯冠修復工学基礎演習	1					○				
		歯冠修復工学基礎実習	4					○				
		歯冠修復工学応用	1						○			
		歯冠修復工学応用演習	1						○			
		歯冠修復工学応用実習	2						○			
		審美修復工学	1						○			
		審美修復工学実習	3						○			
		CAD/CAM システム工学実習	1								○	
		インプラント工学実習	1							○		
	小児歯科 技工学	小児歯科工学	2							○		
		発育口腔工学	1							○		
	矯正歯科 技工学	矯正歯科工学	3							○		
	歯科技工 実習	再建工学包括臨床実習Ⅰ	4							○		
		再建工学包括臨床実習Ⅱ	10								○	○
		医療倫理	1							○		
		卒業研究Ⅰ	2							○		

統合分野	総合口腔保健工学	卒業研究Ⅱ	3									○	○
		卒業製作	3										○
		口腔保健工学エクスターンシップ			1						○	○	○
	計		97	5	1								

※ 選択科目から3単位以上修得する。

(7) 全学科共通自由科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
自由科目	Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
	Introduction to Medical Anthropology	1	○	○	○	○	○	○
	Bio-social Research Methods	1	○	○	○	○	○	○
	Decision-making in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Problem-solving in the Health Sciences (※)	1	○	○	○	○	○	○
	Contemporary Japanese Society	1	○	○	○	○	○	○
	Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
	計	8						

※ 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

別表 2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A +	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	
当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

別表3 (1)～(4) 省略

(5) 口腔保健学科(口腔保健工学専攻)

(1) 第1学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第2学年に進級することができない。 口腔保健工学概論、メディア情報学基礎、造形美術概論実習、早期臨床体験実習、人体の構造と機能Ⅰ、加工技術基礎、口腔機材開発工学
(2) 第2学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年に進級することができない。 科学英語Ⅰ、ヘルスプロモーション、グローバル口腔保健工学実習、感染予防、う蝕と歯周病、人体の構造と機能Ⅱ、歯の形態学実習、歯の形態修復演習、咬合学、口腔保健理工学、口腔保健理工学実習、精密鑄造学演習、全部床義歯工学、全部床義歯工学実習、部分床義歯工学、部分床義歯工学実習Ⅰ、歯冠修復工学基礎、歯冠修復工学基礎演習、歯冠修復工学基礎実習
(3) 第3学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年後期以降の授業科目を履修することができない。 部分床義歯工学実習Ⅱ、歯冠修復工学応用演習、歯冠修復工学応用実習、審美修復工学実習
(4) 第3学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第4学年に進級することができない。 科学英語Ⅱ、コミュニケーション学、歯科技工士と法律、口腔保健工学管理学、口腔外科工学、高齢者歯科工学、口腔保健工学特論、臨床咬合学、顎補綴工学、顎補綴工学実習、歯冠修復工学応用、審美修復工学、インプラント工学実習、小児歯科工学、発育口腔工学、矯正歯科工学、再建工学包括臨床実習Ⅰ、医療倫理、卒業研究Ⅰ

別表1 (1) ~ (5) 省略

(6) 口腔保健学科(口腔保健工学専攻) 教育課程

区 分		授業科目	単位数			時間数	履修学年							
			必修	選択	自由		1 年		2 年		3 年		4 年	
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎分野	科学的思考 の基盤 人間と生活	口腔保健工学概論	1			15	○							
		科学英語Ⅰ	1			15			○					
		科学英語Ⅱ	1			15					○			
		ヘルスプロモーション	1			15			○					
		メディア情報学基礎	1			15		○						
		コミュニケーション学	1			15					○			
		造形美術概論実習	1			40		○						
		グローバル口腔保健工学	1			15				○				
		グローバル口腔保健工学実習	1			45					○	○		
専門基礎分野	歯科技工と 歯科医療	歯科技工士と法律	1			15							○	
		感染予防	2			30			○					
		口腔保健工学管理学	1			15					○			
		早期臨床体験実習	1			30		○						
		口腔外科工学	1			15						○		
		う蝕と歯周病	1			15			○					
		高齢者歯科工学	2			30						○		
		人体の構造と機能	2			30		○						
	歯・口腔の 構造と機能	口腔医学の基礎	2			30			○					
		全身疾患と治療の基礎	3			45				○				
		画像解析学		1		15							○	

		歯の形態基礎実習	1		45		○					
		歯の形態実習	1		45			○				
		咬合学	1		15		○					
		臨床咬合学	1		15				○			
	歯科材料・ 歯科技工機 器と加工技 術	加工技術基礎	1		15		○					
		口腔保健理工学	3		45		○					
		口腔保健理工学実 習	2		80		○					
		精密鑄造学実習	1		30		○					
		プロセスデバイス 工学		1	15				○			
専 門 分 野	有床義歯 技工学	顎補綴工学	1		15					○		
		顎補綴工学実習	2		70					○		
		顔面補綴工学実習	1		30					○		
		臨床義歯管理工学	1		30					○		
		スポーツ歯科工学		1	15						○	
		オーラルアプライ アンス工学		1	20						○	
		全部床義歯工学	1		20		○					
		全部床義歯工学実 習	3		120		○					
		部分床義歯工学	1		20			○				
		部分床義歯工学実 習Ⅰ	4		160			○				
		部分床義歯工学実 習Ⅱ	1		45				○			
	歯冠修復 技工学	歯冠修復工学	2		30			○				
		歯冠修復工学基礎 実習	4		165			○				
		歯冠修復工学応用 実習	1		30				○			
		審美修復工学	1		15				○			
		審美修復工学実習	3		120				○			

		CAD/CAM システム 工学実習	1		45				○			
		CAD/CAM システム 工学演習	1		15						○	
		インプラント工学 実習	2		60				○			
	小児 歯科 技工学	小児 歯科工学	1		17					○		
		小児 歯科工学実習	1		30					○		
	矯正 歯科 技工学	矯正 歯科工学	2		36				○			
	歯科 技工 実習	再建工学包括臨床 実習Ⅰ	4		180					○		
		再建工学包括臨床 実習Ⅱ	7		300						○	○
		再建工学包括臨床 実習Ⅲ		1	45							○
		統合基礎実習	2		70						○	○
		統合応用実習		2	60							○
統 合 分 野	総合口腔保 健工学	医療倫理	1		15				○			
		卒業研究Ⅰ	2		60					○		
		卒業研究Ⅱ	6		180						○	○
		卒業研究Ⅲ		1	45							○
		卒業製作	3		135						○	○
		口腔保健工学エク スターンシップ			1	45					○	○
計			95	8	1	3008						

※ 選択科目から 3 単位以上修得する。

(7) 全学科共通自由科目

授業科目		単位 数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	Moral and Political Philosophy for Medicine	1	○	○	○	○	○	○
	Introduction to Medical Anthropology	1	○	○	○	○	○	○
	Bio-social Research Methods	1	○	○	○	○	○	○
	Decision-making in the Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Problem-solving in the Health Sciences (※)	1	○	○	○	○	○	○
	Contemporary Japanese Society	1	○	○	○	○	○	○
	Applied Critical Thinking for Health Sciences	1	○	○	○	○	○	○
	Fundamentals of Global Health	1	○	○	○	○	○	○
	計	8						

※ 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。

別表 2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A +	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	
当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

別表3 (1)～(4) 省略

(5) 口腔保健学科(口腔保健工学専攻)

- (1) 第1学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第2学年に進級することができない。

口腔保健工学概論、メディア情報学基礎、造形美術概論実習、早期臨床体験実習、人体の構造と機能、加工技術基礎

- (2) 第2学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年に進級することができない。

科学英語Ⅰ、ヘルスプロモーション、グローバル口腔保健工学、感染予防、う蝕と歯周病、口腔医学の基礎、全身疾患と治療の基礎、歯の形態基礎実習、歯の形態実習、咬合学、口腔保健理工学、口腔保健理工学実習、精密鑄造学実習、全部床義歯工学、全部床義歯工学実習、部分床義歯工学、部分床義歯工学実習Ⅰ、歯冠修復工学、歯冠修復工学基礎実習

- (3) 第3学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第3学年後期以降の授業科目を履修することができない。

部分床義歯工学実習Ⅱ、歯冠修復工学応用実習、審美修復工学実習、インプラント工学実習

- (4) 第3学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第4学年に進級することができない。

科学英語Ⅱ、コミュニケーション学、グローバル口腔保健工学実習、口腔保健工学管理学、口腔外科工学、高齢者歯科工学、臨床咬合学、顎補綴工学、顎補綴工学実習、顔面補綴工学実習、臨床義歯管理工学、審美修復工学、CAD/CAM システム工学実習、小児歯科工学、小児歯科工学実習、矯正歯科工学、再建工学包括臨床実習Ⅰ、医療倫理、卒業研究Ⅰ

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規

平成23年12月7日
歯学部長 制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学歯学部専門科目履修規則（平成22年規則第41号。以下「履修規則」という。）第11条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

(学習の評価)

第2条 期試験及び追試験の成績については、担当教員が100点満点で採点し、授業科目ごとに履修規則別表2のとおり学習の評価を行う。

- 2 正当な理由がなく試験を受験しなかった場合の評価は、Fとする。
- 3 第1項の学習の評価に、平常の学習の成果を加味することができる。
- 4 学習の評価について異議がある学生は、所定の期日までに別に定める「成績評価異議申し立て書」を歯学系教務係に提出することができる。

(必修科目及び仮進級等)

第3条 履修規則別表3(4)(5)に掲げる科目は、必修科目とする。

- 2 必修科目に係る試験の不合格者については、仮進級を認めない。
- 3 風水害等の災害や社会情勢等の特別な事情により試験等が実施できない場合、またはこれらの事情を起因として学生が本人の責によらずやむを得ず試験等を受験できない場合に限り、当該科目責任者の事前申告をもとに口腔保健学科教育委員会にて協議し、前期分については後期科目の履修開始、後期分については仮進級を認めることができる。
- 4 第3項に該当する学生は、原則として前期分は10月末日、後期分は翌年度4月末日までに、同科目の単位認定を受けなければならない。

(G P)

第4条 評価とG Pとの対応は次のとおりとする。

評価	A +	A	B	C	D	F
GP	4.0	3.5	3.0	2.0	1.0	0.0

- 2 卒業要件に含まない科目のうち、単位を認定されなかった科目については、未履修としG P A (Grade Point Average) の計算式には算入しない。

(補則)

第5条 この内規に定めるもののほか、履修に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附 則

- 1 この内規は、平成23年12月7日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

- 2 平成23年3月31日において現に歯学部口腔保健学科に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日制定）

- 1 この内規は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

附 則（平成28年10月19日制定）

この内規は、平成28年10月19日から施行する。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附 則（令和3年3月10日制定）

この内規は、令和3年3月10日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度 取り扱いに関する要項

平成28年3月31日
制 定

(目的)

第1条 東京医科歯科大学の学部教育におけるGPA (Grade Point Average) 制度の運用については、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 (平成16年制定)、東京医科歯科大学医学部医学科専門科目履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規 (平成23年制定) に定めるほか、この要項の定めるところによる。

(定義)

第2条 この要項において、GPAとは、個々の学生の学習到達度をはかる数値で、履修登録した科目毎の評価 (A⁺, A, B, C, D, F) を4から0までの点数に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点とする。

2 GPA対象授業科目は、次の各号を除く授業科目とする。

- (1) A⁺, A, B, C, D, Fによる学習の評価を行わない科目
- (2) 他大学等で単位を修得し、本学として学習の評価を行わず「認定」とした科目
- (3) 卒業要件に含まない科目のうち学生が申請して学科等が認めた科目 (成績表ではGPA除外科目として明示される)
- (4) GPAへの算入が適当でないと学科等が認めた科目 (シラバスおよび成績表ではGPA除外科目として明示される)

(学習の評価及びGP)

第3条 学習の評価及びGrade Point (GP) は、次のとおりとする。

評 価	GP	評価基準
A ⁺	4.0	当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した
A	3.5	当該科目の到達目標を全て達成した
B	3.0	当該科目の到達目標を概ね達成した
C	2.0	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した
D	1.0	当該科目の到達目標を達成していない
F	0.0	到達目標の達成度を評価できない

(GPAの種類及び計算方法)

第4条 GPAは、当該学年に履修した第2条第2項に定めるGPA対象授業科目について

て、「当該年度のGPA」、「累積GPA」に区分し、各区分は次に定める方法により計算するものとする。

＊ GPAの計算式

$$\text{当該年度の GPA} = \frac{(4 \times A^+ \text{取得単位数} + 3.5 \times A \text{取得単位数} + 3 \times B \text{取得単位数} + 2 \times C \text{取得単位数} + 1 \times D \text{取得単位数} + 0 \times F \text{取得単位数})}{\text{当該年度の総履修登録単位数}}$$

$$\text{累積 GPA} = \frac{(4 \times A^+ \text{取得単位数} + 3.5 \times A \text{取得単位数} + 3 \times B \text{取得単位数} + 2 \times C \text{取得単位数} + 1 \times D \text{取得単位数} + 0 \times F \text{取得単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$$

2 前項の計算式において、総履修登録単位数には不可となった科目の単位を含むが、履修取消とした科目の単位は含まない。

3 計算値は四捨五入して小数第2位まで求めるものとする。

(GPA計算期日)

第5条 GPAの計算は、学年ごとに所定の期日までに確定した成績に基づいて行う。

(成績証明書への記載)

第6条 成績証明書への記載は、累積GPAを使用する。

(その他)

第7条 この要項に定めるもののほか、GPA制度の実施に関して必要な事項は、各学科等において、別に定める。

附 則

1 この要項は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者から適用する。

平成27年度以前入学者についても、GPAを計算する場合は、秀をA⁺、優をA、良をB、可をC、不可をD、評価なしをFとみなし、適用する。

附 則（平成30年9月6日制定）

この要項は、平成30年9月6日から施行し、平成30年4月1日から適用する。

東京医科歯科大学試験規則

平成 23 年 4 月 1 日
規 則 第 1 号

（趣旨）

第 1 条 この規則は、東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目及び専門に関する教育科目（以下「授業科目」という。）の試験に関して、東京医科歯科大学学則（平成 16 年規程第 4 号。以下「学則」という。）、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成 16 年規則第 217 号。）及び東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成 22 年規則第 41 号。）に定めるもののほか、必要な事項を定める。

（試験の種類）

第 2 条 試験は、本試験、追試験及び再試験とする。

（試験の方法）

第 3 条 試験は、筆答試験、コンピュータ活用試験、口答試験及び実地試験のいずれかによって行う。

（本試験）

第 4 条 本試験は、定期試験及び共用試験をいう。

2 共用試験は、医学部医学科及び歯学部歯学科において行う。

（定期試験）

第 5 条 定期試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。

2 定期試験の実施日時は、試験実施日の 2 週間前までに公示する。

3 定期試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。

（1）講義及び演習 当該授業科目の授業時間数の 3 分の 2 以上履修した者

（2）実習 当該授業科目の授業時間数の 4 分の 3 以上履修した者

4 定期試験の結果は、公示する。

5 第 3 項に定めるもののほか、定期試験の受験資格に関し必要な事項は、医学部、歯学部又は教養部（以下「部局」という。）において別に定めることができる。

（共用試験）

第 6 条 共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（C B T）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（O S C E）をいう。

2 共用試験の実施日時は、試験実施日の 2 週間前までに公示する。

3 共用試験を受験することのできる者は医学部医学科及び歯学部歯学科において

別に定める。

4 共用試験の結果は、公示する。

(追試験)

第7条 追試験とは、病気、その他止むを得ない理由により本試験を受験できなかった者に対して行う試験をいう。ただし、追試験は原則として1回限りとする。

2 追試験を受験しようとする者(以下「追試験申請者」という。)は、所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて、本試験終了後原則として5日以内に医学部長、歯学部長又は教養部長(以下「学部長等」という。)に願い出て、許可を受けなければならない。

3 学部長等は、前項の申請について、教育委員会又は教務委員会と協議のうえ、その可否を決定し、追試験申請者に通知するものとする。

4 追試験受験決定が否の場合は、本試験を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第2項に定めるもののほか、追試験の申請に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

(再試験)

第8条 再試験とは、本試験又は追試験を受験し、不合格となった者に対し行う試験をいう。ただし、再試験は、原則として1回限りとする。

2 再試験の実施日時は、指定の期日までに公示する。

3 再試験は当該学部長等の判断により、受験を許可しないことがある。

4 再試験受験決定が否の場合は、当該授業科目を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第3項に定めるもののほか、再試験の許可に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

(試験の成績)

第9条 本試験、追試験及び再試験による成績については、科目責任者が100点満点で採点し、60点以上を「当該科目の到達目標のうち最低限を達成した」ものとして合格とする。

2 共用試験の成績については、前項の規定にかかわらず、医学部医学科及び歯学部歯学科において別に定める。

(成績の報告)

第10条 科目責任者は、本試験、追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長等に報告しなければならない。

2 医学科教育委員会委員長又は歯学科教育委員会委員長は、共用試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長に報告しなければならない。

(罰則)

第 11 条 試験において不正行為があったときは、学則第 58 条の規定による懲戒の手続きをとるものとする。

(補則)

第 12 条 この規則に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部試験規則（平成 16 年規則 202 号）は廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部試験規則（平成 16 年規則 214 号）は廃止する。
- 4 この規則は、平成 23 年 3 月 31 日において現に医学部または歯学部 に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 23 年 4 月 1 日以降在学者が所属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の東京医科 歯科大学医学部試験規則または東京医科歯科大学歯学部試験規則の例による。

附 則（平成 28 年 3 月 31 日規則第 74 号）

この規則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規

平成23年12月7日
歯学部長制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学試験規則（平成23年規則第1号。以下「試験規則」という。）第5条第5項、第7条第6項、第8条第6項及び第12条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の試験に関し、必要な事項を定めるものとする。

(試験の種類)

第2条 試験規則第5条に規定する定期試験とは、期末試験及び中間試験とする。

(期末試験及び中間試験)

第3条 期末試験とは、履修を修了した授業科目及び授業科目を構成するユニット（以下「ユニット」という。）について定期的に行う試験をいう。

2 中間試験とは、履修中の授業科目及びユニットについて適宜行う試験をいう。

3 期末試験及び中間試験の実施時期については、口腔保健衛生学専攻及び口腔保健工学専攻（以下、「各専攻」という。）において別に定める。

(追試験)

第4条 定期試験に係る追試験は、原則として定期試験の実施期間に行う。

(再試験)

第5条 定期試験に係る再試験は、原則として定期試験の実施期間に行う。

(補則)

第6条 この内規に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附 則

1 この内規は、平成23年12月7日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

2 東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科に平成23年3月31日に在学し、引き続き本学科の在学者となった者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者に係る試験については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和3年3月10日制定）

この内規は、令和3年3月10日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

口腔保健科学生 各位

歯学部長
口腔保健学科教育委員長

ユニット試験（筆記試験）時の注意事項

口腔保健学科専門科目ユニット試験（筆記試験）時に下記事項を遵守しない場合には不正行為を行ったとみなす。

1. ユニット試験時の持ち物については下記のとおりとする。下記以外の物の持ち込みについては監督者に確認して、指示に従うこと。
 - 1) 机上には原則、筆記用具と学生証以外は置かないこと。
教科書や参考書、ノートやプリント、携帯電話、スマートフォン、小型パソコン、腕時計型情報端末などの電子機器を机上または机下の棚に置いている場合、あるいは身につけている場合は不正行為とみなす。これらはすべてカバンにしまうこと。
 - 2) ティッシュペーパーの持ち込みが必要な場合は監督者の許可を得ること。ティッシュペーパーは袋から出して、試験中は机上に置いておくこと。
2. 遅刻は、ユニット試験開始 30 分以内は認める。但し試験時間の延長はしない。
3. ユニット試験開始 30 分経過後、試験終了者で希望する者の退室を認める。
4. 持ち帰りが認められていない試験において、過失・故意にかかわらず試験問題、解答用紙を試験会場外へ持ち出した場合、またはそれらを複製（撮影を含む）した場合、当該試験は無効となる。

参考：「試験における不正行為」に対する懲戒は以下の通り。

（東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申し合わせ 別表懲戒の標準より抜粋）

（1）代理（替玉）受験を行った場合又は行わせた場合	退学
（2）許可されていないノート及び参考書等を参照した場合	停学
（3）答案を交換した場合	停学
（4）その他、試験において不正行為を行った場合	停学または訓告

学 生 周 知 事 项 等

歯科技工士国家試験について

【試験の実施】

試験は毎年 1 回実施しますが、試験を施行する期日及び場所並びに受験願書の提出期限等は 9 月初旬に官報で公告いたします。

平成 27 年度から全国統一国家試験になりました。以下に、令和 3 年 2 月に実施された令和 2 年度歯科技工士国家試験について示します。

1. 試験日

令和 3 年 2 月 28 日（日）

2. 集合時間

各試験場とも午前 9 時 15 分までに受験番号に従い指定された試験会場に入室してください。災害等によって試験の開始時間等に変更が生じた場合は、「一般財団法人歯科医療振興財団」のホームページに掲載します。

3. 試験場（※本専攻は東京都の試験場で受験します。）

受験地	試験場	所在地
北海道	札幌駅前ビジネススペース	北海道札幌市中央区北 5 条西 6-1-23
宮城県	仙台青葉学院短期大学	宮城県仙台市青葉区中央 4-5-3
※ 東京都	日本歯科大学生命歯学部	東京都千代田区富士見 1-9-20
大阪府	大阪歯科大学（楠葉学舎）	大阪府枚方市楠葉花園町 8 番 1 号
福岡県	博多メディカル専門学校	福岡県福岡市博多区千代 4-32-1

4. 試験科目

学説試験：歯科理工学、歯の解剖学、顎口腔機能学、有床義歯技工学、歯冠修復技工学、矯正歯科技工学、小児歯科技工学及び関係法規

実地試験：歯科技工実技

5. 受験資格

- (1) 文部科学大臣の指定した歯科技工士学校を卒業した者
- (2) 都道府県知事の指定した歯科技工士養成所を卒業した者
- (3) 歯科医師国家試験又は歯科医師国家試験予備試験を受けることができる者
- (4) 外国の歯科技工士学校若しくは歯科技工士養成所を卒業し、又は外国で歯科技工士免許を受けた者で、厚生労働大臣が前記（1）から（3）までに掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認めた者

6. 受験手続

試験を受けようとする者は、受験願書、卒業証明書若しくは卒業見込証明書、歯科医師国家試験等を受けることができる者である旨を証する書類又は歯科技工士国家試験受験資格認定書の写し及び写真（出願前 6 月以内に脱帽正面で撮影した縦 6 cm、横 4 cm のもので、その裏面に撮影年月日及び氏名を記載すること）が必要です。

なお、受験願書、写真用台紙、受験手数料払込用紙等は、当財団から 10 月下旬に各学校・養成所に送付されます。

受験に関する書類は指定期日までに一般財団法人歯科医療振興財団に提出してください。（本学では大学でまとめて送付します。）なお、卒業見込証明書を提出した者にあたっては、指定期日までに卒業証明書を提出してください。当該期日までに提出されないときは、当該受験は無効となります。（本学では大学でまとめて送付します。）

7. 受験手数料

受験手数料の額は 30,000 円です。

8. 試験当日の持参品

- (1) 受験票
- (2) HB の鉛筆（シャープペンシル不可）及び黒のボールペン、マジック
- (3) 消しゴム（砂消しゴムは不可）
- (4) 昼食
- (5) 実地試験に必要な技工用器具
- (6) その他（電卓機能及びメールの送受信機能がある時計は使用を禁止）

9. 合格者の発表

合格者の発表は令和 3 年 3 月 26 日午後 2 時、一般財団法人歯科医療振興財団および厚生労働省において、受験地、受験番号を掲示して発表し、即日合格証書を郵送します。また、財団ホームページおよび厚生労働省のホームページでも合格者及び正答肢を発表します。

一般財団法人歯科医療振興財団：<http://www.dc-training.or.jp>

厚生労働省：<https://www.mhlw.go.jp>

10. その他

視覚、聴覚、音声機能もしくは言語機能に障害を有するもので受験を希望する者は、期日までに一般財団法人歯科医療振興財団に申し出てください。申し出た者については、受験の際にその障がいの状況に応じて必要な配慮を講ずることがあります。

学生周知事項

1. 掲示について

学生への告知、通知、連絡は、2 号館 2 階、玄関脇に設置されている教務連絡用掲示板や、e ラーニングシステム（WebClass：OE教務係からのお知らせ）、電子メール（Web メール）によって連絡されるので頻繁に確認すること。特にWebClassに掲載される情報およびWebClassからのメールは重要事項が多いため、各自、転送設定をするなど行い、確実に見落とさないよう注意すること。掲示板に掲示される場合もあるので、掲示の見落としがないよう十分注意すること。

2. 学生証について

- （1）学生証は常に携帯すること。
- （2）学生証を紛失または破損等したときは、学務企画課（1 号館西 1 階）に届け出て再交付の手続きをすること。再交付費用（1,500 円）は学生本人の負担とする。
- （3）学生証は卒業、退学または除籍のときには直ちに学務企画課へ返納すること。返却できない場合は、費用を負担することとする。

3. 学生旅客運賃割引

- （1）課外活動または帰省等で JR 線を利用し、乗車区間が片道 100km を超える場合、旅客運賃の割引（2 割）を受けることができる。
- （2）学割証の不正使用（第三者への貸与等）は絶対にしないこと。
- （3）年間使用限度枚数は 1 人 10 枚（1 回につき 2 枚まで）
- （4）私鉄、バス等の利用において通学証明書を必要とする場合は、所定の用紙をもらい、学務企画課企画調査係（1 号館西 1 階）に問い合わせること。
- （5）学割証が必要なときは 5 号館 4 階談話室にある証明書自動発行機を使用すること。
利用日時：月曜日～金曜日、8：30～21：00
問い合わせ先：学務企画課企画調査係（内線5075）

4. 証明書等

証明書等は、歯学系教務係および証明書自動発行機にて発行する。

<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/procedure/shigaku/index.html>

- （1）次に掲げるものは、歯学系教務係（歯科棟南 2 階）で発行するので歯学部証明書交付願を記入し提出すること（受付時間 8：30～17：15）
 - （①と②の交付は、原則として交付願を受理した日から 1 週間程度要する。）
 - ①成績証明書
 - ②調査書
 - ③英文の在学証明書

(2) 次に掲げるものは、5号館 4階談話室にある自動発行機で発行する。

(利用日時：月曜日～金曜日、8：30～21：00)

(問い合わせ先：学務企画課企画調査係（内線 5074））

①在学証明書

②卒業見込証明書（第4学年在学者のみ）

(3) 次に掲げるものは、学務企画課企画調査係（1号館西 1階）で発行する。

①通学証明書（交通機関から請求された場合に限る）

通学証明書が必要な場合は、企画調査係に問い合わせること。

鉄道やバスの通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅または大学の最寄り駅にて学生証を提示し、直接購入すること。

5. 住所・氏名等の変更について

本人または保証人の住所、氏名、電話、本籍等（電話番号を含む）に変更が生じたときには、速やかに歯学系教務係へ申し出て所定の手続きをすること。

6. 欠席、休学、復学、退学

(1) 授業の欠席

病気その他の事由により欠席した場合は、欠席届を歯学系教務係（歯科棟南 2階）へ提出すること。（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること。）発熱等風邪症状がある場合は、発熱フロー（14. (5) の図を参照のこと）に従って登校するか自宅待機とし、歯学系教務係（s-kyomu.adm@ml.tmd.ac.jp）にメールで相談してください。

就職活動により欠席する場合は、別に定める（14の（6）に詳細を記載）。

(2) 休学

病気その他の事由により、引き続き3か月以上休学する場合は、休学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること。）

休学を許可される期間は、通算して2年以内。（特別の事情があるときは、さらに1年以内の休学が許可されることがある。）

(3) 復学

休学している学生が、休学許可期間の途中または満了時に復学を希望する場合は、復学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。（病気を理由に休学した場合は、復学可能である旨の医師の診断書を添付した上で、保健管理センターを受診する必要がある。）

(4) 退学

病気その他の事由により、学業を継続することが困難となり、退学しようとする場合は、退学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。

なお、退学するにあたっては、事前に担任教員等と面談し、退学事由等について十分相談すること。

7. ネームプレート着用について

歯学部学生であることを明示するために、歯学部・同附属病院の実習中には必ずネームプレートを着用すること。3年次後期からの病院実習では登院式で交付されるネームプレートを着用すること。

プレートは貸与とし（卒業時に要返却）、紛失または破損した場合は、再交付を受けるものとする。この場合は実費を負担すること。

学部学生用のプレートには学科専攻名と氏名の間のスペースに学年を表示するシール（例「OE2」）を貼ること。シールは歯学系教務係で配布しているので、汚損したら適宜貼りかえること。

8. 授業中（大学行事、課外授業を含む）の事故等

入学時に加入した「学生教育研究災害傷害保険」および「医学生教育研究賠償責任保険」の対象となる。（詳細は「学生生活の手引き」を参照すること。） 問い合わせ先：学生支援事務室（5号館3階）内線（5077）

<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/support/insurance-regime/index.html>

9. 遺失物および拾得物

学内での遺失物に関する問い合わせまたは拾得物の届け出は、下記のとおりです。

（1）講義室、実習室、ロッカー室：歯学系教務係（歯科棟南 2 階：内線 5411）

学部防災センター（歯科棟北 1 階）

（2）上記（1）以外：歯学部総務課（歯科棟南 2 階：内線 5406）

10. 授業料の払込について

金融機関の預金口座振替により、授業料を引き落とす。

前期分授業料は5月中旬に、後期分授業料は 11月中旬に納付すること。

11. 湯島キャンパスにおける講義に際しての注意事項

（1）感染予防対策のため、歯学部附属病院玄関から出入りすることを原則禁止する。

（2）歯学部建物内へは、以下のように出入りすること。出入り口にあるアルコール消毒液で手指消毒を行うこと。

1）聖門⇄1号館、2号館、7号館

2）正門⇄1号館、2号館、7号館

3）御茶ノ水門あるいは丸の内線出口⇄1号館、2号館、歯学部附属病院防災センター（歯学部時間外通用口、身分証明書の提示が必要）

（3）エレベーターを使用する場合は歯学部附属病院の聖橋側エレベーターを使用すること。御茶ノ水門側エレベーターは患者専用です。

（4）臨床実習履修中の学生以外がやむを得ない理由で歯学部附属病院内を移動するとき、歩きスマホは禁止です。

(5) 白衣または実習着を着用したまま学外に出ないこと

12. 授業中のパーソナルコンピューター、スマートフォンなどの機器使用の制限について

授業中におけるパーソナルコンピューター、タブレット端末、スマートフォンなどの携帯電話等の使用に関して以下のように定めている。

- (1) 当該授業に関係のない機器を使用することを禁ずる。
- (2) 授業担当者あるいは授業補助者が、当該授業中に学生が授業と関係なく使用していると認めたときはこれを制限できる。この場合制限とは以下のことをいう。
 - 1) 当該機器の電源を強制的に OFF にする。
 - 2) 当該授業終了時まで授業担当者あるいは授業補助者が当該機器を保管することができる。
 - 3) 当該学生を退出させる。再入室にあたっては当該機器を持ち込んでいないことを条件とする。
- (3) 講義室および実習室でのスマートフォンの充電を禁ずる。

13. カードリーダーの設置について

各講義室および実習室、リフレッシュルーム等には、カードリーダーが設置されている。各授業の出席については、原則的にこれらに学生証をタッチすることで登録を行うので、学生証を必ず忘れないようにすること。なお、授業によりこの装置を使用しないことがある。その場合は、担当教員の指示に従うこと。また、万が一、学生証を忘れた場合、歯学系教務係でその日に限りの貸し出しカードを一時的に貸与するので申し出ること。

学生証を忘れた等でカードリーダーにタッチしなかった場合、当日中（できるだけ当該授業時間内）に担当教員に申し出ること。後日に申し出た場合は欠席とする。

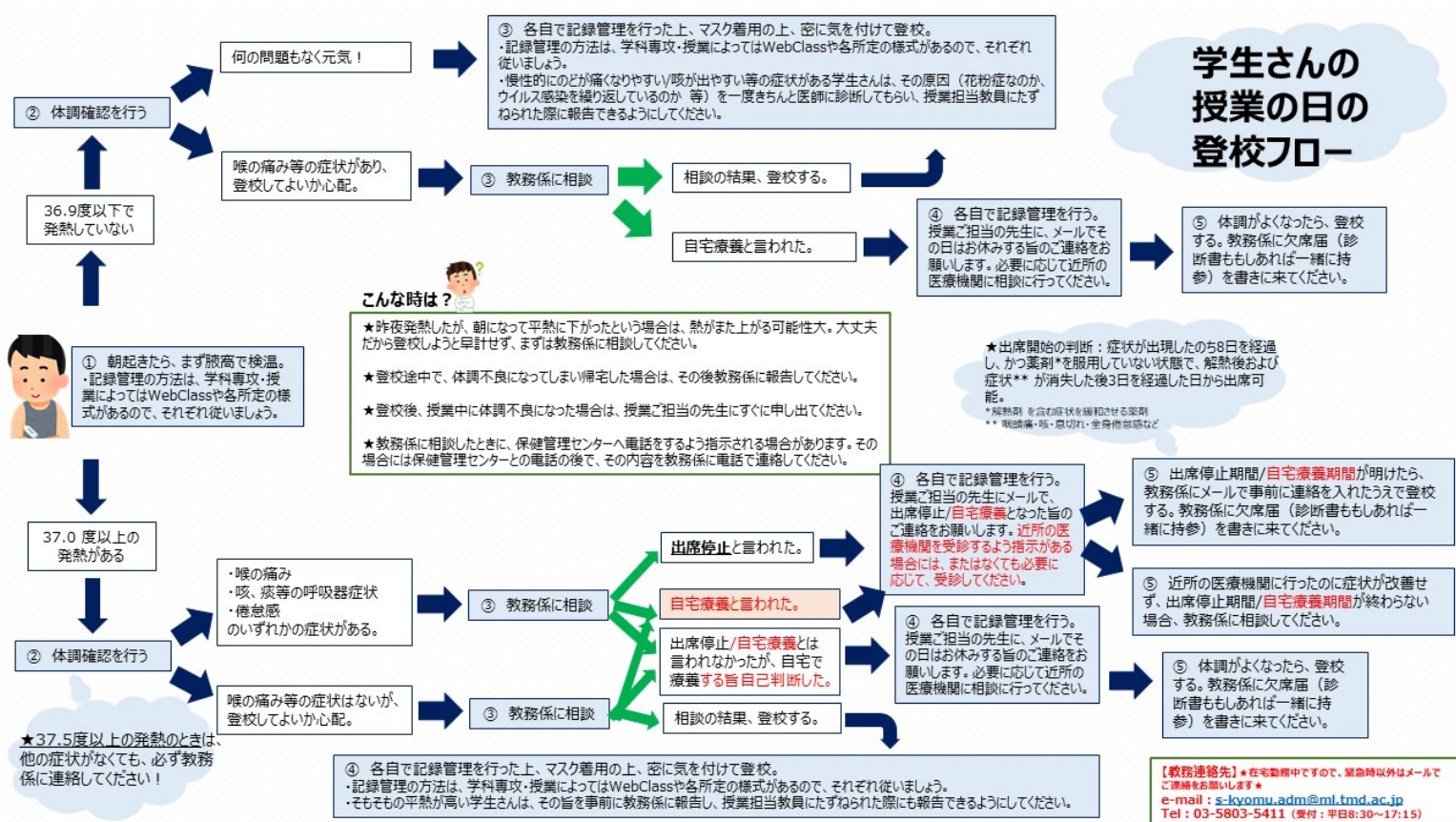
他人の学生証をカードリーダーにタッチした場合、カードタッチした学生およびカードタッチをしてもらった学生の両方を欠席とする。必ず本人が学生証をタッチすること。

14. 授業の出席・欠席・遅刻・早退の取り扱いについて

- (1) 定期試験受験資格：講義科目の全授業時間数の 2/3 以上、実習・演習科目は3/4 以上出席しなかった者には定期試験の受験資格を与えない。授業科目ごとの詳細な試験受験資格はシラバスに明記されている。
- (2) 出席率は各自ドリームキャンパスで確認すること。出席不良者に対して注意喚起をし、科目責任者から学生に指導を行う。
- (3) 対面講義・実習の出席は基本的にはカードリーダーへの学生証のタッチによりカウントする。遠隔講義の出席は、同期型の場合は画面とアクセス記録により確認し、非同期型の場合はアクセス記録、小テスト実施等、授業担当者の指示した出席要件を満たした場合に出席とする。科目ごとの詳細はシラバスに明記されている。
- (4) 遅刻・早退の取り扱い：遅刻・早退を出席扱いとするか欠席扱いとするかは、授業担当教員が判断する。交通機関の事故等の理由で遅刻した場合は基本的には遅刻扱いとする。授業終了時に担当教員に遅延の証明となる書類を提出し、教員の判断を仰ぐこと。後日の

提出は認めない。

(5) 病欠の扱い：原則として欠席とする。ただし、医師の診断を受けた者は欠席届と診断書を、出席可能となった最初の日から **1週間以内** に歯学系教務係に提出すること。**それ以後の提出は認めない。** なお、学校保健安全法により出席停止となる病気に関しては出席扱いとなるので、出席可能となった最初の日から **1週間以内に診断書を添付** した欠席届を歯学系教務係に提出すること。新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、発熱等風邪症状がある場合は、発熱フロー（下図参照のこと）に従って登校するか自宅待機とし、歯学系教務係（s-kyomu.adm@ml.tmd.ac.jp）に**メールで相談** してください。発熱した場合は基本的に出席停止とします。**必ず歯学系教務係に連絡してください。保健管理センターの指示により登校または出席停止を判断し、対応を指示します。** この場合は出席扱いとなります。出席停止期間中は基本的に毎日、保健管理センターに体調等の連絡をすること。



(6) 就職活動の取り扱い

就職活動の場合も原則として欠席とする。ただし、WebClassのOE1-4学生連絡コース内に示された**GoogleForm**にて欠席届および報告書を提出すること。

- 1) **事前に欠席届**を提出し、担当教員（科目責任者）に許可を得る。
- 2) 就職活動後に説明担当者名、連絡先、就職活動内容の**報告書**を**GoogleForm**にて提出する。配布された資料、日時が記載された登録票や予約メールなどは担当教員に示すこと。

以上2つの条件が満たされた場合には、就職活動による欠席を**総授業時間数**に含めないこととする。報告書は**欠席した翌日から1週間以内**に提出すること。

対面実習での欠席は装置製作の進行に支障をきたすこととなるので十分に考慮すること。対面実習のうち全体の4分の1以上になるなど**科目責任者が定める回数を超える場合は**欠席扱

いとすることがある。

(7) 忌引の取り扱い：忌引は出席扱いとする（父母・保証人 7 日以内、父母以外の直系親族 3 日以内）。ただし、欠席届と忌引を証明できる書類を出席可能となった最初の日から 1 週間以内に歯学系教務係に提出すること。それ以後の提出は認めない。

(8) 4年生の再建工学包括臨床実習・卒業研究・卒業製作の時間に関して
カードリーダーへの学生証のタッチを行い、実習室から離れて実習・研究を行う場合は、第2実習室前方入り口外のインジケーターで所在を示すこと。所在が不明の場合は欠席とすることがあるので注意すること。

(9) 対面講義・演習・実習の際は、登校前にWebClassのコースに毎朝の体温測定結果を入力し提出すること。記録がない場合は欠席扱いとするので注意すること。実習中など、体調が悪くなった場合はすみやかに担当教員に報告すること。体温測定、保健管理センターとの相談を行い、その後の対応を決定する。

事由ごとの対応一覧表

事由	取り扱い	提出（添付）書類	提出期限	提出先
カードリーダーへのタッチ忘れ	授業担当教員が判断	なし	当日 (当該授業時間内)	授業担当教員 (科目責任者)
遅 刻	授業担当教員が判断	期日が記された遅延証明書	当日	授業担当教員 (科目責任者)
病気・けが	原則欠席	医師の診断書	出席可能となった最初の日から 1 週間以内	歯学系教務係
出席停止となる病気	出席	医師の診断書	出席可能となった最初の日から 1 週間以内	歯学系教務係
就職活動	総授業時間数に含めない	報告書・就職活動を証明する書類	事前に欠席届→欠席翌日から 1 週間以内	授業担当教員 (科目責任者)
忌 引	出席	忌引を証明する書類	出席可能となった最初の日から 1 週間以内	歯学系教務係

15. 学生用メールについて

学生各自に割り当てられたメールアドレス（学籍番号下6桁にks@tmd.ac.jp）宛に、掲示に準じた連絡や、個別の連絡を送信することがあるので、定期的にチェックしておくこと。

16. その他

(1) クラブ、サークル等宛の郵便物等は、学生支援課の窓口で保管しているので、責任者は適宜確認すること。なお、個人宛の郵便物等は、大学に配達されることがないように。

(2) 事務の窓口

教 務 事 務：歯学系教務係（歯科棟南 2 階、内線 5411）

授 業 料の納入：財務施設部財務管理課収入管理係（1 号館西 3 階、内線 5048）

奨 学 金、授業料免除：学生支援事務室（5 号館 3 階、内線 5077）

奨学金：<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/scholarship/index.html>

授業料免除：<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/exemption/index.html>

災害関係連絡事項

1. 台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業の休講、試験の延期の措置等を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄に掲載する。

URL: <http://www.tmd.ac.jp/faculties/index.html>

○台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。
- ・ 夜間（午後 6 時以降）の授業を休講、夜間（午後 6 時以降）の試験を延期とする場合は、午後 4 時までに公示する。

○首都圏における交通機関（JR および大手私鉄・地下鉄など）が全面的に運転を休止している場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。
- ・ 夜間（午後 6 時以降）の授業を休講、夜間（午後 6 時以降）の試験を延期とする場合は、午後 4 時までに公示する。

2. 授業中の大規模地震のときの避難場所について

学内で地震や火災などの非常事態が起こった場合、あわてずに教員の指示に従って行動すること。講義室や実習室等、2号館内にいる場合、教員の指示によりいったん2号館正面玄関前の駐車場に集合してから、M&Dタワー前の避難場所に移動する。ただし、状況に応じて別の避難場所に誘導される場合がある。

大学全体としての避難場所は M&D タワー前スペースとなっている。

3. 大規模地震ポケットマニュアルについて

このマニュアルは、大規模地震（震度 5 強以上を想定）が発生した場合の初動対応を掲載している。常時携行し、大規模地震が発生した場合の安全確保や避難及び安否確認等に役立てること。

マニュアルが手元に届かない場合、あるいは破損・紛失した場合は、以下に問い合わせること。英語版のポケットマニュアルも作成しているので、必要な場合は以下に申し出ること。

問い合わせ先：歯学系教務係（歯科棟南 2 階）03-5803-5411

なお、このマニュアルは、ホームページからも確認できる。

（学内専用サイト → 学内専用教職員学生向け情報 → 危機管理に関する情報）

<http://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html>

4. 安否確認システムについて

このシステムは、大規模地震はもとより、風水害等による本学の学生及び教職員の安否確認のため、携帯電話・スマートフォン・パソコンから安否情報を入力するものである。

大規模地震や風水害の際には、「大規模地震ポケットマニュアル」の「安否確認システムによる報告」を確認し、安否確認システム (<https://asp21.emc-call3rd.jp/tmdu/>) にアクセスし、ID（学籍番号）とパスワード（初期値は ID と同じ）によりログインして自身の安否を入力すること。

安否確認システムに連絡先を登録すること。その際、大学メール以外の連絡先（携帯のメールアドレスや携帯電話番号など）も必ず登録すること。両方が登録されないと登録されたことにならないので注意してください。

今後、このシステムの実効性を高めるため、試行を重ねる予定であるので、その際はメール等により案内する。

なお、このシステムの操作方法等については、ホームページから確認すること。

(学内専用サイト → 教職員学生向け情報サイト → 危機管理に関する情報)

<http://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html>

学生支援・保健機構について 学生・女性支援センターについて

学生・女性支援センターは、生活、修学、就職、メンタルヘルスやハラスメント、キャリアパスや学業（仕事）と家庭との両立に関する事など、キャンパスライフ全般に渡り、学生支援活動の充実を図ることを目的として設置されています。また、以下のとおり学生生活全般及びキャリアに関する相談に応じています。各ホームページに個別相談予約状況や予約方法を記載していますので、何かあればお気軽にご利用ください。なお、本センターは男女問わずご利用頂けます。

・場所：5号館3階 ・業務時間：月～金（平日）9：00～17：00

※個別相談時間

事前予約制です。相談内容により曜日が決まっています。詳細はホームページをご参照ください。

※HP：本学トップページ＞研究所・図書館等＞学生支援・保健管理機構＞学生・女性支援センター

担当名	内容	連絡先	HP
学生支援室	生活支援、修学支援、就職支援、メンタル（保健管理センターと連携）に関する相談、ハラスメントに関する相談及びカウンセリングに関する事。	e-mail : scenter.stc@tmd.ac.jp	上記＞学生支援室/障害学生支援室＞専用 Web サイト (http://www.tmd.ac.jp/stdc/index.)
障害学生支援室	障害によってハンディを被ることなく修学できる様、個々人のニーズに合わせた支援及びその相談。 学生生活における困りごと、差別解消に関する支援及びその相談。	個別に相談に応じています	
男女協働参画支援室	今後の進路や生き方に関する支援及びその相談、妊娠・出産・育児と学業・仕事との両立、保育園入園、介護に関する支援及びその相談。マタニティ白衣の貸出、キャリアに関する図書の貸出。	e-mail : info.ang@tmd.ac.jp 個別に相談に応じています	上記＞男女協働参画支援室/保育支援室＞専用 Web サイト (http://www.tmd.ac.jp/ang/index.)
保育支援室	病児保育、病後児保育、一時保育、お泊り保育の利用に関する支援及びその相談。授乳・搾乳室の設置。		
ダイバーシティ・ダイヤモンド (DD) ユニット	研究力強化の支援、リーダーシップ向上支援、育児・介護と研究の両立支援、産学連携の支援、若手研究者キャリアパス支援。	順天堂大学・株式会社ニッピと連携して女性研究者の研究力を強化する事業を実施しています	専用HP http://www.tmd.ac.jp/cmnddu/index. 

保健管理センターについて

健康状態の把握と、疾病の早期発見のため、定期あるいは臨時の健康診断及びワクチン接種等を行います。また、心身両面の健康障害や不安について、診察や相談を行っています。

○組織と業務

名称	場所	連絡先	業務内容
保健管理センター	湯島 5号館 2階	03-5803-5081	1. 健康相談 2. メンタルヘルス相談
保健管理センター分室	国府台 シャン・ドウ・コーズリー1階	047-300-7108	3. 健康診断 4. 健康診断証明書の発行 5. 応急処置・診察・治療（軽い怪我・風邪など） 6. 各種抗体検査・ワクチン接種

○保健管理センターの利用について

- 1) メディカルスタッフへの相談を希望する方は、HP の健康相談予定表で確認の上、相談においでください。軽い怪我や風邪などについては治療を受けることもできます。また、必要に応じて医療機関への紹介状もお書きします。メンタルヘルスに関する相談も行っております。
- 2) 月曜日～金曜日の開室時間内は、血圧測定や視力検査、身体計測など自己測定ができます。（以下は当面休止とさせていただきます。）その他、湯島では、エアロバイク・ジョーバなど健康機器やマッサージチェア・Nap 用ベッドも備えていますのでご利用ください。

開室時間	湯島地区	8時45分～17時00分
	国府台地区	9時45分～16時15分（木曜日のみ15時45分）

ホームページ：<http://www.tmd.ac.jp/hsc/index.html>

下記が実施済であることを実習要件とする（2017年6月27日教育戦略会議にて決定）

- ・4種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種が、規定回数終了している
- ・B型肝炎抗体価が陽性または non-responder（計6回ワクチン接種をしても陽性とならない）である
- ・T スポット®. TB 検査を実施済である
- ・臨床実習に出る直近の学生定期健康診断を受診済である

＊ただし、以下の者はその証明をもってワクチン接種対象外とする

＜4種ワクチン接種＞

- ・過去に同ワクチン接種でアナフィラキシーを呈したことがある者
- ・免疫機能に異常のある疾患を有する者及び免疫抑制をきたす治療を受けている者で主治医より接種禁とされた者
- ・妊娠していることが明らかな者
- ・その他、主治医により予防接種を行うことが不適當と判断された者

＜B型肝炎ワクチン接種＞

- ・過去に同ワクチン接種でアナフィラキシーを呈したことがある者
- ・その他、主治医により予防接種を行うことが不適當と判断された者

検査ワクチン実習要件について

保健管理センター
2017.9

保健管理センターでの検査、ワクチンの実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	 4種抗体検査 (対象：全員)	学生定期健康診断 (毎年、全員)	 4種ワクチン接種期間 (接種月はワクチン毎に決まっている) 対象：抗体価が陰性→同ワクチンを2回接種 抗体価が陽性(基準を満たない)→1回接種 									
2年	 B型肝炎抗原抗体検査 (対象：全員)		 1回目	 2回目	B型肝炎ワクチン接種期間 1クール目(全3回) 対象：抗体価が陰性だった者					 3回目		
	 T スポット®, TB検査 (対象：全員)											
3年	 B型肝炎抗原抗体検査 (対象：2年でB肝ワクチン 1クール目を接種した者)		 1回目	 2回目	B型肝炎ワクチン接種期間 2クール目(全3回) 対象：抗体価が陰性だった者					 3回目		
4年	 B型肝炎抗原抗体検査 (対象：3年でB肝ワクチン 2クール目を接種した者)	B型肝炎ワクチンを2クール計6回接種しても 抗体価が陰性の場合、 「non-responder」となり、それ以上の接種は行わない										



ワクチン接種は、事前の申込みと入金が必要です。



対象学年で、検査やワクチン接種を受検し忘れた場合は、速やかに保健管理センターへ申し出てください。その後の対応について説明します。

図書館について

1. 場所：M&D タワー3 階（カウンター、閲覧席等）、4 階（閲覧席、情報検索室等）

2. 利用可能時間：

開館時間	平日	8：30～22：00
	土日祝	10：00～18：30
（情報検索室）	平日	9：00～21：00
	土日祝	11：00～17：30
休館日	年末年始	

3. 利用方法：（詳細は「図書館ホームページを参照してください。」）

- 図書館の利用には、利用証が必要です。IC カードタイプの学生証が利用証になります。入館ゲートにかざして入館してください。忘れた場合はカウンターに申し出て下さい。入館はできますが、貸出ができません。
- 探している資料があるか、配架場所等は図書館ホームページ蔵書検索（OPAC）でお調べください。
- 貸出を希望される資料と利用証を持って、カウンターへお越しください。自動貸出機もご利用いただけます。ただし、CD-ROM などの付属資料のあるものはカウンターでの貸出のみとなります。貸出可能冊数は図書・製本雑誌合わせて 5 冊まで、貸出期間は図書は 2 週間、製本雑誌は 1 週間です。
- 引き続き資料を利用したい場合、期限内であり、次に予約が入っていない図書に関しては、1 回に限り貸出期間を延長することが出来ます。図書館ホームページの My Library もしくは自動貸出機、カウンターで延長手続きをしてください。
- 本館・分館間で不定期に、資料の取り寄せを行っています。カウンターで申込手続きを行ってください。（来館でのお申込みのみになります）
- 本館・分館の資料は、どちらの図書館でも返却できます。（返却日は厳守してください）
開館時：カウンターに返却してください。
閉館時：M&D タワー1 階、図書館入口のブックポストに返却してください。
- 製本雑誌は自動書庫に保管されています。あらかじめ OPAC から出庫予約をして 4 階出庫ステーションからご自身で取り出して、ご利用ください。
出庫予約時の ID・パスワードは MyLibrary と同じ統合 ID とパスワードです。
- 電子ジャーナルは出版社との契約により、学内 LAN からの利用のみになります。
- 本学の資料を著作権の範囲内で複製することができます。コピーはセルフサービスです。図書館に設置されているコピー機をお使いください。現金またはプリペイドカードでお支払いください。両替はできません。料金：モノクロ 1 枚 10 円 カラー1 枚 30 円
- 情報検索室の PC が利用できます。（ただし、利用できない日もあります）ネットワークの利用には学内 LAN アカウントとパスワードが必要です。プリンターは情報検索室を出て左手奥に 1 台設置されており、モノクロとカラー印刷が可能で有料となります。

- 館内は無線 LAN 対応です。各自で持ち込まれるパソコンからインターネット、学内 LAN に接続する場合は、学内 LAN アカウントとパスワードが必要となります。学内 LAN アカウントとパスワードが必要ない印刷は USB メモリー印刷専用の PC が 3 階と 4 階に設置されていますので、USB メモリーに保存してあるものは印刷が可能です。印刷物はそれぞれ指定のプリンター（モノクロ、カラー・有料）から出力されます。

3 階閲覧室に備付のパソコンがあります。インターネット、印刷利用の場合は、学内 LAN アカウントとパスワードが必要です。3 階閲覧室のプリンターはカウンター脇（モノクロ、カラー・有料）にあります。

- 利用したい資料が学内（講座・電子ジャーナル含む）になく、他大学や研究機関の図書館で所蔵している場合、複写を申し込む、または図書を他大学等から取り寄せることができます。複写と貸借は My Library からお申込みください。
- 他大学の図書館を利用する場合、身分証の他に紹介状が必要です。（紹介状は訪問希望日の 3 日前までにお申し込みください）訪問先で利用したい資料の所在を確認し、カウンターでお申込みください。なお、明治大学の図書館は本学の学生証で利用することができます。ただし、明治大学図書館の資料の館外貸出を希望される方は学生証の他に、住所のわかるものを持参していただき、明治大学のライブラリーカードを作る必要があります。

（1 月、7 月は利用不可、3 月貸出停止）

（注）Covid-19 感染拡大防止のため、他大学の図書館（明治大学図書館を含む）は学外者の利用を停止している場合があります。詳細は当該図書館の HP をご覧ください。

- 館内での飲食は原則禁止です。（本館では、3 階の図書館入口前に、飲食ラウンジがあります。）
- 所持品は各自責任を持って管理してください。貴重品は常に携帯してください。荷物を置いたままで長時間席を離れる席取り行為はやめてください。長時間席に居ない場合は、荷物を回収することもあります。

4. 問い合わせ先：内線 5596 e-mail: info-serve.lib@ml.tmd.ac.jp

ホームページ: <https://www01s.ufinity.jp/tmd/>

1 号館西・2 号館・7 号館の管理、使用について

1. 1 号館西・2 号館・7 号館の出入口の施錠（平日）について

1 号館西出入口

1 号館西 正面玄関 終日出入可（防災センター管理）

1 号館西 東側出入口 解錠 6:00 施錠 18:30

2 号館出入口

2 階正面玄関 解錠 7:00 施錠 18:00 （現在終日施錠）

2 階外階段 解錠 7:00 施錠 18:00

2 階外階段は、施錠後はカードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です。

歯科棟出入口

歯科棟南 1 階通用扉 カードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です。2 階に歯学系教務係があります。

7 号館側接続口 1・4 階は出入不可、2・3・5 階はカードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です（ただし、実習により病院を訪れる場合に限りません）。

7 号館出入口

1 階聖門側 解錠 7:00 施錠 18:00

歯科棟北接続口（東側 1～6 階） 1 階は終日施錠
2～6 階は常時開放

1 号館東接続口（2～5 階） 常時開放

消防法の規定により、歯科棟側と 2 階外階段出入口は避難口のため、施錠しても建物内から外へは常に出られます。ただし、7 号館 1 階歯科棟側接続口、1 号館東接続口（2、3 階）は施錠すると出入りできません。

2. 1 号館西・2 号館・7 号館内各室の施錠について

1 号館西講義室 解錠 7:30 施錠 18:00

2 号館講義室 解錠随時（口腔保健工学専攻教員が解・施錠） 施錠 18:00

7 号館講義室 解錠 7:00 施錠 17:00（教務指示による）

2 号館学生ロッカー室 番号ロック制

*2 号館の部屋を開ける際は必ず教員に申し出ること。許可なく使用を禁じます。

3. 1号館西・2号館・7号館における講義室の目的外使用について

講義室は、原則として目的外使用は許可しません。

4. 学生ロッカー室（2号館2階・3階）について

- (1) ロッカー室は、更衣室として使用できます。感染予防対策のため、少人数、短時間での使用を心がけること。
- (2) 出入口はテンキーロック式です。暗証番号は1年ごとに変更します。入退出の際にアルコール消毒剤で手指消毒をしてからテンキー等に触るように。退出時には出入り口の扉が確実に閉まっていることを確認してください。
- (3) 各人にロッカーが貸与されるので、丁寧に使用してください。
学生ロッカー1と2は女子学生が、学生ロッカー3は男子学生が使用します。
また、各人の責任による破損等については各人の負担により原状回復してください。
- (4) ロッカーの使用にあたって、各人で暗証番号を設定し、ロッカーには必ず鍵を閉め、盗難に注意しましょう。ロッカーでの盗難が多発しているため、特に貴重品等の管理は厳重にしてください。ロッカーの鍵のトラブル（開かない、閉まらない）などが生じた場合は速やかに口腔保健工学専攻教員に申し出ることを。
- (5) ロッカーの上部や室内に私物を置かないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。
- (6) ロッカーの内外部にシール、ポスター等を貼らないこと。
- (7) ロッカー内での飲食は禁止します。紙くず等は必ず分別して 廊下 に設置してあるごみ箱に捨て、室内に放置しないこと。室内をきれいに清掃すること。
- (8) ロッカー室でサークルの集会をしたり、マージャン等をしたりしないこと。

近年、2号館の電気使用量が増加しています。特に誰もいないロッカー室の電気やエアコンがつけっぱなしになっています。退出時にはエアコン、電気を消し、エアコンの設定温度に注意し、節電を心がけてください。

5. リフレッシュルーム（2号館）の使用について

- (1) リフレッシュルームは、食事、休憩、歯磨きなどの目的で使用します。
- (2) 口腔保健学科口腔保健工学専攻学生の共用で使用しますが、他の学科専攻学生も使用することがあります。
- (3) 周囲に迷惑がかからぬよう、お互いに協力して、節度をもって使用すること。
- (4) リフレッシュルームの棚にある図書、雑誌は、口腔保健工学専攻学生の共用とします。一部の学生が独占的に利用することがないようにしましょう。図書、雑誌の管理は学生に任されています。紛失や破損等については、各人の負担により原状回復してください。
- (5) リフレッシュルームに設置してあるパソコンやプリンターは共用で使用します。イ

ンクや紙の補給などの管理は学生に任されています。

(6) 注意事項

- ・私物を保管・放置したり、特定の場所を占拠したりしないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。
- ・エアコンの設定温度に留意し、誰もいないときにはエアコンを消すこと。
- ・飲食した空容器、紙くず等は放置せず、必ず分別してごみ箱に捨てること。
- ・洗面台の排水が詰まるので、食べ物のカス等を流さないこと。
- ・全員退出する際には電源を全て消すこと。
- ・掲示板およびホワイトボードは全学年共用で、学生間の連絡のほか、教員からの連絡にも使用することがあります。不要になった書き込みや掲示物は、書いたものや掲示したものが責任を持って消し、撤去してください。
- ・リフレッシュルームは共用です。きれいに使用しましょう。掃除もしてください。

- (7) リフレッシュルームは平日に使用できますが、長期休暇中は平日も施錠されるので、その期間中に使用したい学生は、口腔保健工学専攻教員に申し出て解・施錠してもらうこと。

近年、2号館の電気使用量が増加しています。電気やエアコンなど、節電を心がけ、エアコンの設定温度にも注意してください（大学推奨基準は夏 28℃、冬 19℃です）。

6. 歯学部リフレッシュルーム（7号館）の使用について

7号館1階には、学生の休息、自己学習等での使用を目的としたリフレッシュスペースが設けられています。この施設では、無線LANを利用して学内LANへの接続も可能になっています。施設を利用する場合は、下記の注意事項を厳守してください。

(1) 利用時間

平日 午前8時30分から午後7時30分まで

(2) 利用する上での注意事項

- 1) きれいに、清潔に利用すること。
- 2) 一部の学生が独占的に利用する環境を作らないこと。
- 3) 私物や貴重品は極力置かないこと（紛失は本人の責任になります）。
- 4) 禁煙です。
- 5) 本学学生としてあるまじき行為を行った場合、大学の懲戒規定にかかるとともに、他の学生を含め、当施設の利用を全面的に禁止することが有り得ることを念頭に置き、使用してください。
- 6) 他に利用している学生を考慮し、騒がないこと。
- 7) ごみの始末は各自で行うこと。

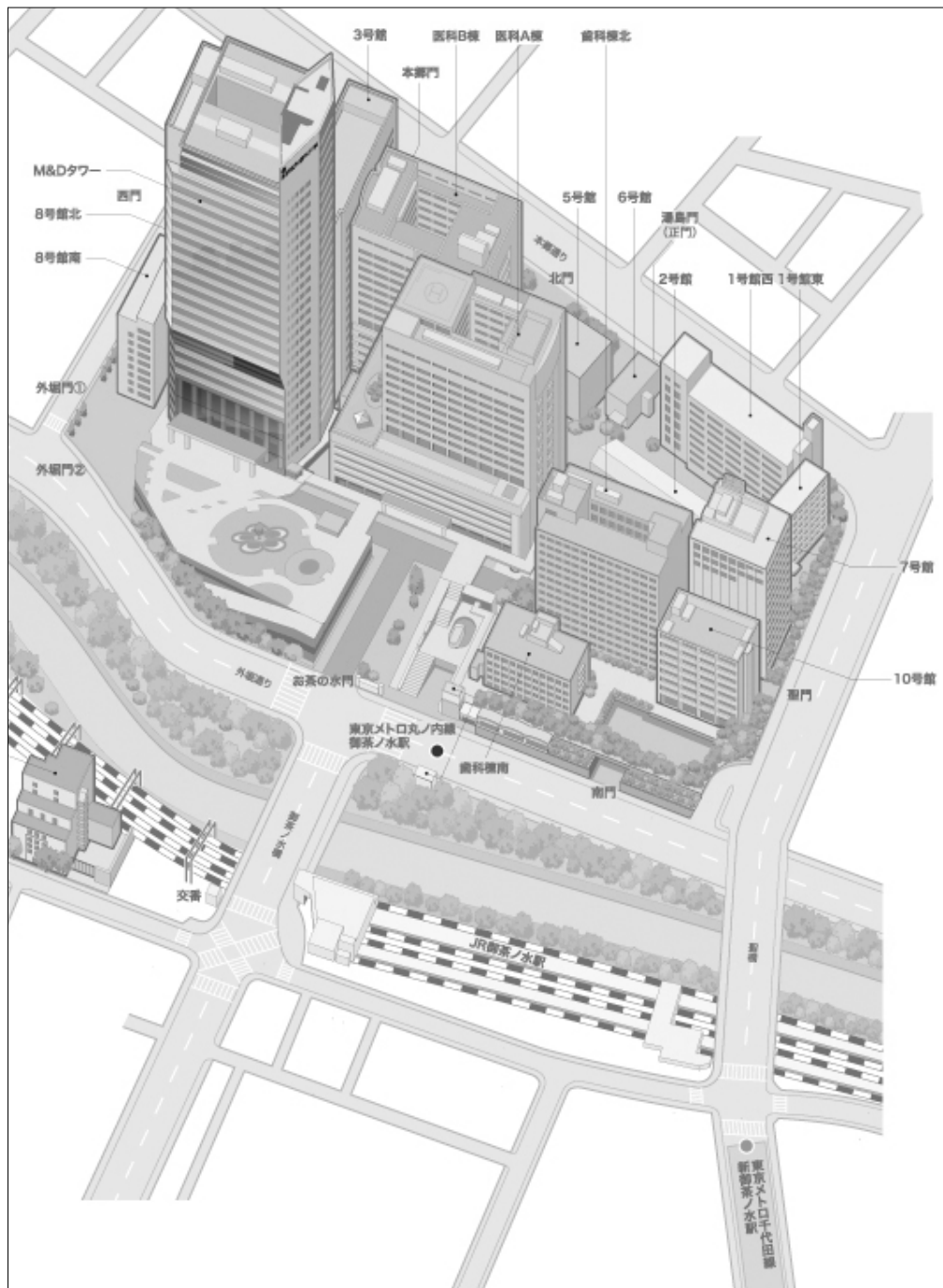
***注意：現在、感染対策のため、使用中止となっています。**

7. 学生用ホワイトボード（リフレッシュルーム）の使用について
- (1) 掲示物の内容については関知しないが、良識をもって掲示すること。
 - (2) 掲示期間を過ぎることのないよう、自主的に撤去すること。
8. 昼食について
- (1) 昼食は 決められた部屋の決められた場所で とること。各座席を約 1.5 メートル離すようにしています。基本的には外での食事は避けるように。
 - (2) 1 年生はリフレッシュルーム、2 年生は第 3 講義室、3 年生は第 2 講義室、4 年生は第 1 講義室を昼食会場とする。各部屋は換気のため 24 時間換気扇を回し、窓を 5 センチ以上開けること。出入り口の扉も開放しておくこと。
 - (3) 食事の前後には必ず石鹸等で手指消毒をすること。
 - (4) 昼食中はマスクをはずすので、会話をしないこと。会話時にはマスクを着用すること。
 - (5) 使用後は机、いす等を消毒液で消毒すること。
 - (6) 講義室は全学の予約システムで使用する場合もあるので、講義室等には私物を置かないこと。
9. 講義室・実習室の使用について
- (1) 講義室・実習室に入退出する際には石鹸またはアルコール製剤による手指消毒を行うこと。
 - (2) 実習室における飲食は原則として禁止します。特に 実習室内では安全上の理由から持ち込みも禁止します。ただし、脱水予防の理由から、講義室を講義で使用する場合および 4 階実習室廊下では原則として蓋のしまる飲み物のみ、休憩時間に許可します。休憩中に決められた昼食会場等で飲食してください。4 階では、飲み物を置く場所を実習室外の廊下に指定します。
 - (3) 講義室の机の上に腰をかけないこと。
 - (4) 使用した机、いす等は、消毒剤で消毒すること。講義室、実習室ともに終了時に清掃し、消毒しましょう。
 - (5) 講義室・実習室においては、紙くず等を散らさないようにし、必ず分別してごみ箱に捨てること。
 - (6) 参考書・ノート等の私物は講義室の中に放置しないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。
 - (7) 室内は学生用ホワイトボード・掲示板以外に掲示物の添付を禁じます。
 - (8) 実習室に 私物のかばんや上着など実習に必要なものを持ち込まない こと。各自のロッカーに保管してください。

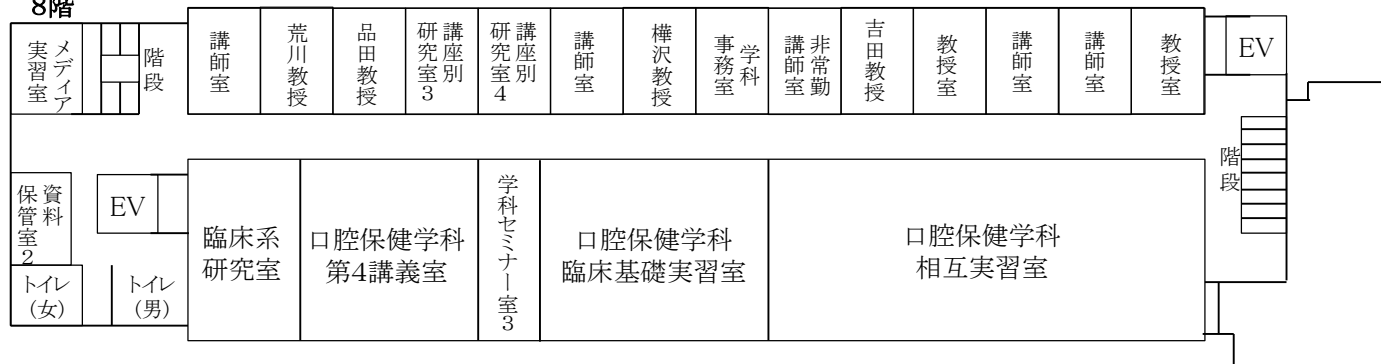
- (9) 白衣は実習室に放置しないこと。放置してある場合は予告なしに処分されます。
- (10) 講義室および実習室での スマートフォン等の充電を禁止 します。
- (11) 講義室・実習室等においては、下駄ばきを厳禁します。
- (12) 7号館7階以上は動物実験施設なので、感染予防等のため関係者以外の出入りを禁止します。
- (13) 講義室は全学の予約システムで使用する場合もあるので、時間外は原則使用しない こと。時間外に実習室を使用する場合は、教員の許可を得て使用すること。使用終了時には教員に状態を確認してもらってから退出すること。

＊新型コロナウイルス感染症への予防対策として、消毒剤、ハンドソープ、机等消毒のためのペーパータオルの設置、パーテーションの設置、机の配置、換気等、大学としてできる限りのことをしています。特に、講義室、実習室では決められた席に座り、間をあけて実習をしてください。私語を慎んでください。不自由な点もあると思いますが、ご協力よろしくお願いいたします。

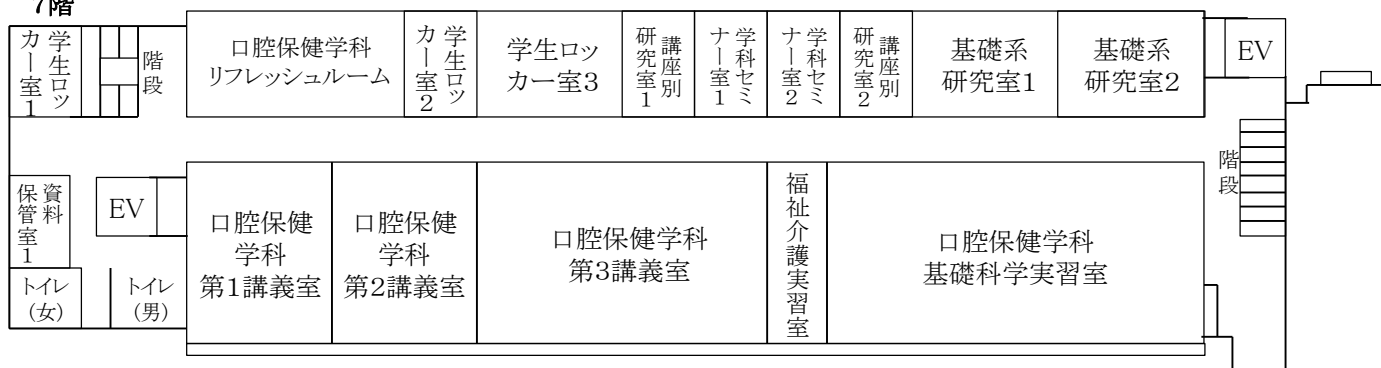
湯島キャンパス案内



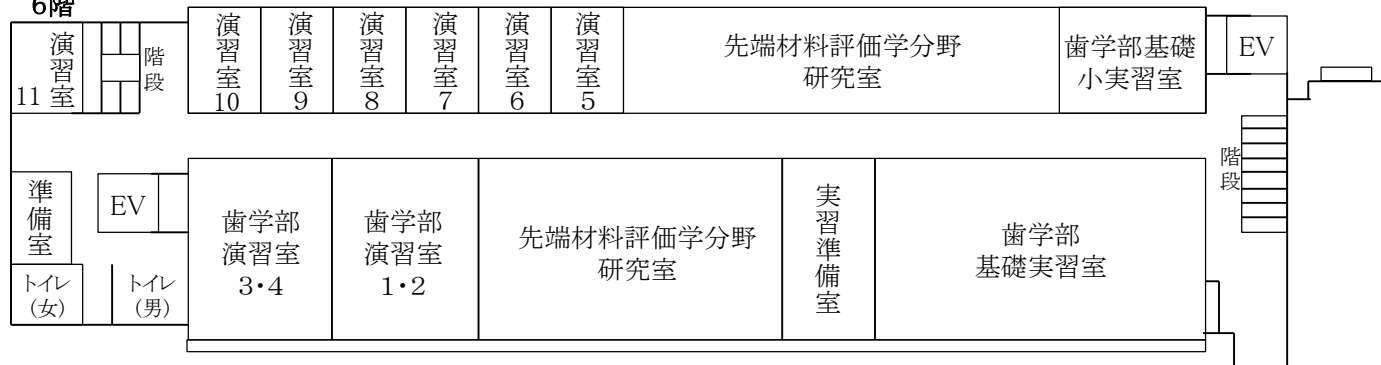
8階



7階



6階



2号館 避難経路

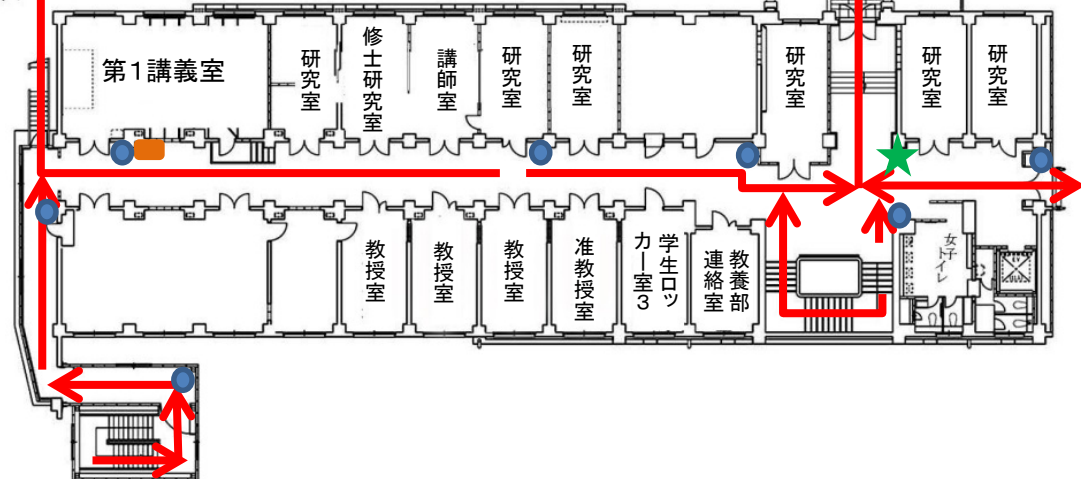
4階



3階



2階

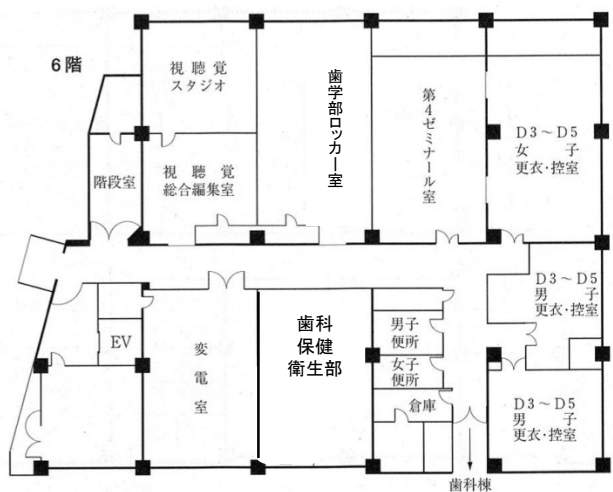
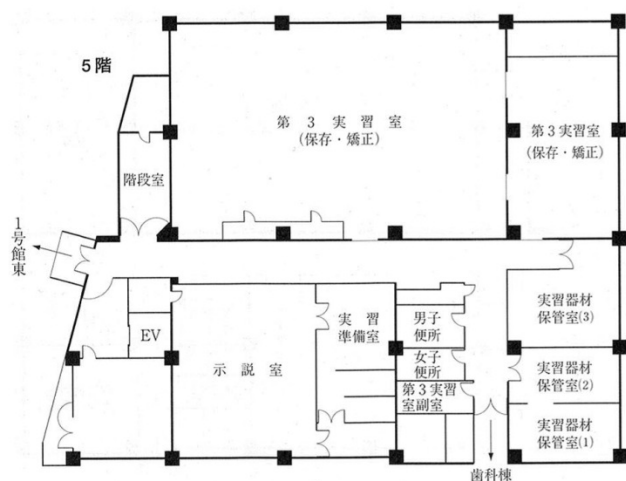
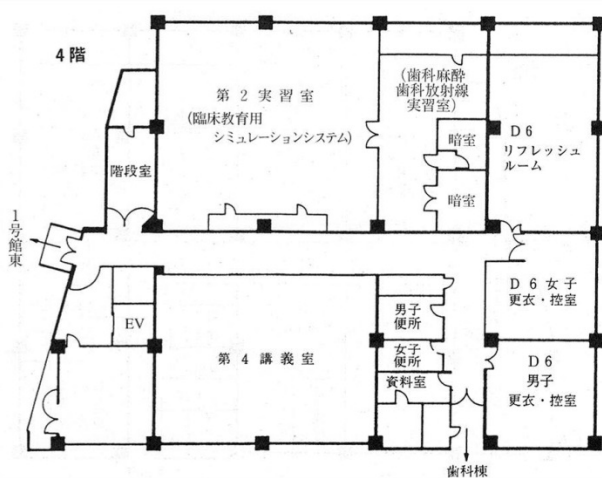
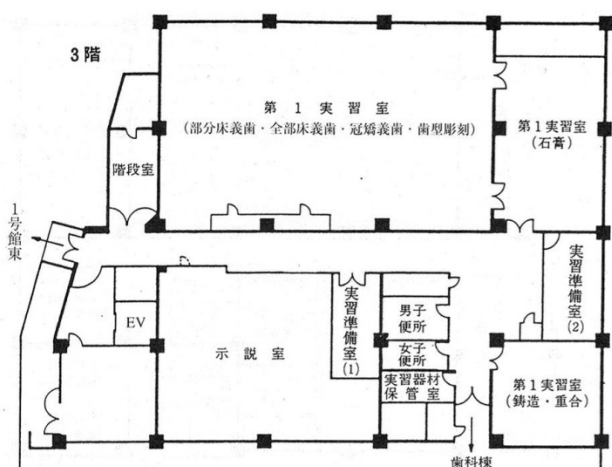
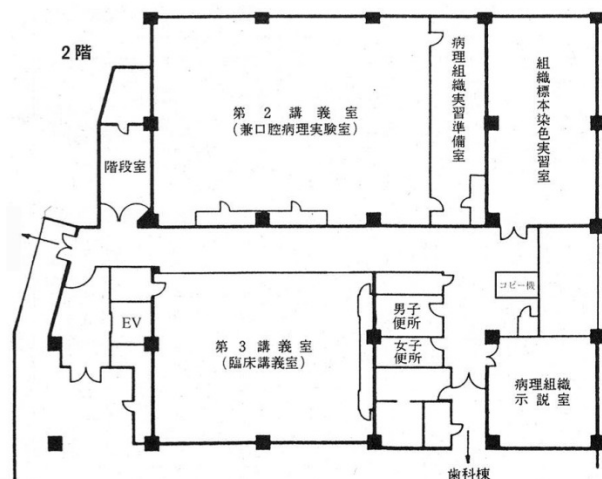
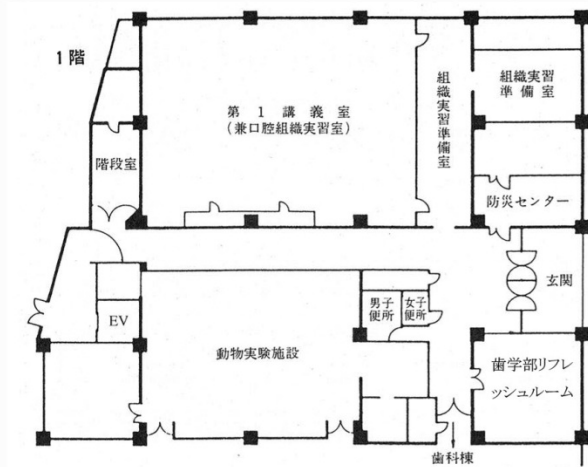


2階
連絡科
口棟

■ 消火栓

● 消火器

★ AED



2021年度 歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻 専門科目授業計画表

第1学年

	学 部 専 門 科 目	期 間
前 期	新入生オリエンテーション	2021/4/7 (水)
	専 門 課 程 ガ イ ダ ン ス	2021/4/7 (水)
	「口腔保健工学概論」	2021/4/13 (火)～ 2021/5/18 (火) 5週 毎週火曜日
後 期	「早期臨床体験実習」 「人体の構造と機能」 「造形美術概論実習」 「メディア情報学基礎」 「加工技術基礎」	2021/9/28 (火)～ 2022/2/1 (火) 16週 毎週火曜日
	専 門 科 目 試 験	2022/2/8(火), 2022/2/15(火)

第2学年

	区 分	期 間
前 期	補 講 (加工技術基礎)	2021/4/1 (木)
	専 門 課 程 ガ イ ダ ン ス	2021/4/2 (金)
	入 学 式	2021/4/5 (月)
	授 業 17 週	2021/4/5 (月)～ 2021/7/27 (火)
	カービングコンテスト	2021/7/27 (火)
	TOEFL 試 験	2021/7/28 (水)
	大 掃 除	2021/7/28 (水)
	オ ー プ ン キ ャ ン パ ス	2021/7/29 (木)～ 2021/7/30 (金)
	夏 季 休 業	2021/8/2 (月)～ 2021/9/1 (水)
	補 講 お よ び 定 期 試 験	2021/9/2 (木)～ 2021/9/30 (木)
後 期	授 業 13 週	2021/10/1 (金)～ 2021/12/23 (木)
	創 立 記 念 日	2021/10/12 (火)
	休 講 (お茶の水祭準備)	2021/10/15 (金)
	救命救急実習・大掃除	2021/12/24 (金)
	冬 季 休 業	2021/12/26 (月)～ 2022/1/4 (火)
	授 業 6 週	2022/1/5 (水)～ 2022/2/10 (木)
	補 講 お よ び 定 期 試 験	2022/2/14 (月)～ 2022/3/3 (木)
	大 掃 除	2022/3/4 (金)
	TMDU - TMU 交 流	2022/3/7 (月)～ 2022/3/9 (水)
	春 季 休 業	2022/3/10 (木)～ 2022/3/31 (木)

第3学年

	区 分	期 間
前 期	春 季 休 業	2021/4/1 (木)
	専 門 課 程 ガ イ ダ ン ス	2021/4/2 (金)
	授 業 17 週	2021/4/5 (月)～ 2021/7/27 (火)
	業 界 研 究	2021/7/8 (木)
	カービングコンテスト	2021/7/27 (火)
	TOEFL 試 験	2021/7/28 (水)
	大 掃 除	2021/7/28 (水)
	オ ー プ ン キ ャ ン パ ス	2021/7/29 (木)～ 2021/7/30 (金)
	夏 季 休 業	2021/8/2 (月)～ 2021/9/1 (水)
	補 講 お よ び 定 期 試 験	2021/9/2 (木)～ 2021/9/22 (水)
	登 院 式	2021/9/6 (月)
	授 業 2 週	2021/9/24 (金)～ 2021/10/1 (金)
後 期	授 業 12 週	2021/10/4 (月)～ 2021/12/23 (木)
	創 立 記 念 日	2021/10/12 (火)
	休 講 (お茶の水祭準備)	2021/10/15 (金)
	解 剖 体 追 悼 式	2021/10/28 (木) 午後予定
	就 職 対 策 講 座	2021/12/13 (月)
	救命救急実習・大掃除	2021/12/24 (金)
	冬 季 休 業	2021/12/26 (月)～ 2022/1/4 (火)
	授 業 6 週	2022/1/5 (水)～ 2022/2/10 (木)
	補 講 お よ び 定 期 試 験	2022/2/14 (月)～ 2022/3/3 (木)
	大 掃 除	2022/3/4 (金)
	TMDU - TMU 交 流	2022/3/7 (月)～ 2022/3/9 (水)
	春 期 特 別 臨 床 実 習	2022/3/10 (木)～ 2022/3/18 (金)
	春 季 休 業	2022/3/21 (月)～ 2022/3/31 (木)

第4学年

	区 分	期 間
前 期	春 季 休 業	2021/4/1 (木)
	専 門 課 程 ガ イ ダ ン ス	2021/4/2 (金)
	授 業 17 週	2021/4/5 (月)～ 2021/7/27 (火)
	カービングコンテスト	2021/7/27 (火)
	補 講 ・ 大 掃 除	2021/7/28 (水)
	オ ー プ ン キ ャ ン パ ス	2021/7/29 (木)～ 2021/7/30 (金)
	試験・補講/夏期特別臨床実習期間	2021/8/2 (月)～ 2021/8/6 (金)
	夏 季 休 業	2021/8/9 (月)～ 2021/8/13 (金)
	夏 期 特 別 臨 床 実 習	2021/8/16 (月)～ 2021/9/29 (水)
	授 業 13 週	2021/9/30 (木)～ 2021/12/23 (木)
後 期	補 講	2021/10/15 (金)、 2021/10/22 (金)
	歯科技工臨床能力判定試験	2021/12/1 (水)
	補 講 ・ 大 掃 除	2021/12/24 (金)
	冬 季 休 業	2021/12/26 (月)～ 2022/1/4 (火)
	授 業 3 週	2022/1/5 (水)～ 2022/1/21 (金)
	卒 業 製 作 発 表 会	2022/1/5 (水)
	卒 業 研 究 発 表 会	2022/1/7 (金)
	国 家 試 験 対 策 講 座 お よ び 自 己 研 修	2022/1/11 (火)～ 2022/2/25 (金)
	国 家 試 験	2022/2/27 (日) 予定
	キ ャ リ ア ア ッ プ 研 修	2022/2/28 (月)～ 2022/3/3 (木)
	大 掃 除	2022/3/4 (金)
	TMDU - TMU 交 流	2022/3/7 (月)～ 2022/3/9 (水)
	春 季 休 業	2022/3/10 (木)～ 2022/3/24 (木)
	卒 業 式	2022/3/25 (金) 予定

歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻 教員連絡先一覧

分野名	氏名	メールアドレス
口腔基礎工学分野	青木 和広	kazu.hpha@tmd.ac.jp
	大木 明子	moki.mfoe@tmd.ac.jp
	上條 真吾	s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp
口腔機材開発工学分野	岩崎 直彦	iwasaki.bmoe@tmd.ac.jp
	土田 優美	yumi.bmoe@tmd.ac.jp
口腔機能再建工学分野	池田 正臣	ikeda.csoe@tmd.ac.jp
	塩沢 真穂	m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

第 1 学年
履修科目・ユニット

時間割番号	023501						
科目名	口腔保健工学概論			科目ID	DE-110100-Z		
担当教員							
開講時期	2021 年度前期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 15 時間							
授業形態: 講義と演習							
主な講義場所							
遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等							
自学自習とディスカッションに基づく問題基盤型学習(PBL)や演習をととして、口腔保健の基礎知識、保健・医療・福祉の専門職に共通する職業倫理や実務上の態度・姿勢、多職種連携の重要性を学ぶ。							
授業の到達目標							
1. 口腔保健の概要を説明できる。							
2. 保健・医療・福祉の専門職に共通する職業倫理を説明できる。							
3. 保健・医療・福祉の専門職に共通する実務上の態度・姿勢を説明できる。							
4. 保健・医療・福祉の専門職による多職種連携の重要性を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/13	12:50-14:20	遠隔授業 (同期型)	オリエンテーション、シナリオ1	口腔保健と専門職を学ぶ意義、学習方法(PBL テュートリアル)、シナリオ提示、学習項目の検討	青木 和広 吉田 直美 土田 優美 鈴木 瞳	到達目標:1-4 チューター: TA:
2	4/20	12:50-14:20	遠隔授業 (同期型)	学習項目の発表、シナリオ2	ディスカッション、シナリオ提示、学習項目の検討	青木 和広 吉田 直美 土田 優美 鈴木 瞳	到達目標:1-4 チューターTA: 事前学習をしてから授業に参加すること。
3	4/20	14:30-16:00	遠隔授業 (同期型)	学習項目の発表、シナリオ2	ディスカッション、シナリオ提示、学習項目の検討	青木 和広 吉田 直美 土田 優美 鈴木 瞳	到達目標:1-4 チューターTA: 事前学習をしてから授業に参加すること。
4	4/27	12:50-14:20	遠隔授業 (同期型)	学習項目の発表、全体発表準備	ディスカッション、全体発表項目、発表法の検討	青木 和広 吉田 直美 土田 優美 鈴木 瞳	到達目標:1-4 チューターTA: 事前学習をしてから授業に参加すること。
5	4/27	14:30-16:00	遠隔授業 (同期型)	学習項目の発表、全体発表準備	ディスカッション、全体発表項目、発表法の検討	青木 和広 吉田 直美 土田 優美 鈴木 瞳	到達目標:1-4 チューターTA: 事前学習をしてから授業に参加すること。
6	5/11	12:50-14:20	遠隔授業 (同期型)	全体発表準備	全体発表準備	青木 和広 吉田 直美 土田 優美	到達目標:1-4 チューターTA: 事前学習をして

						鈴木 瞳	から授業に参加すること。
7	5/11	14:30-16:00	遠隔授業 (同期型)	全体発表準備	全体発表準備	青木 和広 吉田 直美 土田 優美 鈴木 瞳	到達目標:1-4 チューターTA:
8	5/18	14:30-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	全体発表	グループ課題発表、討論、まとめ	青木 和広 吉田 直美 土田 優美 鈴木 瞳	到達目標:1-4 チューターTA: 発表の準備をし ておくこと
授業方法 講義、PBL、グループ討論、課題発表 事前に提示された課題を学習して資料を準備しておくこと。 遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールにて質問すること。授業担当者より授業時間中あるいはメールにて回答する。							
成績評価の方法 評価は事前学習の資料準備、授業参加態度、全体発表、課題レポートによって行う。 ・授業態度を加味し、出席状況(10点)、資料準備・グループディスカッションの状況(20点)、全体発表の内容(20点)、課題レポートの内容(50点)で総合的に評価する。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料、レポートなどの課題を提示された期限までに提出すること。							
成績評価の基準 成績評価の基準 ・事前学習資料内容、グループディスカッション、全体発表の合計点数が60点以上の者を合格とする。 ・配点は、出席状況(10点)、資料準備・グループディスカッションの状況(20点)、全体発表の内容(20点)、課題レポートの内容(50点)とし、合計100点満点で換算する。 ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。							
準備学習等についての具体的な指示 口腔保健学科口腔保健衛生学専攻との合同講義である。 ・試験規則に規定された出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。 ・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担当教員にその旨連絡する。 ・事前に資料の配付、WebClassへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・事前学習内容を評価するので、必ず事前学習を行い、まとめてからPBLに参加すること。							
試験の受験資格 3分の2以上の出席を単位認定の最低条件とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料、レポートなどの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。							
備考 PBL方式の演習、グループワークによる課題発表をおこなう。 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp 土田優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること							

時間割番号	023505						
科目名	メディア情報学基礎			科目ID	DE-110500-L		
担当教員	木下 淳博, 佐々木 好幸, 須永 昌代, 土田 優美[KINOSHITA ATSUSHIRO, SASAKI YOSHIYUKI, SUNAGA MASAYO, TSUCHIDA Yuumi]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:メディア情報学基礎 時間数: 15 時間 授業形態: 講義・演習							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom, WebClass)、M&D タワー 4 階図書館内 情報検索室(通常: 3階図書館入口より入館、試験時: 4 階廊下からの入り口より入館)							
授業の目的、概要等 口腔保健活動および研究活動に必要なメディア情報処理、コンテンツ作成の基礎を修得し、演習を行う。							
授業の到達目標 1. 情報セキュリティ、著作権を理解して、口腔保健学に必要な情報処理を実践できる。 2. PC 上でプレゼンテーションファイル、静止画像、動画像を編集できる。 3. 表計算ソフトで簡単な集計ができる。 4. インターネットからの情報を適切に収集し、吟味できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	11/9	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	情報セキュリティと著作権、メディアコンテンツ作成演習 1	情報セキュリティ、著作権、フリーソフトによる静止画像処理演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標: 1-2 終了後に課題提出
2	11/16	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	メディアコンテンツ作成演習 2	フリーソフトによる静止画像処理とパワーポイントによる動画作成演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標: 2 終了後に課題提出
3	11/30	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	メディアコンテンツ作成演習 3	フリーソフトによる動画像処理演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標: 2 終了後に課題提出
4	12/7	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	メディアコンテンツ作成演習 4	フリーソフトによる動画像処理演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標: 2 終了後に課題提出
5	12/14	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	インターネット情報検索演習	インターネットからの情報の収集と吟味	佐々木 好幸	到達目標: 4
6	12/21	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	表計算演習	エクセルによる集計、グラフ作成演習	木下 淳博 須永 昌代	到達目標: 3 終了後に課題提出
7	1/11	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	課題発表(情報の収集と吟味)	課題発表(情報の収集と吟味)	佐々木 好幸	到達目標: 4 事前に課題発表の準備をすること
8	1/18	10:30-12:00	情報検索室	試験/課題発表(動画像処理)	WebClass による試験および課題発表(動画像処理)	木下 淳博 須永 昌代 佐々木 好幸	到達目標: 1-2 提出期限までにすべての課題を提出すること 対面で Web 試験を行う

授業方法 講義、演習 遠隔授業(同期型・非同期型)および見学実習を行う。 遠隔授業(非同期型)は WebClass にアップロードされる資料にて学習し、課題の提出をもって出席とする。課題提出の期限は原則授業実施予定日から一週間とする。 5 回および 7 回は遠隔授業(同期型)を行う。指示された期間までに課題を提出すること。 遠隔授業(非同期型)での質問は、授業担当者にメールで質問すること。回答は授業担当者よりメールで行う。 遠隔授業(同期型)での質問は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者へメールで質問すること。回答は授業担当者より授業時間中に直接回答もしくはメールで行う。
成績評価の方法 各回の提出課題の達成度、確認テストの点数、最終回の WebClass による試験の点数により、授業の到達目標の達成度を評価する。 欠席等により課題が提出されない場合は、当該課題は 0 点として評価するので注意すること。
成績評価の基準 各回の課題の達成度を 7 割、最終回の WebClass による試験の成績を 3 割として合計 100 点満点で換算し、評価する。到達目標をすべて達成した場合は A 評価(80 点)以上とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。 ・授業コマの 2/3 以上出席した者。なお、遠隔授業では、課せられた課題(確認テストへの解答、課題提出)をすべて実施したことをもって出席とみなす。 なお、特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
備考 口腔保健衛生学専攻と合同授業 前年度授業終了時アンケート結果より、演習内容を修正し、内容を改善している。

時間割番号	023507						
科目名	造形美術概論実習				科目ID	DE-130700-E	
担当教員	岩崎 直彦, 伊藤 恵夫[IWASAKI NAOHIKO, ITO YOSHIO]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
口腔保健工学専攻 第4実習室							
授業の目的、概要等							
造形美術の理論的背景を基に、補綴装置製作の基礎となる形態認識と造形に関する知識を習得し、観察力、認識力、造形力を養い、歯を立体的に認識し的確に造形できる能力を培う。							
授業の到達目標							
1. 形態認識と造形について学ぶ理由、目的、内容を理解し、説明できる。							
2. 自分の意図した形態を作ることができるよう、造形力を向上させる。							
3. 形態を客観的に見る力、すなわち観察力の向上をはかる。							
4. パースペクティブの概要を理解する。							
5. 色の三要素の理論を理解し、実際に使いこなす。							
6. その形態に適した色彩を考え、表現する力をつける。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/26	14:30-16:00	第4実習室	概論、表現と構成、観察と表現	概論、描写(自画像)	伊藤 恵夫 岩崎 直彦	到達目標:1
2	10/26	16:10-17:40	第4実習室	概論、表現と構成、観察と表現	概論、描写(自画像)	伊藤 恵夫 岩崎 直彦	到達目標:1 実習作品の提出
3	11/2	14:30-16:00	第4実習室	観察と表現(平面)、線と輪郭	大顔面、観察の重要性(キリン)	伊藤 恵夫 岩崎 直彦	到達目標:1
4	11/2	16:10-17:40	第4実習室	観察と表現(平面)、線と輪郭	大顔面、観察の重要性(キリン)	伊藤 恵夫 岩崎 直彦	到達目標:1 実習作品の提出
5	11/9	14:30-16:00	第4実習室	観察と表現(立体)	立体の見え方(パース)、紙コップ	伊藤 恵夫 岩崎 直彦	到達目標:4
6	11/9	16:10-17:40	第4実習室	観察と表現(立体)	立体の見え方(パース)、紙コップ	伊藤 恵夫 岩崎 直彦	到達目標:4 実習作品の提出
7	11/16	14:30-16:00	第4実習室	色彩	色による表現(大顔面)1	伊藤 恵夫 岩崎 直彦	到達目標:2,3,6
8	11/16	16:10-17:40	第4実習室	色彩	色による表現(大顔面)1	伊藤 恵夫 岩崎 直彦	到達目標:2,3,6
9	11/30	14:30-16:00	第4実習室	色彩	色による表現(大顔面)2	伊藤 恵夫 岩崎 直彦	到達目標:2,3,6
10	11/30	16:10-17:40	第4実習室	色彩	色による表現(大顔面)2	伊藤 恵夫 岩崎 直彦	到達目標:2,3,6
11	12/7	14:30-16:00	第4実習室	色彩	色による表現(大顔面)3	伊藤 恵夫 岩崎 直彦	到達目標:2,3,6
12	12/7	16:10-17:40	第4実習室	色彩	色による表現(大顔面)3	伊藤 恵夫 岩崎 直彦	到達目標:2,3,6 実習作品の提出
13	12/14	14:30-16:00	第4実習室	明度の表現	グレースケールの作成、左右反転	伊藤 恵夫 岩崎 直彦	到達目標:3,4
14	12/14	16:10-17:40	第4実習室	明度の表現	グレースケールの作成、左右反転	伊藤 恵夫	到達目標:3,4 実

			室			岩崎 直彦	習作品の提出
15	12/21	14:30-16:00	第4実習室	造形(平面)	描写(自画像)1	伊藤 恵夫 岩崎 直彦	到達目標:4
16	12/21	16:10-17:40	第4実習室	造形(平面)	描写(自画像)1	伊藤 恵夫 岩崎 直彦	到達目標:4
17	1/4	14:30-16:00	第4実習室	造形(平面)	描写(自画像)2	伊藤 恵夫 岩崎 直彦	到達目標:4
18	1/4	16:10-17:40	第4実習室	造形(平面)	描写(自画像)2	伊藤 恵夫 岩崎 直彦	到達目標:4
19	1/11	14:30-16:00	第4実習室	造形(平面)	描写(自画像)3	伊藤 恵夫 岩崎 直彦	到達目標:4
20	1/11	16:10-17:40	第4実習室	造形(平面)	描写(自画像)3	伊藤 恵夫 岩崎 直彦	到達目標:4 実習作品の提出

授業方法

実習

デッサンなどの描写実習

課題に関する説明を受けたうえで、各自が実習および課題作成を行って提出する。

成績評価の方法

評価は実習で作成し提出された作品について行う。

- ・描写-自画像1 (5点)
- ・大画面、観察の重要性 (5点)
- ・立体の見え方 (5点)
- ・色による表現 (10点)
- ・グレースケールの作成 (5点)
- ・描写-自画像2 (50点)

実習成績 合計80点について、「観察力」「認識力」「表現力」を評価する。

さらに授業態度20点を加え、合計点数を実習成績とする。

成績評価の基準

- ・実習で作成した作品(80点)および授業態度(20点)によって評価を行う。
- ・総合点60点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前または実習中に資料を配布する。Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。

履修上の注意事項

事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先

岩崎直彦 随時 iwasaki.bmoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023512						
科目名	早期臨床体験実習			科目ID	DE-151200-E		
担当教員							
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 後期 30 時間 授業形態: 実習							
主な講義場所 遠隔授業(同期型) 2号館第4実習室							
授業の目的、概要等 臨床の現場を体験することで歯科医学ならびに歯科医療の現況を知り、医療人としての基本的な姿勢を学ぶ。また、歯科技工士に求められる資質とは、人の健康の維持・増進に寄与し、健康で幸せな生活の実現のため専門的知識および技術をもって広く社会貢献することであることを認識する。							
授業の到達目標 1. 歯科医療従事者に求められる態度を身につける。 2. 歯科医療と歯科保険制度が人々の健康の維持増進に果たす社会的役割を認識できる。 3. 加齢に伴う高齢者の身体的変化を理解する。 4. 歯科業界の市場および動向について説明できる。 5. 行動特性検査と分析結果を説明することができる。 6. 歯科医療のなかでの歯科技工士の役割を認識できる。 7. 歯科材料、器械の扱いを説明することができる。 8. 歯科医療の現状と補綴装置、顔、口等のニーズについて説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	9/28	10:30-12:00	第4実習室	オリエンテーション、歯科医療概論 身だしなみと態度	現在の歯科業界の動向と検証 保険制度と保存修復治療のながれ 医療現場での身だしなみと態度、高齢者疑似体験実習	青木 和広 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美	到達目標1-4
2-4	9/28	12:50-17:40	遠隔授業(同期型)	課題学習と発表会について 歯科企業見学	課題学習法とPPT 操作・作成・発表方法 歯科材料メーカーでの体験実習	池田 正臣	到達目標1-4 (Zoom) 歯科材料メーカーでの体験実習
5	10/5	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	歯科技工所見学 資料室、図書館の見学	中規模歯科技工所 web 見学 資料室見学、図書館の見学と利用方法、文献検索方法	池田 正臣	到達目標1-5 (Zoom)
6	10/5	12:50-14:20	遠隔授業(同期型)	歯科技工部・病院見学 行動特性分析	歯学部附属病院および歯科技工部の紹介 行動特性検査登録(web)	池田 正臣 塩沢 真穂 上條 真吾	到達目標1-5 (Zoom)
7	10/5	14:30-16:00	遠隔授業(同期型)	マーケティングリサーチ1と就職活動	歯科市場における商品とサービスおよび将来的なニーズ 就職活動の実際	池田 正臣	到達目標1-3,7 (Zoom)
8	10/19	10:30-12:00	遠隔授業(同期型)	将来のための自己分析	自身の将来設計発表、(就職後の自分と就職先)	池田 正臣	到達目標1-4,7 (Zoom)
9-11	10/19	12:50-17:40	遠隔授業(同期型)	行動特性分析 マーケティングリサーチ2	行動特性検査分析結果の解説 歯科市場における商品とサービスおよび将来的なニーズ	池田 正臣 樋口 和秀	到達目標1-4,7 (Zoom)

12	10/26	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	歯科技工士の役割	歯科技工士会、同窓会等、国外の 歯科技工士教育、奨励制度の紹介	池田 正臣	到達目標4,7 (Zoom)
13	1/4	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	課題学習発表方法	課題学習発表方法おさらい	池田 正臣	到達目標1-8 (Zoom)
14-15	2/1	08:50-12:00	遠隔授業 (同期型)	学習結果発表	課題に関する学習結果発表	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂	到達目標8 (Zoom) 学習結 果発表

授業方法

講義、課題発表、演習、実習

遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールにて質問すること。授業担当者より授業時間中・メールにて回答する。

授業内容

歯科材料メーカー見学では、スーツを着用し、白衣を持参すること

成績評価の方法

- ・出席状況(10 点)、実習態度(見学への参加度、10 点)、学習成果発表(歯科材料、機器、補綴物、治療方法のニーズについて 80 点) 学習成果発表の点数が 60%未満の場合はスライドを再提出とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席し、演習発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。

成績評価の基準

- ・配点は発表時間 20 点、説明のわかりやすさ 20 点、スライドの論理性 20 点、質疑応答 20 点、合計 80 点)で評価する。
- ・学習成果発表の点数が 60%以上のものを合格とする。
- ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。歯科材料、機器、補綴物、治療方法の違いについて事前に調べておくこと。講義は基本的に遠隔授業(同期型)で、実習は実習室と材料メーカーで行います。

試験の受験資格

定期試験(学習成果発表会)の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・2/3 以上の出席を基本とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

必要に応じ、適宜資料の配布を行う。

参考書

必要に応じ、適宜資料の配布を行う。

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

池田正臣 ikeda.csoe@tmd.ac.jp

メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023517A						
科目名	人体の構造と機能			科目ID			
担当教員							
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	2		
実務経験のある教員による授業							
時間数: 30 時間 授業形態: 遠隔(同期型) 授業と実習							
主な講義場所 Zoom による遠隔授業(同期型)および 2 号館 4 階 第 4 実習室							
授業の目的、概要等 骨の構造と機能を学ぶことを中心に、恒常性を維持するために素晴らしく構成されている人体の不思議に目を向け、生命が営まれるメカニズムを分子レベルから個体レベルに至るまで理解する。骨が地上に生きるための支持器官であるとともに、全身と連関して内分泌器官として機能していることが発見されて来た経緯を学ぶことにより、科学的好奇心を鼓舞し、生物学研究に対する理解を深める。また、口腔内細菌が全身疾患と連関していることと新規薬物開発の過程と薬害について理解することにより、2 年生科目である「全身疾患と治療の基礎」への橋渡しとする。							
授業の到達目標 1. 骨の構造と機能を説明できる。 2. 骨を構成する細胞について説明できる。 3. 筋肉の起始停止を説明できる。 4. 破骨細胞、骨芽細胞の構造と機能について説明できる。 5. カルシウム代謝を理解することにより、生体の恒常性維持機構を説明できる。 6. 骨のリモデリング機構について説明できる。 7. カルシウム代謝の理解から、ホルモンのターゲットとなる腎臓、腸、骨の構造と機能を説明できる。 8. 中枢神経系、自律神経系、運動神経、感覚神経の構造と機能について概説できる。 9. 骨と中枢神経系との連関について発見された経緯について学ぶことにより、生物学の研究手法を説明できる。 10. 遺伝子改変マウスの作製に関して説明できる。 11. 細胞内シグナル伝達とその解析方法に関して概説できる。 12. 生物学と理工学との融合研究をととした骨造成剤の開発について概説できる。 13. 新薬開発の過程と薬害に関して概説できる。 14. 口腔内細菌と全身疾患との関連、特に歯周病と糖尿病の関連を説明できる。 15. 恒常性維持機構など人体の合目的的な構造と機能について概説できる。 16. 歯の種類、方向、左右の区別について概説できる(口腔医学の基礎のイントロダクション)							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/5	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	はじめに、基礎医学について、口腔と骨	臨床に向けた基礎医学分野 口腔における骨の重要性	青木 和広	到達目標: 1, 2
2	10/19	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	骨にかかわる生体の恒常性維持機構	骨の機能にかかわる細胞とカルシウム代謝	青木 和広	到達目標: 1, 2, 4-6, 15
3	10/26	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	支持器官としての骨の構造と機能	骨と筋肉、解剖用語の理解 骨のリモデリング機構	青木 和広	到達目標: 1-4, 6
4	11/2	10:30-12:00	第4実習室	骨のリモデリング単位ハバース系	骨の標本観察実習 顕微鏡の基礎知識	青木 和広	到達目標: 1-6 白衣、マスクを着用して臨むこと 色鉛筆とスケッチブックを持参のこと。 骨の標本観

							察実習
5	11/2	12:50-14:20	第4実習室	骨のリモデリング単位 ハバース系	骨の標本観察実習 顕微鏡の基礎知識	青木 和広	到達目標:1-6 白衣、マスクを着用して臨むこと 色鉛筆とスケッチブックを持参のこと。 骨の標本観察実習
6	11/9	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	生体の恒常性維持に働く器官の理解その1	カルシウム調節ホルモンとそのターゲット器官	青木 和広	到達目標:5,6
7	11/16	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	生体の恒常性維持に働く器官の理解その2	腎臓と小腸の構造と機能 内分泌器官としての骨	青木 和広	到達目標:7,15
8	11/30	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	歯周病と全身疾患	歯周病と糖尿病との関連など口腔内細菌と全身との関連の理解	青木 和広、 片桐 さやか	到達目標:13
9	12/7	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	薬の開発と薬害	新薬の開発過程と問題となった薬害について	青木 和広、 田村 幸彦	到達目標:14
10	12/14	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	生物学の研究手法の理解 生物学と理工学との融合研究	骨関連論文の理解 骨造成に必要な理工学との融合研究	青木 和広	到達目標:13
11	12/21	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	骨の多臓器連関 その1	骨と中枢神経系、末梢神経系(自律神経系)、内分泌系、免疫系 発表準備(グループワーク)	青木 和広	到達目標:1-12, 15
12	1/4	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	骨の多臓器連関 その2	骨と中枢神経系、末梢神経系(自律神経系)、内分泌系、免疫系 発表準備(グループワーク)	青木 和広	到達目標:1-12, 15
13	1/11	08:50-10:20	遠隔授業 (同期型)	人体の不思議について 発表	人体の合目的的な構造と機能について理解する	青木 和広	到達目標:1-15
14	1/25	08:50-10:20	遠隔授業 (非同期型)	口腔医学の基礎のイントロダクション	歯の種類、方向、左右の区別について概説できる	青木 和広	到達目標:16 FKS21011 OE1 人体の構造と機能 2021 授業終了後に小テストを実施
15	1/25	10:30-12:00	遠隔授業 (非同期型)	口腔医学の基礎のイントロダクション	歯の種類、方向、左右の区別について概説できる	青木 和広	到達目標:16 FKS21011 OE1 人体の構造と機能 2021 授業終了後に小テストを実施

授業方法

講義、実習

遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールにて質問すること。授業担当者より授業時間中・メールにて回答する。

ブレイクアウト機能を用いて発表資料を作成するグループワークを行う。

顕微鏡を用いた実習を行う。

終了した講義内容、あるいは、WebClassにアップしている教材を勉強しておき、次の授業にテストを行うことがある(反転授業)。

成績評価の方法

評価は提出課題、発表、討論、実習のスケッチおよび期末試験(筆記試験:90分)によって行う。

・授業後の小テスト(10 点)、TBL 方式などによる発表内容や討論の態度(10 点)、提出レポートや組織スケッチ(20 点)による評価を行う。発表内容や討論の態度はグループの評価ではなく個人評価である。 ・平常点を重視する。 ・期末の客観試験、論述試験の配点は 60 点とするが、期末試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。 ・出席状況、授業態度を加味する。
成績評価の基準 ・期末試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。 ・配点は、期末試験 60 点、授業後の小テスト(10 点)、TBL 方式などによる発表内容や討論の態度(10 点)、提出レポートや組織スケッチ(20 点)とし、合計 100 点満点で換算する。 ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 ・質問がある場合は、WebClass の掲示板を使って質問すること。 質問があった場合は、担当教員に連絡が行くため、返答までしばし待つこと。 質問は、講義を受講した全員に共有されるので、他の学生の質問内容を各自参照すること。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3 分の 2 以上の出席を基本とするが、実習は休まないようにすること ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
教科書 新骨の科学 = Bone biology／須田立雄 [ほか] 編著；田中栄 [ほか] 著、須田、立雄、小澤、英浩、高橋、栄明、田中、栄(整形外科学)、中村、浩彰、森、諭史、高橋、直之、網塚、憲生、遠藤、直人、竹澤、保政：医歯薬出版、2016
参考書 ヒューマンボディ：からだの不思議がわかる解剖生理学／Barbara Herlihy 著；片桐康雄 [ほか] 監訳、Herlihy, Barbara, Maebius, Nancy K., 片桐、康雄、飯島、治之、片桐、展子、尾岸、恵三子、エルゼビア・ジャパン、2008 現代歯科薬理学 = Current Dental Pharmacology／大谷啓一 監修、鈴木邦明、戸苅彰史、青木和広、兼松隆、筑波隆幸 編、大谷、啓一、1949-鈴木、邦明、戸苅、彰史、青木、和広：医歯薬出版、2018
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023524						
科目名	加工技術基礎			科目ID	DE-152400-L		
担当教員							
開講時期	2021 年度後期	対象年次	1	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 口腔保健工学専攻 第4 実習室							
授業の目的、概要等 歯の形態基礎実習で学習した造形技術を元に、天然歯の形態をさらに精密に彫刻再現できる技術力を向上させ、種々の補綴装置製作におけるさらに高度な造形能力を身につける。							
授業の到達目標 1. 切削加工の概念を説明できる。 2. 道具としての正しい箸の使い方を説明できる。 3. ナイフの安全な使用法を説明できる。 4. 鉛筆の正しい持ち方を説明できる。 5. ハンドピースでの研削の正しい方法を説明できる。 6. のこぎり、ハンマーの正しい使い方を説明できる。 7. 研磨材の正しい使い方を説明できる。 8. ブローパイプの正しい使い方を説明できる。 9. やすりの正しい使い方を説明できる。 10. 切削加工機の正しい使い方を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	1/18	12:50-17:40	第4実習室 総合実習室	鉛筆、箸の持ち方、鉛筆削り、ハンマーの使い方、のこぎりでの切断、ハンドピースでの削り方	加工学基礎概論、ハンマーでの釘打ち、石膏棒の切断、ナイフによる整形実習、ハンドピースによる整形実習	岩崎 直彦 土田 優美	到達目標:1-6,10 実習作品の提出
4-6	1/25	12:50-17:40	第4実習室	鍛 造	炭素鋼焼きなまし、鍛造、成形	岩崎 直彦 土田 優美	到達目標:7-9
7-8	2/1	14:30-17:40	第4実習室	鍛 造切削加工、研磨	炭素鋼の成型、焼き入れ焼き戻し 研磨作業	岩崎 直彦 土田 優美	到達目標:6,8,9 実習作品の提出
授業方法							
実習 歯型をワックスまたは石膏棒から削り出して製作する実習を行う。 事前に WebClass に提示されている資料を学習して予習しておくこと。							
授業内容							
実習に出席し、時間内に製作物を提出すること。							
成績評価の方法							
実習の評価は、彫刻作品および期末の実技試験(60 分)によって行う。 ・提出作品は、唇・頬側面、隣接面、舌側面、咬合面、全体を評価する。(計 60 点) ・期末の実技試験の配点は 20 点とするが、期末試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。 ・実習点に出席状況(10 点)および授業態度(10 点)を加味し、総合的に評価し、合計点数を成績とする。							
成績評価の基準							
・期末の実技試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。 ・配点は、期末試験 20 点、実習で製作した作品 60 点、出席状況 10 点、授業態度 10 点とし、合計 100 点満点で換算し、この科目の評価とする。							

準備学習等についての具体的な指示 事前に WebClass をチェックし、アップロードされた資料に事前に目を通しておく。指示がある場合にはそれに従って事前学習を行なうこと。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3/4 以上の出席を基本とする。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクツを提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために実習に参加できない場合には、その事情とともに授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。その場合、提出物は、科目責任者の示す期限までに提出する。
参考書 刃物や工具の使い方 /PDF ファイル/JAXA 宇宙教育センター, 2014 http://edu.jaxa.jp/materialDB/detail/78885
履修上の注意事項 事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。WebClass は随時チェックを行い、連絡事項を聞きもらさないように注意すること。
備考 実習時には、テキストプリントを配布しません。各自 Webclass よりダウンロードして用意してください。 昨年度の授業終了後アンケートおよび前年度の実習進展度を考慮し、彫刻部位、各歯の作業時間の調整を行っています。 担当教員のオフィシアワーおよび連絡先 岩崎直彦 随時 Iwasaki.bmoe@tmd.ac.jp

第 2 学年
履修科目・ユニット

時間割番号	023502						
科目名	科学英語 I			科目 ID	DE-210200-L		
担当教員							
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 15 時間 授業形態: 講義と実習 遠隔授業(同期型)、演習、課題発表							
主な講義場所 自宅学習 遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等 1. 歯科医療、自然科学に関する英語、歯科関連英語について、基本的な単語を理解する。 2. 国際人として活躍するために、1 年で学習した骨と全身との関連研究の内容や、興味のある歯科医療の話題を、平易な英語で表現(読む、聞く、書く、話す)する。							
授業の到達目標 1. 英語で、自己紹介ができる。 2. 英語で、簡単なコミュニケーションを行うことができる。 3. 英語で、自然科学の内容、特に骨と全身との関連研究の内容を説明できる。 4. 英語で、歯／口腔の解剖学的構造を説明できる。 5. 英語で、歯科補綴装置、専門用語を説明できる。 6. 英語で、歯科材料を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/7	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	自己紹介 自然科学 の英語 (その 1)	英語での自己紹介 1 年生の「人体の構造と機能」で発表した内容を英語で表現 ビデオ製作チーム決定 骨関連単語の説明 1ー60 語	青木 和広	到達目標:1, 7 Instructor Dr. Masud Khan
3	5/12	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	自然科学の英語 (その 2)	英語での発表予行	青木 和広	到達目標:1, 7 宿題を行ったうえで参加 Instructor Dr. Masud Khan
4-5	5/19	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	自然科学の英語 (その 3)	基礎単語テスト(1ー60 語) 英語で発表 歯科用単語の説明 61ー120 語各科名称、治療法、補綴装置を扱う治療法、日常診療他、演習	青木 和広 ポーンポット・ファンターンシ ップ	到達目標:1, 7 宿題を行ったうえで参加 Instructor Dr. Masud Khan
6-7	5/26	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	歯科治療の基礎	基礎単語テスト(61ー120 語) 演習 歯科用単語の説明 121ー180 語 歯科生体材料の名称、	青木 和広	到達目標:1-3 Instructor Dr. Masud Khan
8-9	6/9	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	歯科治療の基礎	基礎単語テスト(121ー180 語) 歯科診療、歯科診療チーム、演習 歯科用単語の説明 181ー240 語	青木 和広	到達目標:1-3 Instructor Dr. Masud Khan

10-11	6/16	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	歯／口腔解剖の基礎	基礎単語テスト(181-240 語) 歯 ／口腔解剖、名称、方向表現、歯 式、演習 歯科用単語の説明 241-300 語	青木 和広	到達目標:1-4 Instructor Dr. Masud Khan
12-13	7/7	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	歯科生体材料	基礎単語テスト(241-300 語) コミュニケーション演習	青木 和広 鶴田 潤	到達目標:4-6 Instructor Dr. Masud Khan
14-15	7/14	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	まとめ	基礎単語テスト(1-300 語) コミュ ニケーション演習 課題発表 質 疑応答	青木 和広 ポーンボット・ ファンターション ップ	到達目標:1-7 定められた期限 までに宿題を行っ たうえで参加 課 題発表 Instructor Dr. Masud Khan

授業方法

遠隔授業(同期型)、演習、課題発表

成績評価の方法

- ・2 回目授業までのレポート提出(1 回) (5 点)
- ・英単語テストの受験 (6 回) (各回 5 点 × 5+最終回 10 点)
- ・発表課題の実施 (2 回) (各回 5 点 × 2)
- ・期末テストの得点 (50 点満点)
- ・授業態度、出席状況を加味して総合的に評価し可否を判定する。
- ・遠隔授業(同期型)に出席し、演習発表資料、レポートなどの課題を提示された期限までに提出すること。

成績評価の基準

- ・2 回目授業までのレポート提出(1 回) (5 点)
- ・英単語テストの受験 (6 回) (各回 5 点 × 5、最終回 10 点)
- ・発表課題の実施 (5/19、7/14) (各回 5 点 × 2 回)
- ・期末テストの得点 (50 点満点)
- ・期末テストが 6 割未満の場合は再試験とする。

準備学習等についての具体的な指示

- ・2 回目までに準備し、提出する課題は、WebClass に提示するので指示に従うこと。(* 課題に要した時間を記録すること)
- ・授業開始時に行う英単語テストについては、WebClass で英単語を開示するので自分で意味を調べ覚えること。(* 課題に要した時間を記録すること)
- ・最終回の発表課題については、授業時間内での実施時間を用意するが、授業時間外でグループでの活動を行うこと。(* 課題に要した時間を記録すること)

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・2/3 以上の出席を基本とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

参考書

歯科英語／全国歯科技工士教育協議会編；鶴田潤 [ほか] 著、全国歯科技工士教育協議会、鶴田、潤、: 医歯薬出版、2017

Dr. 佐藤とリチャードの臨床で使える歯科英会話 = Dr. Sato and Dr. Richard's Dental English conversation／佐藤尚弘, Richard Foxton 著、佐藤、尚弘、Foxton, Richard、: クインテッセンス出版、2010

備考

本科目は、演習中心の科目となります。

国際的な感覚、視野を持って仕事をするには必ずしも英語ができることだけで実現するものではありません。

積極的に発言すること、楽しむこと、様々な要素とともに英語というツールを活用することが必要となると思います。

新たな知識を得ることを楽しんで受講するようにしてください。

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp

メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023017A						
科目名	ヘルスプロモーション			科目ID	DE-230400-Z		
担当教員	大木 明子, 塩沢 真穂[OKI MEIKO, SHIOZAWA Maho]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 15 時間							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom) 口腔保健学科 (口腔保健衛生学専攻) 相互実習室 (1 号館 8 階) 口腔保健工学専攻 第 2、3 講義室、第 3 実習室							
授業の目的、概要等 ヘルスプロモーションの変遷を知るとともに、その活動プロセスを学び、口腔保健の専門家としてのヘルスプロモーションにおける役割を理解する。							
授業の到達目標 1. ヘルスプロモーションの定義と役割を説明できる。 2. WHO の健康の定義と施策を説明できる。 3. ヘルスプロモーションのアプローチと戦略モデル、展開過程 (計画・実施・評価) を説明できる。 4. 日本人の健康と疾患 (人口動態と死因、生活習慣病) についての背景を説明できる。 5. 人々の健康における問題を自ら発見し、解決する能力を習得する。 6. 歯科医療、口腔保健、健診に関する法律と歯科疾患の実態について説明できる。 7. 口腔健康管理の基礎を理解し、う蝕や歯周病などの疾患の予防法を説明できる。 8. 自分の口腔の状況を認識し、ブラッシング法、フロス、歯磨剤等の使用法について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	6/9	13:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	ヘルスプロモーションとは、施策と活動方法	ヘルスプロモーションとは、背景、ヘルスプロモーションのアプローチと戦略モデル、課題提示	大木 明子	到達目標: 1-4
4-6	6/16	13:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	口腔の健康 口腔疾患の健康管理	口腔の健康、歯科疾患実態調査、口腔疾患と健康、健康管理	大木 明子	到達目標: 3,5,6
7-9	6/23	14:00-16:50	第2講義室、第3講義室	反転授業・課題演習 健康教育とPDCA サイクル	ヘルスプロモーション課題演習 健康教育とPDCA サイクル 討論	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標: 3,5 第2講義室に集合、課題演習グループワーク。事前に課題を行い、準備をしてくること。講義前後に小テスト回答。
10-12	6/30	13:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	課題発表	ヘルスプロモーション課題発表 割り当てられた課題について発表 スライドを作成し発表	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標: 1、3-6 Zoom 発表後に発表スライドを提出 ミーティング
13-15	7/14	14:00-16:50	口腔保健学科相互実習室	口腔健康管理の基礎実習	口腔健康管理、ブラッシング法、フロスや歯磨剤等の使用法について (OH3 との合同実習)	大木 明子, 塩沢 真穂, 近藤 圭子, 安達 奈穂子, 品田 佳世子	到達目標: 7, 8 最初に第3実習室に集合し、一緒に OH の部屋に移動 実習後にレポートを提出

授業方法 講義、グループワーク、課題発表、反転授業、演習、実習 遠隔授業(同期型)のほかに反転授業、演習、実習が含まれます。事前に学習して準備を行うこと。 課題の提出を WebClass にて行うこと。 遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。
授業内容
成績評価の方法 評価は提出課題および期末試験(筆記試験:60 分)によって行う。 ・課題演習は、小テスト(5 点×2)、資料準備(5 点)、課題の発表内容(10 点)による評価を行う(合計 25 点)。課題演習はグループの評価ではなく個人評価である。 ・口腔健康管理実習では、レポートを評価する。(5 点) ・期末試験の配点は 70 点とするが、期末試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。 ・出席状況、授業態度、発表内容、期末試験を総合的に評価する。
成績評価の基準 ・期末試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。 ・配点は、期末試験 70 点、小テスト 10 点、課題演習の資料準備 5 点、課題発表 10 点、口腔健康管理実習レポート 5 点とし、合計 100 点満点で換算する。 ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 反転授業の回では、事前に WebClass に提示された課題について学習してから講義に臨むこと。 衛生学専攻 3 年との合同実習では歯の染めだしを行うので、汚れてもいい服装でくること。指定された期日までに事前調査票を記入し提出すること。最終回の実習では歯磨きについての指導が行われるので、使用している歯ブラシ等清掃用具や歯磨剤など、使用しているものをすべて忘れずに持参すること。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・2/3 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、小テストや演習発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・口腔保健衛生学専攻との合同実習に参加し、レポートを提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
参考書 スタンダード衛生・公衆衛生 = STANDARD PUBLIC HEALTH AND HYGIENE／安井利一, 荒川浩久, 三宅達郎 編集, 安井, 利一, 1951-, 荒川, 浩久, 1952-, 三宅, 達郎.: 学建書院, 2019 歯科発アクトイブライフプロモーション 21 : 健康増進からフレイル予防まで／花田信弘 監著, 武内博朗, 野村義明, 泉福英信 編著, 花田, 信弘, 1953-, 武内, 博朗, 1962-, 野村, 義明, 泉福, 英信.: デンタルダイヤモンド社, 2017 国際保健医療学／日本国際保健医療学会編集 ; 石井明 [ほか] 編集委員, 日本国際保健医療学会, 石井, 明.: 杏林書院, 2005 FACTFULNESS : 10 の思い込みを乗り越え、データを基に世界を正しく見る習慣／ハンス・ロスリング, オーラ・ロスリング, アンナ・ロスリング・ロンランド 著, 上杉周作, 関美和 訳, Rosling, Hans, 1948-2017, Rosling, Ola, 1975-, Rönnlund, Anna Rosling, 1975-, 上杉, 周作, 関, 美和.: 日経 BP 社, 2019 口腔保健・予防歯科学 = Oral Health and Preventive Dentistry／安井利一, 宮崎秀夫, 鶴本明久, 川口陽子, 山下喜久, 廣瀬公治 編, 安井, 利一, 1951-, 宮崎, 秀夫, 1952-, 鶴本, 明久, 1952-.: 医歯薬出版, 2017

他科目との関連 感染予防と一部関連があります。
履修上の注意事項 ・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。特に反転授業、課題演習の回は予習してこないと授業に参加できないので必ず予習をしてくること。 ・口腔健康管理は口腔保健衛生学専攻 3 年との合同実習を行う。授業場所が違うので注意すること。各自、歯ブラシなどの清掃用具、歯磨剤、筆記具を持参し、服装に注意すること。実習に際し事前アンケートが必要になるので指定された期日までに実施して提出すること。衛生学専攻学生からのフィードバック後にレポートを提出すること。
備考 反転授業、演習、実習が含まれます。事前に学習して準備を行うこと。 課題の提出を WebClass にて行うこと。 昨年度授業終了時アンケート結果より、演習を行うのは Zoom ではなく対面での演習とすること、課題演習の評価を個人での評価と明記すること、合同実習を対面で行うこととし、実習内容も再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp 塩沢真穂 助教 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

時間割番号	023559						
科目名	グローバル口腔保健工学			科目ID			
担当教員	青木 和広, JANELLE RENEE MOROSS[AOKI KAZUHIRO, JANELLE RENEE MOROSS]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業							
時間数: 15時間 授業形態: 講義, グループディスカッション							
主な講義場所 2 号館 第 3 講義室 遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等 日本の歯科技工、歯科医療の現況を知り、日本と海外の歯科医療の違いを認識し、海外の口腔保健工学に携わる学生に説明するために必要な基本的な知識を習得する。							
授業の到達目標 1. 日本の文化を説明できる。 2. 日本の歯科医療の歴史、現況、将来展望について説明できる。 3. 海外の歯科医療と日本の歯科医療の違いを説明できる。 4. 東京医科歯科大学を説明できる。 5. 日本の文化、歯科医療、東京医科歯科大学についてのプレゼンテーションを作成できる。 6. 英語で1～4の内容を説明することを考慮したプレゼンテーションを作成できる。 7. グループワークを通じて協力しながらひとつのものを作り出す過程に必要な寛容性を身につける。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/8	10:00-11:50	第3講義室	外国人に紹介する日本、東京医科歯科大学、歯科技工 Preparation for English presentation	海外研修の意義 過去のプレゼンテーション視聴 Talk about topics and what needs to be done	JANELLE RENEE MOROSS, 青木 和広	到達目標 1-5
3-4	10/29	10:00-11:50	遠隔授業(同期型)	グローバル報告会 日程調整中	グローバル報告会に参加	JANELLE RENEE MOROSS, 青木 和広	到達目標:1-7
5	10/29	13:00-13:50	遠隔授業(同期型)	グローバル報告会 日程調整中	グローバル報告会に参加	青木 和広	到達目標:1-7
6-7	11/19	10:00-11:50	第3講義室	外国人に紹介する日本、東京医科歯科大学、歯科技工	紹介すべき項目の列挙と整理	JANELLE RENEE MOROSS, 青木 和広	到達目標:1-7 事前に課題を行い準備をしてくること
8-9	12/3	10:00-11:50	第3講義室	外国人に紹介する日本、東京医科歯科大学、歯科技工	紹介すべき項目の列挙と整理 英語で作成したスライドを準備してグループワーク	JANELLE RENEE MOROSS, 青木 和広	到達目標:1-7 グループワーク 事前に課題を行い準備をしてくること
10-11	12/17	10:00-11:50	第3講義室	外国人に紹介する日本、東京医科歯科大学、歯科技工	英語で作成したスライドを用いた発表 (日本)	JANELLE RENEE MOROSS, 青木 和広	到達目標:1-7 発表 事前に課題を行いスライドを作成すること

12-13	1/21	10:00-11:50	第3講義 室	外国人に紹介する日本、東京医科歯科大学、歯科技工	英語で作成したスライドを用いた発表（医科歯科大学）	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	到達目標:1-7 事前に課題を行いスライドを作成すること
14-15	2/4	10:00-11:50	第3講義 室	外国人に紹介する日本、東京医科歯科大学、歯科技工	英語で作成したスライドを用いた発表（歯科技工）	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	到達目標:1-7 事前に課題を行いスライドを作成すること
授業方法 授業形態:講義, グループディスカッション 遠隔授業(同期型)のほかに演習が行われます。事前に学習して準備を行うこと。 遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言で行ってください。							
成績評価の方法 評価は、出席状況・授業態度(10点)、毎回の課題の準備状況(40点)、提出プレゼンテーションおよび発表(50点)によって行う。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、課題を提示された期限までに提出すること。 ・課題演習、発表内容はグループの評価ではなく個人評価である。							
成績評価の基準 ・合計点数が60点以上のものを合格とする。 ・配点は、出席状況・授業態度(10点)、毎回の課題の準備状況(40点)、提出プレゼンテーションおよび発表(50点)で換算する。 ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。							
準備学習等についての具体的な指示 毎週、英語エッセイを提出する宿題をおこなうこと。 前期の最後に出される課題について、各自調べて英文で資料を準備しておくこと。 事前に資料の配付、WebClassへのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 定期試験の受験資格(課題発表会参加資格) 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・2/3以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。							
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、課題内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること							
連絡先(メールアドレス) 青木 和広: kazu.hpha@tmd.ac.jp JANELLE RENEE MOROSS:jmoross.isc@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 青木 和広: 随時(可能ならば、事前に連絡を入れること)2号館2階 217号室(口腔基礎工学分野) JANELLE RENEE MOROSS:毎週金曜日 PM 12:00-14:00 1号館—4階 教授室							

時間割番号	023510A						
科目名	感染予防			科目ID	DE-231000-L		
担当教員							
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	2		
実務経験のある教員による授業							
時間数: 30 時間 授業形態: 講義・演習 遠隔授業(同期・非同期)							
主な講義場所 遠隔授業(同期型、一部非同期型)、口腔保健学科基礎科学実習室 (1 号館西 7 階)							
授業の目的、概要等 病原微生物の特徴と病原性、口腔および全身の感染症の病因と感染成立の機序および生体の防御反応のしくみ、また発癌の機序について理解し、炎症の理解に基づく感染予防の方法ならびに実際の対処法、特に、歯科医療で必要となる消毒・滅菌の実際と標準予防策について理解する。							
授業の到達目標 授業の到達目標 1. 細菌、ウィルス等による感染について、微生物の病原性を構造、機能、遺伝的因子から説明できる。 2. 感染への生体防御機構を微生物の特性に基づき説明できる。 3. 感染の予防と治療の基礎について説明できる。 4. 口腔に存在する微生物の特徴と感染症について説明できる。 5. 感染予防の方法と限界について説明できる。 6. 感染を予防する手洗いができる。 7. 抗感染症薬について説明できる。 8. 疫学の成り立ちと疫学の基礎的用語について説明できる。 9. 歯科医療現場で遭遇する感染症について説明できる。 10. 歯科技工操作における感染予防・安全対策の対処法が説明できる。 11. 細菌をグラム染色し、陽性が陰性が判定できる。 12. COVID－19 対策など、感染症対策を自ら考えることができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/7	15:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	微生物と疾病、病原性微生物	微生物の特徴、病原性微生物細菌、ウィルス、真菌の特徴	鈴木 敏彦	到達目標:1
4-6	4/14	15:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	病原微生物と感染症	グラム陽性菌・陰性菌と感染症、ウィルス感染症	齋藤 良一	到達目標:2,3
7-9	4/21	15:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	感染に対する生体防御機構(その1)	宿主防御機構と免疫	永井 重徳	到達目標:3
10-12	4/28	15:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	感染に対する生体防御機構(その2)	宿主防御機構と免疫	永井 重徳	到達目標:3
13-15	5/26	11:00-14:50	遠隔授業 (非同期型)	口腔の微生物と感染症	口腔細菌叢、プラーク、う蝕、歯髄炎、歯周病ほか	竹内 康雄	到達目標:4, 11

16-17	5/26	15:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	感染予防・消毒材料の 開発	除菌・抗菌作用、バイオフィルム形 成阻止材料	二川 浩樹	到達目標::1- 5
18-20	6/2	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期 型)	滅菌、消毒法と感染対策	洗浄、消毒、滅菌と歯科における 感染対策	飯野 由子	到達目標::1,3,5, 9,10
21-22	6/23	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期 型)	疫学の基礎	感染症と疫学、オッズ比、擬陽性 等、疫学用語の理解	相田 潤	到達目標::8
23-24	6/30	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	抗感染症薬	化学療法薬、抗真菌薬、抗ウイル ス薬、PCR の原理	青木 和広	到達目標::7
25-27	7/7	13:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	疫学演習	感染症対策演習	相田 潤、青 木 和広	到達目標::1-10、 12 宿題を行った 上で参加すること 感染症対策演習
28-30	7/21	09:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	細菌観察の実際 (OH との合同実習)	細菌のグラム染色(口腔内細菌も 含む)	鈴木 敏彦、 芦田 浩、鈴 木 志穂	OH 合同実習

授業方法

遠隔授業(同期・非同期)Zoom での演習(7/7)対面での実習(7/14)

成績評価の方法

評価は確認テスト、発表、実習レポートおよび期末試験(筆記試験:60 分)によって行う。

- ・確認テスト(22 点)、感染症対策演習発表スライド提出(14 点)、微生物実習レポート(14 点)による評価を行う(合計 50 点)。
- ・期末試験(筆記試験)の配点は 50 点とするが、期末試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。

評価を行う。

成績評価の基準

- ・期末試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。
- ・配点は、筆記試験(50 点)、確認テスト(22 点)、感染症対策演習発表スライド提出(14 点)、微生物実習レポート(14 点)とし、合計 100 点満点で換算する。
- ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・2/3 以上の出席を基本とする。
- ・遠隔授業(非同期型)に出席し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。
- ・遠隔授業(同期型)に出席すること。
- ・まとめとなる 7/7, 7/14 の演習、実習はかならず出席すること。
- ・やむを得ない理由で欠席する場合は、メールで連絡後、実習相当のレポート課題の提出を求め、評価を行い、試験の受験資格を認めることとする。

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp

メールにて面談の日程を調整すること

それぞれの担当教員への質問は掲示板を使って下さい。

時間割番号	023514						
科目名	う蝕と歯周病				科目ID	DE-251400-L	
担当教員							
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 15時間 授業形態: 講義							
主な講義場所 遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等 う蝕の原因と歯の実質欠損病態およびその治療法を理解する。また、歯周病の原因、病態、治療法の概要について理解する。							
授業の到達目標 1. 保存修復の全体像を説明できる。 2. う蝕の診断と処置が技工操作に与える影響について説明できる。 3. 接着材料と技術について説明できる。 4. 歯周病の全体像を説明できる。 5. 審美修復材料について説明できる。 6. 歯周病の診断と処置と歯科技工物との関係について説明できる。 7. 修復物の予後と2次う蝕の予防について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/14	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	保存修復概論	硬組織疾患の診断と処置、不潔域、自浄作用	井上 剛	到達目標 1～3
3-4	4/21	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	う蝕	う蝕の診断と処置、切削装置	井上 剛	到達目標 1～3
5-6	4/28	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	う蝕	硬組織、窩洞の名称と分類、窩洞形態	井上 剛	到達目標 1～3
7-8	5/11	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	歯周病学概論	歯周病の治療法	竹内 康雄	到達目標 4,6
9-10	5/12	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	接着性コンポジット レジン修復	材料、接着の基礎(歯質との接着)、臨床術式	井上 剛	到達目標 3,5,7
11-12	5/18	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	歯周病	歯周病の病因と病態	岩田 隆紀	到達目標 4,6
13	5/19	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	審美性間接修復 材料の透過性演習	材料、接着の基礎、レジンインレー、ポーセレンインレー、CAD/CAM、ラミネートベニア、ホワイトニング 細菌付着ディスカッション 光照射演習	池田 正臣	到達目標 3,5,7 細菌付着ディスカッション 光照射演習
14-15	6/18	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	メンテナンス ディスカッション	う蝕予防、修復物の予後	井上 剛	到達目標 3,5,7
授業方法 講義、光重合演習 遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールにて質問すること。授業担当者より授業時間中・メールにて回答する。							
成績評価の方法 ・出席状況(10 点)、ディスカッションへの参加度(10 点)、期末試験(80 点)で総合的に評価する。 ・期末試験が 60%未満の場合は再試験とする。							

成績評価の基準 ・期末試験の点数が 60% 以上のものを合格とする。 ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。講義は基本的に遠隔授業(同期型)で行います。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・2/3 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行う
教科書 歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations／全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦] [ほか] [著],末瀬 一彦, 1951-,全国歯科技工士教育協議会,: 医歯薬出版, 2017
参考書 接着歯学 = Adhesive dentistry／日本接着歯学会 編,日本接着歯学会,: 医歯薬出版, 2015
備考 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 池田正臣 ikeda.csoe@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

時間割番号	023560						
科目名	口腔医学の基礎			科目ID			
担当教員							
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	2		
実務経験のある教員による授業							
時間数: 30 時間							
授業形態: 講義と実習							
遠隔授業(同期型、非同期型)、医学部解剖実習室(3 号館地下)							
主な講義場所							
遠隔授業(同期型、非同期型)、医学部解剖実習室(3 号館地下)							
授業の目的、概要等							
歯の形態を知り、顎・顔面・口腔領域の骨格、筋、神経支配、脈管およびその発生過程、口腔器官の組織を理解する。人体の解剖実習を通じて、医療に携わるものとしての心構えを身につける。							
授業の到達目標							
1. 歯の生物学的特性、歯の外形と内形を説明できる。							
2. 歯の種類と名称を列挙できる。							
3. 歯の記号と歯式の表示法を説明できる。							
4. 歯の方向と部位を表す用語を説明できる。							
5. 歯の形態を説明できる。							
6. 歯の植立様式を説明できる。							
7. 永久歯の形態的特徴を列挙できる。							
8. 乳歯の形態的特徴を列挙できる。							
9. 歯の数、形態および色の異常について説明できる。							
10. 頭頸部、口腔を構成する主要な骨、頭蓋骨について説明できる。							
11. 頭頸部の主要な筋の形態と機能を説明できる。							
12. 顎口腔の神経支配を理解する。							
13. 口腔領域に分布する脈管系を理解できる。							
14. 口腔と口蓋の構造と機能および発生について理解できる。							
15. 歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。							
16. 歯の組織の基本的構造を説明できる。							
17. 歯周組織の基本構造を説明できる。							
18. 歯と歯周組織の加齢変化を説明できる。							
19. 3 次元的身体構造を理解できる。							
20. 医療人、あるいは医療を支える人を目指す心構えを身につける。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/5	15:00-16:50	遠隔授業 (非同期型)	歯の形態 永久歯の形態 1	上下左右の鑑別 1 年最終講義を聞き直し 中切歯 余裕があれば 側切歯・犬歯	青木 和広	到達目標:1-7 終了後に中切歯に関して小テストを実施 (課題に対して、ひとり Zoom で録画し、URL を WebClass にアップする。)
3-4	4/12	09:00-10:50	遠隔授業	永久歯の形態 2	小臼歯	青木 和広	到達目標:1-7

			(非同期型)				終了後に小テストを実施
5-6	4/19	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	永久歯の形態3	大臼歯	青木 和広	到達目標:1-7 終了後に小テストを実施
7	4/26	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	歯の鑑別テスト	歯の鑑別(中間テスト)	青木 和広	到達目標:1-7 テストを実施
8	4/26	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	乳歯の形態1	乳歯の特色、乳切歯	青木 和広	到達目標:1-8 終了後に小テストを実施
9-10	5/10	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	乳歯の形態2 歯の多様性	乳犬歯、乳臼歯 歯の形態の多様性	青木 和広	到達目標:1-9 終了後に小テストを実施
11	5/10	13:00-13:50	遠隔授業 (非同期型)	人体解剖見学準備	歯学科人体解剖実習の準備	青木 和広	到達目標:19, 20 終了後に小テストを実施
12	5/10	16:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	人体解剖見学	歯学科人体解剖実習の見学	青木 和広	到達目標:19, 20 歯学科人体解剖実習の見学 終了後にレポート提出
13-15	5/24	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	頭蓋の骨	頭蓋骨、口腔を構成する骨、頭蓋の全景	坂本 裕次郎	到達目標:10
16-18	5/31	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	頭頸部の筋、顎関節	顔面筋(表情筋)、咀嚼筋、舌筋、舌骨筋群(舌骨上筋群、舌骨下筋群)、頸部の筋、顎関節の構造と機能	坂本 裕次郎	到達目標:11
19-21	6/7	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	頭頸部の骨、筋肉の観察、頭頸部の神経	頭頸部の骨と筋肉の観察、脳神経、頭頸部に分布する脊髄神経、自律神経	坂本 裕次郎	到達目標:12
22-24	6/14	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	頭頸部の神経、口腔付近に分布する脈管系	脳神経、頭頸部に分布する脊髄神経、自律神経、動脈系、静脈系、リンパ系	坂本 裕次郎	到達目標:13
25-26	6/21	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	発生1	口腔、口蓋、舌の発生、歯の発生	坂本 裕次郎	到達目標:14,15
27-28	7/5	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	発生2、口腔組織1	歯の発育および交換の過程、歯の組織の基本構造	坂本 裕次郎	到達目標:14-16
29-30	7/19	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	口腔組織2	歯周組織の基本構造 歯と歯周組織の加齢変化	坂本 裕次郎	到達目標:16-18

授業方法

講義、実習、TBL方式講義

前の講義内容、あるいは、WebClassにアップしている教材を勉強しておき、次の授業にテストを行うことがある(反転授業)。また、前の講義を受けて発表をしてもらうこともあるので、PCを準備しておくこと(前もって指示する)。

遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、授業担当者にメールで質問、メールで回答とします。

遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールにて質問すること。授業担当者より授業時間中・メールにて回答する。

成績評価の方法

評価は提出課題および期末試験(筆記試験:90分)によって行う。

・課題提出は、提出レポートや小テストなど提出物(20 点)により評価する。 ・期末試験は歯の鑑別テスト、客観試験、論述試験(70 点)により評価する。 ・出席状況、授業態度(10 点)を加えて総括的に評価する。 ・期末試験の配点は 70 点とするが、歯の鑑別テストは7割未満の場合は再試験とする。さらに期末試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。筆記テストを含めて 6 割以上でも鑑別テストが 7 割以上とれない場合は、鑑別テストのみ再試験とする。 なお、筆記テストは CBT を含みます。
成績評価の基準 ・歯の鑑別テストが 70 点以上、かつ、期末試験が 60 点以上のものを合格とする。 ・配点は、期末試験 70 点、提出課題が 20 点(提出レポートや小テストなど)、出席状況、授業態度(10 点)とし、合計 100 点満点で換算し、この科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・2/3 以上の出席を受験資格とする。 ・遠隔授業(非同期型)に出席し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。 ・非同期講義では、ビデオ視聴記録が確認できても、小テスト(確認テスト)に回答がなければ欠席となります。
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、講義、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp 坂本 裕次郎 y.sakamoto.bsos@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023561						
科目名	全身疾患と治療の基礎			科目ID			
担当教員	天野 均[AMANO Hitoshi]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	3		
実務経験のある教員による授業							
時間数: 45時間							
授業形態: 講義と実習							
遠隔授業(同期型)、口腔保健学科基礎科学実習室 (1号館西 7階)							
主な講義場所							
遠隔授業(同期型)、口腔保健学科基礎科学実習室 (1号館西 7階)							
授業の目的、概要等							
薬の作用を規定する要因に対して理解をした土台の上で、全身疾患の病因に基づく薬物開発過程と全身疾患の治療法について理解する。生きた動物を用いた生理・薬理学実習や顎顔面の解剖実習を通じて、医療に携わるものとしての心構えを身につける。							
授業の到達目標							
1. 基礎医学(解剖学、生理学、生化学、病理学、微生物学、免疫学)と臨床医学との架け橋である薬理学について説明できる。							
2. 多職種連携になぜ薬理学が必要かを説明できる。							
3. オーダーメイド医療について説明できる。							
3. 薬理作用の種類を説明できる。							
4. 薬物受容体と細胞内情報伝達系について説明できる。							
5. 薬物の構造活性相関について説明できる。							
6. 薬物の投与方法とその特徴について説明できる。							
7. 薬物の生体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)について説明できる。							
8. 薬理作用を規定する要因について説明できる。							
9. 薬物の連用および併用に伴う現象について説明できる。							
10. ライフステージと薬の効果について説明できる。							
11. 痛みに対する薬物に関して説明できる。							
12. 循環器・血液系の病気とその治療に関して説明できる。							
13. 自律神経系と運動神経の病気とその治療に関して説明できる。							
14. 内分泌系・免疫系の病気とその治療について説明できる。							
15. 唾液腺の病気と治療について説明できる。							
16. 臨床検査、口腔内の生理的検査に関して説明できる。							
17. 中枢神経系の病気と治療および全身麻酔薬について説明できる。							
18. 硬組織内時刻描記法と硬組織に作用する薬物について説明できる。							
19. 頭頸部、口腔を構成する主要な骨、頭蓋骨について説明できる。							
20. 頭頸部の主要な筋の形態と機能を説明できる。							
21. 顎口腔の主な神経支配を説明できる。							
22. 口腔領域に分布する主な脈管系を説明できる。							
23. 3次元的身体構造を理解できる。							
24. 医療人、あるいは医療を支える人を目指す心構えを身につける。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/4	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	生体と薬物1	薬理学の基礎、薬力学、薬物動態学、オーダーメイド医療	青木 和広	到達目標:1-3
2	10/4	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	生体と薬物2	薬の使用目的とその作用、受容体と薬物	青木 和広	到達目標:1-3
3	10/11	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	生体と薬物3	薬物の適用方法、薬物の生体内変化	青木 和広	到達目標:1-3

4	10/11	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	生体と薬物4	薬物の吸収、分布、代謝、排泄	青木 和広	到達目標:1-3
5	10/18	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	生体と薬物5	薬物の生物学的検定法、用量反応 曲線	青木 和広	到達目標:1-3
6	10/18	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	生体と薬物6	薬理作用を規定する要因、薬物の 反復、構造活性相関	青木 和広	到達目標:1-3
7	10/18	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	生体と薬物7	ライフステージと薬物	青木 和広	到達目標:1-3
8-10	10/25	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 1 病理学 1	「病理学序論」「炎症・感染症」	栢森 高	到達目標:4、5
11-13	11/1	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 2 病理学 2	「腫瘍総論」「口腔領域の腫瘍」	栢森 高	到達目標:6
14	11/8	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 3 痛みと薬物	麻薬性鎮痛薬、非麻薬性鎮痛薬、 解熱鎮痛薬	青木 和広	到達目標:7
15	11/8	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 4 抗炎症薬	非ステロイド性抗炎症薬、ステロ イド性抗炎症薬、	青木 和広	到達目標:7
16	11/15	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 5 呼吸器系 の薬理	鎮咳薬、去痰薬、気管支拡張薬、 喘息治療薬、呼吸促進	田村 幸彦	到達目標:8
17	11/15	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 6 消化器系 の薬理	食欲・消化作用薬、消化性潰瘍治 療薬、胃腸運動改善薬、腸疾患作 用薬	田村 幸彦	到達目標:8
18	11/22	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 7 末梢神経 系の生理	神経伝達物質、自律神経系、運動 神経系	青木 和広	
19	11/22	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 8 中枢神経 系の薬理その 1	全身麻酔薬、睡眠薬、向精神薬、 抗不安薬の種類と特徴	田村 幸彦	
20	11/29	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 9 末梢神経 系の薬理	神経伝達物質、自律神経系作用 薬、運動神経系作用薬	青木 和広	到達目標: 9
21	11/29	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 10 循環器 系の薬理	高血圧の治療薬	青木 和広	到達目標: 9
22-25	12/3	13:00-16:50		実習 1 「中枢神経系の 薬理」	中枢神経抑制薬(麻酔薬) 薬剤 感受性の個体差 ED50	青木 和広 田村 幸彦 菅森 泰隆 天野 均	到達目標:1, 4, 12 終了後に実習レ ポートを提出 OH2 と合同実習
26	12/6	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 11 中枢神 経系の薬理その 2	AL(演習)・講義 中枢神経興奮薬、 抗てんかん薬、パーキンソン病治 療薬、アルツハイマー病治療薬の 種類と特徴	田村 幸彦	到達目標:13, 18 OH2 と合同講義
27	12/6	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 12 末梢神 経系作用薬物	AL(演習)・TBL 方式の講義 神経 伝達物質、自律神経系作用薬、運 動神経系作用薬。・授業参加前に 予習が必要です。WebClass に教 材をアップします。	青木 和広	到達目標:13 OH2 と合同講義
28	12/6	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 13 硬組織 に作用する薬物	カルシウム代謝薬・骨吸収抑制 薬・骨形成促進薬・骨質改善薬	青木 和広	到達目標:18 OH2 と合同講義
29-32	12/10	13:00-16:50		実習 2 「硬組織の生 理・薬理」	全身臓器の確認 硬組織研磨標 本の作製 硬組織内時刻描記法 により、象牙質の形成、歯槽骨の 成長、脛骨、大腿骨の成長、およ び 骨吸収抑制剤の効果を評価	青木 和広 田村 幸彦 菅森 泰隆 天野 均	到達目標:18, 24 終了後に実習レ ポートを提出 OH2 と合同実習

					する		
33	12/13	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)		循環器系と血液の病気と治療	青木 和広	
34	12/13	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)		循環器系と血液の病気と治療	青木 和広	
35	12/13	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)		内分泌系・免疫系の病気と治療 中枢神経系と全身麻酔薬 硬組織の病気と治療 (カルシウム代謝薬、骨代謝薬・骨質改善薬) 骨形成促進薬の開発	青木 和広	
36-37	12/20	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	疾病と治療 7	唾液腺の病気と治療、臨床検査	樺沢 勇司	到達目標:10, 11
38-39	1/17	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)		臨床検査	樺沢 勇司	到達目標:12, 13
40-42	1/24	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)			青木 和広	
43-45	2/10	09:00-11:50		頭頸部の解剖	頭頸部の解剖実習見学	青木 和広、 坂本 裕次郎	到達目標:14-20 頭頸部の解剖実習見学
授業方法 TBL方式の講義も導入する。 前の講義内容、あるいは、WebClassにアップしている教材を勉強しておき、次の授業にテストを行うことがある(反転授業)。また、前の講義を受けて発表をしてもらうこともあるので、PCを準備しておくこと(前もって指示する)。動物実習のために必要な実験手技をシミュレーション教材として WebClass にアップするので、必ず予習してくること。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、演習発表資料、レポートなどの課題を提示された期限までに提出すること。							
成績評価の方法 出席状況、授業態度(10 点)、提出レポートや小テストなど提出物(20 点)による平常点、および期末テスト(70 点)で総合的評価を行う。なお、期末テストが 6 割未満の者は再試験となる。							
成績評価の基準 ・出席状況、授業態度(10 点)、提出レポートや小テストなど提出物(20 点)による平常点、および期末テスト(70 点)で総合的評価を行う。なお、期末テストが 6 割未満の者は再試験となる。 ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・2/3 以上の出席を受験資格とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。							
参考書 現代歯科薬理学／青木和広 [ほか] 編大谷、啓一監修:医歯薬出版、2018 ヒューマンボディ：からだの不思議がわかる解剖生理学／Barbara Herlihy 著；片桐康雄 [ほか] 監訳Herlihy, Barbara, Maebius, Nancy K., 片桐, 康雄飯島, 治之, 片桐, 展子, 尾岸, 恵三子, エルゼビア・ジャパン, 2008							
備考							

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp

メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023520A						
科目名	歯の形態基礎実習			科目ID			
担当教員							
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 第3実習室							
授業の目的、概要等 補綴装置製作の基本となる天然歯の形態を的確に彫刻再現できる技術力を養い、種々の補綴装置製作における基礎的造形能力を身につける。							
授業の到達目標 歯科技工の基本となる歯の形態を学習し、それを彫刻により再現できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/13	10:00-11:50	第3実習室	ワックス彫刻の進め方	道具の使い方, 材料の扱い方, 幾何学的形態の課題でワックス彫刻の進め方	岩崎 直彦, 塩沢 真穂	到達目標:1
3-4	4/20	10:00-11:50	第3実習室	1.2 倍歯模型での彫刻	上顎右側中切歯	岩崎 直彦, 塩沢 真穂	到達目標:2.8
5-6	4/27	10:00-11:50	第3実習室	1.2 倍歯模型での彫刻	上顎右側中切歯	岩崎 直彦, 塩沢 真穂	到達目標:2.8 実習作品の提出
7-8	5/13	10:00-11:50	第3実習室	1.2 倍歯模型での彫刻	上顎右側犬歯	岩崎 直彦, 塩沢 真穂	到達目標:2.8
9-10	5/20	10:00-11:50	第3実習室	1.2 倍歯模型での彫刻	上顎右側犬歯,下顎右側犬歯	岩崎 直彦, 塩沢 真穂	到達目標:2.8 実習作品の提出
11	5/25	10:00-10:50	第3実習室	1.2 倍歯模型での彫刻	下顎右側犬歯、	岩崎 直彦, 塩沢 真穂	到達目標:2.8 実習作品の提出
12-13	5/27	10:00-11:50	第3実習室	1.2 倍歯模型での彫刻	上顎右側第一小臼歯	岩崎 直彦, 塩沢 真穂	到達目標:3.8
14-15	6/1	10:00-11:50	第3実習室	1.2 倍歯模型での彫刻	上顎右側第一小臼歯	岩崎 直彦, 塩沢 真穂	到達目標:4.8 実習作品の提出
16-17	6/3	10:00-11:50	第3実習室	1.2 倍歯模型での彫刻	上顎右側第二小臼歯	岩崎 直彦, 塩沢 真穂	到達目標:4.8
18-19	6/8	10:00-11:50	第3実習室	1.2 倍歯模型での彫刻	上顎右側第二小臼歯	岩崎 直彦, 塩沢 真穂	到達目標:4.8 実習作品の提出
20-21	6/10	10:00-11:50	第3実習室	1.2 倍歯模型での彫刻	下顎右側第一小臼歯	岩崎 直彦, 塩沢 真穂	到達目標:3.8
22-23	6/15	10:00-11:50	第3実習室	1.2 倍歯模型での彫刻	下顎右側第一小臼歯	岩崎 直彦, 塩沢 真穂	到達目標:3.8 実習作品の提出
24-25	6/17	10:00-11:50	第3実習室	1.2 倍歯模型での彫刻	下顎右側第二小臼歯	岩崎 直彦, 塩沢 真穂	到達目標:5.8
26-27	6/22	10:00-11:50	第3実習室	1.2 倍歯模型での彫刻	下顎右側第二小臼歯	岩崎 直彦, 塩沢 真穂	到達目標:5.8 実習作品の提出
28-29	6/24	10:00-11:50	第3実習室	1.2 倍歯模型での彫刻	上顎右側第一大臼歯	岩崎 直彦, 塩沢 真穂	到達目標:5.8
30-31	6/29	10:00-11:50	第3実習室	1.2 倍歯模型での彫刻	上顎右側第一大臼歯	岩崎 直彦, 塩沢 真穂	到達目標:6.8 実習作品の提出

32-33	7/1	10:00-11:50	第3実習室	1.2 倍歯模型での彫刻	下顎右側第一大臼歯	岩崎 直彦	到達目標:6.8
34-35	7/6	10:00-11:50	第3実習室	1.2 倍歯模型での彫刻	下顎右側第一大臼歯	岩崎 直彦	到達目標:7.8 実習作品の提出
36-37	7/8	10:00-11:50	第3実習室	1.2 倍歯模型での彫刻	上顎左側第一大臼歯	岩崎 直彦	到達目標:7.8
38-39	7/13	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	上顎左側第一大臼歯	岩崎 直彦	到達目標:6.8 実習作品の提出
40-41	7/15	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	下顎左側第一大臼歯	岩崎 直彦	到達目標:6.7,8
42-43	7/20	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	下顎左側第一大臼歯	岩崎 直彦	到達目標:7.8 実習作品の提出
44-45	7/27	10:00-11:50	第3実習室	カービング・コンテスト	カービング・コンテスト	岩崎 直彦	到達目標:6.7

授業方法

歯型をワックス棒から削り出して製作する実習を行う。
実習最終日に、カービング・コンテストに参加して実習成果を確認する。

授業内容

実習に出席し、時間内に製作物を提出すること。
特別に勘案すべき事情があるために実習に参加できない場合には、その事情とともに授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。その場合、提出物は、科目責任者の示す期限までに提出する。

成績評価の方法

実習の評価は、歯型彫刻提出作品および期末試験(歯型彫刻実技試験:60 分)によって行う。
・各課題ごとの提出作品(11 本)の唇・頬側面、隣接面、舌側面、咬合面、全体 :60 点による評価
・期末の実技試験:唇・頬側面、隣接面、舌側面、咬合面、全体 (20 点)
について評価し、出席状況(10 点)および授業態度(10 点)を加味し、合計点数を成績とする。

成績評価の基準

・期末の実技試験の点数が 60 点以上の者を合格とする。
・期末の実技試験が 60 点未満の場合は再試験とする。
・実習で製作した作品(配点 60 点)と期末試験(配点 20 点)、出席(配点 10 点)、授業態度(配点 10 点)とし、合計 100 点満点で換算し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておくこと。
Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておくこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。
・3/4 以上の出席を基本とする。
・実習に出席し、提示された期限までに歯型彫刻作品を提出すること。

教科書

口腔・顎顔面解剖学 = Oral and Maxillofacial Anatomy / 全国歯科技工士教育協議会 編集 脇坂聡、杉田順弘、市川博之、里田隆博、木暮ミカ 著 脇坂 聡、杉田 順弘、市川 博之、全国歯科技工士教育協議会、: 医歯薬出版、2016

参考書

歯の解剖学／藤田恒太郎原著,藤田, 恒太郎,桐野, 忠大,山下, 靖雄,:金原出版, 1995

履修上の注意事項

事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

備考

実習時には、テキストプリントを配布しません。各自 Webclass よりダウンロードして用意してください。

前年度の実習進展度を考慮し、彫刻部位、各歯の作業時間の調整を行っています。

担当教員のオフィスアワー

岩崎 直彦 メールにて日時を相談 iwasaki.bmoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023521A						
科目名	歯の形態実習			科目ID	DE-252000-E		
担当教員							
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 第3 実習室							
授業の目的、概要等 歯の形態基礎実習で学習した造形技術を元に、天然歯の形態をさらに精密に彫刻再現できる技術力を向上させ、種々の補綴装置製作におけるさらに高度な造形能力を身につける。							
授業の到達目標 1. 模刻による歯型彫刻法を習得する。 2. 歯冠から歯根への移行形態の重要性を説明する。 3. 上下顎前歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現する。 4. 上下顎小臼歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現する。 5. 上下顎大臼歯の形態的特徴を理解し、彫刻により再現する。 6. 天然歯のエナメル質、象牙質の構成と特徴を理解し表現する。 7. 石膏による彫刻法を習得する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/5	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	上顎左側中切歯	岩崎 直彦	到達目標:1.3
3-4	10/6	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	上顎左側中切歯 上顎左側側切歯	岩崎 直彦	到達目標:1.3 実習作品の提出
5-6	10/13	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	上顎左側側切歯	岩崎 直彦	到達目標:1.3 実習作品の提出
7-8	10/19	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	下顎右側中切歯	岩崎 直彦	到達目標:1.3 実習作品の提出
9-10	10/20	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	下顎右側側切歯	岩崎 直彦	到達目標:1.3 実習作品の提出
11-12	10/26	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	上顎左側犬歯	岩崎 直彦	到達目標:1.3
13-14	10/27	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	下顎左側犬歯	岩崎 直彦	到達目標:1.3 実習作品の提出
15-16	11/2	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	上顎左側第一小臼歯	岩崎 直彦	到達目標:1.4
17-18	11/9	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	上顎左側第一小臼歯 上顎左側第二小臼歯	岩崎 直彦	到達目標:1.4 実習作品の提出
19-20	11/10	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	上顎左側第二小臼歯	岩崎 直彦	到達目標:1.4 実習作品の提出
21-22	11/16	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	下顎右側第一小臼歯	岩崎 直彦	到達目標:1.5
23-24	11/17	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	下顎右側第一小臼歯 下顎右側第二小臼歯	岩崎 直彦	到達目標:1.5 実習作品の提出
25-26	11/24	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	下顎右側第二小臼歯	岩崎 直彦	到達目標:1.5 実習作品の提出

27-28	11/30	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	上顎左側第一大臼歯(石膏彫刻)	岩崎 直彦	到達目標:1.5
29-30	12/7	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	上顎左側第一大臼歯(石膏彫刻)	岩崎 直彦	到達目標:1.5 実習作品の提出
31-32	12/8	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	上顎左側第二大臼歯(石膏彫刻)	岩崎 直彦	到達目標:1.4
33-34	12/14	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	上顎左側第二大臼歯(石膏彫刻)	岩崎 直彦	到達目標:1.4 実習作品の提出
35	12/15	10:00-10:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	下顎右側第一大臼歯(石膏彫刻)	岩崎 直彦	到達目標:1.5
36-37	12/21	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	下顎右側第一大臼歯(石膏彫刻) 下顎右側第二大臼歯(石膏彫刻)	岩崎 直彦	到達目標:1.5 実習作品の提出
38-39	1/11	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	下顎右側第二大臼歯(石膏彫刻)	岩崎 直彦	到達目標:1.5
40-41	1/18	10:00-11:50	第3実習室	1.2 倍歯模型での彫刻	下顎右側第二大臼歯(石膏彫刻)	岩崎 直彦	到達目標:1.6 実習作品の提出
42-43	1/25	10:00-11:50	第3実習室	1.2 倍歯模型での彫刻	カラーワックスによる色調表現	岩崎 直彦	到達目標:1.6
44-45	2/1	10:00-11:50	第3実習室	等倍歯模型での彫刻	カラーワックスによる再現実習	岩崎 直彦	到達目標:1.7 実 習作品の提出

授業方法

歯型をワックスまたは石膏棒から削り出して製作する実習を行う。

授業内容

実習に出席し、時間内に製作物を提出すること。

特別に勘案すべき事情があるために実習に参加できない場合には、その事情とともに授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。その場合、提出物は、科目責任者の示す期限までに提出する。

成績評価の方法

実習の評価は、、彫刻作品によって行う。(唇・頬側面、隣接面、舌側面、咬合面、全体 :60 点)に期末の実技試験(20 点)を加えて実習点とする。

実習点に出席状況(10 点)および授業態度(10 点)を加味し総合的評価を行う。

成績評価の基準

合計点 60 点以上を合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておくこと。

Web Class に資料がアップされているときには、事前に確認しておくこと。

試験の受験資格

- ・定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。
- ・3/4 以上の出席。

教科書

口腔・顎顔面解剖学 = Oral and Maxillofacial Anatomy／全国歯科技工士教育協議会 編集脇坂聡、杉田順弘、市川博之、里田隆博、木暮ミカ 著、脇坂 聡、杉田 順弘、市川 博之、全国歯科技工士教育協議会.: 医歯薬出版、2016

参考書

歯の解剖学／藤田恒太郎原著、藤田 恒太郎、桐野 忠大、山下 靖雄.: 金原出版、1995

履修上の注意事項

事前に資料の配布、Web Class へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

備考

実習時には、テキストプリントを配布しません。各自 Webclass よりダウンロードして用意してください。

前年度の実習進展度を考慮し、彫刻部位、各歯の作業時間の調整を行っています。

時間割番号	023522						
科目名	咬合学			科目ID	DE-252200-L		
担当教員	大木 明子, 塩沢 真穂[OKI MEIKO, SHIOZAWA Maho]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 15 時間							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom) 2 号館第 3 実習室							
授業の目的、概要等 顎口腔系の形態と機能の特徴を理解し、それらを適切に回復、維持するための基礎となる咬合に関する学理と技法を習得する。							
授業の到達目標 1. 顎口腔系の形態を説明できる。 2. 顎口腔系の機能を説明できる。 3. 下顎位の定義とその臨床的意義を説明できる 4. 下顎運動の種類と特徴を説明できる。 5. 下顎運動範囲を説明できる。 6. 咬合器の種類と特徴を説明できる。 7. 咬合器の調節方法を説明できる。 8. フェイスボウの意義を説明できる。 9. 咬合干渉の種類と原因を説明できる。 10. 咬頭嵌合位と偏心位における咬合接触を説明できる。 11. 有床義歯の咬合様式を説明できる。 12. ゴシックアーチ描記装置を製作し、ゴシックアーチによる水平的顎間関係記録を理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/12	16:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	顎口腔系の形態と機能	顎口腔系の概念、顎口腔系の形態的特徴と機能、基準点と基準面、咬合に関係する平面	鈴木 哲也	到達目標: 1,2
3-4	4/19	16:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	下顎位、下顎運動	各下顎位の定義、各下顎位の臨床的意義、下顎運動の種類と特徴、下顎運動範囲、切歯点の運動と顎頭運動の対応	鈴木 哲也	到達目標: 3-5
5-8	5/11	13:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	咬合器の種類、フェイスボウトランスファー	咬合器の種類と特徴、咬合器の調節方法、フェイスボウトランスファーの意義、	大木 明子	到達目標: 6-9
9-10	5/19	13:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	歯の接触様式、有床義歯の咬合	咬合の種類、咬合干渉の種類と原因、咬合検査 義歯(全部床義歯)に付与する咬合	大木 明子	到達目標: 10-11
11	5/25	11:00-11:50	第3実習室	ゴシックアーチ(実習)	ゴシックアーチの製作	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:12
12-15	5/25	13:00-16:50	第3実習室	ゴシックアーチ(実習)	ゴシックアーチの製作 ゴシックアーチ描記	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:12 実習作品の提出
授業方法 講義および実習 遠隔授業(同期型)のほかにゴシックアーチ製作実習があります。 事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。実習前に動画資料を視聴して予習しておくこと。							

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。
成績評価の方法 評価は提出作品および期末試験(筆記試験: 60 分)によって行う。 ・提出作品は、ゴシックアーチ(上下装置: 描記装置の位置・基礎床・概形・舌側の形態)による評価を行う(計 20 点)。 ・期末試験の配点は 80 点とするが、期末試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。
成績評価の基準 ・期末試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。 ・配点は、期末試験 80 点、ゴシックアーチ 20 点とし、合計 100 点満点で換算する。 ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。講義は基本的に遠隔授業(同期型)、実習は実習室で行います。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・2/3 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・実習に参加し、プロダクトを提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
教科書 顎口腔機能学 = Stomatognathic Function Science / 全国歯科技工士教育協議会 編集, 志賀博, 町博之, 小泉順一, 竹井利香 著, 志賀, 博, 町, 博之, 小泉, 順一, 全国歯科技工士教育協議会, 医歯薬出版, 2016
他科目との関連 全部床義歯工学、全部床義歯工学実習と連動しています。
履修上の注意事項 講義部分は遠隔授業(同期型)で、ゴシックアーチは実習を行います。
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp 塩沢真穂 助教 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp 鈴木哲也 特任教授 メールにて日時を相談 suzuki.peoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023526A						
科目名	口腔保健理工学		科目ID	DE-252600-L			
担当教員							
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	3		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
Zoom(同期型、非同期型)							
授業の目的、概要等							
歯科技工で用いられている材料の基礎的な物理的、化学的知識を修得する。歯科技工で用いる各種の歯科材料・器械について、扱う上で必要な知識を修得する。							
授業の到達目標							
1. 物質の構造、基本単位を説明できる。							
2. 無機材料の特性を理解してその特徴について説明できる。							
3. 金属材料の特性を理解してその特徴について説明できる。							
4. 高分子材料の特性を理解してその特徴について説明できる。							
5. 複合材料の定義と分類を説明できる。							
6. 歯科用ワックスについて説明できる。							
7. 歯科材料の物理的・化学的性質について説明できる。							
8. 歯科材料の生物学的安全性を説明する。							
9. 金属の加工法と、それに伴う加工硬化と熱処理を説明できる。							
10. 歯科用合金の種類と特徴を説明できる。							
11. 模型用材料の組成と特徴を説明できる。							
12. レジン材料の種類と組成、成形法と特徴を説明できる。							
13. 切削と研磨の原理を説明できる。							
14. 印象材の組成と特徴を説明できる。							
15. 接着の機序と接着剤の成分を説明できる。							
16. 成形修復材料の種類と特徴を説明できる。							
17. 審美修復に必要な色彩に関する知識を説明できる。							
18. セラミックスの種類と特徴、加工法を説明できる。							
19. 歯科材料の安全性を説明できる。							
20. 歯科用インプラント材料の特徴を説明できる。							
21. 歯科用 CAD/CAM の基礎知識を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/5	14:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	歯科理工学概論	歯科理工学概論 SI 単位、物質の構造	岩崎 直彦	到達目標:1
4-6	4/12	13:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	物理的/化学的性質	応力とひずみ、硬さ、レオロジー、光学的性質、腐食、防食、変色、表面張力、接着とぬれ	宇尾 基弘	到達目標:1
7-9	4/19	13:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	生物学的性質	歯科材料の安全性、薬機法における歯科材料の分類	宇尾 基弘	到達目標:1
10-11	4/23	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	無機材料	無機材料の特徴	岩崎 直彦	到達目標:2
12-13	4/26	13:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	金属材料の特徴	金属材料の特徴、歯科用合金の種類、特徴	岩崎 直彦	到達目標:3
14	4/26	15:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	金属の加工法 金属の熱処理	加工の特徴、加工硬化、金属材料の熱処理	岩崎 直彦	到達目標:3,9

15-16	4/30	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	模型材	模型材の種類, 石膏の硬化	岩崎 直彦	到達目標:11
17-18	5/7	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	印象材	印象材の種類, 弾性印象材の特徴	塩沢 真穂	到達目標:14
19-20	5/14	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	印象材	印象材の性質, 模型材との関係	塩沢 真穂	到達目標:14
21	5/17	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	複合材料	複合材料の特徴	塩沢 真穂	到達目標:5
22-23	5/17	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	補綴用レジン	コンポジットレジン, 硬質レジン, CAD/CAM ブロック	塩沢 真穂	到達目標:5,12
24-26	5/17	13:00-15:50	遠隔授業 (非同期型)	成形修復材料と接着	成形修復材料の種類と特徴	塩沢 真穂	到達目標:15,16 WebClass 終了 後に小テストを実施
27-28	5/24	13:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	義歯床用レジン	有機材料概論, 義歯床用レジン	岩崎 直彦	到達目標:12
29	5/24	15:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	義歯床用レジン	義歯床用レジン, 常温重合レジン, そのほかのレジン	岩崎 直彦	到達目標:12
30	5/24	16:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	ワックスの特徴	歯科用ワックスの種類と特徴	岩崎 直彦	到達目標:6
31-32	5/31	13:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	セラミックスの基礎	セラミックスの特徴	宇尾 基弘	到達目標:18
33-34	5/31	15:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	セラミックスの基礎	セラミックスの特徴	宇尾 基弘	到達目標:18
35-36	6/7	13:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	CAD/CAM の基礎	歯科用 CAD/CAM の基礎	堀田 康弘	到達目標:21
37-38	6/7	15:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	CAD/CAM の基礎	歯科用 CAD/CAM の基礎	堀田 康弘	到達目標:21
39	6/21	14:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	新しい加工技術	CAD/CAM で用いる加工法	土田 優美	到達目標:21
40-41	6/21	15:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	セラミックスの応用	オールセラミックス	中嶋 裕	到達目標:18
42-43	6/28	13:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	色彩に関する知識	表面の評価表色系, 視感比色法	岩崎 直彦	到達目標:17
44-45	6/28	15:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	切削加工, 研磨	切削, 研磨	岩崎 直彦	到達目標:9

授業方法

講義・演習

遠隔授業(同期型および非同期型)を行います。

事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。

遠隔授業(非同期型)の課題を WebClass にて行い、期限までに提出すること。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、授業担当者にメールで質問、メールで回答とします。

授業内容

講義

遠隔授業(同期型、非同期型)で行う。

事前に WebClass に提示される資料を学習しておくこと。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より

り授業時間中に回答もしくはメールで回答します。
成績評価の方法 評価は提出課題および期末試験(筆記試験: 60 分)によって行う。 ・提出課題は小テスト(？点)で評価する。 ・期末試験の配点は 80 点とするが、期末試験の点数が 6 割以下の場合は、再試験を行う。 ・出席状況(10 点)、授業態度(10 点)を追加し、総合的に評価する。
成績評価の基準 ・期末試験の点数が 100 点満点中 60 点以上の者を合格とする。 ・配点は、期末試験(80 点)、小テスト(？点)、出席状況(10 点)、授業態度(10 点)とし、合計 100 点満点で換算する。点数を割り振ってください。以上を総合的に評価し、この科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・2/3 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・遠隔授業(非同期型)に出席し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
教科書 スタンダード歯科理工学 第7版: 生体材料と歯科材料／中島裕 [ほか] 編集(幹事)・執筆； 石川邦夫 [ほか] 編集・執筆； 赤坂司 [ほか] 執筆, 中島, 裕, 石川, 邦夫, 赤坂, 司, 学建書院, 2019
参考書 コア歯科理工学／小倉英夫, 高橋英和, 宮崎隆, 小田豊, 榎本貢三, 小園凱夫編；遠藤一彦 [ほか] 執筆, 小倉, 英夫, 高橋, 英和, 宮崎, 隆, 小田, 豊, 榎本, 貢三, 小園, 凱夫, 遠藤, 一彦, 医歯薬出版, 2008 臨床歯科理工学／宮崎隆 [ほか] 編, 宮崎, 隆, 中島, 裕, 河合, 達志, 小田, 豊, 医歯薬出版, 2006 歯科理工学教育用語集 = A Glossary for Dental Materials and Devices／日本歯科理工学会 編, 日本歯科理工学会, 医歯薬出版, 2018 歯科理工学／全国歯科技工士教育協議会編；大島浩 [ほか] 著, 全国歯科技工士教育協議会, 大島, 浩, 米山, 隆之, 高橋, 英和, 岩崎, 直彦, 医歯薬出版, 2021
履修上の注意事項 事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、前年度の授業時間配分と構成を見直し、実習と連動するようにスケジュールを調整している。 岩崎 直彦: 2 号館 2 階 213 号室 随時 wasaki.bmoe@tmd.ac.jp 宇尾 基弘 mail@m-uo.com 塩沢 真穂 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp 土田 優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023527						
科目名	口腔保健理工学実習			科目ID	DE-252700-E		
担当教員							
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
口腔保健工学専攻 第1 実習室, 口腔保健衛生学専攻 臨床基礎実習室 CAD/CAM 実習室							
授業の目的、概要等							
歯科技工で使用する歯科材料の性質を理解し、それらの性質を測定し、適切に扱える力を身につける。							
授業の到達目標							
1. 材料の物性評価の方法を説明できる.							
2. 無機材料の種類と性質について説明できる							
3. 歯科用レジン材料の種類と性質について説明できる.							
4. 材料の機械加工について説明できる.							
5. 歯科用ワックスの収縮と変形を説明できる.							
6. 各種印象材の寸法精度と細線再現性を測定し、その性質を説明できる.							
7. 成形修復用材料の適切な取り扱い方法を説明できる.							
8. 研磨方法およびその理論について説明できる。							
9. 歯科用セラミックスの性質と成形方法を説明できる.							
10. 修復用材料の色調を測定し、その特性を説明できる.							
11. 歯科材料メーカーを見学し、技工用材料の製造過程を理解する.							
12. 歯科用 CAD/CAM の加工法について説明できる.							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/9	10:00-11:50	第4実習室	引張・圧縮試験	ワイヤーの引張試験 石膏の圧縮試験	岩崎 直彦, 高橋 英和 塩沢 真穂	到達目標:1 レポート提出
3-6	4/9	13:00-16:50	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室 第4実習室	硬さ試験(1)	硬さ測定, 加工による硬さの変化	岩崎 直彦, 高橋 英和 塩沢 真穂	到達目標:1
7-9	4/16	10:00-13:50	歯学部基礎実習室 歯学部基礎小実習室 第4実習室	硬さ試験(2)	硬さ測定, 熱処理による硬さの変化	岩崎 直彦, 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:1 レポート提出
10-12	4/16	14:00-16:50	第4実習室	ワックスの変形	ワックスの応力緩和による変形測定 冷却による寸法変化測定	岩崎 直彦, 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:5 レポート提出
13-16	4/23	13:00-16:50	口腔保健学科基礎	石膏 (1)	石膏の硬化時間, 硬化膨張, 発熱	岩崎 直彦, 高橋 英和	到達目標:2

			科学実習室			塩沢 真穂 中野 文夫 土生 メイアナ	
17-20	4/30	13:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習室	石膏 (2)	練和溶液が石膏硬化に及ぼす影響	岩崎 直彦 高橋 英和 塩沢 真穂 中野 文夫 土生 メイアナ	到達目標:2 レポート提出
21-24	5/7	13:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習室	印象	ハイドロコロイド印象材	岩崎 直彦 高橋 英和 塩沢 真穂 中野 文夫 土生 メイアナ	到達目標:6
25-28	5/14	13:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習室 第4 実習室	印象	ゴム質印象材と模型	岩崎 直彦 高橋 英和 塩沢 真穂 中野 文夫 土生 メイアナ	到達目標:6 レポート提出
29-30	5/21	10:00-11:50	第3実習室 第4 実習室	加熱重合レジン	餅状期の観察, パターンの作製	岩崎 直彦 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:3
31-32	5/21	13:00-14:50	第3実習室 総合 実習室	加熱重合レジン	埋没蠟流し	岩崎 直彦 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:3
33-35	5/21	15:00-17:50	第3実習室 総合 実習室	加熱重合レジン	填入, 重合,	岩崎 直彦 土田 優美 高橋 英和	到達目標:3
36-37	5/28	10:00-11:50	第3実習室	寒天印象	寒天印象, 模型	岩崎 直彦 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:3
38-40	5/28	13:00-15:50	第3実習室 第4 実習室	加熱重合レジン	割り出し, 重合体の寸法測定	岩崎 直彦 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:3 レポート提出
41-42	5/28	16:00-17:50	第4実習室	硬質レジン	硬質レジンの曲げ強さと重合条件	岩崎 直彦 塩沢 真穂 高橋 英和	到達目標:3
43-44	6/4	10:00-11:50	第4実習室	陶材の焼成収縮	陶材試験片の作製と寸法測定	岩崎 直彦 土田 優美 高橋 英和	到達目標:1,9
45-47	6/4	13:00-15:50	第3実習室	陶材の研磨	陶材試験片の研磨	岩崎 直彦 土田 優美 高橋 英和	到達目標:9
48-49	6/4	16:00-17:50	第3実習室 第3 実習室	切削加工の基礎	旋盤・フライス盤加工(見学)	岩崎 直彦 土田 優美 高橋 英和	到達目標:1,3,9
50-53	6/11	14:00-17:50	第3実習室	各種材料の研磨面の観察	研磨用機材の CCD カメラによる観察, 各種材料の研磨, 研磨後の観察	岩崎 直彦 土田 優美 高橋 英和	到達目標:8 レポート提出
54-59	6/25	10:00-16:50	第3実習	歯科材料の研究・製造	歯科メーカー見学(トクヤマデンタ)	岩崎 直彦	到達目標:11 事

			室 第4 実習室		ル)	高橋 英和 土田 優美 中野 文夫	前におよび終了 後にレポート提出
60-61	7/2	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	CAD/CAM の基礎	工学専攻にある CAD/CAM 機材	岩崎 直彦 土田 優美 高橋 英和	到達目標:12
62-64	7/2	13:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	成形修復材料	常温重合レジン, コンポジットレジン, グ ラスアイノマーセメント, 各種合着用セメ ント	岩崎 直彦 高橋 英和 土田 優美 中野 文夫 土生 メイアナ	到達目標:7 レ ポート提出
65-67	7/12	10:00-13:50	第4実習 室	審美性材料の強度試験	硬質レジンと陶材の曲げ試験	岩崎 直彦	到達目標:4 レ ポート提出
68-74	7/16	10:00-17:50	第3実習 室	3D プリンタの造形	STL を用いた模型作成	岩崎 直彦 高橋 英和 土田 優美	到達目標:12
75-77	7/26	10:00-13:50	第3実習 室	色の鑑別	シェードガイドの識別, 印刷物の 識別	岩崎 直彦 土田 優美	到達目標:10
78-80	7/26	14:00-16:50	第3実習 室	色の測定	Shade eye による測定, STL ファイ ルの検索	岩崎 直彦 土田 優美	到達目標:10 レ ポート提出

授業方法

実習、見学実習

歯科技工で用いる材料や機材の物性や使用方法の実習

事前にWebClassに提示されている資料を予習しておくこと。

授業内容

実習および企業見学に出席し、実習の各項目終了後にレポートを作成し提出すること。

特別に勘案すべき事情があるために実習に参加できない場合には、その事情とともに授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。その場合、提出物は、科目責任者の示す期限までに提出する。

成績評価の方法

評価は、実習作品およびレポートにより行う。

- ・各実習終了後に実習作品およびレポートを提出し、その合計点で評価する。
- ・各課題項目での実習作品 40 点、提出レポート 40 点、出席状況 10 点、授業態度 10 点とし、総括的に評価する。これらの合計点数を成績とする。

成績評価の基準

- ・配点は、実習作品 40 点、提出レポート 40 点、出席状況 10 点、授業態度 10 点とし、合計 100 点満点で換算する。
- ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
- ・総合点数が 60 点以上のものを合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

出席が 3/4 以上を基本とする。

教科書

スタンダード歯科理工学 = STANDARD DENTAL MATERIALS SCIENCE : 生体材料と歯科材料 / 中嶋裕 宮崎隆 米山隆之 編集幹事, 中嶋 裕, 宮崎 隆, 1953-, 米山 隆之.: 学建書院, 2019

参考書

コア歯科理工学 / 小倉英夫, 高橋英和, 宮崎隆, 小田豊, 榎本貢三, 小園凱夫編 ; 遠藤一彦 [ほか] 執筆, 小倉 英夫, 高橋 英和, 宮崎,

隆,小田, 豊,榎本, 貢三,小園, 凱夫,遠藤, 一彦,:医歯薬出版, 2008

臨床歯科理工学／宮崎隆 [ほか] 編,宮崎, 隆,中島, 裕,河合, 達志,小田, 豊,:医歯薬出版, 2006

歯科理工学教育用語集 = A Glossary for Dental Materials and Devices／日本歯科理工学会 編,日本歯科理工学会,:医歯薬出版, 2018

歯科理工学／全国歯科技工士教育協議会編 ; 大島浩 [ほか] 著,全国歯科技工士教育協議会,大島, 浩,米山, 隆之,高橋, 英和,岩崎, 直彦,:医歯薬出版, 2021

履修上の注意事項

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

備考

基本的に、歯科理工学講義と連動しています。実習に参加する前に、必ず関連した講義を受けてから参加するようにしてください。

実習後は、提示された期限までに実習レポートを提出してください。

前年度の授業終了時アンケート結果より、時間配分および内容を再検討し、改善している。

担当教官のオフィスアワーおよび連絡先

岩崎 直彦 2号館2階 213号室

随時 wasaki.bmoe@tmd.ac.jp

塩沢 真穂 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

土田 優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023528A						
科目名	精密鑄造学実習			科目ID			
担当教員							
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
口腔保健工学専攻 第1実習室、第4実習室、総合実習室							
授業の目的、概要等							
歯科精密鑄造の理論と実施方法を理解する。歯科精密鑄造で使用する歯科材料の適切な扱い方を学習し、鑄造の作業手順を習得する。							
授業の到達目標							
1. 鑄造用原型の精度について説明できる.							
2. 埋没材の硬化膨張, 熱膨張について説明できる.							
3. 歯科用合金の鑄造について説明できる.							
4. 型ごと埋没法について説明できる.							
5. 鑄造体の寸法変化について説明できる.							
6. 歯科用材料製作工業を見学して製造過程を理解する.							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/11	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	鑄造概論	鑄造概論, 鑄造用原型	岩崎 直彦	到達目標:1
2-3	6/11	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	鑄造用埋没材	鑄造用埋没材の組成と特徴	岩崎 直彦	到達目標:2
4-5	6/14	13:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	金属の融解	金属融解の熱源, 鑄込み, 欠陥	岩崎 直彦	到達目標:3
6-7	6/14	15:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	鑄造欠陥と接合	鑄造欠陥の種類と原因, 寸法精度に及ぼす因子, ろう付け	岩崎 直彦	到達目標:6
8-9	6/18	13:00-14:50	第3実習室 第4実習室	埋没材の膨張	石膏系埋没材の熱膨張	岩崎 直彦, 高橋 英和	到達目標:2
10-12	6/18	15:00-17:50	第3実習室 第4実習室	複模型の製作1	寒天複模型準備, クラウンワックスアップ	岩崎 直彦, 高橋 英和	到達目標:4
13-14	7/5	13:00-14:50	第3実習室 第4実習室	複模型の製作2	寒天複印象,	岩崎 直彦, 土田 優美	到達目標:4
15-17	7/5	15:00-17:50	第3実習室 第4実習室	埋没材の膨張	石膏系埋没材の硬化時寸法変化測定	岩崎 直彦, 土田 優美	到達目標:2 レポート提出
18-19	7/9	10:00-11:50	第3実習室 第4実習室	ワックスパターン作製	型ごと埋没ワックスパターン作製, 埋没	岩崎 直彦, 高橋 英和	到達目標:1,2,4
20-21	7/9	13:00-14:50	第3実習室 総合実習室	鑄造1	クラウン鑄造1	高橋 英和, 岩崎 直彦, 中野 文夫	到達目標:2,4
22-24	7/9	15:00-17:50	第1講義室 総合	鑄造2	金属床鑄造	高橋 英和, 岩崎 直彦,	到達目標:2,4

			実習室 第1講義 室			中野 文夫	
25-26	7/12	14:00-15:50	第3実習 室 総合 実習室	鑄造体の評価	高温鑄造、鑄造体の精度測定	岩崎 直彦 土田 優美	到達目標:2.4 レ ポート提出
27-28	7/12	16:00-17:50	第3実習 室	ろう付け実習	ろう付け時のフラックスとアンチフ ラックスの働きを知る	岩崎 直彦 土田 優美	到達目標:6 実 習終了後にレポ ートを提出
29-30	7/19	15:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	歯科での加工法のまと め	歯科精密鑄造のまとめ	玉置 幸道	到達目標:1-5

授業方法

講義、実習

講義は、遠隔授業(同期型および非同期型)で行う。

実習は、対面授業で行う。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、授業担当者にメールで質問、メールで回答とします。

授業内容

講義、実習

講義は、遠隔授業(同期型および非同期型)で行う。

実習は、対面授業で行う。

実習終了後にレポートを作成し提出すること。

成績評価の方法

- ・評価は、実習作品およびレポートにより行う。
- ・実習に出席し、提示された期限までにレポートおよび製作物を提出すること。
- ・評価は、各課題項目での実習作品 40 点、提出レポート 40 点、出席状況 10 点、授業態度 10 点とし、その合計点で総合的評価する。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や実習に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

成績評価の基準

- ・総合評価の点数が 60 点以上のものを合格とする。
- ・配点は、実習作品 40 点、提出レポート 40 点、出席状況 10 点、授業態度 10 点とし、合計 100 点満点で換算する。

準備学習等についての具体的な指示

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・3/4 以上の出席を基本とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席すること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行う

教科書

スタンダード歯科理工学 = STANDARD DENTAL MATERIALS SCIENCE : 生体材料と歯科材料／中畠裕、宮崎隆、米山隆之 編集幹事, 中畠 裕, 宮崎 隆, 1953-, 米山 隆之, : 学建書院, 2019

参考書

コア歯科理工学／小倉英夫, 高橋英和, 宮崎隆, 小田豊, 榎本貢三, 小園凱夫編 ; 遠藤一彦 [ほか] 執筆, 小倉, 英夫, 高橋, 英和, 宮崎, 隆, 小田, 豊, 榎本, 貢三, 小園, 凱夫, 遠藤, 一彦, : 医歯薬出版, 2008

臨床歯科理工学／宮崎隆 [ほか] 編, 宮崎, 隆, 中嶋, 裕, 河合, 達志, 小田, 豊, : 医歯薬出版, 2006

歯科理工学教育用語集 = A Glossary for Dental Materials and Devices／日本歯科理工学会 編, 日本歯科理工学会, : 医歯薬出版, 2018

歯科理工学／全国歯科技工士教育協議会編 ; 大島浩 [ほか] 著, 全国歯科技工士教育協議会, 大島, 浩, 米山, 隆之, 高橋, 英和, 岩崎, 直彦, : 医歯薬出版, 2021

履修上の注意事項

事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

備考

実習後は、提示された期限までに実習レポートを提出してください。

前年度の授業終了時アンケート結果より、時間配分および内容を再検討し、改善している。

担当教官のオフィスアワーおよび連絡先

岩崎 直彦 2号館2階 213号室

随時 wasaki.bmoe@tmd.ac.jp

塩沢 真穂 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

土田 優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp

オフィスアワー:

2号館2階 213号室 岩崎 直彦:随時

時間割番号	023534A						
科目名	全部床義歯工学			科目ID	DE-253400-L		
担当教員	大木 明子[OKI MEIKO]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 20 時間							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom)							
授業の目的、概要等 無歯顎という特殊な口腔内状態を理解し、歯の喪失により生じた形態的、機能的変化を、全部床義歯により、いかに回復し維持するかを理解する。これらの知識をもとに全部床義歯製作に必要な技法を習得する。							
授業の到達目標 1. 無歯顎の特殊性を理解する。 2. 全部床義歯の製作の流れを診療室と技工室に分けて説明できる。 3. 無歯顎の印象採得法とそれに必要な器材を説明できる。 4. 無歯顎の咬合採得法とそれに必要な器材を説明できる。 5. 咬合器装着とそれに必要な器材を説明できる。 6. 人工歯の種類と特徴を列挙できる。 7. 人工歯排列、歯肉形成法を説明できる。 8. 埋没と重合法を理解し説明できる。 9. 削合と研磨の重要性を理解し説明できる。 10. 義歯装着の方法と義歯管理の重要性を説明できる。 11. リライン、リベース、修理法を説明できる。 12. 金属床義歯の利点と欠点を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	4/6	13:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	全部床義歯補綴概論 全部床義歯製作の流れ 上顎無歯顎の解剖学的留意点 下顎無歯顎の解剖学的留意点	補綴概論 全部床義歯の製作の流れ 印象採得に必要な上顎の解剖学的基礎知識 印象採得に必要な下顎の解剖学的基礎知識	大木 明子	到達目標: 1-3
5-6	4/7	13:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	印象採得の手順 その他特殊印象法	予備印象採得と研究用模型の製作、個人トレーの製作、精密印象採得、作業用模型の製作 特殊な印象採得法	大木 明子	到達目標: 3
7-8	4/14	13:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	咬合採得・演習 水平的顎間関係	無歯顎の対向関係、咬合床の製作、咬合平面、垂直的顎間関係記録法、演習(咬合高径の決定) 水平的顎間関係記法、ゴシックアーチ描記法の意義、標示線	大木 明子	到達目標: 4 Zoom、ノギスを準備すること(演習)
9-10	4/21	13:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	咬合器装着 人工歯排列 1	咬合器装着 審美的基礎知識、人工歯の種類(演習含む) 前歯部人工歯の排列	大木 明子	到達目標: 5-7 Zoom、手鏡を準備すること(演習)
11-12	4/28	13:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	人工歯排列 2 ろう義歯試適	臼歯部人工歯の排列 研磨面形態の意義、ろう義歯の試適	大木 明子	到達目標: 6,7
13-15	5/12	13:00-15:50	遠隔授業	歯肉形成 埋没と重合	歯肉形成法 埋没、流ろう、重合	大木 明子	到達目標: 6-8

			(同期型)	咬合器再装着 削合、研磨	義歯の取り出し、咬合器再装着、選択削合の理論と実際、自動削合、研磨の意義と実際		
16-18	5/18	13:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	義歯の装着 患者指導と調整 その後の変化と対応	患者口腔内への装着 義歯管理の必要性 リラインとリベース	大木 明子	到達目標: 9-10
19-20	5/19	15:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	義歯の修理 金属床義歯	義歯修理法 金属床義歯の利点と欠点、鑄造金属床義歯の製作	大木 明子	到達目標:11,12
授業方法 講義、演習 遠隔授業(同期型)で行います。 事前に WebClass に提示されている資料を学習しておくこと。 遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。							
授業内容							
成績評価の方法 評価は期末試験(筆記試験:60 分)によって行う。 ・期末試験(100 点)で総括的評価を行う。 ・期末試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。							
成績評価の基準 ・期末試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。 ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 ノギスや鏡を手元に準備しておく回があります。教員の指示に従い準備しておいてください。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3 分の 2 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。							
教科書 有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures / 全国歯科技工士教育協議会 編、鈴木哲也 ほか著、鈴木 哲也, 1954-, 全国歯科技工士教育協議会, 医歯薬出版, 2017							
参考書 よい義歯のための義歯: 鈴木哲也のコンプリートデンチャー17 のルール / 鈴木哲也著、鈴木 哲也(歯科学), クインテッセンス出版, 2011 コンプリートデンチャー: 鈴木哲也のマスター1: ランクアップのための知恵と技 / 鈴木哲也, 古屋純一 著、鈴木 哲也, 1954-, 古屋 純一, デンタルダイヤモンド社, 2017 無歯顎補綴治療学 / 市川哲雄 [ほか] 編、市川 哲雄、大川 周治、平井 敏博、細井 紀雄, 医歯薬出版, 2016 バウチャー無歯顎患者の補綴治療 / Zarb [ほか] 編著; 田中久敏, 古谷野潔, 市川哲雄監訳 Zarb, George A. (George Albert), 田中 久敏, 古谷野 潔, 市川 哲雄, 医歯薬出版, 2008 コンプリートデンチャーテクニック / 細井紀雄 [ほか] 編、細井 紀雄、平井 敏博、長岡 英一、赤川 安正、鈴木 哲也(歯科学)、大川 周治, 医歯薬出版, 2011							
他科目との関連 一部、咬合学と連動しています。							

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、演習部分を少し増やし、実際に体験することで知識の向上をはかれるよう、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023535						
科目名	全部床義歯工学実習			科目ID	DE-253500-E		
担当教員	大木 明子, 塩沢 真穂[OKI MEIKO, SHIOZAWA Maho]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	2	単位数	3		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 120 時間							
主な講義場所							
2 号館第 3 実習室							
2 号館重合鑄造室							
2 号館総合実習室							
授業の目的、概要等							
無歯顎の特徴を理解し、その損なわれた形態と機能を回復するために用いる全部床義歯の製作方法を理解し、全部床義歯を製作する。							
授業の到達目標							
1. スタディモデルからランドマークを読み取る。							
2. リリーフとブロックアウトの意義を理解し実施できる。							
3. 印象採得の手順を説明し、そのための個人トレーを製作する。							
4. ハンドピース・エンジンを使って切削作業を実施できる。							
5. 咬合採得の手順を説明し、咬合床を製作する。							
6. 丁寧に正確なワックス操作を行える。							
7. 模型を適切に咬合器に装着できる。							
8. 適切な人工歯排列ができる。							
9. 全部床義歯における咬合理論を理解し、適切な咬合を与えることができる。							
10. 自然感と清掃性を考慮した歯肉形成を施すことができる。							
11. ろう義歯の埋没、流ろう、レジン填入および重合を適切に行える。							
12. 選択削合・自動削合を行える。							
13. 義歯の形態修正、研磨を行える。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/8	10:00-11:50	第3実習室	実習道具の名称と種類 全部床義歯製作の概説	全部床義歯実習の概要説明	大木 明子, 塩沢 真穂	各自で購入しておく道具を購入し持参すること。
3-6	4/8	13:00-16:50	第3実習室	個人トレー製作 1	個人トレー外形線記入、ブロックアウト、リリーフ、オストロン圧接	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標: 1,2
7-10	4/13	13:00-16:50	第3実習室	個人トレー製作 2	上下顎オストロン圧接、トミング	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:3
11-12	4/15	10:00-11:50	第3実習室	個人トレー製作 3	柄・フィガーレスト	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:3
13-16	4/15	13:00-16:50	第3実習室	個人トレー製作 4	柄・フィガーレスト、トミング	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:3
17-20	4/20	13:00-16:50	第3実習室	個人トレー製作 5	柄・フィガーレストの取り付け、トレーの完成	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:3,4 実習作品の提出
21-22	4/22	10:00-11:50	第3実習室	個人トレー製作 6	コンパウンド付与	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:3,4
23-26	4/22	13:00-16:50	第3実習室	咬合床製作 1	模型配布、トミング、外形線記入	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:3,4
27-30	4/27	13:00-16:50	第3実習室	咬合床製作 2	リリーフ、ブロックアウト、基礎床製作	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:5,6

31-32	5/6	10:00-11:50	第3実習室	咬合床製作 3	ろう堤形成	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:6
33-36	5/6	13:00-16:50	第3実習室	咬合床製作 4	ろう堤形成、咬合床の完成	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:6 実 習作品の提出
37-41	5/13	13:00-17:50	第3実習室	咬合採得	咬合採得、スプリットキャストの形成	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:7,8
42-45	5/20	13:00-16:50	第3実習室	咬合器装着	咬合器装着	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:7,8 実 習作品の提出
46-50	5/27	13:00-17:50	第3実習室	前歯部人工歯排列 1	人工歯排列前準備、前歯部人工歯排列(上顎①)	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:9,10
51-54	6/1	13:00-16:50	第3実習室	前歯部人工歯排列 2	前歯部人工歯排列(上顎②、下顎①)	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:9,10
55-58	6/2	13:00-16:50	第3実習室	前歯部人工歯排列 3 臼歯部人工歯排列 1	前歯部人工歯排列(下顎②) 臼 歯部ろう堤修正	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:9,10
59-62	6/3	13:00-16:50	第3実習室	臼歯部人工歯排列 2	臼歯部人工歯排列(下顎)	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:9,10
63-66	6/8	13:00-16:50	第3実習室	臼歯部人工歯排列 3	臼歯部人工歯排列(上顎①)	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:9,10
67-71	6/10	13:00-17:50	第3実習室	臼歯部人工歯排列 4	臼歯部人工歯排列(上顎②)	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:9,10
72-75	6/15	13:00-16:50	第3実習室	歯肉形成 1	歯肉形成(上顎)	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:11
76-79	6/17	13:00-16:50	第3実習室	ポストダムの付与 歯 肉形成 2	ポストダムの形成、歯肉形成(上 顎)	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:11
80-83	6/22	13:00-16:50	第3実習室	歯肉形成 3	歯肉形成(下顎)	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:11
84-87	6/24	13:00-16:50	第3実習室	歯肉形成 4	歯肉形成(下顎)、口蓋面のくりぬ き、修正(上顎)	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:11 実 習作品の提出
88-91	6/29	13:00-16:50	第3実習室	口蓋すうへきの付与、ろ う義歯の埋没	口蓋すうへきの付与、埋没前準 備、一次埋没	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:11-12
92-95	7/1	13:00-16:50	第3実習室	埋没、流ろう	二次埋没、三次埋没、流ろう	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:12
96-99	7/6	13:00-16:50	第3実習室	レジン填入・重合	填入、重合	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:12-13
100-1 03	7/8	13:00-16:50	第3実習室	割り出し・咬合器の再装 着、削合	模型の割り出し・咬合器の再装 着、選択削合	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標: 12-13
104-1 07	7/13	13:00-16:50	第3実習室	削合、義歯の取り出し、 形態修正	選択削合、自動削合、義歯の取り 出し、形態修正	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:13
108-1 12	7/15	13:00-17:50	第3実習室	形態修正・研磨	形態修正、サンドペーパー研磨	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:13
113-1 16	7/20	13:00-16:50	第3実習室	研磨	レーズ研磨	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:13
117-1 20	7/27	13:00-16:50	第3実習室	研磨	レーズ研磨 艶出し完成 超音波 洗浄、提出	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:13 実 習作品の提出

授業方法

実習

上下顎無歯顎患者に用いられる個人トレー、上下全部床義歯の製作実習

事前に WebClass に提示されている資料、デモビデオを学習して予習しておくこと。

成績評価の方法 評価は実習で製作するプロダクトによって行う。 ・個人トレー上下・辺縁・柄・全体概形:計 20 点 ・咬合床上下・基礎床・ろう堤:計 20 点 ・咬合器装着 5 点 ・ろう義歯上下・排列:計 15 点 ・完成義歯上下・形態・研磨状態・排列・咬合状態:計 40 点 について段階的に評価し、合計点数を成績とする。
成績評価の基準 ・実習で製作した作品で評価を行う(配点 100 点)。60 点以上を合格とする。 ・出席状況、授業態度を総合的に評価に加味する。
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 実習帳やデモビデオを事前に予習してから実習に出席すること。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。
教科書 有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures / 全国歯科技工士教育協議会 編, 鈴木哲也 [ほか] 著, 鈴木, 哲也, 1954-, 全国歯科技工士教育協議会, : 医歯薬出版, 2017
参考書 無歯顎補綴治療学 / 市川哲雄 [ほか] 編, 市川, 哲雄, 大川, 周治, 平井, 敏博, 細井, 紀雄, : 医歯薬出版, 2016 よい義歯だめな義歯 : 鈴木哲也のコンプリートデンチャー17 のルール / 鈴木哲也著, 鈴木, 哲也(歯科学), : クインテッセンス出版, 2011 コンプリートデンチャー : 鈴木哲也のマスター1 : ランクアップのための知恵と技 / 鈴木哲也, 古屋純一 著, 鈴木, 哲也, 1954-, 古屋, 純一, : デンタルダイヤモンド社, 2017 コンプリートデンチャーテクニック / 細井紀雄 [ほか] 編, 細井, 紀雄, 平井, 敏博, 長岡, 英一, 赤川, 安正, 鈴木, 哲也(歯科学), 大川, 周治, : 医歯薬出版, 2011
他科目との関連 一部咬合学と連動しています。
備考 実習デモビデオを WebClass にアップロードしているので事前に視聴して予習してから実習に参加すること。 昨年度授業終了時アンケート結果より、時間を有効に使うため、ビデオ教材を更新しています。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp 塩沢真穂 助教 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

時間割番号	023536A						
科目名	部分床義歯工学			科目ID	DE-253600-L		
担当教員	塩沢 真穂[SHIOZAWA Maho]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 遠隔授業(同期型) 遠隔授業(非同期型) 第3実習室							
授業の目的、概要等 部分的な歯の欠損の病態を理解し、部分床義歯による補綴治療で口腔の形態的、機能的回復をはかる意義を理解する。部分床義歯の構成要素および義歯の安定をはかるための理論を理解し、部分床義歯の製作方法を習得する。							
授業の到達目標 1. 部分的な歯の欠損とその治療の目的と意義について説明できる。 2. 歯の欠損に伴う顎口腔系の変化と治療への影響を説明できる。 3. 欠損歯列の様々な分類法と臨床的意義を説明できる。 4. 部分床義歯の構成要素を説明できる。 5. 部分床義歯に加わる力への対応を理解し、義歯の構成要素を説明できる。 6. 部分床義歯の支持・把持・維持の考え方を説明できる。 7. 支台装置の種類、構造、機能などを説明できる。 8. 部分床義歯の連結子と義歯床が果たす役割を説明できる。 9. 部分床義歯製作のための前処置を説明できる 10. 歯と粘膜により支持される部分床義歯の印象採得を説明できる。 11. 部分床義歯の設計の基本原則と順序を説明できる。 12. 部分床義歯の咬合採得の特徴を知り、術式を説明できる。 13. 金属フレームワークの特徴と製作方法を説明できる。 14. 人工歯排列の基本原則とろう義歯の試適時の診査項目を説明できる。 15. 部分床義歯の埋没、重合方法を説明できる。 16. 部分床義歯の装着後の変化を生体と義歯に分けて説明できる。 17. 部分床義歯の破損や不適合と、それらに対応する修理とリラインの技法を説明できる。 18. 種々の状況における部分床義歯の役割について知り、多様な治療法を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/4	11:00-13:50	遠隔授業 (非同期型)	部分床義歯の構成要素 部分床義歯の製作手順	部分床義歯の構成要素 部分床義歯の製作手順	塩沢 真穂	到達目標:4 WebClass 小テストを実施
3-4	10/4	16:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	部分床義歯概論、欠損に由来する口腔の変化 歯の欠損様式と部分床義歯の分類	部分床義歯の特徴、歯の欠損による顎口腔系組織の障害 歯の欠損様式の分類、部分床義歯の分類	鈴木 哲也	到達目標:1-3 Zoom
5-6	10/11	16:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	部分床義歯に加わる力への対応 支持・把持・維持	義歯に加わる力、支台歯と顎堤の負担能力 義歯の安定に関与する各構成要素、支持様式による義歯の分類	鈴木 哲也	到達目標:5,6 Zoom
7-8	10/25	16:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	支台装置 連結子と義歯床	レストの機能と種類、隣接面板、クラスプの種類と設計、アタッチメントの分類と機能 サベイングの目	鈴木 哲也	到達目標:7,8 WebClass 小テストを実施

					的と技法 連結装置の役割と所要条件、大連結子の種類と特徴、小連結子、義歯床の役割と要件		
9-10	11/8	16:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	前処置と印象採得 咬合採得	広義の前処置と狭義の前処置、印象法の種類と特徴、印象材料、印象用トレー 歯列対向関係の違いと咬合採得の術式、咬合床の種類、咬合器装着	鈴木 哲也	到達目標:9-10,12 Zoom
11-12	11/22	16:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	義歯の設計 フレームワーク	義歯設計の原則、支台歯選択と支台歯間線 フレームワークの構造と製作	塩沢 真穂	到達目標:11,13 WebClass ホテ ストを実施
13-14	12/6	16:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	人工歯排列 義歯の重合・研磨	人工歯の選択、人工歯排列 埋没、流ろう、重合	鈴木 哲也	到達目標:14,15 Zoom
15-16	12/20	16:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	義歯装着後の変化と対応	義歯装着後の口腔内の変化、義歯の修理、リライン・リベース	塩沢 真穂	到達目標:16,17 WebClass ホテ ストを実施
17-18	1/6	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	様々な部分床義歯の治療法とその特徴	コーヌスクローネ義歯、アタッチメント義歯 ノンメタルクラスプデンチャー	笛木 賢治、 河野 英子	到達目標:18 Zoom
19-20	2/8	10:00-11:50	第3実習 室	部分床義歯の設計演習	義歯の設計(課題発表)	大木 明子	到達目標:1-18 事前に WebClass にアップロードさ れている資料で 学習し、発表用ス ライドを準備、発 表後に提出する こと。

授業方法

講義、小テスト、課題発表

遠隔授業(同期型)では、事前に WebClass に提示されている資料を学習すること。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

遠隔授業(非同期型)では、WebClass 上で小テストを実施すること。

最終回は課題学習発表(対面演習)を行います。事前に課題を行い、発表スライドを WebClass に提出すること。

成績評価の方法

評価は課題学習発表および期末試験(筆記試験:60 分)によって行う。

・配点は課題学習発表(10 点)、期末試験(90 点)とする(合計 100 点)。

・期末試験の配点は 90 点とするが、期末試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。

成績評価の基準

・期末試験の点数が 6 割以上のものを合格とする。

・配点は、期末試験 90 点、課題学習発表 10 点とし、合計 100 点満点で換算する。

・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

非同期型の遠隔授業の場合は、視聴後に小テストを実施した場合に出席とする。

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・3 分の 2 以上の出席を基本とする。

・遠隔授業(同期型)に出席すること。

・遠隔授業(非同期型)に出席し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。 ・事前に学習して準備し、課題学習発表を行うこと。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
教科書 スタンダードパーシャルデンチャー補綴学／藍稔、五十嵐順正 編集・執筆、藍 稔、1933-、五十嵐 順正、1947-、:学建書院、2016
参考書 有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures／全国歯科技工士教育協議会 編、鈴木哲也 ほか著、鈴木 哲也、1954-、全国歯科技工士教育協議会、:医歯薬出版、2017
備考 演習、グループディスカッション、課題学習発表が含まれます。 昨年度授業終了時アンケート結果より、演習部分を少し増やし、実際に体験することで知識の向上をはかれるよう、内容を改善している。 担当教員のオフィスアワー 塩沢 真穂 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

時間割番号	023537A						
科目名	部分床義歯工学実習 I			科目 ID	DE-253700-E		
担当教員	塩沢 真穂, 岩崎 直彦, 中嶋 優子[SHIOZAWA Maho, IWASAKI NAOHIKO, NAKAJIMA Yuko]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	4		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
第3 実習室、重合・鋳造室、総合実習室							
授業の目的、概要等							
口腔の形態的、機能的回復をはかるための部分床義歯の製作方法を習得し、各構成要素が具備すべき条件および使用する材料の性質を理解し、部分床義歯を製作する。							
授業の到達目標							
1. 部分歯列欠損症例の個人トレーが製作できる。							
2. 部分歯列欠損症例の咬合床が製作できる。							
3. 顎位を保持して作業模型を咬合器に装着できる。							
4. 作業模型のサベイングを行い、支台装置の設計ができる。							
5. 作業模型のブロックアウトとリリースができる。							
6. 外形線に沿ってワイヤークラスプの屈曲ができる。							
7. 直接法で鋳造用パターンが採得できる。							
8. リン酸塩系埋没材で埋没ができる。							
9. コバルトクロム合金の鋳造ができる。							
10. 鋳造体の形態修正を行い作業用模型に適合させることができる。							
11. 鋳造体の研磨ができる。							
12. 複印象を採得し、耐火模型を製作できる。							
13. 耐火模型上で支台装置のワックスアップができる。							
14. 耐火模型の型ごと埋没ができる。							
15. 支台装置のろう付けとレーザー溶接ができる。							
16. 審美性と機能性に配慮して人工歯排列ができる。							
17. 機能性と生体親和性に配慮して歯肉形成ができる。							
18. ろう義歯の埋没ができる。							
19. 加熱重合レジンの填入と重合ができる。							
20. 義歯の割り出しができる。							
21. 人工歯の削合・調整ができる。							
22. レジン床の形態修正と研磨ができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	10/5	13:00-16:50	第3実習室	個人トレー製作	個人トレー外形線記入、ブロックアウト、リリース	岩崎 直彦	到達目標:1
5-10	10/7	10:00-16:50	第3実習室	個人トレー製作	常温重合レジン圧接、トリミング	岩崎 直彦	到達目標:1
11-16	10/14	10:00-16:50	第3実習室	個人トレー製作	トレートリミング、柄・フィンガーレスト付与、個人トレー完成	岩崎 直彦	到達目標:1 実習作品の提出
17-20	10/19	13:00-16:50	第3実習室	咬合床製作	外形線記入、ブロックアウト、リリース、常温重合レジン圧接	岩崎 直彦	到達目標:2
21-26	10/21	10:00-16:50	第3実習室	咬合床製作	基礎床トリミング、ろう堤形成	岩崎 直彦	到達目標:2 実習作品の提出
27-30	10/26	13:00-16:50	第3実習室	咬合器装着、支台装置設計	咬合器装着、サベイング、支台装置設計	岩崎 直彦	到達目標:3, 4

31-36	10/28	10:00-16:50	第3実習室	支台装置製作	ブロックアウト、ワイヤークラスプ屈曲	岩崎 直彦	到達目標:5, 6
37-40	11/2	13:00-16:50	第3実習室	支台装置製作	ワイヤークラスプ屈曲	岩崎 直彦	到達目標:6
41-46	11/4	10:00-16:50	第3実習室	支台装置製作	上顎支台装置(鑄造レスト、鑄造クラスプ)パターン採得	岩崎 直彦	到達目標:7
47-50	11/9	13:00-16:50	第3実習室	支台装置製作	上顎支台装置パターン埋没、鑄造リンガルバーパターン採得	岩崎 直彦	到達目標:7-9
51-56	11/11	10:00-16:50	第3実習室	支台装置製作	リンガルバーパターン埋没、鑄造	岩崎 直彦	到達目標:8, 9
57-60	11/16	13:00-16:50	第3実習室	支台装置製作	リンガルバー適合確認、研磨 上顎支台装置適合確認、研磨	岩崎 直彦	到達目標:10, 11
61-66	11/18	10:00-16:50	第3実習室 総合実習室	支台装置製作	レーザー溶接、研磨	岩崎 直彦	到達目標:15
67-72	11/25	10:00-16:50	第3実習室	支台装置製作	下顎複印象採得	岩崎 直彦	到達目標:12
73-76	11/30	13:00-16:50	第3実習室	支台装置製作	耐火模型製作、下顎支台装置ワックスアップ	岩崎 直彦	到達目標:12, 13
77-82	12/2	10:00-16:50	第3実習室	支台装置製作	下顎支台装置ワックスアップ	岩崎 直彦	到達目標:13
83-86	12/7	13:00-16:50	第3実習室	支台装置製作	下顎支台装置型ごと埋没、鑄造	岩崎 直彦	到達目標:14
87-92	12/9	10:00-16:50	第3実習室	支台装置製作	下顎支台装置形態修正、適合確認	岩崎 直彦	到達目標:10, 11
93-96	12/14	13:00-16:50	第3実習室	支台装置製作	下顎支台装置適合確認、研磨	岩崎 直彦	到達目標:10, 11
97-102	12/16	10:00-16:50	第3実習室	支台装置製作	ろう付け、研磨	岩崎 直彦	到達目標:15
103-106	12/21	13:00-16:50	第3実習室	支台装置製作 人工歯排列	研磨 前歯部人工歯排列	岩崎 直彦	到達目標:15,16
107-112	12/23	10:00-16:50	第3実習室	人工歯排列	前歯部人工歯排列	岩崎 直彦	到達目標:16
113-116	1/11	13:00-16:50	第3実習室	人工歯排列	臼歯部人工歯排列	岩崎 直彦	到達目標:16
117-122	1/13	10:00-16:50	第3実習室	人工歯排列、歯肉形成	臼歯部人工歯排列、歯肉形成	岩崎 直彦	到達目標:16, 17
123-126	1/18	13:00-16:50	第3実習室	歯肉形成	歯肉形成	中嶋 優子	到達目標:17
127-132	1/20	10:00-16:50	第3実習室	埋没	一次埋没	岩崎 直彦	到達目標:18
133-136	1/25	13:00-16:50	第3実習室	埋没	二次埋没、三次埋没	中嶋 優子	到達目標:18
137-142	1/27	10:00-16:50	第3実習室 総合実習室	填入、重合	流ろう、填入、重合	岩崎 直彦	到達目標:19
143-146	2/1	13:00-16:50	第3実習室	咬合器再装着	割り出し、咬合器再装着	中嶋 優子	到達目標:20
147-1	2/3	10:00-16:50	第3実習室	削合	削合	岩崎 直彦	到達目標:21

52			室				
153-1 56	2/8	13:00-16:50	第3実習 室	研磨	形態修正、荒研磨	岩崎 直彦	到達目標:22
157-1 60	2/10	13:00-16:50	第3実習 室	研磨	レーズ研磨、艶出し完成	岩崎 直彦	到達目標:22 実 習作品の提出
授業方法 実習 上下顎部分歯列欠損症例の個人トレー、咬合床、部分床義歯の製作実習 事前に WebClass に提示されている資料、デモビデオを学習して予習しておくこと。							
成績評価の方法 評価は実習製作物(90 点)、出席状況(10 点)によって行う。 実習製作物は、 ・個人トレー上下:外形・辺縁・柄(15 点) ・咬合床上下:基礎床・ろう堤(15 点) ・完成義歯上下:排列・咬合状態・形態・研磨状態(60 点) について評価し、合計点数を成績とする。 授業態度を加味する。							
成績評価の基準 ・実習で製作した作品(90 点)、出席状況(10 点)で評価を行う(100 点)。60 点以上を合格とする。 ・授業態度を総括的評価に加味する。							
準備学習等についての具体的な指示 実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。 Web Class にアップロードされているデモビデオをあらかじめ視聴してから実習に臨むこと。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・実習に出席し、提示された期限までに作品を提出すること。							
参考書 有床義歯技工学 = Dental technology for removable dentures / 全国歯科技工士教育協議会 編 鈴木哲也 ほか著 鈴木 哲也, 1954-, 全国歯 科技工士教育協議会, : 医歯薬出版, 2017 パーシャルデンチャーテクニック / 五十嵐順正 [[ほか] 編 五十嵐 順正, 石上 友彦, 大久保 力廣, 岡崎 定司, 馬場 一美, 横山 敦郎, : 医歯 薬出版, 2012							
履修上の注意事項 実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。 Web Class にアップロードされているデモビデオをあらか じめ視聴してから実習に臨むこと。							
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワー 岩崎 直彦 メールにて日時を相談 iwasaki.bmoe@tmd.ac.jp							

時間割番号	023539A						
科目名	歯冠修復工学			科目ID			
担当教員	池田 正臣, 野崎 浩佑, 興地 隆史[IKEDA MASAOMI, NOZAKI KOSUKE, OKUJI TAKASHI]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 30時間 授業形態: 講義							
主な講義場所 遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等 歯冠修復治療の手順と補綴装置の具備すべき要件を理解し、機能の回復および歯周組織との調和に必要な知識を学ぶ。また、補綴治療に求められる機能性、審美性、生体親和性を学ぶことにより、口腔内で長期間安定するために必要な歯冠修復および架工義歯の条件を理解する。							
授業の到達目標 1. 歯冠修復の適応と意義を説明できる。 2. う蝕治療の流れと歯冠修復物の特徴を説明できる。 3. 築造と仮封冠の目的を説明できる。 4. 直接法と比較した間接法の特徴を説明できる。 5. 印象法と咬合採得の意義について説明できる。 6. 作業用模型の種類と取り扱い方を説明できる。 7. ろう型採得と埋没および鑄造の方法について説明できる。 8. 研磨の手法を説明できる。 9. 試適と咬合接触および合着の手順を説明できる。 10. 模型と生体との違いを説明できる。 11. ブリッジの特徴とポンティック形態を説明できる。 12. 術前のテンポラリークラウンの調整について説明できる。 13. 窩洞形態とマージン形態を説明できる。 14. ファイバーコアとメタルコアの違いを説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/4	14:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	歯冠修復工学総論	歯冠修復物の種類と目的	野崎 浩佑	到達目標 1,2
3-4	10/11	14:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	全部鑄造冠	全部鑄造冠の特徴、支台形態	野崎 浩佑	到達目標 2
5-6	10/18	14:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	歯内療法学概論 1	歯内療法学における基本的な治療 1	興地 隆史	到達目標 2
7-8	10/25	14:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	歯内療法学概論 2	歯内療法学における基本的な治療 2	興地 隆史	到達目標 2 根管充填実演
9-10	11/1	14:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	築造、仮封冠	築造の目的、仮封冠の目的	野崎 浩佑	到達目標 3
11-12	11/8	14:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	間接法、印象法	間接法の寸法精度、補償理論 印象に用いられる材料、必要精度、特徴	野崎 浩佑	到達目標 4,5
13-14	11/15	14:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	咬合採得、作業用模型、 ろう型採得	咬合採得に用いる材料と方法、注意点、各種模型の特質 内面の適合精度、外面形態:咬合面、隣接面、頬舌面	野崎 浩佑	到達目標 5-7

15-16	11/22	14:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	埋没、鑄造、研磨	スブルー線の植立、埋没操作 埋没材の変化、ワックスの焼却	野崎 浩佑	到達目標 7,8
17-18	11/29	14:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	埋没、鑄造、研磨	鑄造用合金、鑄造体の熱処理 研 磨の目的、研磨器具の種類と特徴	野崎 浩佑	到達目標 7,8
19-20	12/6	14:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	試適、合着	接触点の調整、咬合調整 セメン トの種類、浮き上がり防止策	野崎 浩佑	到達目標 9
21-22	12/13	14:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	間接法と生体	顎骨の歪みや歯の微小変位が間 接法に与える影響	野崎 浩佑	到達目標 10
23-24	12/20	14:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	ブリッジ	ポンティックの形態 術前 Tek 調 整、ブリッジの調整とセット	野崎 浩佑	到達目標 11,12
25-27	1/17	14:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	支台歯・窩洞形態 マー ジン形態	各種修復物の支台歯・窩洞形態 各種修復物のマージン形態	野崎 浩佑	到達目標 13
28-30	1/24	14:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	ファイバーコア	ファイバーコアの特徴、歯根破折	野崎 浩佑	到達目標 14

授業方法

講義、歯科材料に関する課題発表

遠隔授業(同期型)では、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールにて質問すること。授業担当者より授業時間中・メールにて回答する。

成績評価の方法

- ・出席状況(10 点)、ディスカッションへの参加度(10 点)、期末試験(80 点)で総合的に評価する。
- ・期末試験が 60%未満の場合は再試験とする。

成績評価の基準

- ・期末試験の点数が 60%以上のものを合格とする。
- ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
講義は基本的に遠隔授業(同期型)で行います。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・2/3 以上の出席を基本とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席すること。
- ・特に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行う

教科書

歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations／全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦] [ほか] [著]末瀬 一彦, 1951-, 全国歯科技工士教育協議会, 医歯薬出版, 2017

参考書

保存修復学 21／田上順次 [ほか] 監修；阿南壽 [ほか] 編集, 田上 順次, 阿南 壽, 奈良 陽一郎, 山本 一世, 斎藤 隆史, 永末書店, 2017
クラウンブリッジ補綴学／矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川匠 編集, 矢谷 博文, 1954-, 三浦 宏之, 細川 隆司, 医歯薬出版, 2014

備考

池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること

ikedacsoe@tmd.ac.jp

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

時間割番号	023541A						
科目名	歯冠修復工学基礎実習			科目ID	DE-254100-E		
担当教員							
開講時期	2021 年度後期	対象年次	2	単位数	4		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 165 時間 授業形態: 実習							
主な講義場所							
2号館第3実習室							
2号館重合鑄造室							
2号館総合実習室							
2号館硬質レジン実習室							
授業の目的、概要等							
歯冠修復物の製作に必要な基本的要件を理解し、正確で迅速な歯科技工操作に求められる基礎的技術および知識を修得する。また、製作に用いる器材の取り扱い方法を学び、機能的および形態的に残存歯と調和の取れた歯冠補綴装置を製作するための基礎的な技術を習得する。							
授業の到達目標							
1. 技工器具を用いて精度の高い模型を製作する。							
2. 精度の高いろう型を採得する。							
3. 埋没・鑄造方法について説明できる。							
4. 適合と形態を修正する。							
5. 個歯トレーと暫間被覆冠を製作する。							
6. 適切な辺縁形態、隣接面接触、咬合接触を付与する。							
7. 鏡面研磨する。							
8. レジン前装冠前装部を窓開けする。							
9. 前装用レジンを築盛する。							
10. ファイバーコアを製作する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-6	10/1	10:00-16:50	第3実習室	実習の進め方 模型製作	実習の進め方、実習室の使い方、技工器具・器機の使い方 模型トリミング	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1
7-10	10/6	13:00-16:50	第3実習室	模型製作	ダウエルピン植立、二次石膏、三次石膏	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1
11-14	10/8	13:00-16:50	第3実習室	模型製作咬合器装着	模型分割咬合器装着	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1
15-18	10/13	13:00-16:50	第3実習室	歯型のマージン出し	歯型のマージン出し	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1
19-22	10/20	13:00-16:50	第3実習室	メタルコアのワックスパターンの製作	メタルコアのワックスパターンの製作	池田 正臣 土田 優美	到達目標 2
23-28	10/22	10:00-16:50	第3実習室	メタルコアの埋没	スブルーイング、埋没	池田 正臣 土田 優美	到達目標 2.3 非常勤講師 市原謙一
29-32	10/27	13:00-16:50	第3実習室	メタルコアの鑄造	鑄造	池田 正臣 土田 優美	到達目標 2.3
33-35	10/29	14:00-16:50	第3実習室	メタルコアの完成	形態修正、完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 4
36-41	11/5	10:00-16:50	第3実習室	分割コアのワックスパタ	分割コアのワックスパターンの製	池田 正臣	到達目標 2

			室	ーンの製作	作	土田 優美	
42-45	11/10	13:00-16:50	第3実習室	分割コアの埋没	スブルーイング、埋没	池田 正臣 土田 優美	到達目標 2,3
46-51	11/12	10:00-16:50	第3実習室	分割コアの鋳造	鋳造	池田 正臣 土田 優美	到達目標 3 非常勤講師 市原謙一
52-55	11/17	13:00-16:50	第3実習室	分割コアの調整	調整、形態修正、完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 4
56-59	11/19	13:00-16:50	第3実習室	個歯トレー製作	個歯トレー製作	池田 正臣 土田 優美	到達目標 5
60-63	11/24	13:00-16:50	第3実習室	暫間被覆冠の歯冠形態回復	暫間被覆冠製作 歯冠形態回復	池田 正臣 土田 優美	到達目標 5,6
64-69	11/26	10:00-16:50	第3実習室	暫間被覆冠製作	研磨・完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 5-7
70-73	12/1	13:00-16:50	第3実習室	クラウンのワックスパターンの製作	クラウンのワックスパターンの概形製作	池田 正臣 土田 優美	到達目標 2
74-77	12/8	13:00-16:50	第3実習室	クラウンのワックスパターンの製作、クラウンの埋没	クラウンのワックスパターンの製作、マージンのしめ直し、スブルーイング、埋没	池田 正臣 土田 優美	到達目標 2,3
78-79	12/10	10:00-11:50	第3実習室	クラウンの鋳造	鋳造 内面調整	池田 正臣 土田 優美	到達目標 3,4
80-84	12/15	11:00-16:50	第3実習室	クラウンの完成	接点、咬合調整、研磨、完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 4-6
85-88	12/17	13:00-16:50	第3実習室	メタルインレーのワックスパターンの製作	メタルインレーのワックスパターンの概形製作、歯冠形態回復	池田 正臣 土田 優美	到達目標 2
89-94	12/22	10:00-16:50	第3実習室	埋没、鋳造	スブルーイング、埋没、鋳造	池田 正臣 土田 優美	到達目標 3
95-97	1/5	13:00-15:50	第3実習室 遠隔授業(同期型)	卒業製作準備	卒業製作準備	池田 正臣 土田 優美	
98-103	1/7	10:00-16:50	第3実習室 遠隔授業(同期型)	卒業製作準備	卒業製作発表会	池田 正臣 土田 優美	
104-109	1/12	10:00-16:50	第3実習室	メタルインレーの鋳造、調整、完成	鋳造、適合確認、内面調整、接点調整、咬合調整、研磨、完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 3,4,6,7
110-115	1/14	10:00-16:50	第3実習室	レジン前装冠の waxup	レジン前装冠の waxup	池田 正臣 土田 優美	到達目標 3
116-121	1/19	10:00-16:50	第3実習室	レジン前装冠のリテンションビーズ付与、レジン前装冠の埋没	スブルーイング、埋没	池田 正臣 土田 優美	到達目標 3 非常勤講師 市原謙一
122-125	1/21	13:00-16:50	第3実習室	鋳造、調整	鋳造、適合確認、内面調整、接点調整、	池田 正臣 土田 優美	到達目標 3,4,8
126-131	1/26	10:00-16:50	第3実習室	調整、研磨	フィニッシュライン調整、咬合調整、荒研磨	池田 正臣 土田 優美	到達目標 6,8
132-137	1/28	10:00-16:50	第3実習室	前装レジン築盛 前装レジン築盛	デンティン築盛 エナメル築盛	池田 正臣 土田 優美	到達目標 9
138-1	1/31	10:00-16:50	第3実習室	レジン前装冠の形態修	前装レジン築盛、形態修正、研	池田 正臣	到達目標 4,6,9

43			室	正、研磨	磨、完成	土田 優美	
144-1 49	2/2	10:00-16:50	第3実習 室	ファイバーコアの築盛	レジン築盛、形態修正、完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 4,10
150-1 53	2/4	13:00-16:50	第3実習 室	レジン前装冠のワックス パターンの製作	窓開け、ワックスパターン完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 2,8
154-1 59	2/7	10:00-16:50	第3実習 室			池田 正臣 土田 優美	
160-1 65	2/9	10:00-16:50	第3実習 室			池田 正臣 土田 優美	
授業方法 実習							
成績評価の方法 ・製作物(コア 10 点、個歯トレー10 点、テック 10 点、インレー10 点、クラウン 20 点、前装冠 20 点、ファイバーコア 10 点)、出席状況(10点)で総合的に評価する。 ・製作物の点数が 60%未満の場合は再提出とする。							
成績評価の基準 ・実習で製作した作品で評価を行う ・製作物の点数が 60%以上を合格とする。 ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 実習は実習室で行う。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・実習に出席し、提示された期限までに製作物を提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や実習に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。							
教科書 歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations／全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦] [ほか] [著]末瀬 一彦, 1951-,全国歯科技工士教育協議会, 医歯薬出版, 2017							
参考書 クラウンブリッジ補綴学／矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川匠 編集,矢谷 博文, 1954-,三浦 宏之,細川 隆司, 医歯薬出版, 2014 保存修復学 21／田上順次 [ほか] 監修 ; 阿南壽 [ほか] 編集,田上 順次,阿南 壽,奈良 陽一郎,山本 一世,斎藤 隆史, 永末書店, 2017							
備考 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 池田正臣 ikeda.csoe@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。							

第 3 学年
履修科目・ユニット

時間割番号	023503						
科目名	科学英語Ⅱ			科目ID	DE-310300-L		
担当教員	大木 明子[OKI MEIKO]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 15 時間							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom、WebClass) 口腔保健工学専攻 第1 実習室							
授業の目的、概要等 歯科で使われる英語について、英論文を読みながら基本的な知識を理解することができる。							
授業の到達目標 1. 歯学系英語の教科書や研究英論文を読んで内容を理解することができる。 2. 英論文の要点をまとめ、わかりやすい日本語抄録を作成できる。 3. 英語の抄録を説明できる。 4. 英語の専門用語について日本語、英語で述べることができる。 5. 英論文を読み、抄録を作成し、論文の内容をわかりやすく説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/9	13:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	英語の教科書 1	概説、教科書(義歯)	大木 明子	到達目標:1 Zoom 事前に課題を行い WebClass に提出
3-4	4/30	13:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	英語の教科書 2	教科書(総義歯)	大木 明子	到達目標:1 Zoom 事前に課題を行い WebClass に提出
5-6	5/7	13:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	英語の教科書 3	教科書(顎顔面補綴)	大木 明子	到達目標:1 Zoom 事前に課題を行い WebClass に提出
7-8	5/21	13:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	英語論文を読む 1	概説(反転授業)、論文 1	大木 明子	到達目標:1-3 Zoom 事前に課題を行い WebClass に提出
9-10	5/26	16:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	英語論文を読む 2	論文 2、英文抄録の作成	大木 明子	到達目標:1-3 Zoom 事前に課題を行い WebClass に提出
11	6/4	10:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	単語到達度テスト	英単語到達度テスト	大木 明子	到達目標:4 WebClass(非同期型)試験を実施
12-15	7/2	10:00-14:50	第1実習室	抄読会	抄読会、プレゼンテーション	大木 明子	到達目標:5 割り当てられた論文を読み、抄録を作成、発表し、発表後に資料を

							WebClass に提出
授業方法 講義、演習、小テスト、課題発表 1～10 回は遠隔授業(同期型)で行います。 事前に WebClass に提示されている資料を学習し、課題を WebClass にて提出すること。課題の英文について、発言してもらいながら読み進めます。 遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。 11 回は遠隔授業(非同期型)を行います。WebClass 上で歯科英語試験(1 回のみ実施可能)を実施すること。この試験結果は成績に含めません。 12～15 回は抄読会(対面演習)を行います。事前に課題を行い、抄録を WebClass に提出すること。発表後に発表スライドを WebClass に提出すること。							
成績評価の方法 評価は提出課題、小テスト、抄読会の発表、抄録および期末試験(コンピューター試験:60 分)によって行う。 ・課題提出:教科書 1・論文 1 課題(各 5 点)、教科書 2-3・論文 2 課題(各 7.5 点)、小テスト(25 点)で合計 35 点 ・単語到達度テスト(5 点)、抄読会発表(15 点)、期末試験(45 点) を総合的に評価する。 ・課題評価において、WebClass の機能の一つである類似レポートチェック機能を用い、酷似しているレポートや剽窃の疑いのあるものは点数を大きく減じる。 ・抄読会の発表はグループ点だけではなく、個人の担当した部分を主に評価する。また、質問点を追加する。 ・基本的な歯科英語について出題される期末試験が 100 点満点中 60 点未満の場合は再試験とする。							
成績評価の基準 ・期末試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。 ・配点は、コンピューターの期末試験 45 点、提出課題 35 点、単語到達度テスト 5 点、抄読会発表 15 点とし、合計 100 点満点で換算する。 ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に WebClass で提示される英文資料を読み、課題を WebClass にて提出すること。授業当日は提出された英語課題について読み込みます。課題評価において、WebClass の類似レポートチェック機能を用い、酷似しているレポートや剽窃の疑いのあるものは点数を大きく減じる。自分なりに和訳し、課題を行ってください。抄読会については発表準備を行うこと。課題を WebClass にて提出すること。 事前に十分予習してから授業に臨むこと。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3 分の 2 以上の出席を基本とする。 ・事前に提示された課題を行い、授業前の提出期限までに課題を提出し、遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・提示された期限までに課題や抄録、発表プロダクトを提出すること。 ・遠隔授業(非同期型)で実施されるコンピューター試験を受験すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。							
参考書 日本人のための医学英語論文執筆ガイド : thinking in English でネイティブレベルの paper を書く／Amanda Tompson, 相川直樹 著.: 医学書院, 2008 MaCracken's Removable Partial Prosthodontics 11th Ed.／AB Carr, GP McGivney, DT Brown: Elsevier Mosby, 2005 Prosthodontic Treatment for Edentulous Patients 13th Ed.／G Zarb, JA Hobkirk, SE Eckert, RF Jacob: Elsevier, 2013 Maxillofacial rehabilitation 3rd Ed.／J Beumer III, MT Marunick, SJ Esposito: Quintessence, 2011							
履修上の注意事項 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 事前に出される課題を行い、WebClass にて提出すること。							

備考

事前に出される課題を行い、提出して、その課題について授業中にまとめていきます。

反転授業が1回あります。事前にビデオを見てくること。授業の初めに小テストを行います。

英単語のテストの日は非同期型の小テストをコンピューター試験で行います。

抄読会の日は2号館4階の第1実習室に集合してください。

昨年度授業終了時アンケート結果より、課題英文が授業時間内に読み込めないことから、昨年度より課題の英文を少なくし、内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023506						
科目名	コミュニケーション学			科目ID	DE-330600-L		
担当教員	塩沢 真穂[SHIOZAWA Maho]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所 遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等 他者の意見を整理し、自分の意見を相手に伝達するための基本的知識、技能および態度を学び、社会人に必要なコミュニケーション能力を習得する。							
授業の到達目標 1. コミュニケーションの定義と種類について説明できる。 2. 社会人に必要なコミュニケーション能力について説明できる。 3. 物事をわかりやすく説明できる。 4. 自分の意見を的確に伝達できる。 5. コミュニケーションの構築について説明できる。 6. 文章をわかりやすく書くことができる。 7. 適切な敬語を使用できる。 8. 相手に配慮したメールでの依頼ができる。 9. 就職活動の進め方について説明できる。 10. 将来の展望について発表できる。 11. 自己分析方法と結果を解釈できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/7	13:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	社会人に必要なコミュニケーション能力、説明の方法、口頭表現の基礎	社会人に必要なコミュニケーション能力、わかりやすい説明、印象のよい話し方、効果的な自己PR(演習)	塩沢 真穂	到達目標:1-4 授業中に課題を行うのでノートと筆記用具を準備してください。授業後 WebClass に課題を提出すること。
3-5	4/14	13:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	コミュニケーション概論、医療とコミュニケーション	コミュニケーションの進化、コミュニケーションの構成要素、コミュニケーションと認知のフレーミング、認知心理学とメンタルモデル、医療コミュニケーション、言語化・社会化と治癒、メンタルモデル(解釈モデル)の共有、コンセンサス・ゲーム	礪波 健一、 塩沢 真穂	到達目標:5 授業後、WebClass に課題を提出すること。
6-7	4/21	13:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	レポート・論文の書き方の基本	論理的な文章、わかりやすい文の書き方、パラグラフ・ライティング(演習)	塩沢 真穂	到達目標:6 授業中に課題を行うのでノートと筆記用具を準備してください。授業後 WebClass に課題を提出すること。

							と。
8-10	5/19	13:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	敬語、メールでの依頼	敬語の基礎、相手に配慮したメールでの依頼(演習)	塩沢 真穂	到達目標:7,8 授業中に課題を行うのでノートと筆記用具を準備してください。授業後 WebClass に課題を提出すること。
11-12	5/21	15:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	就活活動の実際	在学中の就職活動の実際、就職後に学ぶ接遇とマナー、社会人に求められる能力やスキルについて	塩沢 真穂 鞆野 美咲 鈴木 友実	到達目標:9 授業後、WebClass に課題を提出すること。
13-15	5/26	13:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	将来の展望(課題学習発表) 就職活動の現状	自分の将来展望について(課題学習発表) 自己分析結果の検討、エントリーシートの書き方、面接対策	塩沢 真穂 樋口 和秀 青木 和広	到達目標:10,11 事前に発表スライドを準備し、発表後、WebClass に提出すること。

授業方法

講義、演習、課題発表

遠隔授業(同期型)のほかに演習、課題発表が含まれます。

課題の提出を WebClass にて行うこと。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

成績評価の方法

評価は提出レポート、課題学習発表、期末試験(筆記試験:60分)によって行う。

- ・配点はレポート(20点)、課題学習発表(10点)、期末試験(70点)とする。
- ・期末試験の得点率が6割未満の場合は再試験を行う。
- ・出席状況と授業態度を加味する。

成績評価の基準

- ・期末試験の点数が60点以上のものを合格とする。
- ・配点は、期末試験70点、レポート20点、課題発表10点とし、合計100点満点で換算する。
- ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

昨年度より演習部分を増やし、内容を改善している。

事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・2/3以上の出席を基本とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席し、レポートや演習発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

参考書

大学生のための日本語表現トレーニング スキルアップ編／橋本修、安部朋世、福嶋健伸 編著、橋本、修、安部、朋世、1968-、福嶋、健伸、三省堂、2008

大学生のための日本語表現トレーニング 実践編／福嶋健伸、橋本修、安部朋世 編著、福嶋、健伸、橋本、修、安部、朋世、1968-、三省堂、2009

備考

演習、グループディスカッション、課題学習発表が含まれます。

昨年度授業終了時アンケート結果より、演習部分を少し増やし、実際に体験することで知識の向上をはかれるよう、内容を改善している。

担当教員のオフィスアワー

塩沢 真穂 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

時間割番号	023508A						
科目名	グローバル口腔保健工学実習			科目ID	DE-230800-Z		
担当教員							
開講時期	2021 年度通年	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
実習							
主な講義場所 第1講義室 遠隔授業(同期型)							
授業の目的、概要等 海外における歯科技工の現況を知り、自身の将来設計を具体化させるとともに、海外の口腔保健工学に携わる学生と交流できるようにコミュニケーション力を育てる。国際社会における多様な考え方を理解し、広い視野を持ったグローバルな人材となるために必要な能力を習得する。							
授業の到達目標 1. 日本の文化を英語で説明する。 2. 日本の歯科医療の歴史、現況、将来展望について英語で説明する。 3. 海外の歯科医療と日本の歯科医療の違いを英語で説明する。 4. 東京医科歯科大学について英語で説明する。 5. 日本の文化、歯科医療、東京医科歯科大学についてのプレゼンテーションを英語で作成する。 6. グループワークを通じて協力しながらひとつのものを作り出す過程に必要な寛容性を身につける。 7. 文化・習慣の違いによるコミュニケーションのあり方について理解し実践する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/8	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	外国人に紹介する日本と東京医科歯科大学	海外研修の意義 紹介すべき項目の列挙と整理	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	SBO's: 1-6 Jay Farris Heather Satoh Ashley Warren 各グループの ZoomID と PW は WebClass FKS21012 を参照
3-4	4/22	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	English conversation & presentation check 1	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	SBO's: 1-6 Jay Farris Heather Satoh Ashley Warren 各グループの ZoomID と PW は WebClass FKS21012 を参照
5-6	5/6	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	English conversation & presentation check 2	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	SBO's: 1-6 Jay Farris Heather Satoh Ashley Warren 各グループの ZoomID と PW は WebClass FKS21012 を参照
7-8	5/20	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	English conversation & presentation check 3	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and	JANELLE RENEE M	SBO's: 1-6 Jay Farris Heather

					life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	OROSS, 青木 和広	Satoh Ashley Warren 各グループの ZoomID と PWは WebClass FKS21012 を参照
9-10	6/3	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	English conversation & presentation check 4	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	SBO's: 1-6 Jay Farris Heather Satoh Ashley Warren 各グループの ZoomID と PWは WebClass FKS21012 を参照
11-13	6/10	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	English conversation & presentation check 5	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	SBO's: 1-6 Jay Farris Heather Satoh Ashley Warren 各グループの ZoomID と PWは WebClass FKS21012 を参照
14-16	6/17	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	English conversation & presentation check 6	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	SBO's: 1-6 Jay Farris Heather Satoh Ashley Warren 各グループの ZoomID と PWは WebClass FKS21012 を参照
17-18	7/1	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	English conversation & presentation check 7	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	SBO's: 1-6 Jay Farris Heather Satoh Ashley Warren 各グループの ZoomID と PWは WebClass FKS21012 を参照
19	7/8	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	English conversation & presentation check 8	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	SBO's: 1-6 Jay Farris Heather Satoh Ashley Warren 各グループの ZoomID と PWは WebClass FKS21012 を参照
20	7/15	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	English conversation & presentation check 8	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	SBO's: 1-6 Jay Farris Heather Satoh Ashley Warren 各グループの ZoomID と PWは WebClass FKS21012 を参照
21-23	9/24	15:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	English conversation & presentation check 9	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on	JANELLE RENEE M OROSS, 青	SBO's: 1-6 Jay Farris Heather Satoh Ashley

					presentation script, PP slides	木 和広	Warren 各グループの ZoomID と PW は WebClass FKS21012 を参照
24-26	9/27	13:00-15:50	第1講義室	English conversation & presentation check 10	Conversation about life at TMDU, Japanese culture, curriculum and life of OE. Check progress on presentation script, PP slides	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	SBO's: 1-6 各班、発表を行い録画を行う。
27-30	9/28	09:00-13:50		国際社会でのコミュニケーション 11 月以降の予定で台北医学大学と中止を避ける方向で日程調整します。	国内外の文化・習慣の違いによるコミュニケーションのあり方	青木 和広	台北研修(台北医科大学ほか) SBO's: 1-7
31-34	9/29	09:00-13:50		国際社会でのコミュニケーション 11 月以降の予定で台北医学大学と中止を避ける方向で日程調整します。	国内外の文化・習慣の違いによるコミュニケーションのあり方	青木 和広	台北研修(台北医科大学ほか) SBO's: 1-7
35-38	9/30	09:00-13:50		国際社会でのコミュニケーション 11 月以降の予定で台北医学大学と中止を避ける方向で日程調整します。	国内外の文化・習慣の違いによるコミュニケーションのあり方	青木 和広	台北研修(台北医科大学ほか) SBO's: 1-7
39-42	10/1	09:00-13:50		国際社会でのコミュニケーション 11 月以降の予定で台北医学大学と中止を避ける方向で日程調整します。	国内外の文化・習慣の違いによるコミュニケーションのあり方	青木 和広	台北研修(台北医科大学ほか) SBO's: 1-7
43-45	10/29	10:00-13:50	第1講義室	国内外の文化・習慣の違いによるコミュニケーションのあり方 4 月 1 日現在、日程調整中	英語によるプレゼンと交流報告	JANELLE RENEE M OROSS, 青木 和広	SBO's: 1-7 英語によるプレゼンと交流報告

授業方法

遠隔授業(同期型)、講義、課題発表、演習、実習

成績評価の方法

成績評価の方法

- ・レポート(50 点)および報告会プレゼンテーション(20 点)、英語での発表(20 点)に、出席状況、毎回の課題への取り組み、授業態度を加味し、総合的に評価を行う。
- ・海外特別研修は本授業の 16 時間分として認定する。

成績評価の基準

- ・レポート(50 点)および報告会プレゼンテーション(20 点)、英語での発表(20 点)に、出席状況、毎回の課題への取り組み、授業態度を加味し、総合的に評価を行う。
- ・総合の点数が 60%未満の場合は課題を再提出とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席し、演習発表資料、レポートなどの課題を提示された期限までに提出すること。

準備学習等についての具体的な指示

前期の最後に出される課題について、各自調べて英文で資料を準備しておくこと。

事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験の受験資格(海外特別研修)

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・2/3 以上の出席を海外特別研修への参加条件とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp

メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023511A						
科目名	口腔保健工学管理学			科目ID	DE-351100-L		
担当教員							
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 15 時間 授業形態: 講義							
主な講義場所 遠隔授業(同期型) 演習は第1 実習室							
授業の目的、概要等 作業環境の健康に及ぼす影響および作業環境の改善方法について学ぶ。							
授業の到達目標 1. 自然・社会環境と廃棄物処理について説明できる。 2. 粉じんと有害物質について説明できる。 3. 歯科技工所の設備構造と作業環境の改善方法について説明できる。 4. チェアサイド、ラボサイドの作業環境について説明できる。 5. 作業環境が健康に及ぼす影響を説明できる。 6. 歯科技工所の経営について説明できる。 7. 安全対策について説明できる。 8. 労働安全衛生法について説明できる。 9. 5Sについて説明でき、実施できる							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/9	15:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	環境と健康 ラボサイドでの作業環境、歯科の粉じんと有害物質について	自然・社会環境と廃棄物処理 歯科技工材料の取り扱いと保管方法、歯科の粉じんと有害物質、歯科技工所の作業環境と改善方法と設備構造基準課題	池田 正臣、 日高 洋幸	到達目標 1-5
4-6	4/23	15:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	歯科技工所の作業環境と改善方法について 設備構造基準	歯科技工所の作業環境と改善方法と設備構造基準 (グループワーク、発表)	池田 正臣、 日高 洋幸	到達目標 1-5
7-9	5/7	15:00-17:50	遠隔授業 (非同期型)	チェアサイドとラボサイドでの作業環境と連携 歯科技工所起業と経営	チェアサイドとラボサイドの作業環境と連携 歯科技工所起業と経営の実際	池田 正臣	到達目標 1-6 日高豊彦 高橋健
10-12	6/3	14:00-16:50	第1実習室	5S 演習	鋳造室、実習室の5S 活動演習 安全対策の計画課題	池田 正臣	到達目標 9 5S 演習
13-15	6/4	13:00-15:50	遠隔授業 (非同期型)	作業環境が健康に及ぼす影響、作業環境の測定 安全対策について	作業環境が健康に及ぼす影響と作業管理と作業環境管理 5S 労働安全衛生法 次世代育成支援対策推進法 働き方改革 安全対策の計画(グループワーク、発表)	池田 正臣、 品田 佳世子	到達目標 1-9 安全対策の計画 (グループワーク、発表)
授業方法 講義と演習および課題発表 遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問すること。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答する。							
授業内容 講義、グループワーク、発表							

成績評価の方法 ・発表・グループワーク(20点)、期末の客観試験、論述試験(80点)で総合的に評価する。 ・期末試験が60%未満の場合は再試験とする。
成績評価の基準 ・期末試験の点数が60%以上のものを合格とする。 ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に資料の配付、web-class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・講義・課題発表は基本的に遠隔授業(同期型)、演習は実習室で行います。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・2/3 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表資料などの課題を提示された期限までに提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行う
教科書 歯科技工管理学／全国歯科技工士教育協議会編；末瀬一彦ほか著,全国歯科技工士教育協議会,末瀬 一彦,:医歯薬出版, 2017
参考書 労働衛生のしおり／中央労働災害防止協会/編:中央労働災害防止協会, 2018-08
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること ikedacsoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023513						
科目名	口腔外科学			科目ID	DE-351300-L		
担当教員							
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 15時間 授業形態: 遠隔講義 遠隔授業(非同期型)を中心とするが、同期型講義にてまとめを行う							
主な講義場所 遠隔授業(非同期型)を中心とするが、同期型講義にてまとめを行う							
授業の目的、概要等 口腔外科領域の疾患と診断、治療法の基礎的知識を修得する。臨床口腔解剖学や口腔病理学、歯科麻酔学についても講義内容に含まれる。							
授業の到達目標 1. 口腔外科の概要、口腔外科疾患の種類と診断法について説明できる。 2. 顎顔面口腔に症状を現す先天異常と発育異常を列挙し、その治療法を理解できる。 3. 顎口腔領域の損傷の診断と治療法を理解できる。 4. 顎口腔領域の炎症の診断と治療法を理解できる。 5. 顎口腔領域の嚢胞の診断と治療法を理解できる。 6. 顎口腔領域の腫瘍の診断と治療法を理解できる。 7. 口腔粘膜疾患の診断と治療法を理解できる。 8. 顎口腔領域の神経系疾患の診断および治療法を理解できる。 9. 唾液腺疾患の病因と病態について理解できる。 10. 顎口腔領域に症状を現す血液疾患、出血性素因について理解できる。 11. 代謝性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領域に関連した疾患について理解できる。 12. 口腔外科疾患に関連する補綴治療について説明できる。 13. 顎関節疾患の病因、病態、診断および治療法を理解できる。 14. 口腔外科手術患者、口腔がん患者の全身管理や口腔管理について理解できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/4	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	総論	口腔外科とは、口腔外科を学ぶ重要性、口腔外科診断のプロセス、	樺沢 勇司	到達目標:1 口腔外科を学ぶ重要性ディスカッション
2-3	10/4	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	先天異常と発育異常	口腔外科とは、口腔外科を学ぶ重要性、口腔外科診断のプロセス、歯や軟組織の異常、口唇裂・口蓋裂、その他の口腔・顎・顔面の先天異常、顎変形症	樺沢 勇司	到達目標:1,2
4-6	10/11	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	損傷 炎症 嚢胞	歯の外傷、軟組織損傷、歯槽骨・顎骨骨折 歯槽部・顎骨・顎骨周囲組織の炎症 嚢胞の定義・分類・診断、顎骨の嚢胞、軟組織の嚢胞	樺沢 勇司	到達目標:3-5
7-9	10/18	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	腫瘍および腫瘍類似疾患 口腔粘膜疾患	良性腫瘍・腫瘍類似疾患の診断と治療、悪性腫瘍の診断と治療 口腔粘膜疾患の診断と治療	樺沢 勇司	到達目標:6,7

10-12	10/25	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	口腔顎顔面領域の神経系疾患、唾液腺疾患、血液疾患、出血性素因、代謝性疾患の口腔症状・症候群	口腔顎顔面領域の神経疾患、唾液腺疾患の診断と治療 血液疾患、出血性素因の診断と治療 代謝性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領域に関連した症候群および疾患	樺沢 勇司	到達目標:8-11
13-14	11/1	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	顎関節疾患、口腔外科と補綴治療、口腔外科手術・口腔がん患者の全身管理と口腔健康管理	顎関節症の診断と治療、顎関節症以外の顎関節疾患の種類、診断と治療 口腔外科疾患術後患者に対する補綴治療、補綴に関連した口腔外科手術 口腔外科手術・口腔がん患者への口腔ケア	樺沢 勇司	到達目標:12-14
15	11/1	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	最終講義(まとめ)	理解度の確認(評価テスト)	樺沢 勇司	到達目標:1-14

授業方法

遠隔授業(非同期型)を中心とするが、同期型講義にてまとめを行う

成績評価の方法

事前学習(ビデオ学習を含む)の理解度評価(10 点)、最終講義での演習、討論、授業態度、出席(30 点)および期末テスト(60 点)により総合的に評価する。

成績評価の基準

- ・事前学習(ビデオ学習を含む)の理解度評価(10 点)、最終講義での演習、討論、授業態度、出席(30 点)および期末テスト(60 点)により総合的に評価する。
- ・期末テストの正解率が 6 割未満の場合は、再試験とする。
- ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布およびWebClass 上に事前学習用のビデオなど自己学習用のアップロードがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・2/3 以上の出席を受験資格とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席すること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

参考書

口腔外科・歯科麻酔：顎・口腔粘膜疾患／全国歯科衛生士教育協議会監修；山根源之 [ほか]執筆；松井恭平 [ほか]編集 全国歯科衛生士教育協議会 山根 源之、松井 恭平：医歯薬出版、2011

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィシアワーおよび連絡先

青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp

メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023515						
科目名	高齢者歯科学			科目ID	DE-351500-L		
担当教員	大木 明子, 戸原 玄, 岩佐 康行, 小野 高裕[OKI MEIKO, TOHARA HARUKA, IWASA YASUYUKI, Takahiro Ono]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 30 時間							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom) 口腔保健工学専攻 第2 講義室、リフレッシュルーム、第1 実習室 (学外施設)							
授業の目的、概要等 高齢者に特徴的な疾患と問題点について学び、摂食・嚥下障害など口腔機能障害の病態と、その機能訓練・回復治療法について理解する。高齢者施設の見学をとおして施設利用者に対する理解を深め、高齢者をとりまく環境と口腔内状況、口腔内装置の実態を理解する。							
授業の到達目標 1. 高齢者に特徴的な疾患とそれにより生じる問題点を説明し、介護保険などの公的支援について理解できる。 2. 摂食嚥下障害の病因、病態、障害を説明できる。 3. 高齢者施設について種類を列挙し、介護保険サービスと利用者の口腔内と装着装置の実態を理解できる。 4. 演習をとおして歯科技工のニーズを把握できる。 5. 摂食嚥下障害に対するリハビリテーションの流れを説明できる。 6. 摂食嚥下障害に対する補綴的対応を説明できる。 7. 誤嚥性肺炎と口腔健康管理、口腔衛生管理用品について説明できる。 8. 低栄養とフレイルにより生じる問題点を説明し、栄養状態改善のための栄養管理について説明できる。 9. 摂食嚥下障害に対するチーム医療を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/4	16:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	高齢者の特徴、現状、社会の高齢化、死因、加齢と老化、摂食嚥下のメカニズム	高齢者の特徴、超高齢社会、高齢者の背景、死因、健康寿命と平均寿命、全身の加齢と老化、摂食嚥下のメカニズムとその障害	大木 明子	到達目標:1-2
3-5	10/8	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	摂食嚥下障害の評価法、治療の流れ、摂食嚥下訓練	問診、観察、スクリーニングテスト、検査、摂食嚥下リハビリテーション、摂食嚥下訓練	岩佐 康行	到達目標:1-2, 5-9
6-7	10/11	16:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	高齢者に対する医療、保健・福祉制度、訪問診療	医療、保健、福祉制度、介護保険 高齢者施設、訪問診療、高齢者に多い疾患	大木 明子	到達目標:1,3-4
8-9	10/13	10:00-11:50	第2講義室	高齢者に多い疾患(演習)	高齢者に多い疾患(演習)	大木 明子	到達目標:1-2、4 事前に出された課題を行い、資料を持って参加すること
10-11	10/14	10:00-11:50	第2講義室	高齢者に多い疾患(演習)	高齢者に多い疾患(演習)	大木 明子	到達目標:1-2、4 事前に出された課題を行い、資料を持って参加すること
12-13	10/20	10:00-11:50	第2講義室	高齢者に多い疾患(演習)	高齢者に多い疾患(演習)	大木 明子	到達目標:1-5 事前に出された

							課題を行い、資料を持って参加すること
14-17	10/21	13:00-16:50	第1実習室	高齢者に多い疾患と対応(発表)	高齢者に多い疾患と対応(発表)	大木 明子	到達目標:1-5 発表スライドを授業終了後に提出
18-19	10/25	16:00-17:50	遠隔授業(同期型)	肺炎、口腔健康管理と誤嚥性肺炎予防、誤嚥性肺炎への対応	肺炎、誤嚥、口腔細菌と誤嚥性肺炎、誤嚥性肺炎の予防、誤嚥性肺炎の治療法、口腔健康管理	大木 明子	到達目標:7
20-22	12/6	09:00-11:50	遠隔授業(同期型)	脳血管疾患と摂食嚥下障害	脳血管障害と摂食嚥下リハビリテーション、在宅・施設における摂食嚥下障害の対応	戸原 玄	到達目標:5-9 Zoom(OHと合同)
23-24	12/6	13:00-14:50	遠隔授業(同期型)	口腔腫瘍と摂食嚥下障害	口腔腫瘍と摂食嚥下リハビリテーション、上顎顎義歯、軟口蓋挙上装置、舌接触補助床	小野 高裕	到達目標:6
25-26	12/6	15:00-16:50	遠隔授業(同期型)	栄養管理	低栄養とフレイル、食事の考え方、低栄養への対応	大木 明子	到達目標:1,5,8-9 Zoom
27-28	12/21	10:00-11:50	第2講義室 2号館リフレッシュルーム	栄養実習	栄養管理のための食事(実習)	大木 明子	到達目標:1,5,8-9 試食を行います。
29-30	2/4	10:00-11:50	遠隔授業(同期型)	チームアプローチ、地域包括ケア、まとめ	摂食嚥下障害、言語障害、周術期チーム、栄養サポートチームや呼吸サポートチーム、地域包括ケア、まとめ	大木 明子	到達目標:1, 5, 7-9

授業方法

講義、演習、実習

講義は遠隔授業(同期型)で行います。

演習は対面で行います。事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。

演習の課題を WebClass にて行い、提出すること。

実習は講義室、実習室およびリフレッシュルームで行います。各自、実習で使用するための水(飲料)やスプーン等、指示されたものを持参すること。実習後にレポートを提出すること。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

成績評価の方法

評価は課題提出、課題発表および期末試験(筆記試験:60分)によって行う。

- ・演習発表(10点)、演習発表スライド(10点)、栄養実習レポート(5点)、筆記試験(75点)で総合的に評価する。
- ・演習発表はグループではなく個人評価を行う。
- ・期末試験が[※]100点満点中60点未満の場合は再試験とする。

成績評価の基準

- ・期末試験の点数が[※]60点以上のものを合格とする。
- ・配点は、筆記試験75点、課題発表10点、課題発表スライド10点、実習レポート5点とし、合計100点満点で換算する。
- ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

人体の構造と機能で学習した頭頸部の解剖と生理について復習しておくこと。

事前に資料が[※]WebClass にアップロードされた場合はよく読んでから講義に出席すること。基本的に配布資料はWebClass にアップロードされます。

(高齢者施設見学に際して誓約書が必要。事前に WebClass にアップされた資料をよく読み準備すること。高齢者施設見学の際には、医療人としての自覚を持ち、見学態度、身だしなみに注意し、入所者に対して尊敬をもって接すること。)見学実習は未定

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・3分の2以上の出席を基本とする。
- ・遠隔授業(同期型)に出席すること。
- ・演習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。発表会で発表すること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

参考書

歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 = Dysphagia Rehabilitation for Dental Students／向井美恵、山田好秋、井上誠、弘中祥司 編著、向井、美恵、1947-、山田、好秋、1949-、井上、誠、1963-、:医歯薬出版、2019

歯科発アクトイブライフプロモーション 21 : 健康増進からフレイル予防まで／花田信弘 監著、武内博朗、野村義明、泉福英信 編著、花田、信弘、1953-、武内、博朗、1962-、野村、義明、泉福、英信、:デンタルダイヤモンド社、2017

義歯ケア事典 : らくらくお口のケア : 義歯ケアマイスター認定テキスト／日本義歯ケア学会編、日本義歯ケア学会、浜田、泰三、水口、俊介、:永末書店、2018

歯科と栄養が会おうとき : 診療室からはじめる!フレイル予防のための食事指導／菊谷武、尾関麻衣子 著、菊谷、武、尾関、麻衣子、:医歯薬出版、2020

高齢者歯科／植田耕一郎ほか著、植田、耕一郎、全国歯科衛生士教育協議会、:医歯薬出版、2013

開業医のための摂食・嚥下機能改善と装置の作り方超入門 : 摂食機能療法&舌接触補助床 (PAP) の基本がわかる Q&A 50／前田芳信、阪井丘芳 監著、小野高裕 編著、野原幹司、小谷泰子、堀一浩、山本雅章、中島純子、熊倉勇美 著、:クインテッセンス出版、2013

臨床歯科栄養学 : 歯科に求められる栄養の基礎知識／花田信弘、萩原芳幸、北川昇 監修、花田、信弘、1953-、萩原、芳幸、北川、昇、:口腔保健協会、2018

他科目との関連

臨床義歯管理工学、臨床実習Ⅰと一部連動します。

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 演習においては自学自習の上、参加すること。(高齢者施設の見学を行う場合、実習先指導者の指示に従って行動し、個人情報の保護に十分留意すること。 見学に当たっては服装等の注意があるので、注意に従うこと。実習の可否は未定)

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、演習時間を確保し、対面とすることで演習での議論を活発に行えるようにした。新カリキュラムにかかわるにあたり、臨床義歯管理工学や臨床実習Ⅰと連携させることで学習内容の範囲を整理、改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023523						
科目名	臨床咬合学			科目ID	DE-352300-L		
担当教員	大木 明子, 塩沢 真穂, 鈴木 啓之[OKI MEIKO, SHIOZAWA Maho, SUZUKI Hiroyuki]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 15 時間							
主な講義場所 遠隔授業(WebClass) 1 号館 8 階 口腔保健学科 相互実習室 2 号館第1実習室							
授業の目的、概要等 咬合器装着模型を用いた学生相互実習において、予備印象採得、顔弓記録、調節性咬合器の装着、顎路調整という一連の臨床操作を実施することにより、下顎運動と歯の咬合接触を中心とした咀嚼と咬合のメカニズムを理解する。口腔機能低下症と口腔機能評価について理解する。							
授業の到達目標 1. 標準予防策について説明する。 2. 衛生的な手洗いを説明できる。 3. 歯科医療で用いるものの廃棄についてゴミを分別できる。 4. 予備印象採得の方法を説明できる。 5. 研究用模型を製作する。 6. 半調節性咬合器の種類を説明できる。 7. フェイスボウトランスファーの方法を理解できる。 8. チェックバイトを説明できる。 9. 顎路調整を行う。 10. 口腔機能低下症と用いられる口腔機能評価を説明できる。 11. 舌圧の測定法と役割を説明できる。 12. 咬合接触面積を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	6/4	11:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	感染予防について 口腔機能低下症と口腔機能評価	標準予防策、衛生的な手洗い、廃棄物の分類、口腔機能低下症と口腔機能評価	大木 明子	到達目標:1-3、10-11 WebClassにある資料・動画の視聴を行い、小テストを実施
2-3	6/11	10:00-11:50	口腔保健学科相互実習室 第1実習室	感染予防のための衛生的な手洗い、予備印象採得(実習)	衛生的な手洗い、歯科用ユニットの使用法、アルジネート印象材による予備印象採得(実習)、口腔機能評価2(口腔衛生状態)	大木 明子, 塩沢 真穂 鈴木 啓之	最初に白衣を着て第1実習室に集合してください。 unnecessaryなものは持参しないように。到達目標:1-4, 10
4-7	6/11	13:00-16:50	第1実習室	研究用模型の製作(実習)	研究用模型の製作 半調節性咬合器の種類と取り扱い	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標:3, 5-6 実習作品の提出
8-9	6/18	10:00-11:50	口腔保健学科相互実習室	フェイスボウトランスファー(1)、口腔機能の測定1(実習)	フェイスボウトランスファー、チェックバイト法、咬合接触面積の測定1(実習)	大木 明子, 塩沢 真穂 濱 洋平	最初に白衣を着て第1実習室に集合してください

			第1実習室				い。 unnecessaryなものは持参しないように。到達目標: 1-3,6-8,12
10-13	6/18	13:00-16:50	第1実習室	フェイスボウトランスファー(2)(実習)	咬合器装着、チェックバイト法(実習)	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標: 6-8 実習作品の提出
14-15	6/25	10:00-11:50	第1実習室	顎路調整、口腔機能の測定 2(実習)	顎路調整、口腔機能の測定 2、咬合接触面積の測定 2	大木 明子, 塩沢 真穂	到達目標: 9-12 実習後にレポートを提出
授業方法 講義、実習 遠隔授業(非同期型)と対面実習を行います。 事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。 遠隔授業の課題を WebClass にて行い、提出すること。 遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、授業担当者にメールで質問してください。授業担当者よりメールで回答します。 実習で与えられた課題レポートを WebClass にて提出すること。 実習で印象採得、模型の製作、フェイスボウトランスファー、咬合器装着、半調節性咬合器の調節、口腔機能検査を行う。							
成績評価の方法 評価は提出作品および期末試験(筆記試験:60 分)によって行う。 ・研究模型(上下各 5 点、計 10 点)、フェイスボウトランスファー(5 点)、咬合器装着(10 点)、口腔機能測定実習レポート(5 点)、期末試験(70 点)で総合的に評価する。 ・期末試験が 100 点満点中 60 点未満の場合は再試験とする。							
成績評価の基準 ・期末試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。 ・配点は、筆記試験 70 点、提出プロダクト 25 点、実習レポート 5 点とし、合計 100 点満点で換算する。 ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 WebClass の資料・動画を視聴し、小テストを実施すること。 実習にあたって事前に WebClass でビデオ教材を予習してくる。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3 分の 2 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(非同期型)で課題を実施し、WebClass に提出すること。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。							
教科書 顎口腔機能学 = Stomatognathic Function Science / 全国歯科技工士教育協議会 編集, 志賀博, 町博之, 小泉順一, 竹井利香 著, 志賀, 博, 町, 博之, 小泉, 順一, 全国歯科技工士教育協議会.: 医歯薬出版, 2016							
参考書 コンプリートデンチャーテクニク / 細井紀雄 [ほか] 編, 細井, 紀雄, 平井, 敏博, 長岡, 英一, 赤川, 安正, 鈴木, 哲也(歯科学), 大川, 周治.: 医歯薬出版, 2011							
履修上の注意事項 授業場所に注意すること(シラバスに集合場所が記載されています。)。 実習にあたり、服装の注意事項があるので確認して実習に臨むこと。							
備考							

昨年度授業終了時アンケート結果より、事前に WebClass にある資料を学習することで実習時間を確保し、学習内容の範囲を整理、改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

塩沢真穂 助教 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

時間割番号	023037A						
科目名	プロセスデバイス工学				科目ID	DE-292900-L	
担当教員	土田 優美[TSUCHIDA Yuumi]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業							
科目名: プロセスデバイス工学 時間数: 15 時間 授業形態: 講義・演習 選択							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom, WebClass)、見学実習							
授業の目的、概要等 コンピュータ支援設計・加工・製造および三次元計測の原理と、歯科へ応用するための基礎的な知識を習得する。							
授業の到達目標 1. コンピュータの基本的な構成とシステムについて説明する。 2. コンピュータ技術、人工知能技術を応用したものづくりについて説明する。 3. 三次元データの計測、設計、加工、製造の方法と仕組みを説明する。 4. 歯科用 CAD/CAM の基礎と最近の動向について説明する。 5. 数値解析法の概要と有限要素法について説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/20	13:00-14:50	遠隔授業 (非同期型)	コンピュータ概論	ハードウェア、ソフトウェアの基礎	土田 優美	到達目標:1 終了後に小テストを実施
3-4	4/20	15:00-16:50	遠隔授業 (非同期型)	CAD/CAM/CAE 概論	コンピュータの発展に伴うものづくりの変化、人工知能技術の応用	土田 優美	到達目標:2,3 終了後に小テストを実施
5-6	4/27	13:00-14:50	遠隔授業 (非同期型)	三次元データの計測と設計	三次元スキャニング、デジタル設計	土田 優美	到達目標:3 終了後に小テストを実施
7-8	4/27	15:00-16:50	遠隔授業 (非同期型)	三次元データの加工と造形	切削加工法、三次元造形法	土田 優美	到達目標:3 終了後に小テストを実施
9-10	5/19	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	歯科用 CAD/CAM システム	最近の歯科用 CAD/CAM システムの動向	瓜生 博伺	到達目標:4 事前に課題を実施し、終了後にレポートを提出
11-12	5/26	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	数値解析法	数値解析法、有限要素法	中口 悦史	到達目標:5
13-15	7/27	13:00-15:50	第1実習室	企業見学	積層造形と三次元形状測定機器のショールーム見学	土田 優美	到達目標:3 事前に課題を実施し、終了後にレポートを提出
授業方法 講義、演習 遠隔授業(同期型・非同期型)および見学実習を行う。 1〜8 回は遠隔授業(非同期型)で行う。WebClass にアップロードされる資料にて学習し、小テストでの合格(7 割以上)をもって出席とする。							

小テストの期限は原則授業実施予定日から一週間とし、期間中は何度でも実施可能とする。この試験結果は成績に加味する。 9～15回は遠隔授業(同期型)および見学実習を行う。事前課題や感想レポートが課されるため、期限までにWebClassに提出すること。課題内容については随時連絡する。 遠隔授業(非同期型)での質問は、授業担当者にメールで質問すること。回答は授業担当者よりメールで行う。 遠隔授業(同期型)での質問は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者へメールで質問すること。回答は授業担当者より授業時間中に直接回答もしくはメールで行う。
成績評価の方法 評価は提出課題および期末試験(筆記試験:60分)によって行う。 提出課題はレポート(5点×3課題)である。 期末試験の配点は85点とするが、期末試験の点数が6割未満の場合は再試験とする。 出席状況、授業態度、小テストの結果を総合的に評価に加味する。
成績評価の基準 ・期末試験の点数が60点以上のものを合格とする。 ・配点は、期末試験85点、レポート3課題 合計15点とし、合計100点満点で換算する。 ・出席状況、授業態度、小テスト結果を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、WebClassへのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3分の2以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型・非同期型)および見学実習に出席すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業・見学実習に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
教科書 基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編,末瀬一彦, 1951-,宮崎, 隆, 1953-,日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会,:医歯薬出版, 2017
参考書 CAD/CAM/CAE 入門／安田仁彦著,安田, 仁彦,:オーム社, 1999 3次元CAD実践活用法／日本設計工学会編,日本設計工学会,:コロナ社, 2006 CAD/CAM/CAE 活用ブック／ツールエンジニア編集部編著,ツールエンジニア編集部,:大河出版, 2006 進化し続けるトヨタのデジタル生産システムのすべて／武藤一夫 著,武藤, 一夫, 1955-,:技術評論社, 2007
備考 新カリキュラムにあたり30時間から15時間科目となった。講義、実習内容を検討している。 担当教員のオフィスアワー 土田 優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp 中口 悦史 nakaguti.las@tmd.ac.jp
連絡先(メールアドレス) yumi.bmoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023538						
科目名	部分床義歯工学実習Ⅱ				科目ID	DE-253800-E	
担当教員	塩沢 真穂 沖本 祐真[SHIOZAWA Maho, Yushin Okimoto]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
主な講義場所							
第1 実習室、重合・鋳造室、総合実習室							
授業の目的、概要等							
部分的歯牙欠損患者の口腔機能回復のための理論と、各種構成要素に用いる材料の諸性質を理解、および補綴装置の構造力学的安定を考慮し、個々の臨床ケースに対応できる部分義歯製作のための技法および技術を身につける。							
授業の到達目標							
1. 金属床義歯の設計線の記入ができる。							
2. ワックスを使用してブロックアウト・リリースができる。							
3. 複印象の採得と耐火模型の製作ができる。							
4. 金属床のワックスアップができる。							
5. ワックスパターンにスブルーイングができる。							
6. リン酸塩系埋没材で埋没ができる。							
7. コバルトクロム合金の鋳造ができる。							
8. ワイヤークラスプの屈曲ができる。							
9. メタルフレームの形態修正・研磨ができる。							
10. 審美性・機能性に配慮して人工歯排列ができる。							
11. 機能性および生体親和性に配慮して歯肉形成ができる。							
12. 即時重合レジンの流し込みと重合ができる。							
13. レジン床の形態修正と研磨ができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-5	4/5	13:00-17:50	第1実習室	義歯の設計、サベイング、ブロックアウト・リリース	支台装置の概略と構成要素、金属床外形線の記入、ブロックアウトおよびリリース、鋳造床製作術式の講義	沖本 祐真 塩沢 真穂	到達目標:1, 2
6-10	4/12	13:00-17:50	第1実習室	耐火模型の製作、ワックスアップ	複印象採得、耐火模型材注入、耐火模型の表面処理、力学的構造設計、ワックスアップ	沖本 祐真 塩沢 真穂	到達目標:3, 4
11-15	4/19	13:00-17:50	第1実習室	ワックスアップ	力学的構造設計、ワックスアップ	沖本 祐真 塩沢 真穂	到達目標:4
16-20	4/26	13:00-17:50	第1実習室	埋没	スブルーイング、埋没	沖本 祐真 塩沢 真穂	到達目標:5, 6
21-25	5/10	13:00-17:50	第1実習室	鋳造、形態修正、研磨	鋳造、スブルーカット、形態修正、内面研磨	沖本 祐真 塩沢 真穂	到達目標:7, 8
26-30	5/17	13:00-17:50	第1実習室	研磨、適合	クラスプの維持力調整、仕上げ研磨、作業用模型への適合	沖本 祐真 塩沢 真穂	到達目標:9
31-35	5/24	13:00-17:50	第1実習室	人工歯排列、歯肉形成	臼歯部人工歯排列、歯肉形成	沖本 祐真 塩沢 真穂	到達目標:10, 11
36-40	5/31	13:00-17:50	第1実習室	レジン重合、形態修正	コア採得、流し込みレジン重合、咬合調整、形態修正	沖本 祐真 塩沢 真穂	到達目標:12, 13
41-45	6/7	13:00-17:50	第1実習室	研磨	レジン研磨、完成	沖本 祐真 塩沢 真穂	到達目標:13 実習作品の提出

授業方法 実習 上顎金属床義歯の製作実習 事前に WebClass に提示されている資料を学習して予習しておくこと。
成績評価の方法 評価は実習で製作する作品と出席状況によって行う。 ・完成製作物(90 点):形態(40 点)、適合状態(20 点)、研磨状態(30 点) ・出席状況(10 点) で総合的に評価する。授業態度を加味する。
成績評価の基準 ・実習で製作した完成製作物(90 点)、出席状況(10 点)で評価を行う。60 点以上を合格とする。 ・授業態度を総合的評価に加味する。
準備学習等についての具体的な指示 実習予定表および実習書を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておく。 WebClass に資料がアップされているときには、事前に確認しておく。
試験の受験資格 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・実習に出席し、提示された期限までに作品を提出すること。
参考書 新 1 週間でマスターするキャストパーシャル／川島哲 著,川島 哲, 1948-,: 医歯薬出版, 2012 T.K.M.キャストデンチャーのすべて : bio-mimetic cast denture／川島哲 著,川島 哲, 1948-,: 医歯薬出版, 2005 「デジタルサベヤーによるキャストクラスプの設計と製作」野首孝祠・小野高裕・奥野善彦 著 デンタルエコー Vol.66 SHOFUInc. 京都 1984 「コバルトクロム合金を用いたキャストクラスプの合理的な製作法」野首孝祠・小野高裕・守光隆・奥野善彦著 デンタルエコー Vol.71 SHOFUInc. 京都 1986 「パーシャルデンチャーの設計・製作によりよい環境を求めて」野首孝祠・安井栄・喜多誠一・奥野善彦 著 デンタルエコー Vol.89 SHOFUInc. 京都 1992 「合理的で確実なパーシャルデンチャーの製作方法」池邊一典・野首孝祠 著 デンタルエコーVol.109 SHOFUInc. 京都 1997 「金属床と構造設計進化論-軽くて薄くて壊れない金属床義歯の設計と製作」古賀壮一 歯科技工 Vol.33 No.4 pp.409-433 医歯薬出版 東京 2005 「義歯に血の通うまで～アルプス歯科の総義歯製作技法」中込敏夫・向井道夫 著 サンバレー書房 2011 「Fundamentals of Esthetic Dental Technology」歯科技工別冊 医歯薬出版 2009 「パーシャルデンチャー製作のための設計/構造」歯科技工別冊 医歯薬出版 2000
履修上の注意事項 事前に資料の配付、Web Class へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、内容を改善している。 担当教員のオフィシアワー 塩沢 真穂 メールにて日時を相談 m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp

時間割番号	023530						
科目名	顎補綴工学				科目ID	DE-353000-L	
担当教員	大木 明子, 吉岡 文[OKI MEIKO, FUMI Yoshioka]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 15 時間							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom)							
授業の目的、概要等 顎口腔および顔面の欠損の病態と治療法、治療用装置の構造と製作法を理解する。外科治療や放射線治療、言語治療などに用いられる補助装置の構造と製作法、治療法を理解する。							
授業の到達目標 1. 顎顔面補綴の治療範囲、原因、分類を説明できる。 2. 上顎欠損症例の特徴と欠損の病態、治療法、治療用装置について説明できる。 3. 上顎欠損に用いられる補綴装置の構造と製作過程を説明できる。 4. 下顎欠損症例の特徴と欠損の病態、治療法、治療用装置について説明できる。 5. 舌欠損症例の特徴と欠損の病態、治療法、治療用装置について説明できる。 6. 外傷後の補綴と小口症、開口障害への対応について説明できる。 7. 放射線治療補助装置の種類と放射線治療法について説明できる。 8. インプラントを用いた顎顔面欠損に対する対応を説明できる。 9. 唇顎口蓋裂の病態と特徴、治療用装置について説明できる。 10. 言語治療補助装置と治療法を説明できる。 11. 外科治療補助装置について説明できる。 12. 顔面、体幹欠損症例の欠損の病態、材料、治療用装置について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	10/5	13:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	顎顔面補綴学とは、上顎欠損と上顎顎義歯	定義、分類、歴史 上顎欠損の特徴、製作法、分類反転授業、上顎欠損の症例、上顎顎義歯の設計演習	大木 明子	到達目標:1-3 Zoom 小テストを実施
5-6	11/5	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	設計演習 下顎欠損と舌欠損	演習解説、下顎欠損、舌欠損の特徴、症例	大木 明子	到達目標:4-5 Zoom 設計演習課題を WebClass に提出後に授業に出席すること
7-9	11/12	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	外傷後の補綴、小口症、開口障害の補綴、放射線治療と補綴	顎顔面部外傷後特徴、小口症・開口障害の特徴、印象採得・技工の工夫について、口腔咽頭腫瘍に対する放射線治療、放射線治療補助装置、放射線治療後の補綴	大木 明子	到達目標:6-7
10	11/19	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	インプラントを用いた顎顔面補綴	インプラントを用いた顎顔面補綴の症例	尾澤 昌悟	到達目標:8
11-12	11/19	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	唇顎口蓋裂と補綴、言語治療用補助装置、各種補助装置	唇顎口蓋裂の特徴、チームアプローチと補綴、構音障害と言語治療用補助装置、外科治療用補助装置	大木 明子	到達目標:9-11
13-14	1/14	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	顔面・体幹補綴	顔面補綴治療、体幹補綴、エビテーゼ材料、エビテーゼの製作法	大木 明子	到達目標:12

15	1/14	11:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	顔面補綴の症例	顔面補綴の症例	吉岡 文	到達目標:12
授業方法 講義、小テスト(WebClass)、演習 遠隔授業(同期型)で行います。 事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。 遠隔授業の課題を行い、期限までに対面で提出すること。 遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。							
成績評価の方法 評価は小テスト、提出課題および期末試験(筆記試験:60 分)によって行う。 ・小テスト(5 点)、設計演習(5 点)、筆記試験(90 点)で総合的に評価する。 ・期末試験が 100 点満点中 60 点未満の場合は再試験とする。							
成績評価の基準 ・期末試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。 ・配点は、筆記試験 90 点、小テスト 5 点、設計演習課題 5 点とし、合計 100 点満点で換算する。 ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に WebClass に資料がアップロードされた場合は予習をしてから講義にのぞむこと。 1 回目の上顎欠損分類について、事前に WebClass にアップロードされている課題を行った上で講義にのぞむこと(反転授業)。講義中に小テストを行います。 設計演習の宿題を期日までに提出すること。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3 分の 2 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・事前学習の後実施される小テストを行うこと。 ・課題を実施し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。							
参考書 顎顔面補綴の臨床：咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために／大山喬史、谷口尚 編：医学情報社、2006 口唇裂口蓋裂の補綴治療／大山喬史 編著：医歯薬出版、1997 口唇口蓋裂のチーム医療／高戸毅 監修、須佐美隆史、米原啓之 編：金原出版、2005 構音障害の臨床：基礎知識と実践マニュアル／阿部雅子 著：金原出版、2008 顎口腔外傷のチーム医療／高戸毅 監修、米原啓之、須佐美隆史 編：金原出版、2005 口腔・中咽頭がんのリハビリテーション：構音障害、摂食・嚥下障害／溝尻源太郎、熊倉勇美 編著：医歯薬出版、2000							
他科目との関連 高齢者歯科工学と一部連動しています。							
履修上の注意事項 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 課題の提出を提示された期日までに行うこと。							
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、余談が多く時間が延長するということから授業内容を検討し、解説症例数を減じた。また、学習の理解が高まるよう事前に演習課題を実施すること、顎補綴工学実習、顔面補綴工学実習の時期に合わせて時間割を作成することで内容を改善した。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先							

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023531						
科目名	顎補綴工学実習			科目ID	DE-353100-E		
担当教員	大木 明子, 土田 優美[OKI MEIKO, TSUCHIDA Yuumi]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 70 時間							
主な講義場所							
口腔保健工学専攻 第1 実習室、総合実習室、重合・鑄造室							
授業の目的、概要等							
上顎骨欠損患者に適用される上顎顎義歯の構造と栓塞子の製作法を理解し、上顎顎義歯を製作する。							
授業の到達目標							
1. 上顎顎義歯の構造について説明できる。							
2. 無歯顎上顎欠損の印象範囲を理解し、個人トレーを製作する。							
3. 上顎欠損の部分床義歯について設計原則を理解し、設計を行う。							
4. 上顎顎義歯製作のための咬合採得の手順を理解し、ワイヤークラスプを付与した咬合床を製作する。							
5. 上顎顎義歯製作のために模型を適切に咬合器に装着する。							
6. 上顎顎義歯の支台装置を適切な形態でワックスパターンを製作し、鑄造、製作する。							
7. 適切な人工歯排列を行う。							
8. 自然感と清掃性を考慮した歯肉形成を施すことができる。							
9. ろう義歯の埋没、流ろう、レジン填入および重合を適切に行える。							
10. 栓塞部の製作法を理解して石膏コアを製作する。							
11. 上顎顎義歯の咬合調整、形態修正、研磨を行える。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	10/7	13:00-16:50	第1実習室	顎補綴工学実習概説 個人トレー	顎補綴工学実習内容説明、模型調整、概形線記入、ブロックアウト、 リリーフ 常温重合レジン圧接、トリミング、柄	大木 明子	到達目標:1,2 実習作品の提出
5-8	10/14	13:00-16:50	第1実習室	咬合床	作業用模型調整、設計、ブロックアウト、リリーフ、常温重合レジン圧接、トリミング	大木 明子	到達目標:1,3-4
9-12	10/19	13:00-16:50	第1実習室	咬合床	ワイヤークラスプ屈曲、クラスプ固定	大木 明子	到達目標:1,3-4
13-16	10/26	13:00-16:50	第1実習室	咬合床、咬合器装着	ワイヤークラスプ屈曲、クラスプ固定、ワックスリム追加、咬合採得、咬合器装着	大木 明子	到達目標:1,3-5 実習作品の提出
17-20	11/4	13:00-16:50	第1実習室	設計、支台装置	設計、ワイヤークラスプ屈曲、ブロックアウト	大木 明子	到達目標:1,3,6
21-24	11/9	13:00-16:50	第1実習室	支台装置	ブロックアウト、リリーフ、複印象、耐火模型製作、支台装置ワックスパターンの製作	大木 明子	到達目標:1,3,6
25-28	11/11	13:00-16:50	第1実習室	支台装置	支台装置ワックスパターンの製作、埋没	大木 明子	到達目標:1,3,6
29-32	11/16	13:00-16:50	第1実習室	人工歯排列 支台装置	人工歯排列、鑄造	大木 明子, 土田 優美	到達目標:1,3,6-7
33-36	11/18	13:00-16:50	第1実習室	支台装置	支台装置形態修正、研磨	大木 明子	到達目標:1,3,6

37-40	12/7	13:00-16:50	第1実習室	支台装置、人工歯排列	レーザー溶接・ろう着、支台装置完成・付与、人工歯排列	大木 明子、 土田 優美	到達目標:1,3,6-7
41-44	12/9	13:00-16:50	第1実習室	歯肉形成、ろう義歯完成	歯肉形成、ろう義歯完成、埋没前準備	大木 明子	到達目標:1,7-8 実習作品の提出
45-48	12/14	13:00-16:50	第1実習室	埋没、流ろう	一次埋没、シリコンコア採得、二次埋没、三次埋没、流ろう	大木 明子	到達目標:1,9
49-52	12/16	13:00-16:50	第1実習室	欠損部修正、石膏コア製作	欠損部修正、石膏コア製作	大木 明子	到達目標:1,9-10
53-55	12/21	13:00-15:50	第1実習室	填入、重合	レジン填入、重合	大木 明子、 土田 優美	到達目標:1,9-10
56-58	12/23	13:00-15:50	第1実習室	割り出し、咬合器再装着、咬合調整	割り出し、咬合器再装着、人工歯咬合調整	大木 明子	到達目標:1,11
59-62	1/6	13:00-16:50	第1実習室	割り出し、形態修正	割り出し、形態修正	大木 明子	到達目標:1,11
63-66	1/11	13:00-16:50	第1実習室	形態修正、研磨	形態修正、研磨	大木 明子	到達目標:1,11
67-70	1/13	13:00-16:50	第1実習室	研磨、完成	研磨	大木 明子	到達目標:1,11 実習作品の提出

授業方法

実習、反転授業

上顎骨欠損に用いられる個人トレー、上顎顎義歯の製作実習

事前に WebClass に提示されている資料、デモビデオを学習して予習しておくこと。

成績評価の方法

評価は実習で製作するプロダクトによって行う。

- ・上顎個人トレー(柄、辺縁、栓塞部、全体:計 20 点)
- ・上顎顎義歯の咬合床(基礎床、ろう堤、栓塞部:計 15 点)
- ・ろう義歯(支台装置、人工歯排列、全体:計 15 点)
- ・完成顎義歯(支台装置、人工歯部、栓塞部、研磨状態、全体:計 50 点)

について段階的に評価し、合計点数を成績とする。

成績評価の基準

- ・実習で製作した作品で評価を行う(配点 100 点)。60 点以上を合格とする。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

実習書および WebClass の資料、実習デモビデオを事前によく見て予習してから出席すること。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。
- ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。

参考書

顎顔面補綴の臨床：咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために／大山喬史，谷口尚 編 大山，喬史，1939-，谷口，尚，1952-，：医学情報社，2006
Maxillofacial Rehabilitation 3rd Edition／J. Beumer III, MT Maunick, SJ Esposito：Quintessence，2011

履修上の注意事項

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 実習デモビデオを必ず視聴してから授業に臨むこと。

備考

実習の初めにデモを行いません。各自デモビデオをあらかじめ視聴してから実習をしてください。

ステップごとにチェックを行います。

昨年度授業終了時アンケート結果より、時間が足りないということから、今年度より新カリキュラムに移行し、10 時間増加の 70 時間の時間を確保しました。時間を有効に使うため、ビデオ教材を更新しています。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023562						
科目名	顔面補綴工学実習			科目ID			
担当教員	大木 明子[OKI MEIKO]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業							
必修 30 時間							
主な講義場所							
口腔保健工学専攻 第1実習室、総合実習室、重合・鋳造室							
授業の目的、概要等							
顔面の欠損に適用される治療用装置の構造と製作法を理解し、眼窩部欠損患者に適応される義眼および眼窩部エピテーゼを製作する。							
授業の到達目標							
1. エピテーゼに用いられる材料について説明する。							
2. エピテーゼのための個人トレーを製作する。							
3. 義眼の構成を列挙し、義眼を製作する。							
4. 眼窩部エピテーゼを製作する。							
5. 内部彩色と外部彩色の違いを説明し、エピテーゼ用シリコン材料に彩色する。							
6. まつ毛を植毛する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	1/18	14:00-16:50	第1実習室	個人トレーの製作	個人トレーの製作	大木 明子	到達目標:1,2 実習作品の提出
4-7	1/20	13:00-16:50	第1実習室	義眼の製作	義眼の製作	大木 明子	到達目標:1-3 筆とアクリル絵の具が必要 実習作品の提出
8-10	1/25	14:00-16:50	第1実習室	ワックスパターンの製作	エピテーゼワックスパターンの製作	大木 明子	到達目標:1,4
11-14	1/27	13:00-16:50	第1実習室	ワックスパターンの製作	エピテーゼワックスパターンの製作	大木 明子	到達目標:1,4
15-17	2/1	14:00-16:50	第1実習室	ワックスパターンの製作、埋没	エピテーゼワックスパターンの製作、埋没準備	大木 明子	到達目標:1,4 針など先が細いものが必要
18-21	2/3	13:00-16:50	第1実習室	ワックスパターンの埋没	エピテーゼワックスパターンの埋没	大木 明子	到達目標:1,4
22-24	2/8	14:00-16:50	第1実習室	流ろう、内部彩色、シリコン重合	流ろう、内部彩色、シリコン填入、重合	大木 明子	到達目標:1,4-5
25-28	2/9	13:00-16:50	第1実習室	内部彩色、シリコン重合、割り出し	内部彩色、シリコン填入、重合、割り出し	大木 明子	到達目標:1,4-5 スパチュラと筆が必要
29-30	2/10	13:00-14:50	第1実習室	外部彩色、まつ毛付与、エピテーゼ完成	形態修正、外部彩色、まつ毛付与	大木 明子	到達目標:1,4-6 まつ毛を準備して持参 実習作品の提出
授業方法							
実習、反転授業							
顔面欠損に用いられる個人トレー、義眼、顔面補綴装置(エピテーゼ)の製作実習							
事前に WebClass に提示されている資料を学習して予習しておくこと。							

事前に用意しておくものが提示されるので購入して持参すること。
成績評価の方法 評価は実習で製作するプロダクトによって行う。 ・エプテーゼ用個人トレー（柄、トレー形態、辺縁部、全体：計 20 点） ・義眼（虹彩、強膜、形態、研磨状態：計 20 点） ・ワックスパターン（形態、表面：計 10 点） ・完成エプテーゼ（表面、裏面、内部彩色、植毛、全体：計 50 点）について段階的に評価し、合計点数を成績とする。
成績評価の基準 ・実習で製作した作品で評価を行う（配点 100 点）。60 点以上を合格とする。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
準備学習等についての具体的な指示 実習書および WebClass の資料、実習デモビデオを事前によく見て予習してから出席すること。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。
参考書 顎顔面補綴の臨床：咀嚼・嚥下・発音の機能回復のために／大山喬史, 谷口尚 編, 大山, 喬史, 1939-, 谷口, 尚, 1952-, : 医学情報社, 2006 Maxillofacial Rehabilitation 3rd Edition／J. Beumer III, MT Maunick, SJ Esposito: Quintessence, 2011 Fundamentals of Facial Prosthetics／R. E. McKinstry: ABI Professional Publications, 1995
履修上の注意事項 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。実習デモビデオを必ず視聴してから授業に臨むこと。
備考 実習の初めにデモを行いません。各自デモビデオをあらかじめ視聴してから実習をしてください。 ステップごとにチェックを行います。 義眼の製作において、筆を購入、準備しておくのが望ましい。 まつ毛に関して、つけまつ毛等を各自購入、準備しておくこと。 昨年度授業終了時アンケート結果より、時間が足りないということから、今年度より新カリキュラムに移行し、新実習科目として独立、30 時間の時間を確保しました。時間を有効に使うため、ビデオ教材を更新しています。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023563						
科目名	臨床義歯管理工学			科目ID			
担当教員	大木 明子[OKI MEIKO]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業							
必修 30 時間							
主な講義場所							
遠隔授業 (Zoom)							
2 号館第 2 講義室							
2 号館第 1 実習室、CAD/CAM 演習室							
授業の目的、概要等							
歯科医療チームの一員として臨床や訪問歯科診療同行に必要な基本的な医療管理(標準予防策、義歯管理、データ管理)、特に義歯の日常的管理や修理、複製の学理と技法を修得する。							
授業の到達目標							
1. 生体のモニタリング(血圧、脈拍、血中酸素飽和度など)、バイタルサインについて理解し、医療面接について説明する。							
2. 標準予防策について説明する。							
3. 口腔の加齢と老化の違いを説明し、加齢による口腔内環境の変化に対して行う、義歯の複製、修理、リライン、ティッシュコンディショニング、義歯安定剤について説明する。							
4. デンチャープラークについて説明し、汚れた義歯の弊害を知る。							
5. 夜間の義歯装着の影響とナイトガードについて説明し、義歯の管理ができる。							
6. 義歯の清掃法(機械的洗浄、化学的洗浄)を説明し、義歯洗浄剤、口腔保湿剤、洗口液、薬液の注意点を列挙、義歯を清掃できる。							
7. 義歯の着脱法について説明する。							
8. 複製義歯の役割を説明し、複製義歯を製作する。							
9. 義歯の修理法を説明し、義歯を修理する。							
10. 災害時の歯科医療について理解し、義歯の刻印の意義を説明し、義歯に名前を入れる。							
11. 訪問診療時で用いる器材を列挙し、実際に使用して義歯を調整する体験を行う。							
12. 歯科におけるデジタルデータについて列挙し、デジタル情報の管理、暗号化について説明する。							
13. 顔や口腔内写真、義歯の写真の撮影法を説明し、顔、口腔内、義歯の写真を撮影する体験を行う。							
14. 模型のスキャン、義歯のスキャン、加工ができる。							
15. 人工歯選択や義歯床色選択について説明し、シェードテイキングを行い、写真撮影する。							
16. 口腔内スキャナーを用いた口腔内情報の取得を、マネキンを用いて体験する。							
17. 歯科医療情報データベースの構築について理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/18	16:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	医療従事者として高齢者と接するために	生体のモニタリング、血圧、脈拍、顔貌の観察、医療面接、問診票、標準予防策	大木 明子	到達目標:1-2
2-3	10/28	09:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	口腔の加齢と老化、義歯装着による口腔内環境の変化、義歯の複製	口腔の加齢と老化、義歯装着による口腔内環境の変化、複製義歯の役割	大木 明子	到達目標:3、8
4-5	11/1	16:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	義歯の管理、デンチャープラークコントロール、ナイトガード	デンチャープラークの弊害、夜間用義歯、ナイトガード、義歯の清掃法、義歯洗浄剤、口腔保湿剤、義歯安定剤	大木 明子	到達目標:3-6
6-9	12/8	13:00-16:50	第1実習室	生体のモニタリング、義歯の着脱、清掃、口腔健康管理(実習)	バイタルチェック、モニタリング(血圧、脈拍、顔貌の観察等)、義歯着脱時の注意点 (義歯の着脱)、	大木 明子	到達目標:1-2、4、6-7 実習レポートの提出

					義歯の清掃法、口腔健康管理		
10-12	12/10	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	災害時歯科医療、訪問 診療の環境・機材、義歯 修理、リライン、義歯の 情報、刻印	災害時歯科医療、訪問歯科診療の 機材、義歯の修理、ティッシュコン ディショナー、リライン、義歯の情 報、刻印	大木 明子	到達目標:9-11
13-14	12/15	10:00-11:50	第1実習 室	複製義歯の製作(実習)	義歯の複製	大木 明子	到達目標:8, 11
15-18	12/22	13:00-16:50	第1実習 室	義歯修理(実習) 義歯 の名入れ実習	義歯の修理(訪問歯科診療機器を 使用)、義歯の刻印	大木 明子	到達目標: 9-11 実習作品の提出
19-20	1/21	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	義歯のデジタルデータ 保存、顔面、口腔内情報 の管理	義歯のデジタルデータ保存、顔 面、口腔内情報	大木 明子	到達目標:12-16
21-22	1/26	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室	義歯のデジタルデータ 保存(スキャン実習)	義歯のスキャン実習(義歯のスキ ャン、加工)	大木 明子、 土田 優美	到達目標:14 ス キャンデータの 保存
23-24	1/28	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	デジタル情報の管理、 暗号化、その他の歯科 医療情報	デジタル情報の管理、暗号化、そ の他の歯科医療情報、X 線画像、 CT 画像、電子カルテ	大木 明子	到達目標:12, 17
25-28	2/2	13:00-16:50	第1実習 室	義歯のデジタルデータ 保存、顔面、口腔内情報 の採取(実習)	義歯のデジタルデータ化、口腔内 写真、シェードテイキング、人工歯 選択、義歯床の色選択、義歯の写 真、口腔内スキャン	大木 明子	到達目標: 12-16 実習レポートの提 出
29-30	2/10	15:00-16:50	CAD/CA M 演習室	歯科医療情報データベ ースの構築(実習)	演習(各自の画像情報をまファイ ルにまとめる)、発表、討論	大木 明子、 土田 優美	到達目標:12-17 データのまとめ 提出、発表資料 の提出

授業方法

講義、実習、演習

講義は遠隔授業(同期型)で、実習は対面実習で行います。

事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。

遠隔授業の課題を WebClass にて行い、提出すること。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

授業内容

成績評価の方法

評価は提出作品、課題プロダクトおよび期末試験(筆記試験:60 分)によって行う。

- ・実習製作物(複製義歯、義歯修理・刻印、各 10 点)、デジタルデータベースの作成(10 点)、筆記試験(70 点)で総合的に評価する。
- ・期末試験が 100 点満点中 60 点未満の場合は再試験とする。

成績評価の基準

- ・期末試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。
- ・配点は、筆記試験 80 点、マウスガード 2 種の評価:各種 10 点ずつ合計 20 点とし、合計 100 点満点で換算する。
- ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。デモビデオを必ず視聴してから実習にのぞむこと。

試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3分の2以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
教科書 義歯ケア事典：らくらくお口のケア：義歯ケアマイスター認定テキスト／日本義歯ケア学会編、日本義歯ケア学会、浜田 泰三、水口 俊介、永末書店、2018
参考書 複製義歯：慣れた義歯こそ高齢者の求める義歯／濱田泰三、市川哲雄著、浜田 泰三、市川 哲雄、永末書店、2017 複製義歯を応用した咬座印象法による総義歯の臨床／矢崎秀昭 著、矢崎 秀昭、1942-、医歯薬出版、2004 すぐに知りたい!口腔内規格写真クイックQ&A／片山章子 執筆、片山達治 監修、片山 章子、片山 達治、デンタルダイヤモンド社、2017 デンタルハイジーン別冊 どうして?どうする?診療室からはじまる高齢者歯科／戸原玄、医歯薬出版、2020 災害歯科医学／槻木恵一、中久木康一編、槻木 恵一、中久木 康一、足立 了平、飯田 良平、大平 寛、医歯薬出版、2018
他科目との関連 高齢者歯科工学、臨床実習Iと一部連動しています。
履修上の注意事項 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。 実習デモビデオを必ず視聴してから授業に臨むこと。
備考 実習:各自デモビデオをあらかじめ視聴してから実習をしてください。 ステップごとにチェックを行います。 今年度より新設された新科目です。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023544A						
科目名	歯冠修復工学応用実習			科目ID	DE-354400-E		
担当教員							
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 30 時間 授業形態: 実習							
主な講義場所 2号館第1実習室 2号館総合実習室 2号館重合鑄造室 2号館硬質レジン実習室 2号館 CAD/CAM 演習室							
授業の目的、概要等 架工義歯に関する知識及び技術について修得する。							
授業の到達目標 1. 適合精度の高いワックスパターンを製作する。 2. 歯列に合わせた歯冠外形回復する。 3. ポンティックの基底面形態を回復する。 4. ポンティックを窓開けする。 5. ブリッジを埋没・鑄造する。 6. 鑄造体を支台歯に適合させる。 7. 適切な辺縁形態、隣接面接触、咬合接触を付与する。 8. 細部にわたり鏡面研磨する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	4/8	13:00-16:50	第1実習室	ブリッジのワックスアップ1	支台歯のワックスアップ	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1-3
5-9	4/15	10:00-15:50	第1実習室	ブリッジのワックスアップ2	支台歯のワックスアップ	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1-3
10-11	4/16	10:00-11:50	第1実習室	ブリッジのワックスアップ3	支台歯のワックスアップ、ポンティックのワックスアップ	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1-3
12-15	4/22	13:00-16:50	第1実習室	ブリッジのワックスアップ4	ポンティックの窓開け、ワックスパターンの連結	池田 正臣 土田 優美	到達目標 1-4
16-21	4/28	10:00-16:50	第1実習室	ブリッジのスブルーイング、埋没、鑄造	スブルーイング、埋没、鑄造	池田 正臣 土田 優美	到達目標 5
22-27	4/30	10:00-16:50	第1実習室	メタルブリッジの調整1	適合確認、内面調整	池田 正臣 土田 優美	到達目標 6
28-30	5/6	13:00-15:50	第1実習室	メタルブリッジの調整2	隣接接触点調整、咬合調整、荒研磨、窓開け部辺縁調整、最終研磨、完成	池田 正臣 土田 優美	到達目標 7,8
授業方法 実習							
成績評価の方法 ・製作物(ブリッジ90 点)、出席状況(10 点)を総合的に評価する。 ・製作物の点数が 60%未満の場合は再提出とする。							

成績評価の基準 ・実習で製作した作品で評価を行う ・60%以上を合格とする。 ・授業態度を総括的評価に加味する。
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・実習に出席し、提示された期限までに製作物を提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や実習に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
教科書 歯冠修復技工学 = Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations／全国歯科技工士教育協議会 編集[末瀬一彦] [ほか] [著]末瀬 一彦, 1951-, 全国歯科技工士教育協議会, : 医歯薬出版, 2017
参考書 クラウンブリッジ補綴学／矢谷博文, 三浦宏之, 細川隆司, 小川匠 編集, 矢谷, 博文, 1954-, 三浦, 宏之, 細川, 隆司, : 医歯薬出版, 2014 保存修復学 21／田上順次 [ほか] 監修 ; 阿南壽 [ほか] 編集, 田上, 順次, 阿南, 壽, 奈良, 陽一郎, 山本, 一世, 斎藤, 隆史, : 永末書店, 2017
備考 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 池田正臣 ikeda.csoe@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

時間割番号	023545						
科目名	審美修復工学		科目ID	DE-354500-L			
担当教員	上條 真吾[KAMIJO SHINGO]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 15 時間							
主な講義場所							
遠隔授業、2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室、4 階第 1 実習室							
授業の目的、概要等							
歯科用陶材を応用した審美修復物、特に陶材焼付金属冠およびオールセラミックスクラウンの理工学的特徴ならびにその製作法を習得する。							
授業の到達目標							
1. クラウン・ブリッジの具備すべき要件を説明できる。							
2. 陶材焼付金属冠の特徴を説明できる。							
3. 陶材と金属の結合について説明できる。							
4. 陶材焼付金属冠の製作法を説明できる。							
5. 陶材焼付を応用したブリッジの製作法を説明できる。							
6. 陶材を応用した修復物の特徴ならびに製作法を説明できる。							
7. 歯科用 CAD/CAM を用いたスキャニングの特徴ならびに注意点を説明できる。							
8. 歯科用陶材の種類および特徴について説明できる。							
9. 歯科用陶材を用いた各種築盛方法を説明できる。							
10. ジルコニアの理工学的特徴を説明できる。							
11. プレスセラミックについて説明できる。							
12. 天然歯の光学的特徴について説明できる。							
13. シェードテイキングの方法ならびに使用する機器に関する注意点を説明できる。							
14. 歯科に应用されている CAD/CAM システムの特徴を説明できる。							
15. 直接法と比較した間接法の特徴を説明できる。							
16. 模型と生体との違いを説明できる。							
17. ブリッジの特徴を説明できる。							
18. 支台歯と支台築造、マージン形態について説明できる。							
19. 各種審美歯冠修復とその特徴について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/7	15:00-16:50	遠隔授業 (非同期型)	歯科用陶材 1	歯科用陶材の種類、組成と性質 陶材焼付金属冠の特徴、製作法 築盛用陶材の種類と操作法	上條 真吾	到達目標:1-6,8,9 Web 講義 終了 後に小テストを実施すること
3-4	4/9	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	生体と間接法	歯の変位と間接法、支台築造	駒田 亘	到達目標:15,16 Web 講義 終了 後に小テストを実施すること
5-6	4/21	15:00-16:50	遠隔授業 (非同期型)	歯科用陶材 2 天然歯の色とシェードの基礎	オールセラミッククラウンの特徴 天然歯の光学的要素と色 シェードイク	上條 真吾	到達目標:6-14 Web 講義 終了 後に小テストを実施すること

7-8	4/23	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	支台歯とマージン形態	歯冠修復における支台歯形態とマージン形態	駒田 亘	到達目標:18 Web 講義 終了 後に小テストを実施すること
9-10	5/7	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	ブリッジ	ブリッジの構造、支台歯形成と印象	駒田 亘	到達目標:17 Web 講義 終了 後に小テストを実施すること
11-12	5/21	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	審美歯冠修復	レジン前装と陶材前装による補綴、CAD/CAM 冠とオールセラミック冠	駒田 亘	到達目標:19 Web 講義 終了 後に小テストを実施すること
13-14	6/2	10:00-11:50	CAD/CAM 演習室	CAD/CAM 演習	CAD データ、NC データ作成	上條 真吾	到達目標:7,14
15	6/17	14:00-14:50	第1実習室	シェードテイキング演習	口腔内撮影、シェードテイキング法	上條 真吾	到達目標:13

授業方法

講義および演習

遠隔授業(非同期型)のほかにシェードテイキング演習、CAD 演習があります。

遠隔授業(非同期型)では、WebClass 上で小テストを実施すること。

事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。実習前に動画資料を視聴して予習しておくこと。

遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

成績評価の方法

評価は期末試験(筆記試験:60 分)によって行う。

- ・期末試験(100 点)で総括的評価を行う。
- ・期末試験の点数が 6 割未満の場合は再試験とする。
- ・出席状況、授業態度、小テスト結果を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

成績評価の基準

- ・期末試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。
- ・出席状況、授業態度、小テスト結果を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

非同期型の遠隔授業の場合は、視聴後に小テストを実施した場合に出席とする。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

- ・3 分の 2 以上の出席を基本とする。
- ・遠隔授業(非同期型)に出席し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。
- ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。

教科書

最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会：医歯薬出版、2017

基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会、全国歯科技工士教育協議会 監修、末瀬一彦、宮崎隆 編、末瀬一彦、1951-、宮崎 隆、1953-、日本デジタル歯科学会、全国歯科技工士教育協議会：医歯薬出版、2017

スタンダード歯科理工学：生体材料と歯科材料／中島裕 [ほか] 編集(幹事)・執筆；石川邦夫 [ほか] 編集・執筆；赤坂司 [ほか] 執筆、中島 裕、宮崎 隆、米山 隆之、石川 邦夫、赤坂 司、学建書院、2019

参考書 CAD/CAM デンタルテクノロジー／日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修, 末瀬一彦, 宮崎隆 編, 医歯薬出版, 2012 メタルセラミックス築盛の基礎 : カラーアトラス／山本真 著, クインテッセンス出版, 1989 ザ・メタルセラミックス : カラーアトラス／山本真 著, クインテッセンス出版, 1982 ・「最新 CAD/CAM レストレーション」三浦宏之・宮崎隆 編 補綴臨床別冊 医歯薬出版 2008 ・「メタルフリーレストレーションと CAD/CAM 技工の最前線」細川隆司・山下恒彦 編 歯科技工別冊 医歯薬出版 2007
履修上の注意事項 事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、学習の理解が高まるよう審美歯工実習の時期に合わせて時間割を作成することで内容を改善している。 遠隔授業のほかに演習があります。 科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先 上條真吾 助教 メールにて日時を相談 s-kamijoh.ito@tmd.ac.jp 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 駒田 亘 講師 メールにて日時を相談 w.komada.fpro@tmd.ac.jp
連絡先(メールアドレス) 上條 真吾 s-kamijoh.ito@tmd.ac.jp
オフィスアワー 上條 真吾 メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023546A						
科目名	審美修復工学実習			科目ID	DE-354600-E		
担当教員	上條 真吾, 池田 正臣, 土田 優美[KAMIJO SHINGO, IKEDA MASAOMI, TSUCHIDA Yuumi]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	3		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 120 時間							
主な講義場所							
2 号館 4 階第 1 実習室、ポーセレン室、総合実習室、2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室							
授業の目的、概要等							
審美歯冠修復に用いられるセラミックスクラウンのフレームが備えるべき理工学的条件および形態的特徴を理解し、陶材築盛作業および形態修正の基礎技術を習得する。							
授業の到達目標							
1. 審美歯冠修復に関する概要を説明できる。							
2. 高精度な歯冠修復物を製作するための精密な作業用模型を製作する。							
3. 審美的および機能的に考慮された歯冠回復をする。							
4. サポートエリアおよび陶材築盛量を考慮したフィニッシングライン設計および窓開けをする。							
5. 変形がない精密なワックスパターンを採得する。							
6. 歯科用 CAD/CAM を使用し、咬合に配慮した理想的な歯冠形態を設計し切削加工する。							
7. ジルコニアコーピングを製作する際の歯科用 CAM の特性を説明できる。							
8. ジルコニアフレームを支台歯模型に正確に適合させる。							
9. サポートエリアを十分確保した陶材築盛面を調整および形成する。							
10. シェードガイドの仕組みを理解して、口腔内で正確なシェードマッチングをする。							
11. 光学式測色器の特徴を理解して、口腔内測色をする。							
12. 歯科用陶材の特徴を理解し、それぞれ製品別の色調再現法を理解し実践する。							
13. 複数の陶材を混ぜることなく積層する。							
14. 陶材を盛り上げることによって歯冠形態を再現する。							
15. ステインによる色調表現法を理解し、実践する。							
16. 天然歯の持つ質感を、形態修正および艶出しによって表現する。							
17. 支台歯への適合を確認し、隣接および咬合接触点を調整して研磨する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-6	5/12	10:00-16:50	第1実習室 総合実習室	審美修復実習の概要 作業用模型製作 1	実習内容説明、トリミング、ダウエルピン植立、2 次石膏、3 次石膏	上條 真吾, 土田 優美	到達目標:1,2
7-12	5/13	10:00-16:50	第1実習室 総合実習室	作業用模型製作 2	スプリットキャスト付与、歯型分割	上條 真吾, 土田 優美	到達目標:2
13-18	5/14	10:00-16:50	第1実習室 総合実習室	作業用模型製作 3	咬合器装着、マージントリミング、 ガム模型製作	上條 真吾, 土田 優美	到達目標:2
19-22	5/20	14:00-17:50	第1実習室 総合実習室	ワックスアップ 1	上顎中切歯（歯冠回復） 下顎大臼歯（歯冠回復）	上條 真吾, 土田 優美	到達目標:3
23-25	5/25	10:00-13:50	第1実習室 総合実習室	ワックスアップ 2	上顎中切歯（歯冠回復） 下顎大臼歯（歯冠回復）	上條 真吾, 土田 優美	到達目標:3
26-31	5/27	10:00-16:50	第1実習室	ワックスアップ 3	上顎中切歯（歯冠回復） 下顎大	上條 真吾,	到達目標:3

			室 総合 実習室		臼歯（歯冠回復）	土田 優美	
32-37	5/28	10:00-16:50	第1実習 室 総合 実習室	ワックスアップ 4	上顎中切歯（カットバック）、下顎 大臼歯（カットバック）	上條 真吾、 土田 優美	到達目標:3-5
38-43	6/1	10:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	ワックスアップ 5	上顎中切歯（カットバック）、下顎 大臼歯（カットバック）	上條 真吾、 土田 優美	到達目標:3-5
44-47	6/2	13:00-16:50	第1実習 室 総合 実習室	歯科用 CAD/CAM 1	上顎中切歯デザイン CAM 操作 Zr ディスクミリング加工 シンタリ ング	上條 真吾、 土田 優美	到達目標:6,7
48-53	6/9	10:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	歯科用 CAD/CAM 2	下顎大臼歯デザイン CAM 操作 Zr ディスクミリング加工 シンタリ ング	上條 真吾、 土田 優美	到達目標:6,7
54-57	6/10	14:00-17:50	第1実習 室 総合 実習室	調整 1	上顎中切歯 適合調整 下顎大臼 歯 適合調整	上條 真吾、 土田 優美	到達目標:8,9
58-63	6/16	10:00-16:50	第1実習 室 総合 実習室	調整 2	上顎中切歯 適合、フレーム調整 下顎大臼歯 適合、フレーム調整	上條 真吾、 土田 優美	到達目標:8,9
64-66	6/17	15:00-17:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	シェードマッチング ロ 腔内撮影	シェードガイドの使用法、クリスタ ルアイ、口腔内カメラ撮影方法	上條 真吾、 土田 優美	到達目標:10,11
67-72	6/23	10:00-16:50	第1実習 室 総合 実習室	調整 3	上顎中切歯 フレーム調整 下顎 大臼歯 フレーム調整	上條 真吾、 土田 優美	到達目標:8,9
73-78	6/24	10:00-16:50	第1実習 室 総合 実習室	築盛練習 1	築盛練習 色調表現練習	上條 真吾、 土田 優美	到達目標:12-15
79-82	6/25	13:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	築盛練習 2	上顎中切歯、下顎大臼歯 歯冠回 復、カットバック練習	上條 真吾、 土田 優美	到達目標:12-15
83-88	6/30	10:00-16:50	第1実習 室 総合 実習室	築盛練習 3	上顎中切歯、下顎大臼歯 歯冠回 復、カットバック練習	上條 真吾、 土田 優美	到達目標:12-15
89-92	7/1	14:00-17:50	第1実習 室 総合 実習室	陶材築盛・焼成 1	上顎中切歯、下顎大臼歯 シェー ドベース築盛・焼成	上條 真吾、 土田 優美	到達目標:12-15
93-94	7/2	15:00-16:50	第1実習 室 総合 実習室	陶材築盛・焼成 2	上顎中切歯、下顎大臼歯 内部ス テイン築盛・焼成	上條 真吾、 土田 優美	到達目標:12-15

95-98	7/8	14:00-17:50	第1実習室 総合実習室	陶材築盛・焼成 3	上顎中切歯、下顎大臼歯 陶材築盛・焼成	上條 真吾、土田 優美	到達目標:12-15
99-104	7/9	10:00-16:50	第1実習室 総合実習室	陶材築盛・焼成 4	上顎中切歯、下顎大臼歯 陶材築盛・焼成	上條 真吾、土田 優美	到達目標:12-15
105-110	7/15	10:00-16:50	第1実習室 総合実習室	形態修正 1	上顎中切歯、下顎大臼歯 咬合調整、形態修正	上條 真吾、土田 優美	到達目標:12-15
111-116	7/16	10:00-16:50	第1実習室 総合実習室	形態修正 2	上顎中切歯、下顎大臼歯 形態修正、ステイン	上條 真吾、土田 優美	到達目標:12-15
117-120	7/20	13:00-16:50	第1実習室 総合実習室	形態修正 3 艶出し、完成	上顎中切歯、下顎大臼歯 形態修正、ステイン、グレーズ、機械研磨	上條 真吾、土田 優美	到達目標:12-15 実習作品の提出

授業方法

実習

上顎中切歯、下顎大臼歯の審美修復補綴装置の製作実習

事前に WebClass に提示されている資料、デモビデオを学習して予習しておくこと。

成績評価の方法

評価は実習で製作するプロダクトによって行う。

上顎中切歯(適合、形態、研磨状態、色調:計 40 点

下顎大臼歯(適合、形態(咬合)、研磨状態、色調:計 40 点

WaxUp20 点

について段階的に評価し、合計点数を成績とする。

成績評価の基準

・実習で製作した作品で評価を行う(配点 100 点)。60 点以上を合格とする。

・出席状況、授業態度を総合的に評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

実習予定表および実習資料を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておくこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・4 分の 3 以上の出席を基本とする。

・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。

教科書

最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編:医歯薬出版, 2017

基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編,末瀬 一彦, 1951-,宮崎, 隆, 1953-,日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会,:医歯薬出版, 2017

参考書

CAD/CAM デンタルテクノロジー／日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編.:医歯薬出版, 2012
メタルセラミックス築盛の基礎: カラーアトラス／山本真 著:クインテッセンス出版, 1989

ザ・メタルセラミックス: カラーアトラス／山本真 著:クインテッセンス出版, 1982

・「最新 CAD/CAM レストレーション」三浦宏之・宮崎 隆 編 補綴臨床別冊 医歯薬出版 2008

・「メタルフリーレストレーションと CAD/CAM 技工の最前線」細川隆司・山下恒彦 編 歯科技工別冊 医歯薬出版 2007

履修上の注意事項

WebClass に資料がアップされているときには、事前に確認しておくこと。

備考

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先 上條真吾 助教 メールにて日時を相談 s-kamijoh.ito@tmd.ac.jp
連絡先(メールアドレス) 上條 真吾:s-kamijoh.ito@tmd.ac.jp 池田 正臣:ikedacsoe@tmd.ac.jp 土田 優美:yumi.bmo@tmd.ac.jp
オフィスアワー 上條 真吾:メールにて面談の日程を調整すること 池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること 土田 優美:メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023547A						
科目名	CAD/CAM システム工学実習			科目ID			
担当教員	土田 優美[TSUCHIDA Yuumi]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業							
科目名: CAD/CAM システム工学実習							
時間数: 45 時間							
授業形態: 実習							
主な講義場所							
2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室, 2 号館 4 階 CAD/CAM 実習室							
授業の目的、概要等							
CAD/CAM 機器を用いた歯科補綴装置製作に関する知識及び技術を修得する。							
授業の到達目標							
1. 歯科技工用スキャナで歯列模型をスキャンできる。							
2. 口腔内スキャナで歯列をスキャンできる。							
3. CAD ソフトウェアを用いてクラウン、ブリッジ、前装冠フレーム、術前暫間被覆冠の設計ができる。							
4. CAD ソフトウェアを用いてパーシャルデンチャーのメタルフレームを設計できる。							
5. 加工データの作成とミリングマシンの操作ができる。							
6. 造形データの作成と 3D プリンタの操作ができる。							
7. ハンディタイプ 3D スキャナを用いて顔面をスキャンできる。							
8. ハプティックデバイスを用いて 3D モデリングができる。							
9. 各種 CAD/CAM 機器の相違を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/5	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	松風 D2000	基本的なクラウン・ブリッジの設計	土田 優美 青木 亮一	到達目標:3
3-4	4/12	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	松風 D2000	基本的なデンチャーフレームの設計	土田 優美 青木 亮一	到達目標:4
5-6	4/19	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	歯科技工用スキャナ	歯列模型のスキャン	土田 優美 上條 真吾, 池田 正臣, 青木 秀馬	到達目標:1 合同実習
7-8	4/26	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	口腔内スキャナ	歯列模型のスキャン	土田 優美 上條 真吾, 池田 正臣, 青木 秀馬	到達目標:2 合同実習
9-10	5/10	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	クラウン・ブリッジ設計 1	前歯クラウン 設計 前歯前装冠設計	土田 優美 上條 真吾, 池田 正臣, 青木 秀馬	到達目標:3 合同実習
11-12	5/17	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	クラウン・ブリッジ設計 2	大臼歯クラウン 設計 大臼歯前装冠 設計	土田 優美 上條 真吾, 池田 正臣, 青木 秀馬	到達目標:3 合同実習
13-14	5/24	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	クラウン・ブリッジ設計 3	前歯ブリッジ 設計 前歯術前 TEK 設計	土田 優美 上條 真吾, 池田 正臣	到達目標:3 合同実習

						青木 秀馬	
15-17	5/25	14:00-16:50	CAD/CA M 演習室	クラウン・ブリッジ設計 5	前歯ブリッジ 設計 前歯術前 TEK 設計	池田 正臣 土田 優美 青木 秀馬	到達目標:3 合 同実習
18-19	5/31	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	クラウン・ブリッジ設計 4	大臼歯インレー 設計 小臼歯 CAD/CAM 冠 設計	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣 青木 秀馬	到達目標:3 合 同実習
20-21	6/7	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	切削加工	CAM ソフトウェアの操作 CAD/CAM 冠の切削加工	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣 青木 秀馬	到達目標:5 合 同実習
22-23	6/14	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	Artec スキャナ	ハンディタイプスキャナによるフェ イススキャン	上條 真吾 土田 優美 青木 秀馬	到達目標:7 合 同実習
24-25	6/21	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	Artec スキャナ	ハンディタイプスキャナによるフェ イススキャン	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣 青木 秀馬	到達目標:7 合 同実習
26-27	6/22	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	Freeform 1	ハブティックデバイスによるフェ イススキャンデータの成形	上條 真吾 土田 優美 青木 秀馬	到達目標:8
28-29	6/28	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	三次元積層造形 1	インクジェット方式 3D プリンタを用 いたフェイスモデルの造形	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣 青木 秀馬	到達目標:6 合 同実習
30-31	6/29	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	デンチャーフレーム設 計 1	上顎デンチャーフレーム設計	上條 真吾 土田 優美 青木 秀馬	到達目標:4
32-33	7/5	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	デンチャーフレーム設 計 2	上顎デンチャーフレーム設計	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣 青木 秀馬	到達目標:4 合 同実習
34-35	7/6	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	三次元積層造形 2	液層光造形方式 3D プリンタを用い たフェイスモデルの造形	上條 真吾 土田 優美 青木 秀馬	到達目標:6
36-37	7/12	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	Freeform 2	オキュラーディスク設計	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣 青木 秀馬	到達目標:8 合 同実習
38-39	7/13	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	Freeform 2	オキュラーディスク設計	上條 真吾 土田 優美 青木 秀馬	到達目標:8
40-41	7/19	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	三次元積層造形 3	インクジェット方式 3D プリンタを用 いたオキュラーボタンの造形	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣 青木 秀馬	到達目標:6 合 同実習
42-43	7/20	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	課題演習	課題作成	上條 真吾 土田 優美	到達目標:34 実 習作品・設計デー

						青木 秀馬	夕提出
44-45	7/26	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	CAD/CAM 技工技術	CAD/CAM 器材の相違と将来性	樋口 鎮央	到達目標:9 終了後に課題レポートを提出
授業方法 実習・講義 CAD/CAM システムを用いたクラウン・ブリッジ、パーシャルデンチャーフレーム、フェイスモデル、オキュラーボタン等の作品の製作あるいは設計データ作成実習。 44～45 回は非同期型の講義を行う。講義後にレポート課題が課されるため、期限までに提出すること。 遠隔授業(非同期型)での質問は、授業担当者にメールで質問すること。回答は授業担当者よりメールで行う。							
成績評価の方法 評価は提出作品およびレポート課題によって行う。 ・クラウン・ブリッジ系 計 50 点、パーシャルデンチャーフレーム 20 点、フェイスモデル 10 点、オキュラーボタン 10 点 合計 90 点 ・講義レポート課題 10 点 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。							
成績評価の基準 ・提出作品 90 点、レポート課題 10 点、合計 100 点満点で換算し、60 点以上を合格とする。 ・出席状況、授業態度、小テスト結果を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。							
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。							
教科書 基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修, 末瀬一彦, 宮崎隆 編, 末瀬 一彦, 1951-, 宮崎, 隆, 1953-, 日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会, : 医歯薬出版, 2017							
備考 工学専攻 4 年生との合同実習 新カリキュラムにあたり 4 年生から 3 年生に実施時期を変更したため、今年度 3 年生に新設された。 担当教員のオフィスアワー 土田 優美 メールにて日時を相談 yumi.bmo@tmd.ac.jp							

時間割番号	023548A						
科目名	インプラント工学実習			科目ID	DE-354800-E		
担当教員	上條 真吾[KAMIJO SHINGO]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 60 時間							
主な講義場所							
遠隔授業、2 号館 4 階第 1 実習室、第 4 実習室、ポーセレン室、総合実習室、2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室							
授業の目的、概要等							
口腔インプラント治療について理解し、インプラント補綴装置製作の基本的な技術力を養う。歯科用 CAD/CAM システムを応用してインプラントアバットメントおよび上部構造の設計製作を行う。							
授業の到達目標							
1. 口腔インプラント治療の流れを説明できる。							
2. 口腔インプラントの上部構造の製作法を理解できる。							
3. インプラント用個人トレーを製作する。							
4. インプラント修復物製作に必要な高精度の作業用模型を製作する。							
5. インプラント修復物に与えるべき咬合関係を説明できる。							
6. インプラント修復物に与えるべき歯冠形態を再現できる。							
7. 上部構造体の形態を考慮したアバットメントを設計できる。							
8. サポートエリアおよび陶材築盛量を考慮したフィニッシングライン設計およびカットバックできる。							
9. 歯科用 CAD システムを用いてダブルスキャンによるコーピングを設計できる。							
10. 歯科用 CAD システムを用いてアバットメントを設計できる。							
11. ジルコニアコーピングをカスタムアバットメントに精密に調整適合できる。							
12. 修復物の最終歯冠形態をイメージして陶材を築盛する。							
13. インプラント上部構造に与えるべき歯冠形態を形態修正で表現する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/7	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	口腔インプラント 1	口腔インプラント概論	黒田 真司	Web 講義 到達 目標:1
3-4	4/14	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	口腔インプラント 2	インプラント補綴治療の流れ	黒田 真司	Web 講義 到達 目標:1
5-6	4/21	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	口腔インプラント 3	インプラント上部構造について	黒田 真司	Web 講義 到達 目標:2
7-8	5/6	16:00-17:50	第1実習 室 総合 実習室	CAD アバットメントデザ イン	CAD/CAM システムを活用したア バットメント、上部構造の設計	上條 真吾	到達目標:7
9-14	6/8	10:00-16:50	第1実習 室 総合 実習室	インプラント用個人トレ ーの製作	オープントレーの製作、シリコーン 印象への石膏注入	上條 真吾	到達目標:3 実 習作品の提出
15-18	6/14	13:00-16:50	第1実習 室 総合 実習室	作業用模型製作	ダウエルピン植立、二次石膏操作	上條 真吾、 林 政利	到達目標:4
19-22	6/21	13:00-16:50	第1実習 室 総合 実習室	作業用模型製作、咬合 器装着、歯冠回復	三次石膏操作、咬合器装着、歯型 分割、歯冠回復	上條 真吾、 林 政利	到達目標:4-8
23-26	6/28	13:00-16:50	第1実習 室 総合	カスタムアバットメント形 成	カスタムアバットメントのワックス アップ	上條 真吾、 林 政利	到達目標:5-8

			実習室				
27-30	7/5	13:00-16:50	第1実習室 総合実習室	上部構造体フレーム形成	ジルコニアアバットメント上での歯冠回復、窓開け	上條 真吾、林 政利	到達目標:5,6,8
31-36	7/7	10:00-16:50	CAD/CAM 演習室 第1実習室 総合実習室	CAD/CAM 操作、ミリング、シンタリング	CAD/CAM システムによるスキヤニング、ディスク削り出し、シンタリング	上條 真吾	到達目標:9
37-40	7/12	13:00-16:50	CAD/CAM 演習室 第1実習室 総合実習室	ジルコニアフレーム調整	ジルコニアアバットメントへの適合確認・調整、フレーム形状の調整・研磨	上條 真吾	到達目標:10
41-46	7/14	10:00-16:50	第1実習室 総合実習室	陶材築盛 1 GC コーポレートセンター陶材築盛実習	形態修正、艶出し・研磨イニシャル築盛(単色築盛法)	上條 真吾	到達目標:11,12
47-50	7/19	13:00-16:50	第1実習室 総合実習室	陶材築盛 2 GC コーポレートセンター陶材築盛実習	形態修正、艶出し・研磨イニシャル築盛(単色築盛法)	上條 真吾	到達目標:11,12
51-56	7/21	10:00-16:50	第1実習室 総合実習室	形態修正、艶出し・研磨 GC コーポレートセンター陶材築盛実習	形態修正、艶出し・研磨イニシャル築盛(単色築盛法)	上條 真吾	到達目標:11,12 実習作品の提出
57-60	7/26	13:00-16:50	第1実習室 総合実習室	GC R&D Center 見学	GC R&D Center 見学	上條 真吾	

授業方法

遠隔授業(同期型)、実習、見学実習

インプラント個人トレー、アバットメント CAD 実習、上部構造製作実習

事前に WebClass に提示されている資料、デモビデオを学習して予習しておくこと。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

成績評価の方法

評価は提出作品および期末試験(筆記試験:60 分)によって行う。

・インプラント用トレー(5 点)、アバットメント CAD(5 点)、上部構造 40 点、期末試験(50 点)について段階的に評価し、合計点数を作品の成績とする。

・期末試験の配点は 50 点とするが、期末試験が 100 点満点中 60 点未満の場合は再試験とする。

成績評価の基準

・期末試験の点数が 60 点以上のものを合格とする。

・配点は、筆記試験 50 点、提出プロダクツ 50 点とし、合計 100 点満点で換算する。

・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。

準備学習等についての具体的な指示

実習予定表および実習資料を事前に確認し、当日行う実習内容を把握しておくこと。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・4 分の 3 以上の出席を基本とする。

・実習に出席し、提示された期限までにプロダクツを提出すること。

教科書 最新歯科技工士教本 歯冠修復技工学／全国歯科技工士教育協議会 編：医歯薬出版, 2017 基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編,末瀬 一彦, 1951-,宮崎, 隆, 1953-,日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会.:医歯薬出版, 2017
参考書 インプラント歯学の実践／Ashok Sethi・Thomas Kaus 著 瀬戸 皖一・佐藤 淳一訳：クインテッセンス出版, 2006 CAD/CAM デンタルテクノロジー／日本歯科 CAD CAM 学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編.:医歯薬出版, 2012 メタルセラミックス築盛の基礎：カラーアトラス／山本真 著.:クインテッセンス出版, 1989 ザ・メタルセラミックス：カラーアトラス／山本真 著.:クインテッセンス出版, 1982 ・歯科技工別冊「インプラントの技工」市川哲雄・渡邊文彦 編 医歯薬出版 2004 ・歯科技工別冊「メタルフリーレストレーションとCAD/CAM 技工の最前線」細川隆司・山下恒彦 編 医歯薬出版 2007
履修上の注意事項 WebClass に資料がアップされたときは、事前に確認しておくこと。
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。今年度より新カリキュラムに移行し、15 時間増加の 60 時間の時間を確保しました。時間を有効に使うため、ビデオ教材を導入しています。 科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先 上條真吾 助教 メールにて日時を相談 s-kamijoh.ito@tmd.ac.jp 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 黒田真司 講師 メールにて日時を相談 skuroda.mfc@tmd.ac.jp
連絡先(メールアドレス) 上條 真吾s-kamijoh.ito@tmd.ac.jp
オフィスアワー 上條 真吾:メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023549A						
科目名	小児歯科学			科目ID	DE-354900-L		
担当教員							
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業							
時間数: 17 時間 授業形態: 講義 WebClass による非同期型の講義と Zoom による同期型の講義							
主な講義場所 講義はすべて遠隔授業(オンデマンドの非同期型授業)							
授業の目的、概要等 小児の心身の成長・発達をふまえ、発達期口腔保健の意義および発達期口腔疾患の特徴、予防・治療法を理解する。 障害者の口腔状況と補綴の実態を理解する。							
授業の到達目標 1. 歯の萌出と乳歯・幼若永久歯の特徴を説明できる。 2. 歯列咬合と顎・顔面頭蓋の成長過程を説明できる。 3. 小児歯科疾患と治療の概要を説明できる。 4. 小児歯科治療に用いる咬合誘導を概説できる。 5. 出生から青少年期までの心身の成長・発達を説明できる。 6. 小児の情緒と社会性の発達を説明できる。 7. 摂食機能と言語機能の発達過程を理解できる。 8. 小児期歯科におけるチーム医療を説明できる。 9. 歯科治療時の小児の行動への対応法を説明できる。 10. 小児に特有な心身の問題とその解決策を概説できる。 11. 障害者理解を深めるとともに口腔の特徴について理解できる。 12. 障害者の歯科治療時における行動調整、口腔状況と補綴装置を理解できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	10/4	13:00-15:50	遠隔授業 (非同期型)	発達期の歯と口腔 小児の成長発達、機能の発達	歯の萌出と乳歯・幼若永久歯の特徴 成長発達の特徴、身体の発達とその評価、器官の発達、運動・感覚機能の発達、情緒・社会性の発達、保険の意義と目的	岩本 勉	到達目標:1,5,6,10
4-5	10/5	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	障害者歯科学概論	障害者・有病者の口腔内の特徴と歯科治療	岩本 勉 楠本 康香	到達目標:11
6-8	10/11	13:00-15:50	遠隔授業 (非同期型)	小児の歯科疾患 小児の生理的特徴、摂食機能と言語機能の発達	小児歯科疾患の特徴 原始反射、哺乳に関する反射、小児の生理的特徴、栄養摂取と摂食機能の発達、哺乳期、離乳期、幼児期、児童・生徒期、発達期の食の問題、言語の基礎知識、言語の発達、発達期にみられる構音障害	岩本 勉	到達目標:3,7,10
9-11	10/18	13:00-15:50	遠隔授業 (非同期型)	小児歯科の症例 顎・顔面頭蓋、歯列・咬合の発達	小児歯科の症例紹介(酸蝕、外傷を含む)、治療における歯科医療	岩本 勉	到達目標:2,3,8

			型)	育	従事者の役割・チーム医療 頭蓋の構成要素と相対的発育、頭蓋発育の機構と評価法、側貌頭部エックス線規格写真計測による日本人小児の咬合評価、歯列発育の評価法、咬合誘導の概念と装置の種類		
12-14	10/25	13:00-15:50	遠隔授業 (非同期型)	小児歯科治療と咬合誘導装置 発達期の口腔疾患と歯科的対応	小児歯科治療に用いられる咬合誘導1 乳歯・幼若永久歯の特徴、歯・歯数・萌出の異常、乳歯う蝕の特徴、小児う蝕の実態、重症乳歯う蝕の為害作用、青少年期のう蝕、発達期の歯周疾患、不正咬合、口腔軟組織疾患の原因と予防、不良習癖、咬合誘導	岩本 勉	到達目標:3,4
15-17	11/1	13:00-15:50	遠隔授業 (非同期型)	小児歯科治療と咬合誘導装置 小児歯科治療時の小児行動への対応法	小児歯科治療に用いられる咬合誘導装置2 小児の歯科診療時の留意事項(診療環境の整備、小児歯科治療三角、コミュニケーションの確立)、小児の情動の特徴、行動変容法、強制的な行動抑制	岩本 勉	到達目標:3,4,9
授業方法 WebClass による非同期型の講義							
成績評価の方法 確認テスト(30 点に換算)および期末試験 (70 点) 授業態度、出席状況を加味して総合的に評価し可否を判定する。							
成績評価の基準 ・期末試験の点数が 60%以上のものを合格とする。 ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。 ・期末テストが 6 割未満の場合は再試験とする。							
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・2/3 以上の講義受講および聴講した講義の確認テスト参加をもってを試験の受験資格とする。 ・遠隔授業(非同期型)を受講すること。 ・確認テストを必ず行い、理解を各自確かめること。 ・質問がある場合は、WebClass の掲示板を使って質問すること。 質問があった場合は、担当教員に連絡が行くため、返答までしばし待つこと。 質問は、講義を受講した全員に共有されるので、他の学生の参照すること。							
参考書 小児歯科技工学 = Dental Technology for Pedodontic Appliances／／全国歯科技工士教育協議会 編集、内川喜盛、白瀬敏臣、尾崎順男 著：医歯薬出版、2017							
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること							

時間割番号	023550A						
科目名	小児歯科学実習			科目ID			
担当教員	土田 優美[TSUCHIDA Yuumi]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業							
科目名:小児歯科学 時間数:30 時間 授業形態:実習							
主な講義場所 第1 実習室							
授業の目的、概要等 小児の心身の成長・発達をふまえ、発達期口腔保健の意義および発達期口腔疾患の特徴、予防・治療法を理解する。 障害者口腔保健センターの見学を通して、患者の口腔内状況、治療内容と口腔内装置の実際を理解する。							
授業の到達目標 1. 小児歯科治療に用いる装置の目的および構成を説明できる。 2. 小児歯科治療に用いる装置の製作法を理解し、製作する。 3. 障害者施設で利用者のプログラムに参加し、障害者理解を深めるとともに、利用者の口腔状況と口腔内装置の実際を理解できる。 4. 見学実習を通して歯科技工のニーズを把握できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	10/6	13:00-16:50	第1実習室	クラウンループ	実習用模型咬合器装着 クラウンループ製作	柿野 聡子, 大石 敦之, 土橋 なつみ	到達標:1, 2
5-8	10/13	13:00-16:50	第1実習室	クラウンループ	クラウンループ製作	柿野 聡子, 大石 敦之, 土橋 なつみ	到達標:1, 2
9-12	10/20	13:00-16:50	第1実習室	可撤保隙装置	可撤保隙装置製作	柿野 聡子, 大石 敦之, 土橋 なつみ	到達標:1, 2
13-16	10/27	13:00-16:50	第1実習室	可撤保隙装置	可撤保隙装置製作	柿野 聡子, 大石 敦之, 土橋 なつみ	到達標:1, 2
17-22	11/2	10:00-16:50		障がい者施設実習	障がい者施設見学実習	土田 優美 青木 和広	到達目標:3, 4 集合時間など詳細は別途連絡します。実習後にレポートを提出
23-26	11/10	13:00-16:50	第1実習室	小児矯正装置	小児矯正装置製作	柿野 聡子, 大石 敦之, 土橋 なつみ	到達標:1, 2
27-30	11/17	13:00-16:50	第1実習室	小児矯正装置	小児矯正装置製作	柿野 聡子, 大石 敦之, 土橋 なつみ	到達標:1, 2 実習作品の提出
授業方法 実習 クラウンループ、可撤式保隙装置、小児矯正装置(スペースリゲーター)の製作実習 事前に WebClass で提示されている資料を学習して予習しておくこと。							

17～22回は学外の障がい者施設実習を行う。実習後にレポート課題が課されるため、期限までに提出すること。
授業内容 評価は提出作品およびレポート課題によって行う。 ・クラウンループ、可撤式保障装置、小児矯正装置（スペースリゲーター）各 25 点、計 75 点 ・障がい者施設実習後レポート課題 25 点 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
成績評価の方法 評価は提出作品およびレポート課題によって行う。 ・クラウンループ、可撤式保障装置、小児矯正装置（スペースリゲーター）各 25 点、計 75 点 ・障がい者施設実習後レポート課題 25 点 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
成績評価の基準 ・提出作品 75 点、レポート課題 25 点、合計 100 点満点で換算し、60 点以上を合格とする。 ・出席状況、授業態度、小テスト結果を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。
参考書 小児歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会編；内川喜盛、白瀬敏臣、尾崎順男著、全国歯科技工士教育協議会、内川、喜盛、白瀬、敏臣、尾崎、順男、：医歯薬出版、2017 小児歯科／大嶋隆ほか著、大嶋、隆、全国歯科衛生士教育協議会、：医歯薬出版、2009
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワー 土田 優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023551A						
科目名	矯正歯科学			科目ID	DE-355100-L		
担当教員	松本 芳郎, 塩沢 真穂[MATSUMOTO YOSHIRO, SHIOZAWA Maho]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名: 矯正歯科学 時間数: 30 時間 授業形態: 講義、実習							
主な講義場所 遠隔授業(非同期型) 7 号館講義棟 5 階ノイシュタットジャパンルーム 第1実習室							
授業の目的、概要等 顎顔面頭蓋の成長発育ならびに不正咬合の原因・診断・治療について理解し、矯正歯科治療に必要な装置製作に関する知識と基本的技能を修得する。							
授業の到達目標 1. 顎顔面の成長発育と正常な歯列咬合の状態を理解できる。 2. 不正咬合の分類・種類・原因とその影響を理解できる。 3. 矯正歯科の診断・治療法を概説できる。 4. 矯正歯科装置の必要条件・分類・種類と使用法を説明できる。 5. 矯正歯科装置の製作法を理解できる。 6. 歯科矯正治療におけるチーム医療を理解できる。 7. 矯正歯科装置の必要条件・分類・種類と使用法を説明できる。 8. 矯正歯科装置の製作法を理解できる。 9. 歯科矯正治療におけるチーム医療を理解できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/6	13:00-15:50	遠隔授業 (非同期型)	矯正歯科学序論、成長発育、正常咬合と不正咬合	歯科矯正学の歩み、不正咬合による障害と矯正歯科治療の意義、矯正歯科治療における矯正歯科技工の意義、顎顔面頭蓋の成長発育、歯列・咬合の成長発育、正常咬合・不正咬合とその分類	松本 芳郎	到達目標:1-6 終了後小テストを実施
4-6	4/13	14:00-16:50	5F 示説室 ノイシュタットジャパンルーム	矯正技工基本的手技 1-3 (歯学科と合同実習)	ワイヤーベンディング		到達目標:5 歯学科との合同実習のため、歯学科の时限(13:50～16:40)・担当教員で実施
7-8	4/16	14:00-15:50	5F 示説室 ノイシュタットジャパンルーム	矯正技工基本的手技 4-5 (歯学科と合同実習)	ワイヤーベンディング、自在鑄着		到達目標:5 歯学科との合同実習のため、歯学科の时限(13:50～15:40)・担当教員で実施
9-11	5/11	13:00-15:50	遠隔授業 (非同期型)	不正咬合の原因・予防と生物学的背景、矯正歯	不正咬合の原因と予防、矯正力に伴う生体反応、矯正歯科治療の流	松本 芳郎	到達目標:2,3 終了後小テストを実

			型)	科治療の進め方	れと歯科技工の関わり、矯正用口腔模型、各種検査と症例分析(形態分析・機能分析)		施
12-14	5/18	13:00-15:50	遠隔授業 (非同期型)	矯正装置の必要条件と分類、矯正技工用器具と材料、各種固定式矯正装置の使用法、構成、製作法	矯正装置の必要条件、矯正装置の分類、矯正技工用器具と材料、線屈曲、自在ろう着、舌側弧線装置、顎間固定装置、リップハンパー、ナンスのホールディングアーチ、緩徐拡大装置、急速拡大装置	松本 芳郎	到達目標:4-6 終了後小テストを実施
15-17	6/15	13:00-15:50	遠隔授業 (非同期型)	各種床矯正装置、保定装置の使用法、製作法、各種機能的装置の使用法、構成、製作法	咬合拳上板、咬合斜面板、床矯正装置、ホーレーの保定装置、トウスポジショナー、ラップアラウンドリテーナー、犬歯間リテーナー、FSW リテーナー、アクチバートル、バイオネーター、ビムラーのアダプター、フレンケルの装置、アライナー矯正装置、CAD/CAM の応用	松本 芳郎	到達目標:5 終了後小テストを実施
18-20	6/22	13:00-15:50	第1実習室	矯正用口腔模型・作業模型作製舌側弧線装置製作 1-2	印象採得、石膏注入(矯正用口腔模型、セットアップ・舌側弧線装置・保定装置・アライナー用作業模型作製) 舌側弧線装置:作業模型調整、外形線記入、ST ロック維持管鑑着、ST ロック脚部屈曲	松本 芳郎	到達目標:5 実習 一部の実習は 6/11 の臨床咬合実習の際に事前実施予定
21-24	6/29	13:00-16:50	第1実習室	舌側弧線装置製作 3 可撤式床保定装置製作 1-2	舌側弧線装置:ST ロック脚部屈曲、主線屈曲、鑑着、仕上げ 可撤式床保定装置:外形線記入、外周線屈曲、即重レジン重合	松本 芳郎	到達目標:5 実習
25-27	7/6	13:00-15:50	第1実習室	可撤式床保定装置製作 3-4 アライナー矯正装置製作 1	外周線屈曲、即重レジン重合、仕上げ・研磨 アライナー矯正装置:3次元元的歯の移動計画立案、セットアップ排列	松本 芳郎	到達目標:5 実習
28-30	7/13	13:00-15:50	第1実習室	アライナー矯正装置製作 2-4 機能的矯正装置見学	アライナー矯正装置:セットアップ排列、加熱吸引圧接、切り出し、仕上げ、装着、レポート 構成咬合器等見学、まとめ	松本 芳郎	到達目標:5 実習 実習作品の提出 レポート提出

授業方法

遠隔授業(非同期型)、実習

遠隔授業(非同期型)と矯正装置製作実習からなります。一部歯学科と合同実習を行います。

遠隔授業の課題を WebClass にて行い、提出すること。

遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、授業担当者にメールで質問、メールで回答とします。

成績評価の方法

評価は提出作品および期末試験(筆記試験:60 分)によって行う。

・提出作品は、実習の製作物(40 点):内訳はワイヤーベンディング・自在鑑着・弾線屈曲(10 点)、舌側弧線装置(リンガルアーチ)(10 点)、可撤式保定装置(リテーナー)(10 点)、矯正用口腔模型・セットアップ・矯正歯科用アライナー(10 点)の評価を行う。

・期末試験の配点は 60 点とするが、期末試験が 6 割未満の場合は、再試験とする。

成績評価の基準

・期末試験の点数が 60%以上のものを合格とする。

・配点は、期末試験 60 点、実習の製作作品を 40 点とし、合計 100 点満点で換算する。

・授業態度など平常点を加味して総合的な評価を行い、この科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・2/3 以上の出席を受験資格とする。 ・遠隔授業(非同期型)に出席し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。 ・実習に出席し、提示された期限までに製作物を提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
教科書 最新歯科技工士教本 矯正歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会編；後藤尚昭, 宇都宮宏充, 横山和良著, 全国歯科技工士教育協議会, 後藤, 尚昭, 宇都宮, 宏充, 横山, 和良; 医歯薬出版, 2017
参考書 矯正歯科技工学／全国歯科技工士教育協議会 編集後藤尚昭, 宇都宮宏充, 横山和良 著; 医歯薬出版, 2017 歯科技工士のための実践矯正装置製作法／尾崎順男, 宇都宮宏充, 茂原宏美, 後藤尚昭 著; クインテッセンス出版, 2007 チェアサイド・ラボサイドの新矯正装置ビジュアルガイド：患者さんに渡せる装置の説明リーフレット付／後藤滋巳 編者代表; 医歯薬出版, 2015 矯正歯科技工・小児歯科技工：歯科技工学実習トレーニング／関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編; 医歯薬出版, 2011 最新歯科矯正アトラス／井上直彦・鈴木祥井著; 医歯薬出版, 1984 最新歯科矯正アトラス臨床編Ⅰ／井上直彦著; 医歯薬出版, 1982 歯科矯正学／飯田順一郎, 葛西一貴, 後藤滋巳, 末石研二, 榎宏太郎, 山城隆 編集飯田, 順一郎, 葛西, 一貴, 1955-後藤, 滋巳, 1952-; 医歯薬出版, 2019 Contemporary Orthodontics／6th Ed., W. R. Proffit 他著; ELSEVIER MOSBY, 2019 歯科技工士国家試験問題集／全国歯科技工士教育協議会 編; 医歯薬出版, 2019 新・要点チェック歯科技工士国家試験対策 6 矯正歯科技工学・小児歯科技工学／関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編; 医歯薬出版, 2020
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 松本 芳郎 y.matsumoto.orts@tmd.ac.jp 科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先 青木 和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023552						
科目名	再建工学包括臨床実習 I			科目 ID	DE-375200-E		
担当教員	上條 真吾, 池田 正臣, 塩沢 真穂[KAMIJO SHINGO, IKEDA MASAOMI, SHIOZAWA Maho]						
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	4		
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 180 時間							
主な講義場所							
2 号館 4 階第 1 実習室、総合実習室、重合鋳造室、硬質レジン実習室、CAD/CAM 実習室、2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室、歯学部附属病院外来、遠隔授業 (Zoom)							
授業の目的、概要等							
歯科医療チームの一員として診療参加型臨床実習を円滑に実践、遂行するための準備段階として必要な基本的態度・知識・技能を習得する。							
授業の到達目標							
1. 医療人としての倫理観を身につける。							
2. 多職種との連携に必要な事項を列挙できる。							
3. 臨床模型による歯科技工操作の留意点を説明できる。							
4. 臨床実習に必要な基本的歯科技工技術を確実に習得する。							
5. 歯学部附属病院における各診療科の特徴を理解する。							
6. 歯科補綴装置の製作に必要な情報を取得し、整理できる。							
7. 症例に応じた補綴デザインを選択できる。							
8. 歯学附属病院の感染対策について説明できる。							
9. 個人用防護具(PPE)を正しく着脱できる。							
10. 医療安全について理解し、説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/6	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	オリエンテーション 臨床実習に 必要となる基本的歯科技工技術の 確認	上條 真吾	到達目標:1-3
3-4	10/7	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	オリエンテーション 臨床実習に 必要となる基本的歯科技工技術の 確認	池田 正臣	到達目標:1-3
5-6	10/19	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
7-8	10/21	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
9-11	10/22	09:00-11:50	遠隔授業	再建工学包括臨床実習	医療安全	大木 明子	到達目標:10 終

			(同期型)	Phase I			了後に課題を提出すること
12-13	10/26	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
14-15	10/27	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	上條 真吾	到達目標:3,4,6,7
16-18	10/29	14:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
19-20	11/4	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
21-26	11/8	10:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	上條 真吾	到達目標:3,4,6,7
27-28	11/9	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
29-30	11/10	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	上條 真吾	到達目標:3,4,6,7
31-32	11/11	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
33-38	11/15	10:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	上條 真吾	到達目標:3,4,6,7
39-40	11/16	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	感染対策、個人用防護具(PPE)実 習	上條 真吾, 大木 明子	到達目標:8,9,10 事前に臨床咬合

			第1実習室 総合実習室				学で実習したビデオを確認しておくこと
41-42	11/17	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	上條 真吾	到達目標:3,4,6,7
43-44	11/18	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase I	臨床実習に必要な基本的歯科 技工技術の確認	池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
45-50	11/22	09:00-15:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 大木 明子	到達目標:1-5 各科ローテーション
51-56	11/24	09:00-15:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 大木 明子	到達目標:1-5 各科ローテーション
57-62	11/25	09:00-15:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 大木 明子	到達目標:1-5 各科ローテーション
63-68	11/26	09:00-15:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 大木 明子	到達目標:1-5 各科ローテーション
69-74	11/29	09:00-15:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 大木 明子	到達目標:1-5 各科ローテーション
75-80	11/30	09:00-15:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 大木 明子	到達目標:1-5 各科ローテーション
81-86	12/1	09:00-15:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 大木 明子	到達目標:1-5 各科ローテーション
87-92	12/2	09:00-15:50	CAD/CA	再建工学包括臨床実習	歯学部附属病院の各診療科での	上條 真吾,	到達目標:1-5

			M 演習室 第1実習室 総合 実習室	Phase II	臨床実習	大木 明子	各科ローテーショ ン
93-98	12/3	09:00-15:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase II	歯学部附属病院の各診療科での 臨床実習	上條 真吾, 大木 明子	到達目標:1-5 各科ローテーショ ン 終了後、期限 までにレポート課 題等を提出するこ と
99-10 0	12/7	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase III	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
101-1 02	12/8	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase III	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
103-1 04	12/9	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase III	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
105-1 06	12/13	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase III	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
107-1 08	12/14	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase III	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
109-1 12	12/15	13:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase III	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾	到達目標:3,4,6,7
113-1 14	12/16	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 Phase III	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	池田 正臣	到達目標:3,4,6,7

115-1 19	12/20	10:00-15:50	第1実習室 第3実習室 総合実習室	OH 合同 模型製作実習	研究用模型製作実習	上條 真吾, 土田 優美	到達目標:3,4
120-1 21	12/22	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾	到達目標:3,4,6,7
122-1 23	12/23	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
124-1 25	1/6	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
126-1 27	1/11	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾	到達目標:3,4,6,7
128-1 33	1/12	10:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾	到達目標:3,4,6,7
134-1 35	1/13	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾	到達目標:3,4,6,7
136-1 40	1/17	10:00-15:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
141-1 43	1/18	10:00-13:50	CAD/CA M 演習室 第1実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾	到達目標:3,4,6,7

144-1 49	1/19	10:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾	到達目標:3,4,6,7
150-1 51	1/20	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾	到達目標:3,4,6,7
152-1 53	1/24	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
154-1 56	1/25	10:00-13:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
157-1 60	1/26	13:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
161-1 62	1/27	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
163-1 64	1/31	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
165-1 67	2/1	10:00-13:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
168-1 69	2/2	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾, 池田 正臣	到達目標:3,4,6,7

170-1 71	2/3	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾、 池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
172-1 73	2/7	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾、 池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
174-1 76	2/8	10:00-13:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾、 池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
177-1 78	2/9	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾、 池田 正臣	到達目標:3,4,6,7
179-1 80	2/10	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室 第1実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅢ	臨床模型を使った歯科技工技術 の習得	上條 真吾、 池田 正臣	到達目標:3,4,6,7 実習作品の提出

授業方法

実習、講義、演習

臨床予備実習のほかに遠隔授業(同期型)があります。

事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。

遠隔授業の課題を行い、期限までに対面で提出すること。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

成績評価の方法

評価は実習で製作するプロダクトおよびレポートによって行う。

・歯冠修復(40 点)、有床義歯(40 点)、各科ローテーションレポート(20 点)で総合的に評価し、合計点数を成績とする。

成績評価の基準

・実習で製作した作品およびレポートで評価を行う(配点 100 点)。60 点以上を合格とする。

・小テスト、出席状況、実習態度を総合的に評価に加味する。

準備学習等についての具体的な指示

・事前に資料の配布、Webclass へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

・各科ローテーションでは歯学部附属病院の補綴系外来と歯科技工部で実習を行う。服装等に注意すること。不適切な服装・身だしなみの場合は実習を停止する。予定表やレポート書式に関しては WebClass にアップロードされるので確認すること。

試験の受験資格

定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。

・4 分の 3 以上の出席を基本とする。

・遠隔授業(同期型)に出席すること。

・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。

教科書

基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会、全国歯科技工士教育協議会 監修、末瀬一彦、宮崎隆 編、末瀬一彦、

1951-,宮崎, 隆, 1953-,日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会,:医歯薬出版, 2017
履修上の注意事項 ・登院式の詳細は別に定める。 ・再建工学包括臨床実習 I Phase II の具体的な班分け、詳細な日程は別に定める。 ・OHと合同模型製作実習があります。
備考 臨床義歯管理工学、高齢者歯科工学と一部連動しています。 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。臨床義歯管理工学や高齢者歯科工学と連携させることで学習内容の範囲を整理、改善している。 科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先 上條真吾 助教 メールにて日時を相談 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp 大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp
連絡先(メールアドレス) 上條 真吾:s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp 池田 正臣:ikedacsoe@tmd.ac.jp 塩沢 真穂:m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp
オフィスアワー 上條 真吾:メールにて面談の日程を調整すること 池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023554A						
科目名	医療倫理			科目ID			
担当教員							
開講時期	2021 年度前期	対象年次	3	単位数	1		
実務経験のある教員による授業							
科目名:医療倫理 時間数:15 時間 授業形態:講義・討論 必修 Zoom による同期型の講義							
主な講義場所 遠隔授業(同期型)、講義、討論							
授業の目的、概要等 ・倫理学の視点から生命倫理の基礎を確認し、その上で、生命倫理が取り組んできた課題および現在直面している問題について理解する。 ・医療倫理、研究倫理、技術倫理や個人情報保護について理解する。							
授業の到達目標 1. 生命倫理について説明する。 2. 優生思想の基礎的な理解とその歴史を説明する。 3. 現代の生命倫理が抱える課題を理論的および歴史的視点から論じる。 4. 倫理審査について説明する。 5. 個人情報保護の必要性を説明する 6. 医療倫理を説明する。 7. 技術者倫理および情報倫理について理解し、実践的な対応力を身につける。 8. 社会の現状および企業の仕組みを理解し、社会及び企業との関係において、技術者としてのあり方を身につける。 9.医療現場で働く他職種のメンバーを尊重する姿勢を有する 10.議論において必要な情報を共有し、協調し、また場合に応じてリーダーシップを発揮し、建設的な議論を促進する 11.全人的視点を身につける							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/6	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	生命倫理とは何か	生命倫理の理論的基礎づけ	藤井 達夫	到達目標:1-11
2	4/13	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	優生思想とその歴史	優生思想と、医療と優生思想との根深い関係	藤井 達夫	到達目標:1-11
3	4/20	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	現代の生命倫理の諸課題	医療技術の急速な発展と新しい優生思想による現代の生命倫理	藤井 達夫	到達目標:1-11
4	4/27	10:30-12:00	遠隔授業 (同期型)	生命倫理、倫理審査等に関する講義	倫理審査、研究倫理審査の必要性	藤井 達夫	到達目標:1-11
5-6	5/11	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	個人情報保護、医療倫理等に関する講義	個人情報保護、医療倫理等	吉田 雅幸	到達目標:1-11
7-8	5/18	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	技術倫理の実践 技術倫理の実践	匠を考える 技術者倫理と行動 技術者倫理活動の実例 職業倫理の実践を考える	甲畑 宏子	到達目標:1-11
9-11	6/15	09:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	チーム医療の導入	医、歯、看護、衛生との合同授業	青木 和広	到達目標:1-11
授業方法 講義、討論							

成績評価の方法 ・出席状況(10 点)、授業態度(10 点)、レポート課題(40 点)および発表の内容(10 点)、総括試験(30 点)から総合的評価を行う。
成績評価の基準 ・合計点数が 60%以上のものを合格とする。 ・授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。 ・合計点数が 6 割未満の場合は再試験とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前の資料配付および e-learning 上へのアップロードがあった場合には、予習をして授業に臨むこと。e-learning(Web Class)を連絡等に利用するので、チェックを怠らず、指示に従って課題および予習を行うこと。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・2/3 以上の出席を受験資格とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
参考書 技術者倫理：技術者として幸福を得るために考えておくべきこと／辻井洋行, 水井万里子, 堀田源治 著, 日刊工業新聞社, 2016 優生学と人間社会：生命科学の世紀はどこへ向かうのか／米本 昌平 [ほか] 著, 米本 昌平, 講談社 生そのものの政治学：二十一世紀の生物医学、権力、主体性／ニコラス・ローズ：法政大学出版局, 2014
備考 備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023555						
科目名	卒業研究 I			科目 ID	DE-365500-Z		
担当教員							
開講時期	2021 年度後期	対象年次	3	単位数	2		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 60 時間 授業形態: 講義・演習 遠隔授業(同期型) 2 号館 2 階第 1 講義室、MD タワー4 階 図書館情報検索室							
主な講義場所 遠隔授業(同期型) 2 号館 2 階第 1 講義室、MD タワー4 階 図書館情報検索室							
授業の目的、概要等 「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」という本学の基本理念を中心として、各学生の知的興味、将来の方向性に沿った歯科技工領域研究、あるいは生物学と理工学の融合研究のテーマを検討し、実施に向けて、基本的な研究の進め方および先行研究の検索方法と研究のまとめ方を理解する。							
授業の到達目標 1. 研究の進め方を説明できる。 2. EBM・EBHC の概念と研究者としての倫理観を説明できる。 3. 論文の構成を説明できる。 4. 理工学研究および生物学研究との融合研究の概念を説明できる。 5. 本学の基本理念に沿って、論文の検索と科学的吟味を行い、今日までの知見を整理する。 6. 本学の基本理念を中心に各人の知的興味、将来の方向性に沿った研究テーマを設定する。 7. 研究実施にあたって必要となる倫理的配慮、個人情報保護および動物の扱いを説明できる。 8. 結論を導くために必要な統計処理について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	10/8	13:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	卒業研究オリエンテーション	卒業研究の概要、Evidence-based Medicine (EBM)と研究者としての倫理観 生物学研究と理工学研究との融合研究	青木 和広	到達目標:1-4
4-6	10/22	13:00-15:50		研究成果報告会 (遠隔同期型)	4 年生研究成果報告会に参加	青木 和広	到達目標:1-9 口腔保健工学専攻教員
7-10	11/5	13:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	研究とキャリアパス	修士、博士、大学教員となるまでの研究への取り組みを紹介する実験ノートの書き方	青木 和広	到達目標:1-4
11-14	11/12	13:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	文献検索 1	文献検索の実施と論文読解 1 基本理念に沿って、研究テーマを策定し、関連論文を収集する技術を学ぶ	青木 和広 澁川 穂積	到達目標:1-5, 10
15-18	11/19	13:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	文献検索 2	文献検索の実施と論文読解 2 基本理念に沿って、論文を作成するために必要な参考文献の引用方法について学ぶ	青木 和広 澁川 穂積	到達目標:1-5, 10

19-22	12/10	13:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	文献検索3、研究テーマ の検討	文献検索の実施がサポートなしで できるまで訓練する。基本理念に 沿った研究テーマの検討	青木 和広	到達目標:1-6, 10
23-28	12/17	09:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	研究実施の流れ 研 究テーマの検討	研究計画の立て方、倫理的配慮・ 個人情報の管理等の留意点等につ いて研究テーマの検討 OH 卒研発表会参加	青木 和広 高橋 英和 大木 明子 池田 正臣 塩沢 真穂 岩崎 直彦 上條 真吾 土田 優美	到達目標:1,2, 6-8
29-31	1/5	13:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	研究計画に関する情報 収集	4年生卒業製作発表会に参加	青木 和広 高橋 英和 大木 明子 池田 正臣 塩沢 真穂 岩崎 直彦 上條 真吾 土田 優美	到達目標:1, 4, 5, 6
32-37	1/7	10:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	卒業研究発表会参加	研究テーマの検討と絞り込み、関 連文献の検索 4年生卒業研究 発表会に参加	青木 和広 高橋 英和 大木 明子 池田 正臣 塩沢 真穂 岩崎 直彦 上條 真吾 土田 優美	到達目標:1-8
38-41	1/14	13:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	研究計画書作成	研究計画書作成	青木 和広 高橋 英和 大木 明子 池田 正臣 塩沢 真穂 岩崎 直彦 上條 真吾 土田 優美	到達目標:9, 10
42-45	1/21	13:00-16:50	遠隔授業 (同期型)	卒業研究の実際	各指導者の下に実験の準備、倫 理審査書類、動物実験計画書など の申請	青木 和広 高橋 英和 大木 明子 池田 正臣 塩沢 真穂 岩崎 直彦 上條 真吾 土田 優美	到達目標:1-10
46-48	1/24	11:00-14:50	遠隔授業 (非同期 型)	統計その1	卒業研究に用いる統計手法の概 要	池田 正臣	到達目標:8
49-51	1/28	13:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	卒業研究の実際	各指導者の下に実験の準備、倫 理審査書類、動物実験計画書など の申請	青木 和広 高橋 英和 大木 明子 池田 正臣	到達目標:1-10

						塩沢 真穂 岩崎 直彦 上條 真吾 土田 優美	
52-54	1/31	11:00-14:50	遠隔授業 (非同期型)	統計その2	4年生の研究に具体的に使われた統計手法の概説	池田 正臣	到達目標:8 エクセル実習
55-57	2/4	13:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	RefWorks を使った研究計画書の作成	研究計画書作成仕上げ提出	青木 和広 湊川 穂積	到達目標:1-10 RefWorks で作業するためのワードファイルと文献関連ファイルを準備をしておくこと。 PC 持参
58-59	2/7	11:00-13:50	遠隔授業 (非同期型)	統計その3	エクセル実習	池田 正臣	到達目標:8
60	2/7	14:00-14:50	遠隔授業 (非同期型)	RefWorks を使った研究計画書の作成	エクセル実習 研究計画書作成 仕上げ提出	青木 和広	到達目標:1-10

授業方法

遠隔授業(同期型)、講義、課題学習・発表

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組みや授業態度(10点)、課題提出内容(20点)、研究計画書(70点)から総合的評価を行う。

成績評価の基準

出席状況、授業への取り組みや授業態度(10点)、課題提出内容(20点)、研究計画書(70点)から総合的評価を行う。

研究計画書の点数が60%以上のものを合格とする。

準備学習等についての具体的な指示

事前の資料配付および e-learning 上へのアップロードがあった場合には、予習をして授業に臨むこと。

e-learning(Web Class)を連絡だけでなく、反転授業のためにも利用するので、チェックを怠らず、指示に従って課題および予習を行うこと。

試験の受験資格

4 分の 3 の出席が単位取得の最低条件。(各指導者の下で研究を始めた場合、卒業研究 I の時間の居場所を指導教員に必ず明らかにしておき、やむを得ぬ事情の時以外は、始めるとき、終わるときを直接指導教員に会って知らせること。臨床実習の時間に卒業研究を当てる場合も考えられるが、カードだけでなく、はじめと終わりを指導教員に報告すること。報告がない場合は、卒業研究でも臨床実習でも欠席したものとみなす。また、就職活動により欠席する場合は、以下の2つの条件が満たされることにより、就職活動による欠席を出席扱いとすることは周知事項に記載してあるとおりである; 1. 事前に担当教員に行き先を伝え許可を得る。2. 就職活動後に説明担当者名、連絡先、配布された資料、日時が記載された登録票や予約メールなどを担当教員に見せること。)

参考書

研究の育て方: ゴールとプロセスの「見える化」/ 近藤克則著, 近藤 克則: 医学書院, 2018

備考

この科目は、論文作成に必要な知識を演習を通して獲得し、指導教員との討論を交えて次年度からの研究のための研究計画書の作成を目標とする。

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp

メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023558				
科目名	口腔保健工学エクスターンシップ			科目ID	DE-495800-Z
担当教員					
開講時期	2021 年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	3～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。					
成績評価の方法 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して可否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。 単位の取り扱いについては『口腔保健学科口腔保健工学専攻専門科目「口腔保健工学エクスターンシップ」に関する単位認定の取扱い』を参照のこと。					
準備学習等についての具体的な指示 外国での生活に支障をきたさないように語学の事前準備を行うこと。 以下の履修上の注意事項に従うこと。					
試験の受験資格 ○単位認定条件 1)海外研修奨励制度による研修プログラム (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 (2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 (3) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (4) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 (5) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(以上) 2)その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 (2) 研修特別コースの履修 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 (4) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (5) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 (6) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(以上)					
履修上の注意事項 1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励制度(事前研修を含む。) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。					

備考

課外学習した成果をまとめて発表する機会を設ける。

昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。

担当教員のオフィスアワーおよび連絡先

青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp

メールにて面談の日程を調整すること

第 4 学年
履修科目・ユニット

時間割番号	023519						
科目名	画像解析学			科目ID	DE-451900-L		
担当教員	土田 優美, 渡邊 裕[TSUCHIDA Yuumi, WATANABE HIROSHI]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業	該当する						
科目名:画像解析学 時間数:15 時間 授業形態:講義・演習 選択							
主な講義場所 遠隔授業(非同期型)、2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室、2 号館 4 階 CAD/CAM 実習室							
授業の目的、概要等 放射線の性質や、顎顔面口腔領域で利用される画像検査法の種類、特徴および適応を理解する。							
授業の到達目標 1. 放射線の種類、性質、測定法、単位を説明できる。 2. エックス線の発生と画像形成の原理を説明できる。 3. エックス線フィルムおよび増感紙の構造と性質を説明できる。 4. エックス線写真処理の原理と方法を説明できる。 5. デジタルラジオグラフィーの原理および特徴を説明できる。 6. 口内法エックス線撮影の種類を列挙し、それぞれの方法および適応を説明できる。 7. パノラマエックス線撮影の原理、方法および適応を説明できる。 8. 顔面頭蓋部撮影の種類を列挙し、それぞれの方法および適応を説明できる。 9. 歯科用コーンビーム CT、CT、MRI、超音波検査の原理と顎顔面口腔領域における適応を説明できる。 10. 歯科用インプラントのためのステント作成とそのステントを用いる CT について説明できる。 11. 各種画像に見られる顎顔面口腔領域の正常像について説明できる。 12. 各種画像に見られる顎顔面口腔領域の異常所見を指摘できる。 13. 放射線の人体に対する影響を説明できる。 14. がんの放射線治療とその補助装置を説明できる。 15. 断層撮影画像データの三次元構築ができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	5/11	13:00-16:50	遠隔授業 (非同期型)	エックス線写真の原理	放射線の種類と性質、エックス線画像形成の原理、エックス線写真処理の原理、デジタルラジオグラフィーの原理	渡邊 裕	到達目標:1-5 終了後に小テストを実施
5-8	5/18	13:00-16:50	遠隔授業 (非同期型)	歯科用エックス線撮影の種類と原理	口内法エックス線撮影の種類、パノラマエックス線撮影の原理、顔面頭蓋部撮影の種類、歯科用コーンビーム CT ほか、インプラントのためのステントと CT	渡邊 裕	到達目標:6-10 終了後に小テストを実施
9-12	6/8	13:00-16:50	遠隔授業 (非同期型)	顎顔面口腔領域の正常像と異常像、放射線の人体への影響と放射線治療	画像診断、正常像と異常所見、放射線の人体に対する影響、がんの放射線治療とその補助装置	渡邊 裕	到達目標:11-14 終了後に小テストを実施
13-15	6/9	13:00-15:50	CAD/CA M 演習室	断層撮影画像データの三次元構築(演習)	Zed View を使用した CT データの 3D モデリング	土田 優美	到達目標:15 終了後にレポートを提出

授業方法 講義、演習 1～9回は遠隔授業(非同期型)で行う。WebClass にアップロードされる資料にて学習し、小テストでの合格(7割以上)をもって出席とする。 小テストの期限は原則授業実施予定日から一週間とする。この試験結果は成績に加味する。 遠隔授業(非同期型)での質問は、授業担当者にメールで質問すること。回答は授業担当者よりメールで行う。 13～15回は対面での演習を行う。授業後、提示された期限までにレポート課題を提出すること。
成績評価の方法 評価は提出課題および期末試験(筆記試験:60分)によって行う。 提出課題はレポート(10点)である。 期末試験の配点は90点とするが、期末試験の点数が6割未満の場合は再試験とする。 出席状況、授業態度の結果を総合的に評価に加味する。
成績評価の基準 ・期末試験の点数が60点以上のものを合格とする。 ・配点は、期末試験90点、レポート課題10点とし、合計100点満点で換算する。 ・出席状況、授業態度、小テスト結果を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3分の2以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(非同期型)および対面演習に出席すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
参考書 歯科放射線学／岡野友宏、小林馨、有地榮一郎編:医歯薬出版、2013 歯科臨床における画像診断アトラス／日本歯科放射線学会編:医歯薬出版、2008
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、内容を改善している。 担当教員のオフィスアワー 渡邊 裕 hiro.orad@tmd.ac.jp 土田 優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp
連絡先(メールアドレス) 土田 優美 yumi.bmoe@tmd.ac.jp 渡邊 裕 hiro.orad@tmd.ac.jp
オフィスアワー 土田 優美 メールにて面談の日程を調整すること 渡邊 裕 毎週金曜日 P.M.00-16:00

時間割番号	023532						
科目名	スポーツ歯科学				科目ID	DE-493200-L	
担当教員	大木 明子, 上野 俊明, 中禮 宏[OKI MEIKO, UENO TOSHIAKI, CHUREI HIROSHI]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
選択 15 時間							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom) 口腔保健工学専攻 第2 実習室、総合実習室、重合・鋳造室							
授業の目的、概要等 スポーツとスポーツ外傷について理解し、外傷予防に用いる歯科領域の装置、特にマウスガードの構造と製作法を理解し、製作する。スポーツと歯科保健医療を理解する。							
授業の到達目標 1. 顎口腔領域のスポーツ外傷とその特徴を説明できる。 2. 顎口腔領域のスポーツ外傷の予防について説明できる。 3. 顎口腔系機能と身体運動機能の関連について説明できる。 4. スポーツ選手における顎口腔系の状態とその健康管理について説明できる。 5. フェイスガードの構造と製作法について説明できる。 6. マウスガードの目的、種類、特徴について説明できる。 7. マウスガードの材料について説明できる。 8. マウスガードの構造と製作法について説明でき、マウスガードを製作する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	5/6	13:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	スポーツ歯科学概論	スポーツ外傷の特徴と予防、顎口腔系機能と身体運動機能の関連、スポーツ選手の健康管理	上野 俊明	到達目標:1-4
4-6	5/13	13:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	マウスガードの製作法	マウスガードの目的、種類、材料、製作法	上野 俊明	到達目標:6-8
7-8	5/13	16:00-17:50	遠隔授業 (同期型)	遠隔支援、フェイスガードの製作法	遠隔支援、フェイスガードの目的、構造、製作法	中禮 宏	到達目標:4-5
9	5/20	16:00-16:50	第2実習室	マウスガードの製作1 (実習)	模型調整・咬合器装着	中禮 宏	到達目標:6-8 (補助:大木) 事前に指定された模型を準備しておくこと
10-12	5/27	13:00-15:50	第2実習室	マウスガードの製作2 (実習)	EVA シート製マウスガードの製作	中禮 宏	到達目標:6-8
13-15	6/3	13:00-15:50	第2実習室	マウスガードの製作3 (実習)	ポリオレフィンシート製マウスガードの製作、マウスガードの完成	中禮 宏	到達目標:6-8 実習作品の提出
授業方法 講義、実習 遠隔授業(同期型)のほかにスポーツマウスガード製作実習が含まれます。 事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。 遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。							
授業内容							

成績評価の方法 評価は提出作品および期末試験(筆記試験:60分)によって行う。 ・筆記試験(80点)、マウスガード2種の評価(唇頬側・口蓋側の辺縁形態、咬合面の形態:各種10点ずつ合計20点)で総合的に評価する。 ・期末試験が100点満点中60点未満の場合は再試験とする。
成績評価の基準 ・期末試験の点数が60点以上のものを合格とする。 ・配点は、筆記試験80点、マウスガード2種の評価:各種10点ずつ合計20点とし、合計100点満点で換算する。 ・出席状況、授業態度を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料が配布またはWebClassにアップされた場合は予習してから講義に出席すること。 実習日はマウスガード製作実習を行うので、WebClassの資料を予習し、器材を準備して出席すること。 実習に際しては模型や咬合器などの事前準備が必要であるので、指示されたとおりに準備すること。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3分の2以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
教科書 要説スポーツ歯科医学／上野俊明〔ほか〕編、上野、俊明、:医学情報社、2020 実践スポーツマウスガード：製作・調整と競技別サポート／大山喬史 監修、上野俊明 編集：医学情報社、2014
参考書 スポーツ歯科入門ハンドブック：健康スポーツ歯科をめざして／安井利一、杉山義祥 編著、姫野かつよ〔ほか〕著：医学情報社、2009
他科目との関連 マウスガードの製作実習では、3年の臨床咬合学で製作した各自の上下模型を使用する。臨床実習Ⅱにおいて実習の事前準備を行う。教員の指示に従い、上顎2個、下顎1個を準備しておくこと。
履修上の注意事項 事前に資料の配布、WebClassへのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。実習日には実習を行うので、インストルメント器材を準備しておくこと。
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、マウスガード製作実習の事前準備を臨床実習Ⅱで時間をとって行うように改善した。 科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先 大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 上野俊明 准教授 メールにて日時を相談 tueno.spm@tmd.ac.jp 中禮 宏 助教 メールにて日時を相談 chu.spm@tmd.ac.jp

時間割番号	023533						
科目名	オーラルアプライアンス工学				科目ID	DE-493300-L	
担当教員	大木 明子, 西山 暁, 秀島 雅之, 上條 真吾[OKI MEIKO, NISHIYAMA AKIRA, HIDEISHIMA MASAYUKI, KAMIJO SHINGO]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4		単位数	1	
実務経験のある教員による授業	該当する						
選択 15 時間							
主な講義場所 遠隔授業 (Zoom および WebClass の OE4 オーラルアプライアンス工学) 2 号館 4 階 第 2 実習室							
授業の目的、概要等 顎関節症、睡眠時無呼吸症候群の症状と治療法を理解し、治療に用いるスプリントの意義と製作法を修得する。							
授業の到達目標 1. 閉塞性睡眠時無呼吸症 (Obstructive Sleep Apnea: OSA) の症状について説明できる。 2. OSA の治療法について説明できる。 3. OSA に用いるスリープスプリント (Oral Appliance: OA) の製作法について説明でき、装置を製作する。 4. 顎関節症の症状について説明できる。 5. 顎関節症の治療法について説明できる。 6. 顎関節症に用いるスプリントの製作法について説明でき、装置を製作する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	5/6	10:00-11:50	遠隔授業 (同期型)	顎関節症の症状	顎関節症の臨床症状 顎関節症の原因	西山 暁	到達目標: 4
3-4	5/11	09:00-10:50	遠隔授業 (非同期型)	閉塞性睡眠時無呼吸症 (OSA) とは	OSA の医学的背景 医科との連携と歯科での対応	秀島 雅之	到達目標: 1 WebClass 非同期型、終了後に小テストを実施
5	5/13	10:00-10:50	遠隔授業 (同期型)	顎関節症の治療法	顎関節症の治療法 スタビライゼーションスプリント その他のスプリント	西山 暁	到達目標: 5
6-8	5/18	09:00-11:50	遠隔授業 (非同期型)	OSA の治療法	OSA の治療法 OSA 用スプリント (OA) の種類と材料, 設計	秀島 雅之	到達目標: 2 WebClass 非同期型、終了後に小テストを実施
9-11	5/20	13:00-15:50	第2実習室	顎関節症に用いるスプリントの製作実習	スタビライゼーションスプリントの製作 スタビライゼーションスプリントの調整	西山 暁	到達目標: 6 (DT 鈴木達) 実習作品の提出
12-14	5/25	13:00-15:50	第2実習室	OSA 用 OA の製作実習	OA 製作に用いる模型 OA の印象, 咬合採得 OA の設計と製作・調整法	秀島 雅之, 上條 真吾	到達目標: 3 (補助: 大木) 実習作品の提出
授業方法 講義、実習 遠隔授業 (同期型および非同期型) のほかにオーラルアプライアンス製作実習が含まれます。 事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。 遠隔授業の課題を WebClass にて行い、提出すること。 遠隔授業 (同期型) で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者よ							

り授業時間中に回答もしくはメールで回答します。 遠隔授業(非同期型)で質問を受ける方法は、授業担当者にメールで質問、メールで回答とします。
成績評価の方法 評価は提出課題、提出作品および期末試験(筆記試験:60分)によって行う。 ・筆記試験(80点)、製作物(OSA用OA:10点、顎関節症用スプリント:10点)で総合的に評価する。 ・期末試験が100点満点中60点未満の場合は再試験とする。
成績評価の基準 ・期末試験の点数が60点以上のものを合格とする。 ・配点は、筆記試験80点、製作物(OSA用OA:10点、顎関節症用スプリント:10点)とし、合計100点満点で換算する。 ・出席状況、小テストの点数を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配布、WebClassへのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 小テストなどの課題を実施すること。 実習に際しては模型や咬合器などの事前準備が必要であるので、指示されたとおりに準備すること。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・3分の2以上の出席を基本とする。 ・西山先生ご担当の遠隔授業(同期型)に出席し、途中の質問投票に回答すること。 ・秀島先生ご担当の遠隔授業(非同期型)に出席し、小テストなどの課題を提示された期限までに提出すること。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
参考書 写真でマスターする顎関節症治療のためのスプリントのつくり方・つかい方／鯉見進一、皆木省吾 編著、鯉見 進一、1956-、皆木 省吾、:ヒョーロン・パブリッシャーズ、2011 歯科技工実習／全国歯科技工士教育協議会編；末瀬一彦ほか著、全国歯科技工士教育協議会、末瀬 一彦、:医歯薬出版、2017 いびき!?眠気!?睡眠時無呼吸症を疑ったら：周辺疾患も含めた、検査、診断から治療法までの診療の実践／宮崎泰成、秀島雅之 編、宮崎、泰成、秀島 雅之、:羊土社、2018 参考書2は第2版がでています。(2019年3月)睡眠時無呼吸症のための口腔内装置、160-165
他科目との関連 臨床実習Ⅱにおいて実習の事前準備を行う。
履修上の注意事項 事前に資料の配布、WebClassへのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。非同期型の遠隔授業の場合は、視聴後に小テストを実施した場合に出席とする。実習の日はインスツルメント器材を準備しておくこと。事前に模型と咬合器の準備を指示されるので準備してから実習にのぞむこと。
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、遠隔授業の資料を動画および配布資料の両方をWebClassにアップロードするように改善した。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 秀島雅之 講師 メールにて日時を相談 m.hideshima.rpro@tmd.ac.jp 西山 暁 講師 メールにて日時を相談 anishi.tn@tmd.ac.jp 科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先 大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp

時間割番号	023547						
科目名	CAD/CAM システム工学実習			科目ID			
担当教員	土田 優美, 上條 真吾, 池田 正臣, 青木 秀馬[TSUCHIDA Yuumi, KAMIJO SHINGO, IKEDA MASAOMI, AOKI Syuma]						
開講時期	2021 年度前期	対象年次	4	単位数	1		
実務経験のある教員による授業							
科目名: CAD/CAM システム工学実習 時間数: 45 時間 授業形態: 実習							
主な講義場所 2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室, 4 階 CAD/CAM 実習室							
授業の目的、概要等 CAD/CAM 機器を用いた歯科補綴装置製作に関する知識及び技術を修得する。							
授業の到達目標 1. 歯科技工用スキャナで歯列模型をスキャンできる。 2. 口腔内スキャナで歯列をスキャンできる。 3. CAD ソフトウェアを用いてクラウン、ブリッジ、前装冠フレーム、術前暫間被覆冠の設計ができる。 4. CAD ソフトウェアを用いてパーシャルデンチャーのメタルフレームを設計できる。 5. 加工データの作成とミリングマシンの操作ができる。 6. 造形データの作成と 3D プリンタの操作ができる。 7. ハンディタイプ 3D スキャナを用いて顔面をスキャンできる。 8. ハプティックデバイスを用いて 3D モデリングができる。 9. 歯科用 CAD/CAM の基礎と最近の動向について説明する。 10. 各種 CAD/CAM 機器の相違を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/6	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	歯科技工用スキャナ	歯列模型のスキャン	土田 優美 上條 真吾, 池田 正臣	到達目標:1
3-6	4/6	13:00-16:50	CAD/CA M 演習室	松風 D2000	基本的なクラウン・ブリッジ、デ ンチャーフレームの設計	土田 優美 青木 亮一	到達目標:3-4
7-9	4/12	13:00-15:50	CAD/CA M 演習室	Artec スキャナ	ハンディタイプスキャナの操作	土田 優美 上條 真吾, 池田 正臣	到達目標:7
10-11	4/13	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	Artec スキャナ	ハンディタイプスキャナの操作	土田 優美 上條 真吾, 池田 正臣	到達目標:7
12-15	4/13	13:00-16:50	CAD/CA M 演習室	Freeform	ハプティックデバイスの操作	池田 正臣, 上條 真吾	到達目標:8
16-17	4/19	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	歯科技工用スキャナ	歯列模型のスキャン	池田 正臣, 土田 優美, 上條 真吾, 青木 秀馬	到達目標:1 合 同実習
18-19	4/26	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	口腔内スキャナ	歯列模型のスキャン	土田 優美 上條 真吾, 池田 正臣, 青木 秀馬	到達目標:2 合 同実習

20-21	5/10	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	クラウン・ブリッジ設計 1	前歯クラウン 設計 前歯前装冠 設計	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣 青木 秀馬	到達目標:3 合 同実習
22-23	5/17	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	クラウン・ブリッジ設計 2	大臼歯クラウン 設計 大臼歯前 装冠 設計	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣 青木 秀馬	到達目標:3 合 同実習
24-25	5/24	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	クラウン・ブリッジ設計 3	前歯ブリッジ 設計 前歯術前 TEK 設計	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣 青木 秀馬	到達目標:3 合 同実習
26-27	5/31	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	クラウン・ブリッジ設計 4	旧歯ブリッジ 設計 旧歯術前 TEK 設計 大臼歯インレー 設計	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣 青木 秀馬	到達目標:3 合 同実習
28-29	6/7	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	クラウン・ブリッジ設計 5 切削加工	小臼歯 CAD/CAM 冠 設計 CAM ソフトウェアの操作 CAD/CAM 冠の切削加工	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣 青木 秀馬	到達目標:3.5 合 同実習
30-31	6/8	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期 型)	歯科用 CAD/CAM シス テム	最近の歯科用 CAD/CAM システ ムの動向	土田 優美	到達目標:9 終 了後にレポートを 提出
32-33	6/14	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	Artec スキャナ	ハンディタイプスキャナによるフェ イススキャン	土田 優美 上條 真吾	到達目標:7 合 同実習
34-35	6/21	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	Freeform 1	ハプティックデバイスによるフェイ ススキャンデータの成形	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣 青木 秀馬	到達目標:8 合 同実習
36-37	6/28	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	三次元積層造形 1	インクジェット方式 3D プリンタを用 いたフェイスモデルの造形	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣 青木 秀馬	到達目標:6 合 同実習
38-39	7/5	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	デンチャーフレーム設 計	上下顎デンチャーフレーム設計	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣 青木 秀馬	到達目標:4 合 同実習
40-41	7/12	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	三次元積層造形 2	液層光造形方式 3D プリンタを用い たフェイスモデルの造形	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣 青木 秀馬	到達目標:6 合 同実習
42-43	7/19	10:00-11:50	CAD/CA M 演習室	Freeform 2	オキュラーディスク設計	土田 優美 上條 真吾 池田 正臣 青木 秀馬	到達目標:8 合 同実習 実習作 品・設計データ提 出
44-45	7/26	10:00-11:50	遠隔授業 (非同期 型)	CAD/CAM 技工技術	CAD/CAM 器材の相違と将来性	樋口 鎮央	到達目標:10 終 了後にレポートを 提出
授業方法							

実習・講義 CAD/CAM システムを用いたクラウン・ブリッジ、パーシャルデンチャーフレーム、フェイスモデル、オキュラーボタン等の作品の製作あるいは設計データ作成実習。 30～31 回、44～45 回は非同期型の講義を行う。講義後にレポート課題が課されるため、期限までに提出すること。 遠隔授業(非同期型)での質問は、授業担当者にメールで質問すること。回答は授業担当者よりメールで行う。
成績評価の方法 評価は提出作品およびレポート課題によって行う。 ・クラウン・ブリッジ系 計 50 点、パーシャルデンチャーフレーム 20 点、フェイスモデル 10 点、オキュラーボタン 10 点 合計 90 点 ・講義レポート(5 点×2 課題) 合計 10 点 ・出席状況、授業態度を総合的に評価に加味する。
成績評価の基準 ・提出作品 90 点、レポート課題 10 点、合計 100 点満点で換算し、60 点以上を合格とする。 ・出席状況、授業態度、小テスト結果を加味して総合的に評価し、この科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 ・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
教科書 基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編,末瀬 一彦, 1951-,宮崎, 隆, 1953-,日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会,:医歯薬出版, 2017
備考 工学専 3 年生との合同実習 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワー 土田 優美 メールにて日時を相談 yumi.bmo@tmd.ac.jp
連絡先(メールアドレス) 土田 優美 yumi.bmo@tmd.ac.jp 池田 正臣 ikeda.csoe@tmd.ac.jp 上條 真吾 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp
オフィスアワー 土田 優美 メールにて面談の日程を調整すること 池田 正臣 メールにて面談の日程を調整すること 上條 真吾 メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023553						
科目名	再建工学包括臨床実習Ⅱ				科目ID	DE-475300-E	
担当教員	上條 真吾, 池田 正臣, 塩沢 真穂, 大木 明子[KAMIJO SHINGO, IKEDA MASAOMI, SHIOZAWA Maho, OKI MEIKO]						
開講時期	2021 年度通年	対象年次	4		単位数	10	
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 450 時間							
主な講義場所							
2 号館 4 階 第 2 実習室、総合実習室、重合鑄造室、硬質レジン実習室、CAD/CAM 実習室、2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室、遠隔授業 (Zoom)							
授業の目的、概要等							
患者本位の歯科医療を実施するうえで必要となる各種歯科補綴装置の製作、ならびに修理に関する知識・技能を習得する。							
授業の到達目標							
1. 医療人としての倫理観を身につける。							
2. 多職種医療スタッフとの連携に必要な事項を列挙できる。							
3. 臨床実習に必要な基本的歯科技工技術を確実に身につける。							
4. 歯学部附属病院の診療システムおよび各診療科の特徴を理解する。							
5. 当該実習日における最も効率的な作業計画を立案できる。							
6. 使用する材料の理工学的特長を理解し、効率的かつ確実性が高い技工作業ができる。							
7. 症例に応じた補綴デザインを選択し、高品質な補綴物を製作する。							
8. 医療人としての多職種連携の重要性および必要性について理解し、実践する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/5	10:00-11:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習オリエンテーション、ケース配当、臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
3-5	4/5	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習オリエンテーション、ケース配当、臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
6-7	4/7	10:00-11:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
8-10	4/7	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
11-12	4/8	10:00-11:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
13-15	4/8	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
16-17	4/12	10:00-11:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
18-19	4/14	10:00-11:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 土田 優美	SBOs:1-8

20-22	4/14	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
23-24	4/15	10:00-11:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
25-27	4/15	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
28-30	4/19	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
31-32	4/20	10:00-11:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
33-35	4/20	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
36-37	4/21	10:00-11:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 土田 優美	SBOs:1-8
38-40	4/21	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
41-42	4/22	10:00-11:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
43-45	4/22	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
46-48	4/26	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
49-50	4/27	10:00-11:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
51-53	4/27	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
54-55	4/28	10:00-11:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
56-58	4/28	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
59-61	5/10	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
62-63	5/12	10:00-11:50	第2実習室	再建工学包括臨床実習	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8

			室 総合 実習室	PhaseⅣ		池田 正臣	
64-66	5/12	13:00-15:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
67-69	5/17	13:00-15:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
70-71	5/19	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
72-74	5/19	13:00-15:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
75-76	5/20	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
77-79	5/24	13:00-15:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
80-81	5/25	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣 池田 正臣	SBOs:1-8
82-83	5/26	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
84-86	5/26	13:00-15:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
87-88	5/27	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
89-91	5/31	13:00-15:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
92-93	6/1	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
94-96	6/1	13:00-15:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
97-98	6/2	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
99-10 1	6/2	13:00-15:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
102-1 03	6/3	10:00-11:50	第2実習 室 総合	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8

			実習室				
104-1 07	6/7	13:00-16:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
108-1 09	6/9	10:00-11:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
110-1 11	6/10	10:00-11:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
112-1 14	6/10	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
115-1 18	6/14	13:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習(D6 との合同 CAD 実習)	上條 真吾, 土田 優美	SBOs:1-8
119-1 20	6/15	10:00-11:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
121-1 23	6/15	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
124-1 25	6/16	10:00-11:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
126-1 28	6/16	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
129-1 30	6/17	10:00-11:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
131-1 33	6/17	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
134-1 37	6/21	13:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習(D6 との合同 CAD 実習)	上條 真吾, 土田 優美	SBOs:1-8
138-1 39	6/22	10:00-11:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
140-1 42	6/22	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
143-1 44	6/23	10:00-11:50	第1講義室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	医歯学融合教育準備	大木 明子	SBOs:8 事前に チーム医療入門

							の WebClass の資料を確認し準備すること
145-1 47	6/23	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
148-1 49	6/24	10:00-11:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
150-1 52	6/24	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
153-1 55	6/25	13:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	医歯学融合教育準備	大木 明子	6/23 に決めた課題について発表スライドを作成し、発表後にスライドを WebClass に提出。 SBOs:8
156-1 59	6/28	13:00-16:50	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習 (D6 との合同 CAD 実習)	池田 正臣 土田 優美	SBOs:1-8
160-1 65	6/29	09:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	医歯学融合教育	大木 明子	SBOs:8 準備した資料を手元に置き、演習に参加すること。Zoom 情報は後日
166-1 71	6/30	09:00-15:50	遠隔授業 (同期型)	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	医歯学融合教育	大木 明子	SBOs:8 準備した資料を手元に置き、演習に参加すること。Zoom 情報は後日
172-1 73	7/1	10:00-11:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
174-1 77	7/5	13:00-16:50	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習 (D6 との合同 CAD 実習)	池田 正臣 土田 優美	SBOs:1-8
178-1 79	7/6	10:00-11:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
180-1 82	7/6	13:00-15:50	第2実習室 総合実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾 池田 正臣	SBOs:1-8
183-1	7/7	10:00-11:50	第2実習室	再建工学包括臨床実習	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8

84			室 総合 実習室	PhaseⅣ			
185-1 87	7/7	13:00-15:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
188-1 89	7/8	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
190-1 93	7/12	13:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習(D6 との合同 CAD 実習)	池田 正臣 土田 優美	SBOs:1-8
194-1 95	7/13	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
196-1 98	7/13	13:00-15:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾 池田 正臣	SBOs:1-8
199-2 00	7/14	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
201-2 03	7/14	13:00-15:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
204-2 05	7/15	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
206-2 09	7/19	13:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習(D6 との合同 CAD 実習)	池田 正臣 土田 優美	SBOs:1-8
210-2 11	7/20	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
212-2 14	7/20	13:00-15:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
215-2 16	7/21	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
217-2 19	7/21	13:00-15:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
220-2 23	7/26	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
224-2	7/27	13:00-16:50	第2実習	再建工学包括臨床実習	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8

27			室 総合 実習室	PhaseⅣ		池田 正臣	
228-2 30	9/30	13:00-15:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
231-2 32	10/4	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
233-2 36	10/4	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
237-2 38	10/5	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
239-2 42	10/5	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
243-2 44	10/6	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
245-2 48	10/6	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
249-2 50	10/11	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
251-2 54	10/11	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
255-2 56	10/13	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
257-2 60	10/13	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
261-2 62	10/18	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
263-2 66	10/18	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
267-2 68	10/19	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
269-2 72	10/19	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
273-2 74	10/20	10:00-11:50	第2実習 室 総合	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8

			実習室				
275-2 78	10/20	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
279-2 80	10/25	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
281-2 84	10/25	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
285-2 86	10/26	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
287-2 90	10/26	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
291-2 92	10/27	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
293-2 96	10/27	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
297-2 98	11/1	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
299-3 02	11/1	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
303-3 04	11/2	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
305-3 08	11/2	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
309-3 10	11/8	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
311-3 14	11/8	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
315-3 16	11/9	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
317-3 20	11/9	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
321-3 22	11/10	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8

323-3 26	11/10	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
327-3 28	11/15	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
329-3 32	11/15	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
333-3 34	11/16	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
335-3 38	11/16	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
339-3 40	11/17	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
341-3 44	11/17	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
345-3 46	11/22	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
347-3 50	11/22	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
351-3 52	11/24	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
353-3 56	11/24	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
357-3 58	11/29	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
359-3 62	11/29	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
363-3 64	11/30	10:00-11:50	第1講義 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	国家試験の模擬試験	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8 模擬 試験を行うので国 家試験対策学習 を行っておくこと
365-3 68	11/30	13:00-16:50	第1講義 室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	国家試験の模擬試験	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8 模擬 試験を行うので国 家試験対策学習 を行っておくこと
369-3 70	12/1	10:00-11:50	第2実習 室 総合	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	実技認定試験	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8

			実習室				
371-3 73	12/1	13:00-15:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	実技認定試験	上條 真吾	SBOs:1-8
374-3 75	12/6	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
376-3 79	12/6	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
380-3 81	12/7	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
382-3 85	12/7	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
386-3 87	12/8	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
388-3 91	12/8	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
392-3 93	12/13	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
394-3 97	12/13	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
398-3 99	12/14	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
400-4 03	12/14	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8
404-4 05	12/15	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
406-4 09	12/15	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
410-4 11	12/20	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
412-4 15	12/20	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
416-4 17	12/21	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseIV	臨床実習	上條 真吾, 池田 正臣	SBOs:1-8

418-4 21	12/21	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾、 池田 正臣	SBOs:1-8
422-4 23	12/22	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
424-4 27	12/22	13:00-16:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
428-4 32	1/6	10:00-15:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
433-4 34	1/11	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
435-4 36	1/12	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
437-4 38	1/13	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
439-4 40	1/18	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
441-4 42	1/19	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	上條 真吾	SBOs:1-8
443-4 44	1/20	10:00-11:50	第2実習 室 総合 実習室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	臨床実習	池田 正臣	SBOs:1-8
445-4 50	1/25	10:00-16:50	第1講義 室	再建工学包括臨床実習 PhaseⅣ	国家試験の模擬試験	上條 真吾	SBOs:1-8 模擬 試験を行うので国 家試験対策学習 を行っておくこと

授業方法

実習、演習、講義

臨床実習、国家試験対策実習、チーム医療

一部、遠隔授業(同期型)で行います。

事前に WebClass に提示されている資料を学習して準備しておくこと。

遠隔授業の課題を行い、期限までに対面で提出すること。

遠隔授業(同期型)で質問を受ける方法は、授業時間中のチャットや発言、または授業担当者にメールで質問してください。授業担当者より授業時間中に回答もしくはメールで回答します。

成績評価の方法

評価は実習で製作するプロダクトおよびレポートによって行う。

・臨床ケース(完成度・スピード)(50点)、患者別ケースレポート(20点)、実技評価試験対策(20点)、チーム医療評価(10点)で総合的に評価する。

成績評価の基準

・実習で製作した作品およびレポートで評価を行う(配点100点)。60点以上を合格とする。

・出席状況、実習態度を総合的に評価に加味する。
準備学習等についての具体的な指示 事前に資料の配付、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。チーム医療入門は事前準備を行い必ず出席すること。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。
教科書 基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修, 末瀬一彦, 宮崎隆 編, 末瀬 一彦, 1951-, 宮崎, 隆, 1953-, 日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会, : 医歯薬出版, 2017
履修上の注意事項 チーム医療入門の詳細と、歯科技工士国家試験の模擬試験の詳細は別に定める。
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先 上條真吾 助教 メールにて日時を相談 s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 大木明子 准教授 メールにて日時を相談 moki.mfoe@tmd.ac.jp
連絡先(メールアドレス) 上條 真吾:s-kamijoh.itoe@tmd.ac.jp 大木 明子:moki.mfoe@tmd.ac.jp 池田 正臣:ikedacsoe@tmd.ac.jp 塩沢 真穂:m.shiozawa.abm@tmd.ac.jp
オフィスアワー 上條 真吾:メールにて面談の日程を調整すること 大木 明子:メールにて面談の日程を調整すること。2 号館 2 階准教授室 池田 正臣:メールにて面談の日程を調整すること

時間割番号	023556						
科目名	卒業研究Ⅱ			科目ID	DE-465600-Z		
担当教員							
開講時期	2021 年度通年	対象年次	4	単位数	3		
実務経験のある教員による授業	該当する						
時間数: 90 時間 授業形態: 実習							
主な講義場所 口腔保健工学専攻研究室、2 号館 4 階 第 2 実習室ほか、各指導者の指示する研究室で研究を実施。							
授業の目的、概要等 「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」という本学の基本理念を中心に、各学生の科学的興味、将来の方向性に沿って決定したテーマについて、計画・立案に基づき研究を実施する。さらに、結果を整理分析し、論文にまとめ、発表することにより、研究への理解と意欲を培う。							
授業の到達目標 1. 本学の基本理念を中心に策定した研究テーマについて、卒業研究Ⅰで策定した研究計画に基づき研究を実施できる。 2. EBM の概念と研究者としての倫理観を理解する。 3. 不測の事態が起こった場合に、指導教員と相談しながら、研究計画の変更ならびに立案を行うことができる。 4. 実験・調査などのデータを整理分析し、統計学的に解析できる。 5. 結果に基づき、新たな問題点と課題を抽出、提起できる。 6. 一連の研究成果を論文にまとめることができる。 7. 自身の研究内容について、制限時間を考慮したわかりやすい口頭発表ができる。 8. 論文の抄録を英語で表現できる。 9. 最後まで粘り強く立てた仮説を実証するために、やりぬく精神力を培う。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/9	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	概要説明	研究の進め方、研究論文提出までの過程 抄読会、プログレスミーティングの説明 1 人抄読会	青木 和広	到達目標:1-5 担当の場合は抄読する論文および発表スライドを発表の週の水曜日 13 時まで提出 まとめを次の週の金曜日まで提出
2-5	4/9	13:00-16:50	第2実習室	研究計画の確認・研究実施	研究計画の確認・研究計画に基づく研究実施	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5
6	4/16	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	抄読会	関連論文の抄読 2 人ずつ	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾	到達目標:1-5 担当の場合は抄読する論文および発表スライドを

						土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦 高橋 英和	発表の週の水曜日 13 時まで提出 抄読のまとめを次の週の金曜日までに提出
7-10	4/16	13:00-16:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5
11	4/23	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	抄読会	関連論文の抄読 2 人ずつ	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦 高橋 英和	到達目標:1-5 担当の場合は抄読する論文と発表スライドを発表の週の水曜日 13 時まで提出 まとめを次の週の金曜日までに提出
12-15	4/23	13:00-16:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5
16	4/30	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	抄読会	関連論文の抄読 2 人ずつ	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦 高橋 英和	到達目標:1-5 担当の場合は抄読する論文と発表スライドを発表の週の水曜日 13 時まで提出 まとめを次の週の金曜日までに提出
17-20	4/30	13:00-16:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5
21	5/7	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	抄読会	関連論文の抄読 2 人ずつ	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂	到達目標:1-5 担当の場合は抄読する論文と発表スライドを発表の週の水曜日 13 時まで提出

						岩崎 直彦	まとめを次の週の金曜日までに提出
22-25	5/7	13:00-16:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5
26	5/14	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	抄読会	関連論文の抄読 2人ずつ	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5 担当の場合は抄読する論文と発表スライドを発表の週の水曜日 13時までに提出 まとめを次の週の金曜日までに提出
27-30	5/14	13:00-16:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5
31	5/21	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	抄読会	関連論文の抄読 2人ずつ	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5 担当の場合は抄読する論文と発表スライドを発表の週の水曜日 13時までに提出 まとめを次の週の金曜日までに提出
32-35	5/21	13:00-16:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5
36	5/28	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	抄読会とプログレスミーティング	抄読会 1人 実験の進捗報告 1人	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5 抄読する論文と発表スライド(プログレスの場合も)を発表の週の水曜日 13時までに提出 まとめを次の週の金曜日

							までに提出
37-40	5/28	13:00-16:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	青木 和広 大木 明子, 池田 正臣 上條 真吾, 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5
41	6/4	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	プログレスミーティング	実験の進捗状況の報告 2人ずつ	青木 和広 大木 明子, 池田 正臣 上條 真吾, 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5 担当の場合は水曜日 13 時まで にスライドを提出
42-45	6/4	13:00-16:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	青木 和広 大木 明子, 池田 正臣 上條 真吾, 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5
46	6/11	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	プログレスミーティング	実験の進捗状況の報告 2人ずつ	青木 和広 大木 明子, 池田 正臣 上條 真吾, 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5 担当の場合は水曜日 13 時まで にスライドを提出
47-50	6/11	13:00-16:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	青木 和広 大木 明子, 池田 正臣 上條 真吾, 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5
51	6/18	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	プログレスミーティング	実験の進捗状況の報告 2人ずつ	青木 和広 大木 明子, 池田 正臣 上條 真吾, 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5 担当の場合は水曜日 13 時まで にスライドを提出
52-55	6/18	13:00-16:50	第2実習室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	青木 和広 大木 明子, 池田 正臣 上條 真吾, 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5

56	6/25	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	プロGRESSミーティング	実験の進捗状況の報告 2人ずつ	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5 担当の場合は水曜日 13 時まで にスライドを提出
57-60	7/1	13:00-16:50	第2実習 室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5
61	7/2	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	プロGRESSミーティング	実験の進捗状況の報告 2人ずつ	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5 担当の場合は水曜日 13 時まで にスライドを提出
62-65	7/2	13:00-16:50	第2実習 室	研究実施	研究計画に基づく研究の実施、データの収集・整理・分析	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5
66-69	7/8	13:00-16:50	第2実習 室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収集・整理・分析	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-7
70	7/9	09:00-09:50	遠隔授業 (同期型)	プロGRESSミーティング	実験の進捗状況の報告 3 人	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-5 担当の場合は水曜日 13 時まで にスライドを提出
71-74	7/9	13:00-16:50	第2実習 室	中間発表準備	中間発表準備	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:1-7
75-77	7/15	13:00-15:50	第2実習	中間発表準備	中間発表準備	青木 和広	到達目標:1-7

			室			大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 土田 優美, 塩沢 真穂, 岩崎 直彦	
78-79	7/16	13:00-14:50	遠隔授業 (同期型)	中間発表	中間発表	青木 和広, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 土田 優美, 塩沢 真穂, 岩崎 直彦	到達目標:1-10 中間発表スライド 準備、発表会 にて質疑応答演 習
80	7/16	15:00-15:50	第2実習 室	研究実施	研究の継続実施、研究データの収 集・整理・分析	青木 和広, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 土田 優美, 塩沢 真穂, 岩崎 直彦	到達目標:1-7
81-84	10/22	13:00-16:50	第1講義 室	研究成果報告会	研究成果報告会	青木 和広, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 土田 優美, 塩沢 真穂, 岩崎 直彦	到達目標:1-10 研究成果発表ス ライドを準備
85-90	1/7	10:00-16:50	特別講堂	卒業研究発表会	卒業研究発表会	青木 和広, 大木 明子, 池田 正臣, 上條 真吾, 土田 優美, 塩沢 真穂, 岩崎 直彦	到達目標:1-10 事前に卒業論 文、抄録を提出、 卒業研究発表ス ライドの提出

授業方法

研究

抄読会

プロGRESSミーティング

中間報告会発表、成果報告会発表、卒業研究発表を行う。

成績評価の方法

評価は、抄読会、プロGRESSミーティング、中間報告会発表、成果報告会発表、卒業論文、卒業研究発表によって行う。

- ・各課題の WebClass 等への提出状況を評価に加味する。
- ・卒業研究中間報告会での発表により中間評価を行う。評価は成績に加味する。
- ・研究成果報告会での発表内容により段階的な評価を行う。評価は成績に加味する。
- ・卒業研究論文(60 点)
- ・卒業研究発表会の発表内容に対する教員評価(40 点)
- ・指導教員からの評価も加味して総合評価とする。

成績評価の基準

- ・卒業研究論文と卒業研究発表の合計点数が 60 点以上の者を合格とする。

・配点は、卒業研究発表会のプレゼンテーションに対する教員評価(40 点)と卒業研究論文の評価(60 点)とし、合計 100 点満点で換算する。 ・抄読会、プロGRESSミーティング、中間報告会、研究成果報告会、指導教員からの評価、各課題の WebClass 等への提出状況を加味してこの科目の評価とする。
準備学習等についての具体的な指示 卒業研究の授業時間だけでは研究時間が足りないので、課外時間も利用して文献検索、研究実施、データ処理等を行うこと。
試験の受験資格 単位認定資格は以下のすべてとする。 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席すること。 ・抄読会やプロGRESSミーティングをそれぞれ 1 度ずつ担当すること。 ・中間発表会で発表を行うこと。 ・研究成果報告会で発表を行うこと。 ・提示された期限までに卒業論文および抄録を提出すること。 ・卒業研究発表会で発表を行うこと。 ・卒業研究の出席に関して、学生証のカードタッチだけでなく、研究のはじめと終わりを指導教員に報告すること。報告がない場合は、卒業研究でも臨床実習でも欠席したものとみなす。卒業研究Ⅱの時間の居場所を指導教員に必ず明らかにしておき、やむを得ぬ事情の時以外は、始めるとき、終わるときを直接指導教員に会って知らせること。 ・特別に勘案すべき事情があるために指示が達成できない場合や同期型授業に参加できない場合には、その事情とともに締め切り前および授業開始前までに科目責任者にメールで連絡すること。これらの十分な対応が行われたと判断された場合には事情などに応じてレポート等での対応を行うこととする。
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 担当教員のオフィスアワーおよび連絡先 青木和広 kazu.hpha@tmd.ac.jp メールにて面談の日程を調整すること)

時間割番号	023557						
科目名	卒業製作			科目ID	DE-465700-Z		
担当教員	上條 真吾[KAMIJO SHINGO]						
開講時期	2021 年度通年	対象年次	4		単位数	3	
実務経験のある教員による授業	該当する						
必修 135 時間							
主な講義場所							
2 号館 4 階 第 2 実習室、総合実習室、重合鑄造室、硬質レジン実習室、CAD/CAM 実習室、2 号館 3 階 CAD/CAM 演習室、遠隔授業 (Zoom)							
授業の目的、概要等							
各学生が歯科補綴装置に関するテーマを設定し、習得した知識および技術を応用して作品の製作およびプレゼンテーションを行う。							
授業の到達目標							
1.製作上に必要な情報を収集し、整理できる。							
2.症例に応じた設計および補綴デザインを選択できる。							
3.歯科技工に関する基本的知識および製作法を説明できる。							
4.歯科技工の基礎技術を応用し製作する。							
5.対象者に合わせたプレゼンテーションを作成し、発表できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	9/30	10:00-11:50	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作の概要	実習内容説明	上條 真吾	到達目標:1
3-7	10/1	10:00-15:50	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	製作テーマの検討	症例検討、情報の収集、製作計画	上條 真吾	到達目標:1,2
8-13	10/7	10:00-16:50	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	製作テーマの検討	製作計画報告、補綴デザイン、設計	上條 真吾	到達目標:1-4
14-18	10/8	10:00-15:50	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	製作テーマの検討	製作計画報告、補綴デザイン、設計	上條 真吾	到達目標:1-4
19-24	10/14	10:00-16:50	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
25-30	10/21	10:00-16:50	CAD/CAM 演習室 第2実習	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4

			室 総合 実習室				
31-36	10/28	10:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習		到達目標:1-4
37-42	10/29	10:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
43-48	11/4	10:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
49-54	11/5	10:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
55-60	11/11	10:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
61-66	11/12	10:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
67-72	11/18	10:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
73-78	11/19	10:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
79-84	11/25	10:00-16:50	CAD/CA M 演習室 第2実習 室 総合 実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
85-90	11/26	10:00-16:50	CAD/CA M 演習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4

			第2実習室 総合実習室				
91-96	12/2	10:00-16:50	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
97-102	12/3	10:00-16:50	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
103-108	12/9	10:00-16:50	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	卒業製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
109-114	12/10	10:00-16:50	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
115-120	12/16	10:00-16:50	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	卒業製作実習	製作実習	上條 真吾	到達目標:1-4
121-126	12/17	09:00-15:50	第1講義室	卒業製作実習 発表用スライドの作成 OH 卒研発表会参加	卒業製作実習 発表用スライドの作成 OH 卒研発表会参加	上條 真吾	到達目標:1-5
127-132	12/23	10:00-16:50	CAD/CAM 演習室 第2実習室 総合実習室	発表用スライド作成 作品提出	発表用スライドの作成 作品の提出	上條 真吾	到達目標:5 実習作品の提出
133-135	1/5	13:00-15:50	遠隔授業(同期型)	卒業製作発表会	卒業製作のパワーポイント発表	青木 和広 大木 明子 池田 正臣 上條 真吾 土田 優美 塩沢 真穂 岩崎 直彦	到達目標:5 発表用スライドの提出
授業方法 実習、作品発表 事前に WebClass に提示されている資料、デモビデオを学習して予習しておくこと。							
成績評価の方法 評価は実習で製作するプロダクトと発表によって行う。 ・製作作品(完成度・基礎と応用技術・難易度・オリジナリティ) 70 点							

・作品発表(スライド構成・内容・質疑応答)30 点 で総括的に評価し、合計点数を成績とする。
成績評価の基準 ・実習で製作した作品および作品発表で評価を行う(配点 100 点)。60 点以上を合格とする。 ・出席状況、実習態度を総括的に評価に加味する。
準備学習等についての具体的な指示 ・各自のテーマに必要な知識および技術を十分に理解して製作に臨むこと。 ・製作計画および製作工程に不十分な点がある場合には、各自入念に準備しておくこと。
試験の受験資格 定期試験、追・再試験を受験する資格は以下のすべてとする。 ・4 分の 3 以上の出席を基本とする。 ・遠隔授業(同期型)に出席し、発表をすること。 ・実習に出席し、提示された期限までにプロダクトを提出すること。
教科書 基礎から学ぶ CAD/CAM テクノロジー／日本デジタル歯科学会, 全国歯科技工士教育協議会 監修,末瀬一彦, 宮崎隆 編,末瀬 一彦, 1951-,宮崎 隆, 1953-,日本デジタル歯科学会,全国歯科技工士教育協議会,:医歯薬出版, 2017
履修上の注意事項 ・事前に資料の配布、WebClass へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
備考 昨年度授業終了時アンケート結果より、実習内容を再検討し、昨年度より内容を改善している。 科目責任者のオフィスアワーおよび連絡先 上條真吾 助教 メールにて日時を相談 s-kamijoh.ito@tmd.ac.jp

時間割番号	023558				
科目名	口腔保健工学エクスターンシップ			科目ID	DE-495800-Z
担当教員	青木 和広, 高橋 英和[AOKI KAZUHIRO, TAKAHASHI HIDEKAZU]				
開講時期	2020 年度 1.5 通年 (秋)	対象年次	3～4	単位数	1
実務経験のある教員による授業	該当する				
海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。					
成績評価の方法 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して可否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。 単位の取り扱いについては『口腔保健学科口腔保健工学専攻専門科目「口腔保健工学エクスターンシップ」に関する単位認定の取扱い』を参照のこと。					
準備学習等についての具体的な指示 外国での生活に支障をきたさないように語学の事前準備を行うこと。 以下の履修上の注意事項に従うこと。					
試験の受験資格 ○単位認定条件 1) 海外研修奨励制度による研修プログラム (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 (2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 (3) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (4) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 (5) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(以上) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。 (2) 研修特別コースの履修 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 (4) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (5) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。 (6) 本学および海外の担当教員による学生評価の成績(以上)					
履修上の注意事項 1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励制度(事前研修を含む。) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。					

備考

課外学習した成果をまとめて発表する機会を設ける。